

2020年度

履修心得

社会学部

社会学部事務室 開室時間

1. 月曜日～金曜日

8：50～11：30 12：30～16：50

2. 土曜日

8：50～12：20

3. 変則開室期間

■ 8月1日～9月10日

月曜日～金曜日

9：00～11：30 12：30～16：00

土曜日（9月3日～9月10日までの期間）

9：00～12：00

■ 12月24日

8：50～12：00

4. 社会学部事務室閉室日

■ 日曜、祝日（授業実施日は開室）

■ 5月、6月、9月、10月の第2土曜日および5月の第4土曜日

■ 7月31日～9月2日までの土曜日

■ 夏季休業期間

8月13日～8月21日

■ 冬季休業期間

12月25日～1月5日

■ 入試関係期間

1月30日～2月7日

注意事項

■ 社会学部事務室にて手続きを行う場合は、必ず上記開室時間中に行ってください。

■ 上記開室時間外での受付は、いかなる理由があっても一切行いません。

目 次

I. スケジュール (2020年度)

1. 授業スケジュール	6
2. 社会学部スケジュール (履修登録・定期レポート・卒業論文・成績発表関係)	8
3. 全学科目・教職科目履修スケジュール	10
4. オフィス・アワー	12

II. 全学共通編

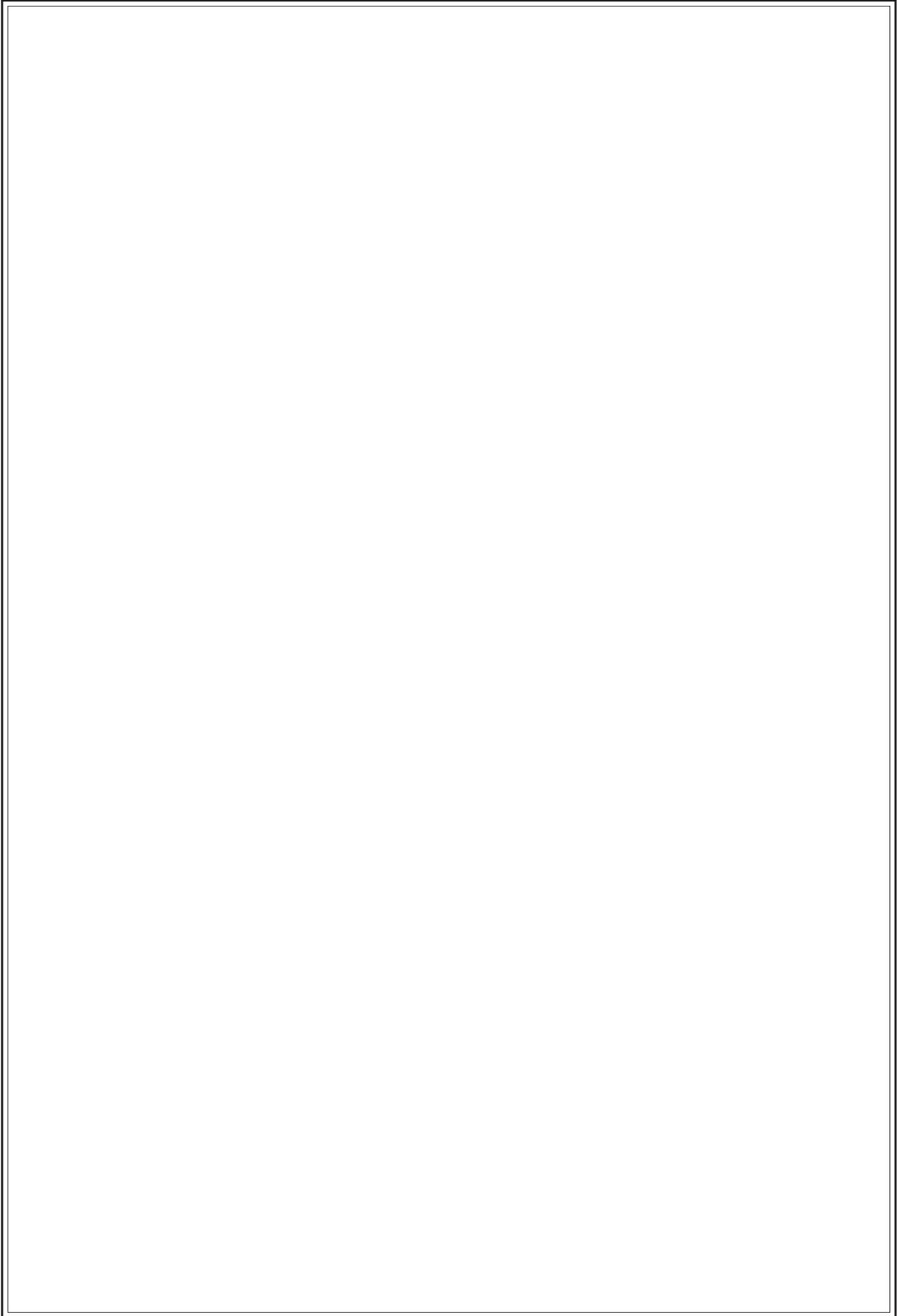
1. 履修・学習要覧 Web サイト	14
2. ダブルチャレンジ制度	19
3. 関西学院大学の理念・目的	23
4. Kwansei コンピテンシー	23
5. 授業科目の履修にあたって	24
5.1 単 位	24
5.2 履修基準年度	24
5.3 授業時間	24
5.4 授業時間帯等	24
5.5 成績評価・試験	27
5.6 GPA 制度	27
5.7 授業科目の内容	28
5.8 授業に関する調査	28
5.9 科目ナンバリング	28
5.10 複数分野専攻制 [Multidisciplinary Studies (略称: MS)]	29
5.11 マルチプル・ディグリー制度 (略称: MD)	29
5.12 ダブルディグリー留学	31
5.13 教職課程等	31
6. 成績評価・試験規程 (抜粋)	32
7. 一般注意事項	33
7.1 学生証	33
7.2 掲示・教学 Web サービス	33
7.3 学部事務室開室時間	33
7.4 各種変更手続き	33
7.5 パソコンの利用	33
7.6 証明書等	34
7.7 授業の欠席	35
7.8 授業の長期欠席	35
7.9 学 費	35
7.10 各種相談	35

Ⅲ. 社会学部編

1. 社会学部の学び	37
1.1 2016年度以降入学生	38
1.1.1 社会学部 理念・目的・教育研究目標・めざす学生像	
1.1.2 社会学部 ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	
1.1.3 社会学部 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）	
1.2 2015年度以前入学生	40
1.2.1 社会学部 理念・目的・教育目標	
1.2.2 社会学部 ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	
1.2.3 社会学部 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）	
1.3 キリスト教主義にもとづく教育とチャペル	43
1.4 関西学院大学 学則（抄録）	43
1.5 社会学部内規	45
2. カリキュラム	57
2.1 2016年度以降入学生	59
2.1.1 科目の構成と卒業に必要な単位数	
2.1.2 専攻分野	
2.1.3 履修モデル	
2.1.4 移行措置	
2.2 2015年度以前入学生	69
2.2.1 科目の構成と卒業に必要な単位数	
2.2.2 履修モデル	
2.2.3 移行措置	
3. 履修登録	77
3.1 履修登録	78
3.2 履修単位数制限	78
3.2.1 原則	
3.2.2 前学期終了時までの通算 GPA が3.00以上の場合	
3.2.3 履修単位数制限対象外科目	
3.3 重複履修・並行履修・継続履修	80
3.3.1 重複履修	
3.3.2 並行履修	
3.3.3 継続履修	
3.4 合併科目・ペア科目	84
3.5 クラス指定	85
3.5.1 2016年度以降入学生	
3.5.2 2015年度以前入学生	
3.6 先修条件	88
3.7 申込制科目	90
3.7.1 社会学部開講科目	
3.7.2 全学科目	
3.7.3 教職科目	
3.8 その他注意事項	119
3.8.1 他学部開講科目の履修	
3.8.2 社会学部以外が提供する言語教育科目	
3.9 履修中止申請	120

4. 成績	121
4.1 成績評価	122
4.1.1 成績評価方法	
4.1.2 成績評価基準	
4.1.3 成績発表	
4.1.4 成績調査	
4.2 試験	123
4.2.1 定期試験	
4.2.2 授業中試験	
4.2.3 不正行為	
4.3 リポート	124
4.3.1 スタイルガイド	
4.3.2 剽窃	
4.3.3 定期リポート	
4.3.4 平常リポート	
5. 卒業	129
5.1 卒業に必要な単位数の確認	130
5.2 2020年度春学期（9月）卒業	130
5.2.1 春学期（9月）卒業とは	
5.2.2 卒業論文の提出	
5.3 2020年度秋学期（3月）卒業	131
5.3.1 秋学期（3月）卒業とは	
5.3.2 卒業論文の提出	
5.4 3年卒業	131
5.5 卒業延期制度	132
6. 資格	133
6.1 教職課程	134
6.1.1 教職課程における「教科に関する科目（2018年度以前入学生）」、 「教科に関する専門的事項（2019年度以降入学生）」の履修について	
6.1.2 教職課程の履修の移行措置について（2017年度以前入学生）	
6.2 社会調査士	136
6.2.1 社会調査協会「社会調査士」について	
6.2.2 2020年度 関西学院大学社会学部 標準カリキュラム対応表	
6.3 認定心理士（心理調査）	137
6.3.1 「認定心理士（心理調査）」について	
6.3.2 「認定心理士（心理調査）」取得のための関連科目修得状況の確認について	
6.3.3 認定心理士（心理調査）を取得するために	
7. 教育課程表	139
7.1 2016年度以降入学生用	139
7.1.1 学則別表	
7.1.2 6専攻分野別教育課程表	
7.2 2011年度～2015年度入学生用	157
7.2.1 学則別表	

<MEMO>



I. スケジュール (2020年度)

1. 授業スケジュール

年・月	日・曜日	行 事
2020年 4月	1日(水)、2日(木)	春学期入学式
	2日(木)、3日(金)	定期健康診断(聖和) ※詳細は、保健館 HP および学部掲示のポスターを確認すること。
	3日(金)、4日(土)、6日(月)	履修指導
	7日(火)	春学期・第1クォーター授業開始
	8日(水)~13日(月)	定期健康診断(神戸三田) 【対象者】8・9日:女性、10・13日:男性
	8日(水)~21日(火)	定期健康診断(上ヶ原) 【対象者】8~14日:女性、15~21日:男性※土日除く
	29日(水・祝)	授業実施日
5月	6日(水・休)	振替授業実施日(月曜日分)
	19日(火)、20日(水)	春季・大学合同チャペル【授業短縮】 第1時限終了 午前10時15分 第2時限開始 午前11時25分
	27日(水)	第1クォーター授業終了
	28日(木)	第2クォーター授業開始
	30日(土)	TOEIC® L&R IP 実施日 【対象者】以下の学部の1年次生 (神・文・社・法・経済・商・理工・人間福祉・教育・国際) および国際学部の3年次生
7月	15日(水)	春学期・第2クォーター授業終了
	16日(木)	春学期補講日
	17日(金)~31日(金)	春学期定期試験・中間試験(予備日含む)
	23日(木・祝)、24日(金・祝)	春学期定期試験・中間試験実施日
8月	5日(水)、6日(木)	春学期追試験
	7日(金)~9月19日(土)	夏季休業
9月	16日(水)	春学期卒業式
	17日(木)	秋学期入学式
	23日(水)	秋学期・第3クォーター授業開始
	28日(月・創立記念日)	授業実施日
10月	15日(木)、16日(金)	秋季・大学合同チャペル【授業短縮】 第1時限終了 午前10時15分 第2時限開始 午前11時25分
11月	3日(火・祝)	授業実施日
	10日(火)	第3クォーター授業終了
	11日(水)	第4クォーター授業開始
	23日(月・祝)	授業実施日

年・月	日・曜日	行 事
12月	5日(土)	TOEIC® L&R IP 実施日 【対象者】以下の学部の2年次生 (神・文・社・法・経済・商・理工・人間福祉・教育)
	7日(月)	大学合同アドベントチャペル【授業短縮】 第1時限終了 午前10時15分 第2時限開始 午前11時25分
	23日(水)	冬季休業前授業終了
	24日(木)～1月5日(火)	冬季休業
2021年 1月	6日(水)	冬季休業明け授業開始 振替授業実施日(月曜日分)
	12日(火)	秋学期・第4クォーター授業終了
	13日(水)	秋学期補講日
	14日(木)～28日(木)	秋学期定期試験(予備日含む)
2月	12日(金)、13日(土)、15日(月)	秋学期追試験(予備日含む)
	16日(火)～3月31日(水)	春季休業
3月	18日(木)	秋学期卒業式

※ TOEIC はエデュケーショナル・テスト・サービス (ETS) の登録商標です。
この印刷物は ETS の検討を受けまたその承認を得たものではありません。

2020年度授業日程

春 学 期		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
	2020年 4月	13, 20, 27	7, 14, 21, 28	8, 15, 22, 29 (昭和の日)	9, 16, 23, 30	10, 17, 24
	5月	6 (水: 振替授業 実施), 11, 18, 25	12, 19, 26	13, 20, 27	7, 14, 21, 28	1, 8, 15, 22, 29
	6月	1, 8, 15, 22, 29	2, 9, 16, 23, 30	3, 10, 17, 24	4, 11, 18, 25	5, 12, 19, 26
	7月	6, 13	7, 14	1, 8, 15	2, 9	3, 10

秋 学 期		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
	9月	28 (創立記念日)	29	23, 30	24	25
	10月	5, 12, 19, 26	6, 13, 20, 27	7, 14, 21, 28	1, 8, 15, 22, 29	2, 9, 16, 23, 30
	11月	2, 9, 16, 23 (勤労感謝の 日), 30	3 (文化の日), 10, 17, 24	4, 11, 18, 25	5, 12, 19, 26	6, 13, 20, 27
	12月	7, 14, 21	1, 8, 15, 22	2, 9, 16, 23	3, 10, 17	4, 11, 18
2021年 1月	6 (水: 振替授業 実施)	12		7	8	

2. 社会学部スケジュール（履修登録・定期レポート・卒業論文・成績発表関係）

【春学期】

■履修登録・成績発表関係

日 時	行事・手続き	場 所	備 考
3月23日(月) 8:50～4月24日(金) 16:50	履修関係書類配付	E号館地下1階(～3/31) 共同学習室(4/1～)	可能な限り3/31までに受け取ることに受け取ること。
3月24日(火) 8:50	クラス指定科目 クラス発表	教学 Web サービス(履修申請画面)	詳細は85～87頁参照
4月1日(水) 8:50～4月3日(金) 16:50	申込制科目 申込期間	教学 Web サービス	
4月4日(土) 15:00	申込制科目 履修者発表	教学 Web サービス	詳細は90～93頁参照 (※2)
4月6日(月) 8:50～11:30	申込制科目 追加申込期間	教学 Web サービス	
4月6日(月) 17:00	申込制科目 追加申込履修者発表	教学 Web サービス	
4月7日(火) 8:50～4月9日(木) 16:50	履修登録期間	教学 Web サービス	詳細は77頁～参照
4月14日(火) 8:50～4月15日(水) 16:50	履修登録確認・修正期間(※1)	教学 Web サービス	
4月21日(火) 8:50	履修登録(確定) 閲覧開始	教学 Web サービス	
5月25日(月) 8:50～5月29日(金) 16:50	履修中止申請期間	教学 Web サービス	詳細は120頁参照
8月12日(水)	成績発表	教学 Web サービス	123頁参照
9月4日(金)	2020年度春学期(9月)卒業確定者発表	教学 Web サービス/掲示	

(※1) MS生で、履修制限単位数を30単位まで希望する場合、あるいは十字科目の履修登録を希望する場合は、社会学部事務室にて「MS生用履修届」を受け取り、必要事項を記入の上、4月15日(水)16:50までに、社会学部事務室に提出すること。

(※2) 比較社会演習A・Bの申込方法については、92頁を参照のこと。

■定期レポート

提出期間	提出場所	備 考
2020年 7月10日(金) 8:50～7月15日(水) 16:50	E号館地下1階	詳細は125頁参照

■卒業論文

提出期間	提出場所	備 考
2020年 7月1日(水) 8:50～7月8日(水) 16:50	LUNA(※)	130頁参照

(※) [2020年度 春学期 社会学部 卒業論文提出の手引き] に従い、提出すること。

【秋 学 期】

■履修登録・成績発表関係

日 時	行事・手続き	場 所	備 考
9月7日(月) 9:00	クラス指定科目 クラス発表	教学 Web サービス (履修申請画面)	詳細は85～87頁参照
9月10日(木) 9:00～9月11日(金) 16:50	申込制科目 申込期間	教学 Web サービス	
9月15日(火) 8:50	申込制科目 履修者発表	教学 Web サービス	詳細は90～93頁参照 (※2)
9月16日(水) 8:50～11:30	申込制科目 追加申込期間	教学 Web サービス	
9月16日(水) 12:30	申込制科目 追加申込履修者発表	教学 Web サービス	詳細は77頁～参照
2020年			
9月23日(水) 8:50～9月25日(金) 16:50	履修登録期間	教学 Web サービス	
9月30日(水) 8:50～10月1日(木) 16:50	履修登録確認・修正期間 (※1)	教学 Web サービス	
10月6日(火) 8:50	履修登録(確定) 閲覧開始	教学 Web サービス	
11月16日(月) 8:50～11月20日(金) 16:50	履修中止申請期間	教学 Web サービス	詳細は120頁参照
2月18日(木)	成績発表	教学 Web サービス	123頁参照
3月4日(木)	2020年度秋学期(3月)卒業確定者発表	教学 Web サービス/掲示	

(※1) MS生で、履修制限単位数を30単位まで希望する場合、あるいは十字科目の履修登録を希望する場合は、社会学部事務室にて「MS生用履修届」を受け取り、必要事項を記入の上、10月1日(木)16:50までに、社会学部事務室に提出すること。

(※2) 海外社会調査A・Bの申込方法については、93頁を参照のこと。

■定期レポート

提出期間	提出場所	備 考
2021年 1月6日(水) 8:50～1月12日(火) 16:50	E号館地下1階	詳細は125頁参照

■卒業論文

提出期間	提出場所	備 考
2020年12月1日(火)8:50～2021年1月8日(金)16:50	LUNA (※)	131頁参照

(※)「2020年度 秋学期 社会学部 卒業論文提出の手引き」に従い、提出すること。

3. 全学科目・教職科目履修スケジュール

【春 学 期】

担当窓口	共通教育センター	スポーツ科学・健康科学教育プログラム室	ハンスオン・ラーニングセンター (HoLoC)	言語教育研究センター	国際教育・協力センター (CIEC)、日本語教育センター	教職教育研究センター		
3/21 (土)						●免許状取得のための他学部履修申込 ▼8:50~12:20		
3/23 (月)						●免許状取得のための他学部履修申込 ▼8:50~11:30 12:30~16:50		
3/24 (火)						●免許状取得のための他学部履修申込 ▼8:50~11:30 12:30~16:50		
3/25 (水)						●免許状取得のための他学部履修申込 ▼8:50~11:30 12:30~16:50		
3/26 (木)						●免許状取得のための他学部履修申込 ▼8:50~11:30 12:30~16:50		
3/27 (金)						●免許状取得のための他学部履修申込 ▼8:50~11:30 12:30~16:50		
4/1 (水)	●情報科学科目のうち、「文科系学生のための情報技術入門」、「情報技術概論」を除く全科目 ●「開学」学1 ●人権教育科目004・010・013 ●災害復興学入門 ●総合コース007 ●連携講座006・008・009・014 ●スタディスキルセミナー ▼Web 受付のみ 4/1(水)8:50~4/3(金)16:50	●西宮市大学共通単位講座《申込受付》 センター科目：1~4年生対象 ▼4/3(金)~4/8(水) 教務機構事務部 ※日程が変更になる場合は教学 Web サービスでお知らせします。 《履修者発表》 センター科目 ▼4/21(火)9:00 教学 Web サービスで発表 ●コンソーシアムひょうご神戸講座 集中講義科目のみのため、申込受付期間・履修者発表については教学 Web サービスでお知らせします。 ▼教務機構事務部 ●EUIJ プログラム《申込受付》 ▼4/1(水)~4/13(月) 教務機構事務部 ※日程が変更になる場合は教学 Web サービスでお知らせします。 受付時間 (全科目共通) (平日) 8:50~11:30 12:30~16:50 (土曜日) 8:50~12:20	《一般申込 受付》 対象者：全学部生 対象科目：スポーツ科学・健康科学科目 ▼Web 受付のみ 4/1(水)8:50~4/3(金)16:50	●ライフ・キャリア概論 ●ライフデザインと仕事A ●ライフ・キャリア入門演習 ●ライフ・キャリア実践演習 ●キャリアゼミA ●ハンスオン・プラクティス ●社会探究入門 ●社会探究リサーチ・ベシックA ●社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ ●PBL 特別演習007 【飯倉敏神 HD 科と挑む社会課題】 ●PBL 特別演習009 【三木市・旧市街地 FW】 ▼Web 受付のみ 4/1(水)8:50~4/3(金)16:50	●Skills-based English ●Special English Seminar ●Language and Communication ●Culture and Society ●Academic Writing and Presentation ●Project-based Seminar in English ●フランス語インテンシブ初級Ⅲ・中級 ※1 ●ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ・中級 ※1 ●基礎フランス語Ⅰ ●フランス語アラカルト (聞く・話す) A ●日本手話初級Ⅰ ▼Web 受付のみ 4/1(水)8:50~4/3(金)16:50	(英語スコアの事前登録が必要な科目) ●総合日本学習科目 (KGU Summer School 科目を含む) ●COC Introduction to Multicultural Studies ●English for Cross-Cultural Studies A ▼Web 受付と事務局にスコア提出 4/1(水)8:50~4/3(金)16:50 ※申し込み最終日までに英語スコア表を国際教育・協力センター (CIEC) 事務局へ提出してください。ただし、すでに CIEC あるいは言語教育研究センターでスコア登録を行っている場合は再度の提出は不要です。 (英語スコアの事前登録が不要な科目) ●Topics in Canadian Studies C ●国際情報分析 ●プロジェクトマネジメントⅠ ●グローバルゼミA、B ●グローバルスタディーズ入門 ▼Web 受付のみ 4/1(水)8:50~4/3(金)16:50 ※その他プログラムの申込方法については「国際教育協力プログラム募集要項」を参照のこと	●ビジネス日本語A ●ビジネス日本語B ●ビジネス日本語C ●日本語教育基礎 ●日本語教育基礎演習 ▼Web 受付のみ 4/1(水)8:50~4/3(金)16:50	●博物館実習オリエンテーション (3年生以上) ▼13:30~14:30 4月20日 ●教育実習2次登録 (4年生) ▼8:50~11:30 12:30~16:50
4/2 (木)						●教育実習2次登録 (4年生) ▼8:50~11:30 12:30~16:50		
4/3 (金)						●教育実習2次登録 (4年生) ▼8:50~11:30 12:30~16:50 ●博物館実習履修者発表 (4年生) 8:50 教職教育研究センター ●博物館実習履修申込 ▼8:50~11:30 12:30~16:50		
4/4 (土)						●3年生対象 教育実習オリエンテーションⅠ ▼13:30~15:00 B301 (予定) ●介護等体験事前指導 (3年生以上) ▼9:30~12:00 B301 (予定) ●博物館実習履修申込 ▼8:50~12:20		
4/6 (月)	《履修者発表》 8:50 Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示 (予定) ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たない科目・クラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 8:50~11:30 《追加申込 履修者発表》 17:00 Web でのみ発表	《一般申込 履修者発表》 8:50 Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示 (予定) ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 8:50~11:30 《追加申込 履修者発表》 17:00 Web でのみ発表	《履修者発表》 8:50 Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示 (予定) ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 8:50~11:30 《追加申込 履修者発表》 17:00 Web でのみ発表	《履修者発表》 8:50 Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示 (予定) ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 8:50~11:30 《追加申込 履修者発表》 17:00 Web でのみ発表	《履修者発表》 8:50 Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示 (予定) ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 8:50~11:30 《追加申込 履修者発表》 17:00 Web でのみ発表	《履修者発表》 8:50 Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示 (予定) ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 8:50~11:30 《追加申込 履修者発表》 17:00 Web でのみ発表	●教職課程-博物館学芸員課程・学校図書館司書教諭課程・国際バカロレア教員養成プログラム等説明会 (新入生対象) ▼①13:00~14:30 B101 (予定) ▼②16:45~18:15 B101 (予定)	
4/7 (火)						(免許状取得のための他学部履修許可発表) 各学部		
4月 から 随時			●ライフ・キャリア リーダーシップ実習 ●インターンシップ実習 ●海外インターンシップ ●ハンスオン・インターンシップ実習 ●キャリアゼミB ●平和学特別演習「ヒロシマ」 ●社会探究実習Ⅰ・Ⅱ ●PBL 特別演習002【JETRO × 産業研究所連携講座】 ●PBL 特別演習006【公認会計士と挑む企業のビジネス課題】 ●PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】 ・募集要項公開：4月より随時公開 ハンスオン・ラーニングセンター窓口および教学 Web サービスにて入手可 ・説明会：4月~随時実施 ・申し込み受付：詳細は「2020年度全学科目申込・履修についての諸注意」を参照のこと					

西宮市大学共通単位講座、EUIJ プログラム、コンソーシアムひょうご神戸講座は、Web での申込はできない。
西宮市大学共通単位講座のセンター科目は、西宮市大学交流センターで実施される科目をさす。
国連・外交関連プログラム室開講科目の申込スケジュールは教学 Web、各科目個別の募集要項等で案内。

【秋 学 期】

担当窓口	共通教育センター	スポーツ科学・健康科学教育プログラム室	ハンズオン・ラーニングセンター (HoLC)	言語教育研究センター	国際教育・協力センター (CIEC)、日本語教育センター	教職教育研究センター	
8/28 (金)						●免許取得のための他学部履修申込 ▼9:00~11:30 12:30~16:00	
8/31 (月)						●免許取得のための他学部履修申込 ▼9:00~11:30 12:30~16:00	
9/1 (火)						●免許取得のための他学部履修申込 ▼9:00~11:30 12:30~16:00	
9/2 (水)						●免許取得のための他学部履修申込 ▼9:00~11:30 12:30~16:00	
9/3 (木)						●免許取得のための他学部履修申込 ▼9:00~11:30 12:30~16:00	
9/7 (月)		●スポーツ科学・健康科学科目 (優先申込・受付) 対象：教育職員免許取得のために履修する必要のある3年生以上の未履修者 対象科目： 【体育方法学講義C】 【体育方法学演習C】のみ ▼Web 受付のみ 9/7(月)9:00~9/8(火)16:00				●教職実践演習申込 ▼Web 受付のみ 9/7(月)9:00~9/8(火)16:00	
9/8 (火)						●教職実践演習申込 ▼Web 受付のみ 16:00まで	
9/10 (木)	●情報科学科目のうち、「文科系学生のための情報技術入門」、「情報技術概論」を除く全科目 ●AI 活用人材育成科目の全科目 ●【関学】学2 ●人権教育科目005・009・016・017 ●災害復興学 ●総合コース214 ●スタディスキルセミナー ▼Web 受付のみ 9/10(木)9:00~9/11(金)16:50	《優先申込 履修者発表》 9:00 Web でのみ発表 《一般申込 受付》 対象者：全学部生 対象科目：スポーツ科学・健康科学科目 ▼Web 受付のみ 9/10(木)9:00~9/11(金)16:50	●ライフ・キャリア概論 ●ライフデザインと仕事A ●ライフデザインと仕事B ●ライフ・キャリア入門演習 ●ライフ・キャリア実践演習 ●ライフ・キャリア発展演習 ●ハンズオン・プラクティス ●社会探究リサーチ・ベリックB ●社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ ●PBL 特別演習004 【富士ゼロックス兵庫㈱「志プロジェクト」】 ●PBL 特別演習005 【アントレプレナー養成講座】 ●PBL 特別演習009 【三木市・旧市街地 FW】 ▼Web 受付のみ 9/10(木)9:00~9/11(金)16:50	●Skills-based English ●Language and Communication ●Culture and Society ●Academic Writing and Presentation ●Project-based Seminar in English ●フランス語インテンシブ初級Ⅲ・中級 ※1 ●ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ・中級 ※1 ●フランス語アラカルト (聞く・話す) A ▼Web 受付のみ 9/10(木)9:00~9/11(金)16:50 ※1 フランス語インテンシブ初級Ⅲ・中級/ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ・中級の先修条件特別措置希望者は言語教育研究センター事務局(教務機構事務局、上ヶ原キャンパス)にて申込 9/10(木)9:00~9/11(金)16:50	(英語スコアの事前登録が必要な科目) ●総合日本語科目 ●English for Cross-Cultural Studies B ●CCC Introduction to Multicultural Studies ●CCC Introduction to International Relations ▼Web 受付と事務局にスコア提出(スコア事前登録済みの場合はWebのみで可) 9/10(木)9:00~9/11(金)16:50 ※申し込み最終日までに英語スコア表を国際教育・協力センター (CIEC) 事務局へ提出してください。ただし、すでにCIECあるいは言語教育研究センターでスコア登録を行っている場合は再度の提出は不要です。 (英語スコアの事前登録が必要な科目) ●Topics in Canadian Studies A, B ●国際情報分析 ●プロジェクトマネジメントⅠ ●グローバルゼミA, B ●グローバルスタディーズ入門 ▼Web 受付のみ 9/10(木)9:00~9/11(金)16:50 ※その他プログラムの申込方法については「国際教育・協力プログラム募集要項」を参照のこと	●ビジネス日本語A ●ビジネス日本語C ●日本語教育基礎 ●日本語教育基礎演習 ▼Web 受付のみ 9/10(木)9:00~9/11(金)16:50 (教職実践演習履修者発表) 9:00 Web でのみ発表 ●教職実践演習 追加申込 ▼Web 受付のみ 9/10(木)9:00~9/11(金)16:50 ※追加募集は抽選後定員に満たない場合にのみ行います。	
9/11 (金)						●教職実践演習 追加申込 ▼Web 受付のみ 16:50まで	
9/16 (水)	《履修者発表》 8:50 Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、 教学 Web サービス「お知らせ」に発表 (予定) ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たない科目・クラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 8:50~11:30	●西宮市大学共通単位講座 (申込受付) センター科目：1~4年生対象 ▼9/16(水)~9/23(水) 教務機構事務局 ※日程が変更になる場合は教学 Web サービスでお知らせします。 《履修者発表》 センター科目 ▼10/6(火)9:00 教学 Web サービスで発表 ▼9/17(木)~9/29(火) 教務機構事務局 ※日程が変更になる場合は教学 Web サービスでお知らせします。 受付時間 (全科目共通) (平日) 8:50~11:30 12:30~16:50 (土曜日) 8:50~12:20	《一般申込 履修者発表》 8:50 Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、 教学 Web サービス「お知らせ」に表示 (予定) ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 8:50~11:30	《履修者発表》 8:50 Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、 教学 Web サービス「お知らせ」に表示 (予定) ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 8:50~11:30	《履修者発表》 8:50 Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、 教学 Web サービス「お知らせ」に表示 (予定) ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 8:50~11:30	《履修者発表》 8:50 Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、 教学 Web サービス「お知らせ」に表示 (予定) ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 8:50~11:30	《追加申込 教職実践演習履修者発表》 8:50 Web でのみ発表
9/17 (木)	《追加申込 履修者発表》 8:50 Web でのみ発表	●EUIJ プログラム (申込受付) ▼9/17(木)~9/29(火) 教務機構事務局 ※日程が変更になる場合は教学 Web サービスでお知らせします。	《追加申込 履修者発表》 8:50 Web でのみ発表	《追加申込 履修者発表》 8:50 Web でのみ発表	《追加申込 履修者発表》 8:50 Web でのみ発表	《追加申込 履修者発表》 8:50 Web でのみ発表	
9/19 (土)						●3年生対象 教育実習 オリエンテーションⅡ ▼10:00~12:00 5月1 (予定) ●教職課程・博物館学芸員課程：学校図書館司書教諭課程、国際バカロリア教員養成プログラム等説明会 ▼10:00~11:30 (予定) (教室未定) ●介護等体験事前指導 (後期・3年生以上) ▼13:30~16:00 (予定) (教室未定)	
9/23 (水)	9月 から 随時			●インターンシップ実習 ●海外インターンシップ ●ハンズオン・インターンシップ実習 ●社会探究実習Ⅰ・Ⅱ ●キャリアゼミC ●職が関セミナー ・募集要項公開：9月より随時公開 ハンズオン・ラーニングセンター窓口および教学 Web サービスにて入手可 ・説明会：9月~随時実施 ・申し込み受付：詳細は「2020年度全学科目申込・履修」についての諸注意」を参照のこと		《免許取得のための他学部履修許可発表》 各学部	

西宮市大学共通単位講座、EUIJ プログラムは、Web での申込はできない。
西宮市大学共通単位講座のセンター科目は、西宮市大学交流センターで実施される科目をさす。
国連・外交関連プログラム室開講科目の申込スケジュールは教学 Web、各科目個別の募集要項等で案内。

4. オフィス・アワー

- (1) 時限は授業時間帯と同じ。
- (2) ーは留学または特別研究期間等のため、オフィス・アワーを持たないことを表す。
- (3) (春のみ)(秋のみ)は、留学、特別研究期間または自由研究期間のため、春学期か秋学期のいずれかにオフィス・アワーを持つことを表す。
- (4) ※は役職についている専任教員を表す。オフィス・アワーは予約制となるため、面会を希望する場合は、社会学部事務室に前もって問い合わせること。
- (5) 面談場所は原則として個人研究室。

2020.4 現在

氏名(職名省略)	曜日・時限	個人研究室	氏名(職名省略)	曜日・時限	個人研究室
赤江 達也	木 4	102	立石 裕二	月 4	320
阿部 潔	火 1	第2 116	田中 耕一	金 5	N356
石田 淳	金 1	103	陳 立行	火 5	413
稲増 一憲	月 4	226	寺沢 拓敬	木 4	223
今井 信雄	水 3	308	鳥羽 美鈴	金 2	213
岩淵 功一	水 3	N358	中野 康人	※	101
内田 充美	火 4	412	長松 奈美江	火 2	429
打樋 啓史	月 3	428	難波 功士	—	N451
大岡 栄美	—	317	西村 正男	木 4	426
大谷 信介	金 5	N351	野瀬 正治	月 3	第2 115
荻野 昌弘	水 1	417	野波 寛	月 3	305
奥村 隆	火 5	N453	ハード ガブリエレ	—	225
金菱 清	火 3	N456	福地 直子	(春)火1(秋)月3	414
カバリ ヴィヴィアン	金 5	418	ベネディクト T.	水 3	214
貴戸 理恵	金 3	211	松宮 園子	水 2	N353
金 明秀	—	306	松村 淳	木 3	N152
金 太宇	火 3	N255	三浦 耕吉郎	—	N258
久保田 稔	※	301	宮原 浩二郎	水 3	N154
倉島 哲	水 3	224	村田 泰子	—	216
桑山 敬己	金 5	109	森 久美子	—	425
佐藤 哲彦	火 5	307	森 康俊	※	318
島村 恭則	金 3	304	横田 伸子	水 3	415
清水 裕士	木 2	319	吉田 寿夫	月 4	302
鈴木 謙介	木 3	303	李 建志	木 2	MR305
鈴木 慎一郎	火 4	427	リーダーバッハ H.	木 5	N253
関 嘉寛	※	222	渡邊 勉	火 5	212
高原 基彰	水 3	416			

〈個人研究室の記載について〉

記号なし…第1教授研究館(本館)

N…第1教授研究館(新館)

第2…第2教授研究館(池内記念会館)

MR…メディア・研究棟

Ⅱ. 全学共通編

1. 履修・学習要覧 Web サイト

本学では、大学での学びに関する基本的な事項をまとめた「履修・学習要覧 Web サイト」(https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000660.html) を提供している。このサイトの主な掲載事項は次のとおりである。科目を履修するにあたって最低限の情報が掲載されているので、必ず目を通しておくこと。

■大学、学部の理念・目的・教育目標

■Kwansei コンピテンシーおよび各学部のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

■関西学院大学学則 等 諸規程

学則とは大学の構成、カリキュラム、卒業、休学、編入学、学生心得など関西学院大学での学生生活の大もととなる規則である。本学の学生は必ず目を通しておくこと。

また、その他の諸規程（学費、成績評価・試験、警報発令時の授業等の取扱、奨学金、諸施設利用、留学に関する規程等）も本サイトに掲載している。

なお、各学部等事務室のカウンターにも閲覧用資料を設置しているので参照すること。

■シラバス（授業実施要綱）

今年度開講されている科目の概要や各回の授業内容などを確認することができる。

■教員等紹介

教員等の教育研究内容等を閲覧することができる。なお、教員の顔写真を閲覧するには、教学 Web サービスから「教員等紹介」にアクセスすること。

■全学科目、教職等資格関連科目の説明

全学科目とは、学部以外のセンター等が提供している科目で、基本的に全ての学部の学生が履修することができる。学部を超えて、他の学部の学生と一緒に学ぶことができるなど、学部提供の科目とは異なった魅力がある。

■オフィス・アワー

大学の出会いのなかで最も大きなものの一つが、教員との出会いである。ゼミナールや講義の担当者である教員とは日常の大学生活のなかでコミュニケーションをとることはできるが、講義での疑問点や関心のある問題への取り組み方などの勉学に関すること、そのほか学生生活に関することなど相談事があれば、積極的に本学の専任教員と直接話し合い、指導を受けることによって、より深いコミュニケーションをとることができる。専任教員への積極的なアプローチの場として設けられているのが、オフィス・アワーである。専任教員は、オフィス・アワーとして設けられた時間帯に、特別の所用がない限り個人研究室など所定の場所にいる。各教員のオフィス・アワー時間帯を本サイトに掲載している。（教員所属の学部等掲示板にも掲出している。）

なお、役職についている専任教員のオフィス・アワーは予約制となるので、役職者に面会を希望する場合には、関係事務室に前もって問い合わせること。

履修・学習に関する Web サイト

履修・学習に関する Web サイトには主に次の4つがあります。

履修・学習要覧 Web サイト https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000660.html

【学部】2020年度 履修・学習要覧 Web サイト

このサイトは、関西学院大学の学部在生に対して、履修・学習に関する基本的な事項を掲載しています。
 ■大学院生用■は下記リンクをご覧ください。

【大学院】履修・学習要覧Webサイト
 専攻ページへのリンク

大学院生用はここをクリック

もくじ (学部生用)

- 1. 大学、学部の理念・目的・教育目標
- 2. 『Kwanseiコンピテンシー』およびD P (学位授与の方針)・C P (教育課程編成・実施の方針)
- 3. 関西学院大学 学期
- 4. 授業スケジュール・行事予定カレンダー
- 5. 履修科目の履修にあたって
- 6. 成績評価・試験規程
- 7. 大学学部の授業・試験実施に関する警報発令及び交通機関の運行停止等の場合の取扱書
- 8. 全学科目の紹介
- 9. 各学部内規
- 10. シラバス (授業実施要綱)
- 11. 教員等紹介
- 12. オフィス・アワーについて
- 13. 学費について
- 14. 選規程

授業スケジュール・行事予定カレンダー

シラバス

警報発令時の休講等の取り扱い

■主な掲載内容

大学学則
 授業スケジュール
 シラバス (授業実施要綱)
 暴風警報発令時の授業等取扱
 全学科目の紹介 / 各学部内規
 講義担当教員 / オフィスアワー
 諸規程 (成績評価・試験、学費、
 学位、留学、奨学金、各種施設使用
 など)

教学 Web サービス <https://webinfo.kwansei.ac.jp/> (https→s が必要)

授業・定期試験に関する緊急情報がある場合はこちら(大学ホームページ)/in the event of emergency situations, please consult the below page for details regarding class/exam schedule (XGU HOME PAGE)

警報発令、交通機関の運行停止等が発生した場合の対応について (大学 HP ヘリリンク)

事務室からの呼び出しがないか定期的にチェックしてください。

授業スケジュール確認

操作方法は「マニュアル」参照

履修登録
 申込制科目申込

休講・補講
 情報確認

■主な機能

履修登録/申込制科目申込
 成績照会/履修中止
 時間割照会
 休講・補講・教室変更 情報確認
 お知らせ閲覧
 個人呼び出し確認
 ダブルチャレンジ申請
 学生情報登録申請 など

■メールでの確認

休講、補講、教室・時間割変更等のお知らせは、開学メール (@kwansei.ac.jp) にも送信されます。各自のパソコンまたはモバイル端末のメールアプリにより開学メールを利用することができますので必要に応じて各自で設定を行ってください。ただし、メールで受信できるのは本文のみです。添付ファイルは教学 Web サービスにアクセスして確認してください。

<教学 Web サービスの接続時間について>

教学 Web サービスの各機能の接続時間は以下の通りです。何も操作をしなれば、最後の操作から以下の時間を過ぎると自動的にログアウトされます。

・「お知らせ」10分・「教務」60分(*)・「キャリア」60分(*)

*学部の抽選科目申込期間から履修正期間までと、成績発表日は、接続時間が「10分」になります。

■アクセスが非常に集中した場合には、一時的にサービスを停止することがあります。アクセス集中が緩和された次第、サービスを再開します。

■教学 Web サービスの操作を終える際には、ブラウザの「×」ボタンではなく、教学 Web サービスの「閉じる」ボタンを押して画面を閉じるようにしてください。

■本運用は学部生だけでなく、大学院生にも適用されます。

情報システム Web サービス <https://webmail.kwansei.ac.jp/> (https→s が必要)



■主な機能

- メール利用
(@kwansei.ac.jpのアドレス)
- パスワード変更
- 印刷・ポイント確認
- パブリックフォルダ閲覧
- ファイルサーバへのアクセスなど

＜メールアプリからのメール利用について＞
 ・各自のパソコンまたはモバイル端末から、メールアプリにより関学メールを利用することができます。
 利用にあたっては、情報環境機構 Web サイトの「ユーザーズガイド」を参照してください。
<https://it.kwansei.ac.jp/guide/> (→メールアプリの設定)

LUNA (教授者-学習者支援システム) <https://luna.kwansei.ac.jp/> (https→s が必要)

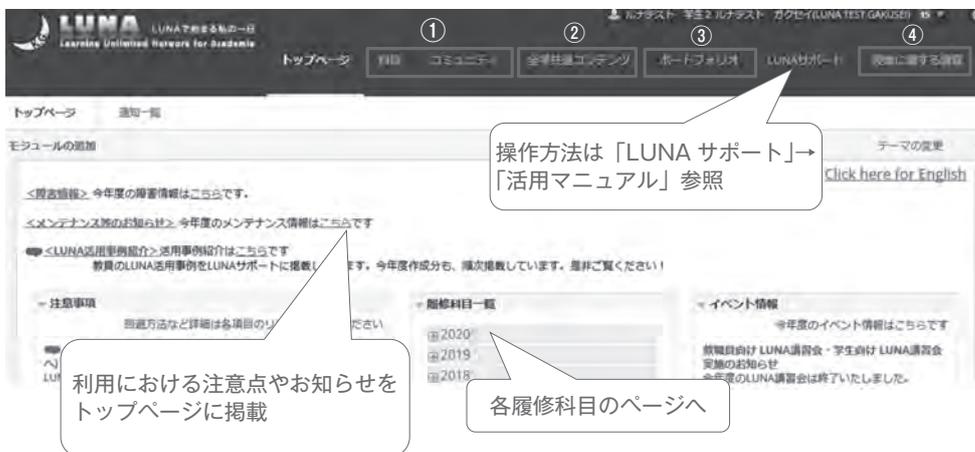
LUNA では、科目やコミュニティを利用する学習支援システム、全学共通コンテンツ、ポートフォリオシステムを利用することができます。インターネットにつながった環境があれば、いつでもどこでも利用できます。

■アクセス方法

上記アドレスからログイン、もしくは情報システム Web サービスからアクセスしてください。
 また、ポートフォリオ機能を利用する場合は、スマートフォン専用アプリをダウンロードすると、プッシュ通知等の機能を拡充できます (アプリの利用料は無料ですが、ダウンロードや利用時にかかる通信料は利用者負担になります)。



※[Android] [Google Play] は、Google Inc. の商標または登録商標です
 ※[Apple] は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です
 ※[App Store] は Apple Inc. のサービスマークです
 ※[iOS] は、米国 Cisco のライセンスに基づき使用されています。



●主な機能

①科目やコミュニティを利用する (PCのみ)

- ・教員からのお知らせを確認する
- ・教材をダウンロードする
- ・課題レポートを提出する
- ・テストに解答する
- ・課題レポートおよびテストの点数や提出状況を確認する
- ・掲示板で教員や履修者とコミュニケーションをとる

②全学共通コンテンツを利用する (PCのみ)

- ・情報倫理 自習教材
- ・留学定例報告書・協定校
- ・FactSheet閲覧サイト
- ・社会学部キーワード集
- ・『いつでも中国語』付属 CD

③ポートフォリオを利用する (PC, モバイル)

- ・アンケートに回答する
- ・自分のことを知る
- ・目標をたてる
- ・学生生活を記録し振り返る
- ・蓄積された情報をダウンロードする

④学修行動と授業に関する調査に回答する (PCのみ)

本調査は学生のみなさんの学修行動・成果の振り返り、授業の改善、教育内容・環境の整備を目的として実施し、学期ごとに、実施期間が設けられます。学生のみなさんの学修行動の振り返りのための記録になるものですので、責任ある真摯な態度で調査に協力してください。

※利用する機能によっては、モバイル端末（スマートフォン、タブレット等）では正しく動作しません。

■K.G. ポートフォリオについて

本学のポートフォリオでは、パソコンやスマートフォンを利用し、GPA 等のスコア伸長、自身の強みチェック、目標設定とその振り返り、学修行動や成果の確認など直感的に把握ができます。さらに、各部署や授業担当者が上記の活動の記録の一部をみなさんのポートフォリオに登録するなど、バックアップやサポート体制があるのでいつでも気軽に始められます。

日々の活動をより実りあるものにし、将来の就職活動や大学院進学など、自分のこれからのキャリアを考える時に、強力にサポートしてくれる頼もしいツールです。皆さんのよりよい未来のために、是非、ポートフォリオを役立ててください。

●トップページ

ポートフォリオにログインすると、PC やスマートフォンなどの機器によって適切な表示に自動的に切り替わります。以下は PC での画面になります。スマートフォンの場合は左右別の画面構成となり、トップページが表示されます。



▲
掲載している機能やデータ連携は2020年4月現在のものです。今後の利用状況を勘案し、機能やデータ連携を予告なく追加・停止する可能性があります。

学修状況機能のスコアタブにあるGPAや履修・修得単位数については、連携が反映されない時期があります。そのため、正式なGPAや単位数は教学Webサービスから確認してください。

進級や卒業に必要な単位数や科目等については、「履修心得」や「成績通知書」等を参考に各自で確認してください。

●ポートフォリオの記入内容について

ポートフォリオには、GPA のスコアなど、大学がポートフォリオにデータ提供している情報と、キャリアシート、目標など、学生のみなさんが新しく入力する情報の2種類があります。

どちらの情報も個人の情報が他の学生に開示されることはありません。ポートフォリオの情報は大学と共有され、みなさんの取り組みを支援するため、権限が与えられた教職員が厳格な管理の下、メニューの各機能の情報を参照することがあります。

海外渡航する場合には大学に届け出が必要です

世界各地で発生するテロや自然災害等様々な問題への対応のために、関西学院大学では次の2点について把握することとし、有事発生時の対応に備えています。

- ① 大学主催以外のプログラム等で海外へ渡航する学生のみさんの渡航状況（大学主催プログラムは国際連携機構、プログラム実施学部等で把握）
- ② 大学主催プログラムの留学等での休暇中の学生のみさんの旅行状況

上記に該当する場合、ポートフォリオで海外渡航情報の登録をお願いします。（ポートフォリオアプリのダウンロードは本冊子16頁の「履修・学習に関する Web サイトには主に次の4つがあります」から確認ください。）

なお、本件は文部科学省「大学における海外留学に関する危機管理ガイドライン」に基づく対応であり、登録された個人情報は本目的の範囲外で利用することはありません。

〈ポートフォリオからの入力方法〉



2. ダブルチャレンジ制度



平成26年度文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」採択事業 関西学院大学「グローバル・アカデミック・ポート」構想

創立以来、「世界市民」の育成をめざして国際教育を積極的に推進してきた関西学院大学。
その豊富な実績と構想が認められ、平成26年度文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択されました。
これを機に、多様性を学ぶ「国際性豊かな学術交流の港」を構築し「ダブルチャレンジ制度」を創設するなど、
国や地域の垣根にとられず世界を駆け巡り、競い合い、支え合って協働できる「世界市民」を育てます。

Global
Academic
Port

挑め、新たな世界に！ 🔑 全学生が挑む「ダブルチャレンジ」

全学生が所属学部の主専攻の学び（ホームチャレンジ）に加え、
異なるものとの出会いの場「アウェイチャレンジ」に取り組み、
グローバル人材に強く求められる「主体性」「タフネス」「多様性への理解」を深めます。
アウェイチャレンジは以下の3つのプログラムから構成されています。
是非、在学中の4年間を通じて多様な『チャレンジ』に取り組み、自らの可能性を拓いてください。

アウェイチャレンジ

インターナショナルプログラム

「国を越え、世界を知る」

海外の大学・フィールドでの挑戦や海外からの学生との共修を通して、
グローバルな視野を身につけます。

例：交換留学、中期留学、外国語研修、インドネシア交流セミナー、
国連セミナー、海外インターンシップ、海外フィールドワーク など



ホームチャレンジ



(各学部・専攻での学び)

アウェイチャレンジ

副専攻プログラム

「学部を出て、 他分野を学ぶ」



主専攻とは異なる学問分野を体系的に学び、
複眼的な視野を身につけます。

例：複数分野専攻制プログラム、
複数分野専攻制特別プログラム<CCS>
<国連・外交プログラム>

アウェイチャレンジ

ハンズオン・ラーニング・ プログラム（実践型学習）

「キャンパスを出て、 社会に学ぶ」



地域や企業、行政と連携した実践的なプロ
グラムで思考力・行動力・学習姿勢を身につ
けます。

例：ハンズオン・インターンシップ実習、
キャリアゼミ、社会探究実習、
PBL特別演習 など

詳しくは『「ダブルチャレンジ」プログラムガイド2020』で
確認してください。

新入生(1年生)には入学式で、2年生以上の学生には教務
機構事務部や各学部・センター事務室で配布しています。



関西学院大学

■お問い合わせ先■
教務機構事務部（「ダブルチャレンジ」プログラム総合窓口）
Phone：0798-54-7479

「ダブルチャレンジ制度」登録システムについて

【2018年度以降入学生対象・新入生（1年生）は秋学期から登録開始】

「ダブルチャレンジ制度」は、変化の激しいグローバル社会を生き抜くために欠かせない「主体性」「タフネス」「多様性への理解」「チャレンジ精神」等を育むための本学オリジナル制度で、本制度を利用した多様なチャレンジを強く推奨しています。

2018年度入学生より、各学期の履修登録に先立って、今後の大学生活で挑戦する（予定の）取組（プログラム・科目）を申請する必要があります。新入生（1年生）は秋学期から登録開始となります。

（ダブルチャレンジ申請が完了しないと履修登録ができません！）

【申請にあたっての注意事項】

- 当該学期に申請可能なプログラム・科目は1件のみです。最も挑戦したいプログラム・科目を1つ選択して申請してください。
- この申請を行ったことで当該プログラム・科目の履修登録が終了する訳ではありません。この申請と履修登録は全く別のものです。
実際の科目の履修登録は、定められた期間に適宜申込・登録手続きを行ってください。
- 一旦登録後、申請内容に変更がある場合は随時変更が可能です。また変更の有無にかかわらず毎学期申請内容を確認する必要があります。
- 申請可能な科目は本冊子22頁、「ダブルチャレンジ対象科目一覧」で確認してください。
インターナショナルプログラムのうち、国際教育・協力センター（CIEC）が提供するプログラムは「国際教育・協力プログラム募集要項 2020」を参照してください。

■申請画面入口（教学 Web サービス画面）

「履修登録」をクリックすると、申請画面に遷移します。

The screenshot shows the 'Teaching Web Service' interface of Kansai Gakuin University. The main navigation menu includes '履修登録' (Class Registration) and 'ダブルチャレンジ申請' (Double Challenge Application). A callout box labeled '1' points to the '履修登録' link, stating: '①最初の申請はこちらから履修登録を行うには住所情報の確認とダブルチャレンジへの登録手続きが必要です' (For the first application, you need to confirm your address information and complete the registration process for Double Challenge). Another callout box labeled '2' points to the 'ダブルチャレンジ申請' link, stating: '②一旦申請した後申請変更をする場合はこちらから' (After you have applied once, if you want to change your application, please use this link).

■初回のダブルチャレンジ申請画面

初めて申請する場合「履修登録・確認 学生情報登録申請（学生情報登録申請）」の画面より申請してください。

①プログラムの選択（プルダウンメニューより選択）

②科目の選択（プルダウンメニューより選択）

※自身が申請可能な科目は本冊子22頁、「ダブルチャレンジ対象科目一覧」で確認してください。

③申請内容に誤りが無いことを確認し、右下の「申請」ボタンを押下する。

登録完了画面で登録が完了したことを確認する。

■2回目以降の申請・確認方法（毎学期確認が必要です）

①以下の画面で登録内容を確認する。

②登録内容に変更がない場合は「確認」ボタンを押下、

登録内容を変更する場合は、修正の上、「申請」ボタンを押下する。

3. 関西学院大学の理念・目的

関西学院大学はその理念とするキリスト教主義に基づき、教育基本法および学校教育法の規定するところに従い、広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、人格を陶冶することを目的とする。

本学初代学長（第4代院長）C. J. L. ベーツが提唱したスクールモットー“Mastery for Service（奉仕のための練達）”は、関西学院の建学の精神を簡潔に表現するものであり、「社会貢献のためにこそ実力を身につけよ」と解されている。本学は、知性を、そして自らが持つすべての豊かさを、隣人のために用いることを強調するとともに、創立当初から培われてきた国際性と社会貢献への使命感を身につけた世界市民の育成を重視する。

本学は、教育においては、全人的教養および専門的知識・技能を修得させるとともに、広く創造力、課題発見能力、課題解決能力そして実行力を培うことをめざす。また、研究においては、本学として特色ある基礎研究を強化しつつ、応用研究および先端的研究を発展充実させるとともに、研究成果を社会に還元して、社会貢献することをめざす。

4. Kwansei コンピテンシー

関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育によって「“Mastery for Service”を体現する世界市民」を育成することを使命としています。その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部の特徴なく共通に身に付けるべき知識・能力・資質を「Kwansei コンピテンシー」と定め、これを大学の教育に通底するものとして位置づけます。

「Kwansei コンピテンシー」は、各学部の教育課程やそれを補完する全学科目等の「正課教育」だけでなく、クラブでのスポーツ・文化・芸術活動、ボランティア活動、寮生活等の「正課外教育」、さらには友人関係、教員・職員との交流、キャンパスの豊かな自然も含めた大学の多様な「環境」によっても育まれます。

（知識）

- 幅広い知識・深い専門性
- 多様性への理解

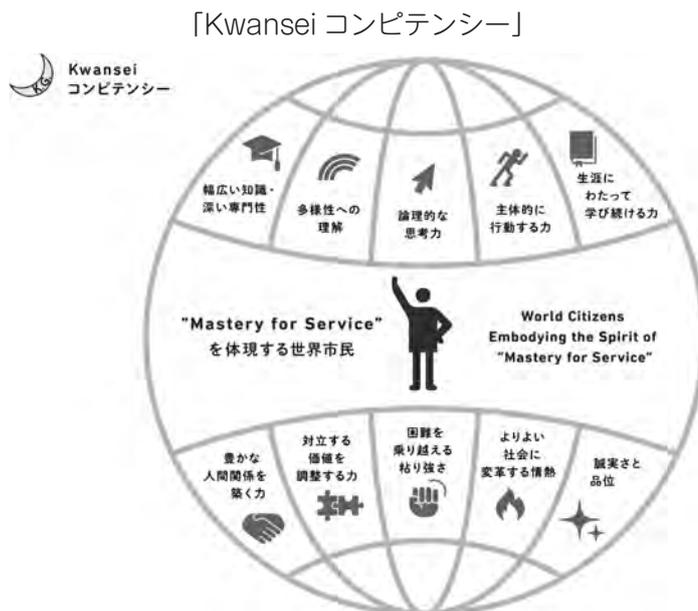
（資質）

- 困難を乗り越える粘り強さ
- よりよい社会に変革する情熱
- 誠実さと品位

（能力）

- 論理的な思考力
- 主体的に行動する力
- 生涯にわたって学び続ける力
- 豊かな人間関係を築く力
- 対立する価値を調整する力

関西学院は、幼稚園から大学・大学院までの教育を通じて、この学院に学ぶすべての者がこれらのコンピテンシーを段階的に身に付け、高めていくことをめざします。



5. 授業科目の履修にあたって

本学のカリキュラム（教育課程）は、「大学学則」および「学部内規」に基づいて体系的につくられている。本学を卒業するためには、このカリキュラムに沿って単位を修得しなければならない。履修にあたっての詳細な説明および手続については、本冊子を熟読すること。

5.1 単位

大学では単位制がとられている。各授業科目は学則で単位数が定められており、一つの授業科目を所定の期間履修し、最終評価において合格することにより単位が与えられる。

文部科学省令である「大学設置基準」の第21条および本学の学則第18条では、「1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準」と定めている。また学則第18条において、講義科目及び演習科目については15時間の授業をもって1単位とし、言語教育科目、実験科目、実習科目及び実技科目については、30時間の授業をもって1単位とすると定めている。つまり、講義科目及び演習科目については30時間、言語教育科目、実験科目、実習科目及び実技科目については15時間の授業外学習が必要である。

なお、卒業に必要な単位数は学部により異なるので本冊子を参照すること。

5.2 履修基準年度

各授業科目には、単位とともに履修基準年度が定められている。履修基準年度とはその授業科目を履修できる最低学年度を表すものである。

履修基準年度 1年……第1・2・3・4学年度生が履修できる。

履修基準年度 2年……第2・3・4学年度生が履修できる。

履修基準年度 3年……第3・4学年度生が履修できる。

履修基準年度 4年……第4学年度生が履修できる。

5.3 授業時間

毎週1回あたりの授業時間は90分であるが、制度上これを“2時間”としている。

5.4 授業時間帯等

(1) 本学における授業・試験等の時間帯は次のとおりである。

(i)通常授業、定期試験・中間試験、補講・集中講義^(*)時間帯

第1時限	9:00～10:30
チャペルアワー	10:35～11:05
第2時限	11:10～12:40
昼食時休憩	12:40～13:30
第3時限	13:30～15:00
第4時限	15:10～16:40
第5時限	16:50～18:20

※ただし夏季・冬季・春季休業期間中の集中講義の時間帯は表(iii)による。

(ii)追試験時間帯

第1時限	9:00~10:00
第2時限	10:20~11:20
第3時限	12:10~13:10
第4時限	13:30~14:30
第5時限	14:50~15:50

(iii)夏季・冬季・春季休業期間中の集中講義の時間帯

第1時限	9:10~10:40
第2時限	10:50~12:20
第3時限	13:10~14:40
第4時限	14:50~16:20
第5時限	16:30~18:00

※集中講義の時間帯は科目により異なることがある。異なる場合はシラバスや履修の手引き等に明記されるので確認すること。

(2) キャンパス間の移動を伴う履修

キャンパス	取り扱い
西宮上ヶ原・西宮聖和 ⇔ 神戸三田	連続した授業の履修は不可
西宮上ヶ原 ⇔ 西宮聖和	連続した授業の履修は不可 ただし、チャペルアワーを挟んだ1時限目と2時限目および昼休みを挟んだ2時限目と3時限目の連続履修については可能とする。

(3) 暴風警報・特別警報発令、交通機関運行遅延など不測の場合の措置については、大学学部の授業・試験実施に関する警報発令及び交通機関の運行停止等の場合の取扱要領（抜粋）を参照すること。

大学学部の授業・試験実施に関する警報発令及び 交通機関の運行停止等の場合の取扱要領（抜粋）

この取扱要領は、警報発令及び交通機関の運行停止等の場合の、学部における授業・試験実施について定めるものである。

- 1 別表のいずれかの地域・市町村に暴風警報、特別警報（大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪）が発令されている間は授業・試験を行わない。なお、取り扱いの詳細は第2項以下に定める。また、中止となった定期試験・中間試験については原則として試験予備日に振り替えて実施する。
- 2 暴風警報、特別警報が発令された場合の授業・試験実施については次のとおりとする。

授業・試験実施キャンパス（西宮上ヶ原・西宮聖和）

6：00までに別表の地域全ての暴風警報、特別警報が解除されたとき	平常通り授業・試験を行う。
8：00までに解除されたとき	第2時限から授業・試験を行う。
10：30までに解除されたとき	第3時限から授業・試験を行う。
12：00までに解除されたとき	第4時限から授業・試験を行う。
12：00を過ぎても解除されないとき	全日休講・全日試験中止とする。

授業・試験実施キャンパス（神戸三田）

6：00の時点で解除されないとき	全日休講・全日試験中止とする。
------------------	-----------------

- 3 翌日の6：00以降の暴風警報、特別警報の発令が見込まれる場合は、学長の判断により、第2項に準じて休講・試験中止とする時限を決定することがある。
- 4 特別警報に位置付ける警報（津波、火山、地震（地震動））が発令された場合は学長の判断による。
- 5 交通機関の運行遅延・停止が発生した場合あるいは運行停止が予告された場合は、対象路線・運行開始予定時刻等を考慮のうえ、措置するキャンパスを含めた対応を学長の判断により決定する。
- 6 本取扱要領に定めのない事態については、学長の判断による。
- 7 この取扱要領の改廃は、大学評議会において決定する。

（略）

別 表

	地 域	市町村
兵庫県	阪 神	神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町
	北播丹波	西脇市、篠山市、丹波市、多可町
	播磨南東部	明石市、加古川市、三木市、高砂市、小野市、加西市、加東市、稲美町、播磨町
大阪府	大阪市	大阪市
	北大阪	豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町
	東部大阪	守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四條畷市、交野市
	南河内	富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村
	泉 州	堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、高石市、泉南市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町

5.5 成績評価・試験

履修した授業科目は、その学修の成果について試験（定期試験、中間試験および追試験）や平常評価（レポート、勉学態度等）など授業担当者の教育方針および評価方針に基づいて、成績評価が行われる（シラバス参照）。成績評価・試験については、成績評価・試験規程（抜粋）〈後掲〉を参照すること。

なお、定期試験はすべて、授業を開講しているキャンパスにて受験すること。

5.6 GPA 制度

(1) 制度と設定基準

本学では Grade Point Average（以下、GPA という）制度を実施している。本制度は、各自が履修した科目の成績評価に対して、一定の Grade Point（以下、GP という）を与え、その合計の加重平均を GPA として提示する成績評価方法である。この制度を通じて、学生自身が自分にとって必要とする科目が何かを考えること、自己の履修を管理し、学習成果がどのレベルに位置するかを把握し、さらなる勉学意欲を高めるための指標とすることが重要である。GPA は、各自の成績表・成績証明書に掲載する。本学での GP の設定基準と、GPA 算出式は以下のとおりである。

なお、2019年度より制度内容を変更したため、2018年度以前入学生と2019年度以降入学生で異なる運用となるので注意すること。

【GP の設定基準】

・2018年度以前入学生

100～90点又はS評価の場合の GP は 4
89～80点又はA評価の場合の GP は 3
79～70点又はB評価の場合の GP は 2
69～60点又はC評価の場合の GP は 1
59～ 0点又はF評価の場合の GP は 0

・2019年度以降入学生

100～90点又はS 評価の場合の GP は 4.0
89～85点又はA +評価の場合の GP は 3.5
84～80点又はA 評価の場合の GP は 3.0
79～75点又はB +評価の場合の GP は 2.5
74～70点又はB 評価の場合の GP は 2.0
69～65点又はC +評価の場合の GP は 1.5
64～60点又はC 評価の場合の GP は 1.0
59～ 0点又はF 評価の場合の GP は 0

【GPA 算出式】

$$\text{GPA} = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目の評価の GP})] \text{の総和}}{(\text{履修登録した単位数}) \text{の総和}}$$

なお、GPA の算定対象には、卒業に必要な単位であるかどうかなどにかかわらず本学で開設している全ての科目が含まれる。ただし、認定する科目については、GP を与えず、GPA の算定対象科目としない場合もある。

(2) 履修の中止

本制度の主旨に則り、授業開始約 2 カ月後の時点において、各学部等が定めた科目において、所定の手続き（教学 Web サービスで申請）をすることにより履修の中止をすることができる制度も併せて設けている。

(3) 成績優秀者の顕彰

成績優秀者は、学期毎に掲示により顕彰している（顕彰する基準等については各学部にて異なる）。また、学期ごとの顕彰とあわせて、GPA 上位 5% の者に対し、第 2・3・4 学年度末に顕彰している。第 2・3 学年度末には 1 年間、第 4 学年度末には 4 年間の GPA について顕彰している。特に、4 年間の GPA 上位 5% の卒業生には、卒業式に学長名の GPA 表彰状を授与する。その他、学部によっては、成績優秀者に対して履修単位数制限の緩和措置を行っている場合があるので、履修単位数制限、履修登録のページなどで確認すること。

5.7 授業科目の内容

各科目の授業目的、到達目標、授業計画、授業時間外学習、成績評価（種別・割合・評価基準等）などは、シラバスで公開されている。授業科目の履修にあたり十分に活用すること。シラバスは、教学 Web サービス (<https://webinfo.kwansei.ac.jp/>) で閲覧できる。

なお、シラバスの内容は授業の進行にあわせて変更することがあるので、必ず授業中の担当者の指示あるいは学部等の掲示板で確認すること。

5.8 授業に関する調査

「学修行動と授業に関する調査」は、次の 3 点を目的として実施している。①学生の学修行動・成果の振り返り、②授業の改善、③教育内容・環境の整備。学生は責任ある態度で回答することが求められる。調査の方法は授業により異なり、授業中にアンケート用紙等を用いて行う場合と LUNA (Web) を利用して行う場合がある。調査期間中に授業担当者から詳細な指示がある。

5.9 科目ナンバリング

科目ナンバリングとは授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みである。対象とするレベルが示されているので、適切な授業科目を選択する助けとなる。また、国内外の他大学で行われているナンバリングとの照合によって、単位互換の促進、提携校とのカリキュラムの対照作業にも役立てることができる。

本学のナンバリング体系は以下のとおり。詳細については各学部・センターのカリキュラム説明を参照のこと。

ナンバー	位置づけ	位置づけ詳細
100	学士課程において基礎的な内容を取り扱う科目	・初年次の入門的、基礎的な知識を修得する専門教育科目 ・初年次の必修科目、基礎的な総合教育科目・全学科目
200	学士課程において基盤となる科目	・各専門分野の基本的な内容を扱う専門教育科目 ・学際的、発展的内容を扱う総合教育科目・全学科目
300	学士課程において応用的要素の強い科目	・各専門分野の実践的・応用的要素が強い内容を扱う専門教育科目 ・特定のテーマ、分野に関する実践的・応用的要素が強い内容を扱う総合教育科目・全学科目
400	学士課程において最も専門性の高い科目	・各専門分野で学部学生が学修する最終段階の水準科目（卒業研究、卒業論文など） ・大学院開設科目と連携して開講している科目

5.10 複数分野専攻制〔Multidisciplinary Studies (略称：MS)〕

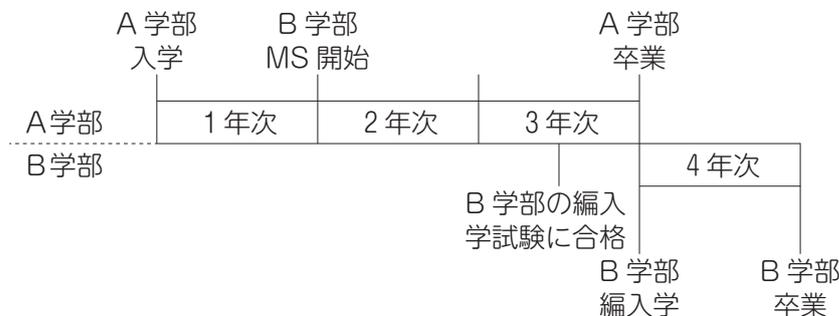
この制度は、他学部や学部以外のセンター等から提供されたプログラムのもと、学部の枠を越えた学問領域を学ぶことによって、幅広い知見と深い専門性を備えた学生を輩出するために設けられている。単なる他学部履修とは異なり一定の体系づけられたプログラムを履修することにより、自学部の学習に軸足を置きながらも、他学部のカリキュラムをまとまった形で学ぶことができる。プログラムの内容、募集要領等詳細については、入学時に配付している『複数分野専攻制への扉』を参照すること。

5.11 マルチプル・ディグリー制度 (略称：MD)

この制度は、上記の MS を利用して、2つの学部を卒業（2つの学位を取得）することができる制度である。制度の概要は、「A学部在学中にB学部提供のMSプログラムを履修し、1つ目のA学部を卒業、その後B学部に編入学制度で入学し、A学部在学中に修得した単位の一部とB学部提供のMSプログラムで修得した単位についてB学部で認定を受け、B学部卒業要件の残りの単位を修得して2つ目のB学部を卒業する」というものである。B学部に編入学制度で入学するには、早期卒業制度を利用する場合は3年次の秋学期に、通常卒業の場合は4年次の秋学期に編入学試験を受験し、合格することが必要である。成績優秀者で早期卒業制度を利用できる場合は、A学部を3年で卒業し、最短の4年間で2つの学位を取得することができる。2つの学位を取得するケースとしては以下のとおりである。なお、「早期卒業制度」が適用される学部、「4年次編入」制度が設置されている学部は限られており、該当する学部を各ケースに示している。詳細は教務機構事務部または学部事務室へ問い合わせること。

■ 4年で2学位を取得するケース（最短）

「早期卒業制度」と「4年次編入」の併用



A学部：社会・法・経済・商・人間福祉・国際学部が該当。

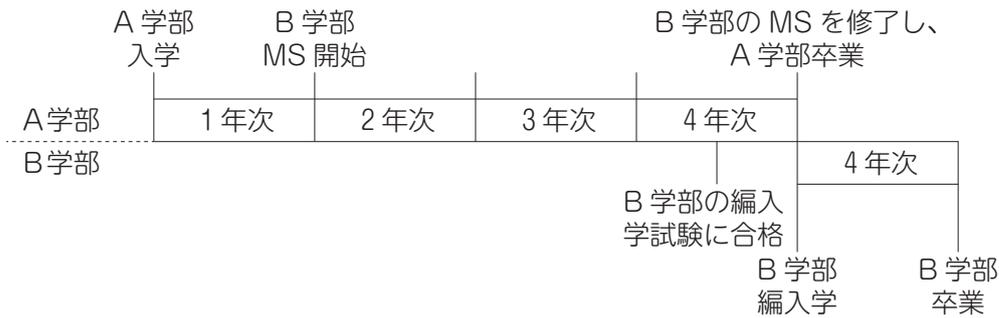
1年次に入学後、A学部所定のカリキュラムを履修しながら、2・3年次開始のB学部MSプログラムを履修し、「早期卒業制度」により3年間で卒業。

B学部：神・文・社会・法・経済・商・国際学部が該当。

B学部4年次に編入学し、B学部の卒業要件のうちの残りの単位を1年間で修得して卒業。

■ 5年で2学位を取得するケース（1）

「通常卒業」と「4年次編入」の併用



A 学部：神・文・社会・法・経済・商・人間福祉・教育・国際学部が該当。

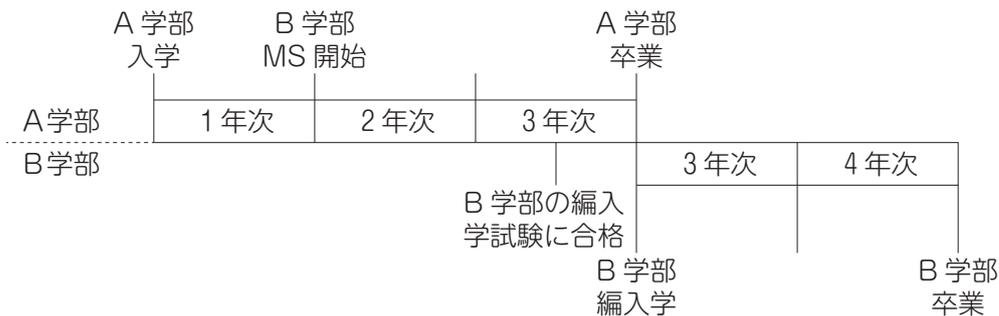
1年次に入学後、A学部所定のカリキュラムを履修しながら、2・3年次開始のB学部MSプログラムもあわせて修了し、4年間で卒業。

B 学部：神・文・社会・法・経済・商・国際学部が該当。

B学部4年次に編入学し、B学部の卒業要件のうちの残りの単位を1年間で修得して卒業。

■ 5年で2学位を取得するケース（2）

「早期卒業制度」と「通常（3年次）編入」の併用



A 学部：社会・法・経済・商・人間福祉・国際学部が該当。

1年次に入学後、A学部所定のカリキュラムを履修しながら、2・3年次開始のB学部MSプログラムを履修し、「早期卒業制度」により3年間で卒業。

B 学部：文・社会・経済・国際学部が該当。

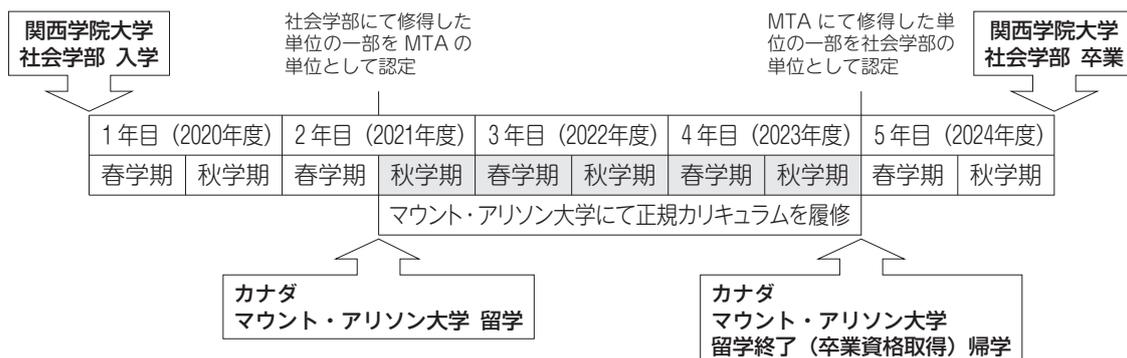
B学部3年次に編入学し、B学部の卒業要件のうちの残りの単位を2年間で修得して卒業。

5.12 ダブルディグリー留学

この制度は、関西学院大学社会学部とカナダのマウント・アリソン大学 (MTA) の2つの大学を、5年間で卒業 (両大学で学位を取得) できる制度である。**2020年度社会学部入学生が対象となる。学位取得のプロセス〈モデル〉**については、下図を参照のこと。なお、プログラムの内容、募集要領等詳細については、社会学部事務室にて配布している『ダブルディグリー留学案内』を参照または社会学部事務室まで問い合わせること。

■ 5年モデル

(社会学部での学び 2.5年 マウント・アリソン大学 (MTA) での学び 2.5年)



5.13 教職課程等

取得を希望する免許等により次のとおりとなっている。

■ 中学校、高等学校の教育職員 1 種免許状

入学時に開催される教職課程説明会および教職教育研究センター窓口等にて配付する『教職課程等履修要項』を参照すること。ただし、教育学部の学生は教育学部の履修心得を参照すること。

■ 幼稚園、小学校、特別支援学校の教育職員 1 種免許状及び保育士の各資格

教育学部の履修心得を参照すること。ただし、これらの資格取得は教育学部生に限られる。

■ 学校図書館司書教諭・博物館学芸員・国際バカロレア教員資格 (IBEC) の各資格

入学時に開催される教職課程説明会および教職教育研究センター窓口等にて配付する『教職課程等履修要項』を参照すること。ただし、教育学部の学生は教育学部の履修心得を参照すること。なお、国際バカロレア教員資格 (IBEC) は2019年度以降入学生のみ取得可能。

6. 成績評価・試験規程（抜粋）

- 第1条 この規程は、本大学学生の成績評価及び試験等について必要な事項を定めることを目的とする。
- 第2条 授業科目及び卒業論文の成績は、試験等の方法により学修の成果について、これを評価する。
- 第3条 試験は定期試験、中間試験及び追試験に分ける。
- 第4条 定期試験は春学期末及び秋学期末の所定の期間に一定の時間割により行う。
- 第5条 中間試験は通年の授業科目について、春学期末の所定の期間に一定の時間割により行うことができる。
- 第6条 追試験は定期試験にさいして病気その他やむを得ない事由により受験できなかった者に対し、当該授業科目について行うことができる。
- 第7条 定期試験、中間試験及び追試験は筆記又は口答とし、報告又は論文をもって代えることができる。
- 第8条 定期試験、中間試験及び追試験はすべて当該学部教授会が担当する。
- 第9条 定期試験、中間試験又は追試験を受験する者は試験場において、原則として本大学所定の学生証を机上に置いて受験しなければならない。
- 第10条 追試験を受けるためには、受験することができなかった事由の証明書又は報告書（病気による場合は医師の診断書）を添えて追試験願を学部長宛に提出し、教授会の承認を得なければならない。
- 2 追試験を受ける者は、所定の受験料を学院財務課に納入しなければならない。ただし、次の者については受験料を免除する。
- 1 学校保健安全法施行規則に定める「学校において予防すべき感染症」のため登校停止となった者
 - 2 裁判員制度により、候補者として裁判員等選任手続に参加する者及び裁判員・補充裁判員として職務に従事する者
 - 3 公共交通機関の遅延又は運行停止等の事由により、定期試験を受験することができなかった者
- 第11条 定期試験、中間試験又は追試験にさいして自然災害、公共交通機関の遅延若しくは運行停止等の事由により受験できない者が多数発生すると判断される場合には、全学的な対応として、当該授業科目について代替試験を行うことができる。
- 2 代替試験は教務機構長の判断により行う。
 - 3 代替試験の実施は当該学部教授会が担当する。
 - 4 本規程第7条及び第9条はこれを代替試験に準用する。
 - 5 追試験の代替試験については、論文に代えることができる。
- 第12条 代替試験を受けるためには、受験することができなかった事由を証明又は説明する書面を添えて代替試験願を学部長宛に提出しなければならない。
- 2 代替試験については受験料を徴収しない。
- 第13条 定期試験、中間試験、追試験及び代替試験によらず、平常評価による成績評価を行うことができる。
- 第14条 成績評価及び成績評価に対して与えるグレードポイントは次のとおりとする。
- 〈2018年度以前入学生〉
- 1 成績評価は、秀又はS（90点以上）・優又はA（80点以上）・良又はB（70点以上）・可又はC（60点以上）、及び、不可又はF（60点未満）とし、秀又はS・優又はA・良又はB、及び、可又はCを合格とする。
 - 2 グレードポイントは、秀又はS（90点以上）は4、優又はA（80点以上）は3、良又はB（70点以上）は2、可又はC（60点以上）は1、及び、不可又はF（60点未満）は0とする。
- 〈2019年度以降入学生〉
- 1 成績評価は、S（90点以上）・A+（85点以上）・A（80点以上）・B+（75点以上）・B（70点以上）・C+（65点以上）・C（60点以上）・F（60点未満）とし、S・A+・A・B+・B・C+、及びCを合格とする。
 - 2 グレードポイントは、S（90点以上）は4.0、A+（85点以上）は3.5、A（80点以上）は3.0、B+（75点以上）は2.5、B（70点以上）は2.0、C+（65点以上）は1.5、C（60点以上）は1.0、及びF（60点未満）は0とする。
- 第15条 追試験の成績は原則として減点する。
- 第16条 代替試験の成績は減点しない。ただし、追試験の代替試験の成績は、追試験に準じて取り扱う。
- 第17条 成績評価の結果は一定の期間内に授業科目担当教員によって、教授会に報告されなければならない。
- 第18条 次の者は試験等を受け、成績評価を得ることができない。
- 1 履修の届出をしていない者
 - 2 学費未納者
 - 3 教授会において受験することを不相当と認めた者
- 第19条 この規程に基づいて、各学部は運用のための内規を定めることができる。
- 備考
- 1 第10条第2項の受験料は、1科目について1,000円とする。
 - 2 第14条に定める他に、認定する科目についてはグレードポイントを与えず、Pと表記する。

7. 一般注意事項

7.1 学生証

学生証は常に携帯してください。試験や手続きの際は、必ず学生証の呈示が求められますので、紛失・汚損等の場合は早急に再発行手続きをとってください（再発行手数料が必要）。

7.2 掲示・教学 Web サービス

大学における学生への連絡・通知は掲示および教学 Web サービスによることを原則としています。

登校時には必ず掲示板を、また定期的に教学 Web サービスを確認してください。掲示・教学 Web サービスを見なかったという理由で責任を逃れることはできません。

他学部開講科目および全学科目等についての掲示は、当該学部や関連センター等の掲示板で行われますので、十分に注意してください。

なお、事務室への電話による問い合わせには一切応じません。

7.3 学部事務室開室時間

月曜日～金曜日 8：50～11：30、12：30～16：50

土曜日 8：50～12：20

ただし、行事等によって変更することがあります。また、5月、6月、9月、10月の第2土曜日および5月の第4土曜日は一斉土休となるため、事務室は閉室となります。

なお、夏季休業中、冬季休業中の事務室開室日および時間については、掲示により通知します。

7.4 各種変更手続き

保証人、氏名等に変更が生じた場合、速やかに所属学部事務室に届け出てください。

現住所の変更については、教学 Web サービスで修正してください。

7.5 パソコンの利用

学内ではパソコン教室や図書館でパソコンを利用することができます。ただし、パソコン教室は授業で使用することがあるため、授業利用時以外（オープン利用時）のみ使用できます。各キャンパスのパソコン教室等の利用状況は、<https://ict.kwansei.ac.jp/> の「PC 教室空席状況」で確認することができます。

また、個人所有のデバイス（スマートフォン、タブレット、ノートパソコンなど）を学内のネットワークに接続して利用することもできます。

7.6 証明書等

■証明書発行機の設置場所

設置場所		台数	利用時間帯
西宮上ヶ原	学生サービスセンター 1階	2台	月～金曜日 8:50～16:50 土曜日 8:50～12:20
	大学図書館 1階	1台	
	G号館 1階	1台	
神戸三田	I号館 1階	1台	
	VI号館 1階	1台	
大阪梅田	アプローズタワー14階（ラウンジ）	2台	月～金曜日 10:30～21:00 土曜日 10:30～20:00 日曜日 10:30～17:00
西宮聖和	I号館 1階 (教育学部・短期大学事務室前)	2台	月～金曜日 8:50～16:50 土曜日 8:50～12:20

注) メンテナンス等により利用時間帯であっても使用できない場合がありますので注意してください。

利用に際しては、本人確認のため「学生証」およびパスワードが必要です。パスワードは入学時に仮パスワードとして各人の誕生日（1月7日生まれの場合は「0107」）があらかじめ発行機に登録されています。仮パスワードは、できるだけ早く任意のパスワードに各人で変更（証明書発行機で変更可能）を行ってください。

■証明書発行機で発行する証明書

○：発行可 ×：証明書発行機による発行不可

種類	和文	英文
在学証明書	○	○
成績証明書	○	○
卒業見込・成績証明書（発行開始日は掲示で告知）	○	○
健康診断証明書	○	×
教育職員免許状取得見込証明書（発行開始日は掲示で告知）	○	×
学割証	○	×
卒業・学士学位証明書（発行期間は掲示で告知）	○	○

■上記以外の各種申込書

証明書発行機で関係する各種「申込書」を購入のうえ、所属学部等事務室に申し込んでください。発行は、原則として申し込みの翌日、証明書の種類によっては作成に2日以上かかる場合もあるため、余裕を持って申し込んでください。

7.7 授業の欠席

本学には「公欠」制度はありません。病気や身内の死亡等をやむを得ず授業を欠席する場合も、その扱いは授業担当者の判断となります。やむを得ず授業を欠席する場合は、事前（不可能であれば事後）に直接授業担当者に相談してください。

■「学校保健安全法施行規則」に定める「学校において予防すべき感染症」のための登校停止の場合

罹患または罹患した疑いがある場合は、学内感染を予防するため登校停止としていますので、診断を受けた際はただちに所属する学部事務室に電話連絡してください。教務上の配慮を行います。

なお、主治医から登校許可が出たら、「学校感染症・登校許可証明書」を記載してもらい、必ず登校時に学部事務室へ提出してください。届出がない場合は、登校停止期間が確定できないため、教務上の配慮はできません。詳細は教務機構ホームページ（https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs）「感染症への対応について」を確認してください。

■裁判員制度による候補者として裁判員等選任手続きへの参加や裁判員・補充裁判員として職務に従事する場合

呼出状を持参のうえ、所属学部事務室に申し出てください。教務上の配慮を行います。

7.8 授業の長期欠席

病気等によって1ヵ月以上授業を欠席する場合は、所属学部事務室に連絡の上、必要な手続きを行ってください。

7.9 学 費

春学期と秋学期の2回に分けて学費を納入するシステムをとっています。

保証人の方に学費納入用紙を郵送しますので、各学期の納入期限までに納入してください。納入期限は曜日により前後することがありますので、詳しくは学費納入用紙を参照してください。

〈学費納入期限〉 春学期：5月19日

秋学期：11月9日

なお、学費未納が続く場合には除籍となります。詳細については学費納付規程を確認してください。

〈分納・延納手続〉

学費を分割して納入したい場合は最大3回まで分けることができます。また、期限までに納入することができない場合は納入期限を延長することができます。

いずれも納入期限までに所属学部事務室で詳細確認の上手続きをしてください。

7.10 各種相談

相談がある場合は、所属学部事務室、所属する演習の担当教員、各教員のオフィス・アワーを利用してください。その他、学生生活の各種相談は学生活動支援機構、留学の相談は国際教育・協力センター、就職の相談はキャリアセンターで受け付けています。

また、総合支援センター学生支援相談室ではカウンセラーによる相談も行っています。健康上の問題については保健館を利用してください。

〈MEMO〉

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page. It is intended for a memo or handwritten notes.

Ⅲ. 社会学部編

1. 社会学部の学び

1. 社会学部の学び

1.1 2016年度以降入学生

1.1.1 社会学部 理念・目的・教育研究目標・めざす学生像

〈理念〉

社会学部は、「真理はあなたたちを自由にする」（ヨハネによる福音書 8 章32節）という聖句を基本精神とし、社会学の研究と教育を通して、自由で自律的な個人から成る、開かれたよりよい社会の実現に寄与することを基本理念とする。

〈目的〉

社会学部は、社会学を中心とした学術研究を推進するとともに、学士課程教育を通して、自由で自律的な態度、よりよい社会の実現に貢献しようとする意欲、幅広くかつ系統的な社会学的知識と思考力、実践的な汎用的技能を身につけ、グローバル化した現代社会で活躍できる人材の養成を目的とする。

〈教育研究目標〉

- 1) 建学の精神にもとづいた人格形成を促すとともに、社会・文化・人間への深い関心を育成し、生涯にわたる主体的・能動的な学習態度を育成する。
- 2) 幅広くかつ系統的な社会学的知識・思考・技能にもとづいた、社会で求められる「社会学的想像力」を育成する。
- 3) フィールドワークを含む社会調査についての基礎的な知識と技能にもとづいた、社会で求められる「社会調査の実践力」を育成する。
- 4) グローバル化した現代社会で活躍できる人材を育成する。

〈めざす学生像〉

自由で自律的な態度、よりよい社会の実現に貢献しようとする意欲、幅広くかつ系統的な社会学的知識と思考力、実践的な汎用的技能を身につけ、卒業後、グローバル化した現代社会で活躍できる学生。

1.1.2 社会学部 ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

「Kwansei コンピテンシー」の獲得を念頭において、社会学部のディプロマ・ポリシーを以下のとおり定める。

1. 【態度・関心】 建学の精神にもとづく態度と社会・文化・人間への関心

- ①自らを律する主体としての強さを身につけ、それにもとづいて、他者と協力してよりよい関係や社会を築くために貢献していこうとする基本的な態度を身につけている（スクールモットーである“Mastery for Service”の態度）。
- ②現代社会やそこに生きる人間、そして異なる文化に深い関心を持ち、生涯にわたって学び、考えていこうとする意欲をもっている。

2. 【知識・思考】 社会学を核とする幅広くかつ系統的な知識と思考力

- ①社会学を核とする幅広くかつ系統的な知識を身につけ、現代社会やそこに生きる人間が抱える問題と解決に向けての実践について理解するとともに、グローバル化にともなう社会現象や諸問題についての知識を身につけている。
- ②社会学的な視点と思考力（社会学的想像力）を身につけ、論理的かつ実証的な思考や判断ができる。
- ③社会調査の実践的な意義を理解し、社会調査についての基本的な知識を身につけている。

3. 【技能・表現】 実践的なジェネリック・スキル（汎用的技能）

- ①生涯にわたって学習するための技能（ICTを用いた情報収集・分析・評価の能力、論理的・批判的な思考能力、数量的スキル、表現・伝達能力など）を身につけている。
- ②日本語および一つ以上の外国語によって、的確に理解（読み・聞き）し、わかりやすく表現（書き・話す）するためのコミュニケーション・スキルを身につけている。
- ③社会調査についての基礎的な技能を身につけている。

4. 【統合的能力】 総合的学習成果としての課題解決能力

上記1～3の学習成果を総合的に活用して、自ら課題を発見し、その課題を社会的に分析・解決することができる能力を身につけている。

1.1.3 社会学部 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

社会学部は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）にもとづいて、A群科目（必修科目）、B群科目（選択必修科目）およびC群科目（自由選択科目）を系統的に配置する。

A群科目（必修科目）

「キリスト教科目」（キリスト教学A・B）

建学の精神に基づく態度を身につける（DP-1①）ための科目

「言語教育科目（必修）」

諸言語によるコミュニケーション・スキルを身につける（DP-3②）ための科目

「入門科目」（社会学入門A・B、社会調査入門A・B）

基礎的な社会的知識、社会的な視点と思考力（社会的想像力）を身につけ（DP-2①②）、社会調査についての入門的な知識と技能を身につけるための科目（DP-2③、DP-3③）

「演習科目」（基礎演習A・B、インターメディアイト演習、研究演習I・II・III、卒業論文）

社会・文化・人間への関心と生涯にわたる学習意欲を養う（DP-1②）とともに、継続的かつ主体的に学習するための汎用的技能を身につけ（DP-3①）（1年次の基礎演習A・Bおよび2年次春学期のインターメディアイト演習）、最終的に学士課程教育の集大成として、自ら課題を発見し、その課題を社会的に分析・解決する能力を身につける（DP-4）（研究演習I・II・III、卒業論文）ための科目

B群科目（選択必修科目）

「リサーチ・メソッド科目」

社会学、社会心理学、人類学、民俗学などの研究手法を理解し、基礎から応用まで段階的に知識と技能を身につける（DP-2③、3③）ための科目

「専攻分野科目」（現代社会学、データ社会学、フィールド社会学、フィールド文化学、メディア・コミュニケーション学、社会心理学の6専攻分野）

社会学を中心に、幅広くかつ系統的な知識と理解、社会問題についての知識と理解、グローバル化にともなう諸問題についての知識と理解などを身につける（DP-2①②）ための科目

C群科目（自由選択科目）

学生が各自の必要と興味に応じて自由に履修し、学習成果を補完あるいは拡張するための科目

以下の「カリキュラムマップ（概要）」は、あくまで、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の各項目と科目群との主たる対応関係を図示したものであり、各開講科目の到達目標（シラバスに記載）は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の他の項目と関係することがある。

カリキュラムマップ（概要）

		ディプロマ・ポリシーに対する関与の程度								
		1		2			3			4
		①	②	①	②	③	①	②	③	
A 群 科 目	キリスト教科目	◎	○							
	言語教育科目（必修）							◎		
	入門科目			◎	◎	◎	○		◎	
	演習科目	○	◎	○	○		◎			◎
科 目 群	リサーチ・メソッド科目					◎			◎	
	専攻分野科目			◎	◎					
C 群 科 目	言語教育科目（選択）							○		
	スポーツ科学・健康科学科目	○								
	情報科学科目						○			
	AI 活用人材育成科目						○			
	グローバルスタディーズ科目		○					○		
	ライフデザイン科目		○							
	基盤・学際科目	○		○						
	教職教科等関連科目		○	○			○			

1.2 2015年度以前入学生

1.2.1 社会学部 理念・目的・教育目標

社会学部は、「真理はあなたたちを自由にする」（ヨハネによる福音書 8 章32節）という聖句を基本精神としながら、社会学を核にして現代社会を科学的に探求することを通じて、今日の社会に具体的な貢献をすることのできる人材を育成することをめざしている。

社会学は、人と人の関係、家族・学校・企業やさらには地域・国家といった集団と人の関係、そしてそれらの集団と集団間の関係のなかから生じるさまざまな事象に学際的にアプローチし、より理想的な社会のあり方を模索していく学問である。とりわけグローバル化や高度情報化が進み、流動化・多様化する現代社会を理解するためには、既存の研究領域にとらわれない幅広い知識に基づいた柔軟でバランスのとれた思考力、急速に進むグローバル化に対応する視点、現実社会との実践的な関わりに基づいた問題解決能力の養成が必要となる。

社会学科は、「メディア・表象系」（「メディア領域」「社会表象領域」）、「社会・共生系」（「グローバル社会領域」「現代社会学領域」「ソーシャル・ネットワーク領域」）、「人間・心理系」（「臨床社会領域」「社会心理領域」）の3系7領域を設けることによって、社会学を核としつつ、隣接諸学をも視野に入れた幅広い学習を可能とし、学生各自の個性と関心に応じた複合的な（多領域にわたる）学習環境を整備している。これにより、幅広い学際的な知識に基づいた柔軟でバランスのとれた思考力と優れた問題解決能力をもち、グローバル化した現代社会で活躍できる人材の育成を教育目的としている。

社会学科の具体的な教育目標としては、以下のものがあげられる。

- 1) 広い視野と専門的な知識と実践力を身につけた人材を、金融・流通・製造業などの一般企業をはじめ、新聞・放送・広告・出版・通信などの情報メディア産業、公務員、教員、NPO・NGO、大学院進学など、多彩な分野に送り出す。
- 2) さまざまな社会問題の解決を図るための実証的な社会調査の方法を身につけ、一般社団法人社会調査協会認定の「社会調査士」の資格を取得する学生を輩出する。

1.2.2 社会学部 ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

1. 【態度・関心】 建学の精神にもとづく態度と社会・文化・人間への関心

- ①自らを律する主体としての強さを身につけ、それにもとづいて、他者と協力してよりよい関係や社会を築くために貢献していこうとする基本的な態度を身につけている（スクールモットーである“Mastery for Service”の態度）。
- ②現代社会やそこに生きる人間、そして異文化や多文化に深い関心を持ち、生涯にわたって学び、考えていこうとする意欲をもっている。

2. 【知識・思考】 社会学を核とする幅広い学際的知識と社会学的思考力

- ①社会学を核とする幅広い学際的な知識を身につけ、現代社会やそこに生きる人間が抱える問題と解決に向けての実践について理解するとともに、グローバル化にともなう社会現象や諸問題についての知識を身につけている。
- ②社会学的な視点と思考力（社会学的想像力）を身につけ、論理的かつ実証的な思考や判断ができる。
- ③社会調査の実践的な意義を理解し、社会調査についての基本的な知識を身につけている。

3. 【技能・表現】 実践的なジェネリック・スキル（汎用的技能）

- ①生涯にわたって学習するための技能（ICTを用いた情報収集・分析・評価の能力、論理的・批判的な思考能力、数量的スキル、表現・伝達能力など）を身につけている。
- ②日本語および一つ以上の外国語によって、的確に理解（読み・聞き）し、わかりやすく表現（書き・話す）するためのコミュニケーション・スキルを身につけている。
- ③社会調査についての基礎的な技能を身につけている。

4. 【統合的能力】 総合的学習成果としての課題解決能力

上記1～3の学習成果、すなわちソシオリテラシーを総合的に活用して、自ら課題を発見し、その課題を社会的に分析・解決することができる能力を身につけている。

1.2.3 社会学部 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

社会学部では、学部の教育目標を達成するために、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づいて、A群科目（必修科目）、B群科目（選択必修科目）およびC群科目（自由選択科目）を系統的に配置する。

A群科目（必修科目）

「キリスト教科目」（キリスト教学A・B）

主に、建学の精神に基づく基本的態度を身につける（DP-1 ①）ための科目

「言語教育科目（必修）」

主に、外国語によるコミュニケーション・スキルを身につける（DP-3 ②）ための科目

「アカデミック・プレパレーション科目」（基礎演習、社会学リレー講義A・B）

導入教育を行い、主に、社会・文化・人間への関心と生涯にわたる学習意欲を養う（DP-1 ②）とともに、生涯にわたって学習するための汎用的技能を身につける（DP-3 ①）ための科目

「インターミディエイト・スタディーズ科目」（インターミディエイト演習）

主に、社会学的な視点と思考力（社会学的想像力）を身につけ（DP-2 ②）、より発展的な教育研究へと橋渡しする科目

「アドバンスト・リサーチ科目」（研究演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文）

学部教育の集大成として、自ら課題を発見し、その課題を社会的に分析・解決する能力を身につける（DP-4）ための科目

B群科目（選択必修科目）

「3系7領域科目」（メディア、社会表象、グローバル社会、現代社会学、
ソーシャルネットワーク、臨床社会、社会心理の各領域）

主に、社会学を核とする幅広い学際的な知識と理解、社会問題についての知識と理解、グローバル化にともなう諸問題についての知識と理解などを身につける（DP-2①）ための科目（個性と関心に応じた多様な学習のあり方を保証するとともに、履修モデルの提示などによって、系統的な学習を保証する）

「リサーチ・講読科目」（社会調査論A・Bなど）

主に、社会調査の実践的な意義を理解し、社会調査の基本的な知識と技能を身につける（DP-2③、3③）ための科目

C群科目（自由選択科目）

「言語教育科目（選択）」、「スポーツ科学・健康科学科目」、「情報科学科目」、「AI 活用人材育成科目」、「グローバルスタディーズ科目」、「ライフデザイン科目」、「基盤・学際科目」、「教職教科等関連科目」
学生が各自の必要と興味に応じて自由に履修し、学習成果を補完あるいは拡張するための科目

以下の「カリキュラムマップ（概要）」は、あくまで、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の各項目と科目群との主たる対応関係を図示したものであり、各開講科目の到達目標（シラバスに記載）は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の他の項目と関係することがある。

カリキュラムマップ（概要）

			ディプロマ・ポリシーに対する関与の程度									
			1		2			3			4	
			①	②	①	②	③	①	②	③		
A 群 科 目	キリスト教科目		◎	○								
	言語教育科目（必修）							◎				
	アカデミック・プレパレーション科目			◎				◎				
	インターミディエイト・スタディーズ科目					◎						
	アドバンスト・リサーチ科目					○					◎	
B 群 科 目	3 系 7 領 域	リサーチ・講読科目					◎			◎		
		メディア・表象系	メディア領域			◎						
			社会表象領域			◎						
		社会・共生系	グローバル社会領域			◎						
			現代社会学領域			◎						
			ソーシャル・ネットワーク領域			◎						
		人間・心理系	臨床社会領域			◎						
社会心理領域				◎								
C 群 科 目	言語教育科目（選択）								○			
	スポーツ科学・健康科学科目		○	○								
	情報科学科目							○				
	AI 活用人材育成科目							○				
	グローバルスタディーズ科目		○	○								
	ライフデザイン科目		○	○								
	基盤・学際科目		○	○								
	教職教科等関連科目			○	○							

備考：「グローバルスタディーズ科目」、「ライフデザイン科目」、「基盤・学際科目」…2012年度以前入学生：「学際・連携科目」

1.3 キリスト教主義にもとづく教育とチャペル

関西学院大学では、その土台となるキリスト教主義教育の活動のひとつとして、各学部でチャペルアワーを行っている。これは学院の歴史のなかでほぼ毎日、キャンパスのどこかで持たれてきたプログラムであり、朝のひとつ、各学部の学生・教員が共に集まり、関西学院で学ぶことの意味、さらに広く「生きる」ことの意味を静かに考えるときとして、この大学で過ごす全ての人々に開かれた大切な時間となっている。

社会学部のチャペルアワーは毎週火・水・木曜日の第1時限と第2時限の間の30分間〔午前10時35分～11時5分〕に、社会学部1階のチャペルで行われる。毎週のチャペルのプログラムについては、チャペル掲示板または宗教センター発行の「チャペル週報」で、月ごとのプログラムは、社会学部発行の「チャペル月間スケジュール」および社会学部ホームページで確認できる。

「キリスト教学A・B」を履修している第1学年度生は、チャペルへの出席が求められる（カードにより毎回出席確認）。

■社会学部のチャペルアワー

曜日：毎週火曜日、水曜日、木曜日

時間：10：35～11：05

場所：社会学部チャペル（社会学部1階）

1.4 関西学院大学 学則（抄録）

第1章 総則

（略）

第6条 本大学各学部の修業年限は4年とする。ただし、8年をこえて在学することはできない。

第7条 本大学は、学部にて4年以上在学して各学部教育課程に基づき定められた授業科目を履修し、試験等において合格の成績評価を得、卒業に必要な単位を修得した者に、卒業の資格をあたえ、卒業証書を授与する。

2 本大学にて3年以上在学した者が、卒業に必要な単位を優秀な成績で修得したと学部が認める場合には、前項にかかわらず、その卒業を認めることができる。

第8条 本大学における授業科目及び卒業論文の成績評価は、S（90点以上）・A+（85点以上）・A（80点以上）・B+（75点以上）・B（70点以上）・C+（65点以上）・C（60点以上）・F（60点未満）とし、S・A+・A・B+・B・C+、及びCを合格とする。

2 前項の成績評価に対してグレードポイントを与える。S（90点以上）は4.0、A+（85点以上）は3.5、A（80点以上）は3.0、B+（75点以上）は2.5、B（70点以上）は2.0、C+（65点以上）は1.5、C（60点以上）は1.0、及びF（60点未満）は0とする。

（略）

第3章 教育課程

（略）

第19条 本大学と単位互換に関する協定のある他の大学・短期大学の授業科目の履修を希望する者がいるときは、当該学部教授会が本人の教育上有益であると認めた場合にかぎり、これを許可することができる。

2 各学部において大学教育に相当する水準を有すると認めた学修について、本大学の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

第20条 本大学と学生交換に関する協定のある外国の大学等の教育機関又はその他の外国の大学等の教育機関の授業科目の履修を希望する者がいるときは、当該学部教授会が本人の教育上有益であると認めた

場合にかぎり、交換留学、長期留学、ダブルディグリー留学又は認定留学としてこれを許可することができる。

2 交換留学、長期留学及び認定留学の期間は1学期間又は2学期間、ダブルディグリー留学の期間は1学期間以上とし、その期間を本大学における在学年数に算入することができる。

3 交換留学、長期留学、ダブルディグリー留学及び認定留学に関する規程は別にこれを定める。

第21条 本大学に入学する以前に修得した単位等は、各学部の定めるところにより、次のとおり認定することができる。

1 大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した授業科目の単位を含む）は、本大学における授業科目の履修により修得したものとみなす。

2 短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修及び各学部において大学教育に相当する水準を有すると認めた学修について、本大学の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前2条及び前項により、本大学の授業科目の履修によって修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本大学において修得した単位以外のものについては、合わせて60単位を超えないものとする。

第22条 本大学における学部・学科の所定の教育課程に加え、他学部・学科等から体系的に提供された科目群を履修する制度を複数分野専攻制とし、それぞれ副専攻課程としてこれを置く。

第23条 本大学における授業科目及び単位数を第1節から第12節に定めるとおりとする。

2 各学部において履修することができる科目及び履修方法の詳細は、各学部教育課程表（学則別表）又は履修規程においてこれを定める。なお、各学部の授業科目のうちキリスト教科目から4単位以上、言語教育科目から12単位以上を履修するものとする。

（略）

第4章 入学・編入学・転学・休学・退学及び除籍

（略）

第52条 病気・家庭の事情及びその他の理由により休学しようとする者は、所定の休学願を春学期又は秋学期の各授業開始後1カ月以内に所属学部長に提出して許可を得なければならない。

2 休学開始の時期は、春学期又は秋学期の各開始日とする。

3 休学の期間は、1年間又は1学期間とする。

4 許可された休学期間の経過後も継続して休学しようとする者は、原則としてその休学期間満了前にあらためて休学願を提出しなければならない。

5 休学し得る期間は、通算2カ年以内とする。ただし、母国の兵役による休学は、2年を上限としてこの期間に算入しない。

6 休学期間は、在学年数に算入しない。

第53条 本大学を退学しようとする者は所定の退学願を所属学部長に提出して許可を得なければならない。

2 退学の日付は、学費既納者については学部長が承認した退学日とし、学費未納者については学費納入済みの学年又は学期の末日とする。

第54条 次の各号の一に該当する者は除籍する。

1 休学期間が通算2カ年を経過してなお復学又は退学しない者（ただし、母国の兵役による休学は、2年を上限としてこの期間に算入しない）

2 第6条及び第50条に定める在学年限をこえてなお退学しない者

3 学費納付規程第6条に該当する者

第55条 休学した者が、復学しようとする場合は、原則として休学期間満了前に所定の復学願を所属学部長に提出し、許可を得なければならない。

2 復学の時期は、春学期又は秋学期の各開始日とする。

第56条 退学者又は除籍者が、再入学しようとする場合は、再入学しようとする学期の開始日から1カ

月前までに再入学願を提出しなければならない。

- 2 退学者又は除籍者が再入学を願い出たときは、教授会の議を経て許可することがある。ただし再入学は退学又は除籍の日から5カ年以内に願い出るものとする。
 - 3 第54条第2号による除籍者は再入学することができない。
- (略)

第8章 賞罰

第65条 品行方正学術優秀志操堅固な者はこれを表彰する。

第66条 学則又は規則に反し、その他学生の本分に背く行為のあった者はその軽重に拠ってこれを懲戒する。懲戒は譴責・謹慎・停学及び退学の4種とする。

ただし、退学は次の場合に限る。

- 1 性行不良で改善の見込みがないと認められた者
- 2 学力極めて劣等で成業の見込みがないと認められた者
- 3 正当の理由がなくて出席が常でない者
- 4 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

(略)

第10章 学生心得

第68条 学生は次に掲げる事項を守り、キリスト教主義に基づく本大学の建学の精神を体得するように努めなければならない。

- 1 人格の本議を認め、信念を涵養し、智徳を錬磨し、人格の完成を期すること
- 2 常に敬虔な態度をもって身を処し、人類の福祉に貢献すること
- 3 自由自治の本領に立って協力一致、本大学学風の振興に努めること
- 4 学則ならびに諸規則を守り、秩序と静粛を保つこと
- 5 禁酒禁煙を守ること

1.5 社会学部内規

第1章 総則

(目的)

第1条 本内規は、社会学部生に対する学則の適用並びに運用細則を定めるものである。

(学則の適用)

第2条 学則は、学則改正にかかわらず入学年度の学則が適用される。ただし、学則改正が全学年度に適用される場合は、この限りではない。

(学則改正による移行措置)

第3条 学則改正に伴い移行措置が講じられた場合は、これに従わなければならない。移行措置は、『社会学部履修心得』（以下、心得）で定める。

(内規の適用)

第4条 本内規の改正があったときには、入学年度にかかわらず全学年度生に改正後の内規が適用される。

(内規改正による移行措置)

第5条 内規改正に伴い移行措置が講じられた場合には、これに従わなければならない。移行措置は、心得で定める。

第2章 履修

(履修)

第6条 社会学部生は、学則及び本内規に従って科目を履修しなければならない。

(履修登録)

第7条 社会学部生は毎学期の開始にあたり、心得の定めに従い、履修登録を行わなければならない。

2. 履修登録を所定の期日までに完了しなかった者は、当該学期開講・当該年度通年開講の科目の受験資格及び単位の修得が認められない。
3. 履修登録された内容の変更は原則として認められない。

(交換留学、長期留学及び認定留学参加者の履修登録)

第8条 交換留学、長期留学及び認定留学参加者の履修登録を次のとおり定める。

- (1) 履修修正期間までに帰国した者は、第7条に従い履修登録することができる。
- (2) 履修修正期間終了後から5月末までに帰国した者は、社会学部開講の通年科目（一部実習を除く）を履修登録することができる。ただし、5月末までに履修登録を完了した場合に限る。
- (3) 帰学した学期の集中講義科目については、当該学生が全授業日程に出席可能であることを条件として、帰学の時期を問わず、履修を許可する。
- (4) 帰学した学期の後半開講科目については、当該学生が全授業日程に出席可能であることを条件として、帰学の時期を問わず、履修を許可する。

(休学する者の履修登録)

第9条 休学する者は休学する学期の履修登録をすることはできない。

2. 学年度の春学期を休学し、秋学期より復学する者は、当該年度の通年開講科目を履修することはできない。
3. 学年度の秋学期より休学する者は、春学期に履修登録した当該年度の通年開講科目の履修を取り消しとする。

(重複履修)

第10条 本内規において重複履修を次のとおり定める。

一度単位を修得した科目は、原則として、再度履修（重複履修）することはできない。ただし、一部の科目については、一度単位を修得した科目であっても再度履修（重複履修）することができる。それらの科目は、心得で定める。

(並行履修)

第11条 本内規において並行履修を次のとおり定める。

(2016年度以降入学生)

- (1) 交換留学、長期留学、認定留学、中期留学（ただし国際教育・協力センターが実施するものに限る）、国際ボランティア、海外インターンシッププログラムに参加したことにより、卒業に必要な研究演習の単位修得を欠く場合、先修条件に関わらず、研究演習Ⅰ・Ⅱまたは研究演習Ⅱ・Ⅲを同学期に並行して履修できる。ただし、第22条（2016年度以降入学生）の（3）、（4）、（5）に定める手続きを必要とする。
- (2) ダブルディグリープログラムに参加したことにより、卒業に必要な研究演習の単位修得を欠く場合、先修条件に関わらず、研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを同学期に並行して履修できる。ただし、第22条（2016年度以降入学生）の（7）に定める手続きを必要とする。
- (3) マルチプル・ディグリー制度で本学部第3学年度または第4学年度に編入することにより、卒業に必要な研究演習の単位修得を欠く場合、先修条件に関わらず、研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを同学期に並行して履修できる。ただし、第22条（2016年度以降入学生）の（6）に定める手続きを必要とする。

(2015年度以前入学生)

- (1) 交換留学、長期留学、英語中期留学プラス、認定留学、中期留学（ただし国際教育・協力センターが実施するものに限る）、国際ボランティア、海外インターンシッププログラム、ダブルディグリープログラムに参加したことにより、卒業に必要な研究演習の単位修得を欠く場合、先修条件に関わらず、研究演習Ⅰ・Ⅱを同学期に並行して履修できる。ただし、第22条（2015年度以前入学生）の（3）、（4）、（5）、（7）に定める手続きを必要とする。
- (2) マルチプル・ディグリー制度で本学部第3学年度または第4学年度に編入することにより、卒業に必要な研究演習の単位修得を欠く場合、先修条件に関わらず、研究演習Ⅰ・Ⅱを同学期に並行して履修できる。ただし、第22条（2015年度以前入学生）の（6）に定める手続きを必要とする。

(継続履修)

第12条 本内規において継続履修を次のとおり定める。

(2016年度以降入学生)

「研究演習Ⅱ」、「研究演習Ⅲ」および「卒業論文」を履修登録し、春学期の授業を受けたあと、留学・休学期間をはさみ、第22条（2016年度以降入学生）の（8）に定める手続きを経て、次年度秋学期に同一担当教員の「研究演習Ⅱ」、「研究演習Ⅲ」および「卒業論文」を継続して履修した場合、通年で当該科目を履修したとみなすことができる。

(2015年度以前入学生)

「研究演習Ⅰ」、「研究演習Ⅱ」および「卒業論文」を履修登録し、春学期の授業を受けたあと、留学・休学期間をはさみ、第22条（2015年度以前入学生）の（8）に定める手続きを経て、次年度秋学期に同一担当教員の「研究演習Ⅰ」、「研究演習Ⅱ」および「卒業論文」を継続して履修した場合、通年で当該科目を履修したとみなすことができる。

(履修単位数制限)

第13条 履修できる単位数を次のとおり定める。

(2015年度以降入学生)

- (1) 各学年度各学期において履修できる単位数は次のとおりとする。
 - 第1学年度 24単位以内
 - 第2学年度 24単位以内
 - 第3学年度 24単位以内
 - 第4学年度 24単位以内
- (2) 休学者で学年度の秋学期より復学する者の履修単位数は、当該学年度生に与えられている秋学期の単位数以内とする。なお、通年科目の履修単位数は、春学期・秋学期に二等分して計算する。
- (3) 継続履修を許可された者の通年科目の履修単位数は、休学前の春学期と復学後の秋学期に二等分して計算する。
- (4) 別に定める卒業単位数に算入されない科目については、(1)の制限の対象外とする。
- (5) 卒業単位数に算入するが、(1)の制限の対象外とする科目については、心得で定める。
- (6) (1)の制限にかかわらず、複数分野専攻制(MS)を履修している者に限り、各学期30単位まで履修することができる。ただし、複数分野専攻制(MS)以外の科目で履修できる単位数は24単位以内とする。
- (7) 前学期終了時までの通算GPAが3.00以上の学業成績を修めた者は、(1)の制限にかかわらず、次学期30単位まで履修することができる。

(2010年度～2014年度入学生)

- (1) 各学年度各学期において履修できる単位数は次のとおりとする。
 - 第1学年度 24単位以内

第2学年度 24単位以内

第3学年度 24単位以内

第4学年度 24単位以内

- (2) 休学者で学年度の秋学期より復学する者の履修単位数は、当該学年度生に与えられている秋学期の単位数以内とする。なお、通年科目の履修単位数は、春学期・秋学期に二等分して計算する。
- (3) 継続履修を許可された者の通年科目の履修単位数は、休学前の春学期と復学後の秋学期に二等分して計算する。
- (4) 別に定める卒業単位数に算入されない科目については、(1)の制限の対象外とする。
- (5) 卒業単位数に算入するが、(1)の制限の対象外とする科目については、心得で定める。
- (6) (1)の制限にかかわらず、編入学生に限り、各学期30単位まで履修することができる。
- (7) (1)の制限にかかわらず、複数分野専攻制(MS)を履修している者に限り、各学期30単位まで履修することができる。ただし、複数分野専攻制(MS)以外の科目で履修できる単位数は24単位以内とする。
- (8) 前学期終了時までの通算GPAが3.00以上の学業成績を修めた者は、(1)の制限にかかわらず、次学期30単位まで履修することができる。

(履修基準年度)

第14条 各学年度で履修できる科目は、社会学部教育課程表で定める。

(クラス指定科目)

第15条 クラスを指定する科目は、必ず心得に従い、クラス指定表(別紙)のとおり履修しなければならない。

(他学部科目の履修)

第16条 他学部科目の先修条件、履修基準年度および試験に関する規程等は、その科目の当該学部のもものが適用される。

2. 原則として、他学部と同一名称で開講されている科目は、社会学部の科目を履修しなければならない。

(全学科目の履修)

第17条 全学科目とは、学部とは別に設置されているセンター等が提供している科目で、次の科目グループで構成される。

言語教育科目、スポーツ科学・健康科学科目、情報科学科目、AI活用人材育成科目、グローバルスタディーズ科目、ライフデザイン科目、基盤・学際科目

2. 全学科目の先修条件、履修基準年度は、当該部課のもものが適用される。

(言語教育科目の履修)

第18条 社会学部生(外国人留学生を除く)は英語を第1外国語、フランス語、ドイツ語、中国語、朝鮮語、スペイン語のいずれかを第2外国語とする。選択した第2外国語の変更は認められない。

2. 帰国生徒入学試験を受けて入学した者については、語学力を勘案して必修とする第1外国語・第2外国語を定めることがある(ただし、2015年度以前入学生に限る)。

第19条 外国人留学生の言語教育科目については、第42条に定める。

(卒業単位数に算入されない科目)

第20条 次の科目は単位を修得しても卒業単位には算入されない。

(2018年度以降入学生)

学則第29条の教職等関連科目及び生涯学習概論、博物館概論、博物館経営論、博物館資料論、博物館資料保存論、博物館展示論、博物館教育論、博物館情報メディア論、博物館実習

(2017年度以前入学生)

学則第29条の教職等関連科目及び生涯学習概論、博物館概論、博物館経営論、博物館資料論、博

博物館資料保存論、博物館展示論、博物館教育論、博物館情報メディア論、博物館実習、視聴覚教育メディア論、社会教育実習、職業指導、キャリアゼミA・B・C、キャリアゼミ アドバンスト、霞が関セミナー、認定インターンシップA・B、ライフデザイン科目の海外インターンシップ

(専攻分野)

第21条 2016年度以降入学生は、第2学年度秋学期から履修する研究演習Ⅰにより専攻分野が決定される。専攻分野は、原則として変更することができない。専攻分野決定後は、各専攻分野の教育課程表の卒業要件を充足することを必要とする。

(研究演習及び実習)

第22条 研究演習及び実習の履修を次のとおり定める。

(2016年度以降入学生)

- (1) 研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲは同一担当教員の演習を履修しなければならない。原則として、担当教員を変更することはできない。ただし、特別の事由のある場合、教授会の承認を経て変更を許可することがある。
- (2) 社会学実習、社会調査実習あるいは実験実習を併設する研究演習に所属する者は、その所定の実習を履修しなければならない。
- (3) 交換留学、長期留学及び認定留学参加者は帰国後、研究演習Ⅰ・Ⅱまたは研究演習Ⅱ・Ⅲを並行履修することができる。ただし、留学前に演習担当教員と副学部長（教務担当）の承認を必要とする。その場合、第8条に定めるとおり、履修登録を行わなければならない。
- (4) 中期留学（ただし国際教育・協力センターが実施するものに限る）参加者は、留学の翌年度に研究演習Ⅰ・Ⅱまたは研究演習Ⅱ・Ⅲを並行履修することができる。ただし、留学前に演習担当教員と副学部長（教務担当）の承認を必要とする。
- (5) 国際ボランティア及び海外インターンシッププログラム参加者は、参加の翌年度に研究演習Ⅰ・Ⅱまたは研究演習Ⅱ・Ⅲを並行履修することができる。ただし、参加前に演習担当教員と副学部長（教務担当）の承認を必要とする。
- (6) マルチプル・ディグリー制度で第4学年度に編入学した学生は、研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを並行履修することができる。ただし、演習担当教員と副学部長（教務担当）の承認を必要とする。
- (7) マウント・アリソン大学とのダブルディグリープログラム参加者は帰国後、研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを並行履修することができる。ただし、参加前に演習担当教員と副学部長（教務担当）の承認を必要とする。
- (8) 秋学期から次年度の春学期まで休学する者は、休学前の春学期と復学後の秋学期の履修をもって、研究演習Ⅱ、研究演習Ⅲおよび卒業論文の継続履修とし、復学年度の研究演習の単位取得を可能とする。ただし、休学前に演習担当教員と副学部長（教務担当）の承認を必要とする。

(2015年度以前入学生)

- (1) 研究演習Ⅰ・Ⅱは同一担当教員の演習を履修しなければならない。原則として、担当教員を変更することはできない。ただし、特別の事由のある場合、教授会の承認を経て変更を許可することがある。
- (2) 社会学実習、社会調査実習あるいは実験実習を併設する研究演習に所属する者は、その所定の実習を履修しなければならない。
- (3) 交換留学、長期留学、英語中期留学プラス及び認定留学参加者は帰国後、研究演習Ⅰ・Ⅱを並行履修することができる。ただし、留学前に演習担当教員と副学部長（教務担当）の承認を必要とする。その場合、第8条に定めるとおり、履修登録を行わなければならない。
- (4) 中期留学（ただし国際教育・協力センターが実施するものに限る）参加者は、留学の翌年度に研究演習Ⅰ・Ⅱを並行履修することができる。ただし、留学前に演習担当教員と副学

部長（教務担当）の承認を必要とする。

- (5) 国際ボランティア及び海外インターンシッププログラム参加者は、参加の翌年度に研究演習Ⅰ・Ⅱを並行履修することができる。ただし、参加前に演習担当教員と副学部長（教務担当）の承認を必要とする。
- (6) マルチプル・ディグリー制度で第4学年度に編入学した学生は、研究演習Ⅰ・Ⅱを並行履修することができる。ただし、演習担当教員と副学部長（教務担当）の承認を必要とする。
- (7) マウント・アリソン大学とのダブルディグリープログラム参加者は帰国後、研究演習Ⅰ・Ⅱを並行履修することができる。ただし、参加前に演習担当教員と副学部長（教務担当）の承認を必要とする。
- (8) 秋学期から次年度の春学期まで休学する者は、休学前の春学期と復学後の秋学期の履修をもって、研究演習Ⅰ、研究演習Ⅱおよび卒業論文の継続履修とし、復学年度の研究演習の単位取得を可能とする。ただし、休学前に演習担当教員と副学部長（教務担当）の承認を必要とする。

（先修条件）

第23条 先修条件を次のとおり定める。

（2016年度以降入学生）

（1） 必修科目の先修条件

- a. 入門英語、英語インテンシブ・イングリッシュ・コース、フランス語インテンシブ・プログラム、ドイツ語インテンシブ・プログラムの先修条件については、心得で定める。
- b. フランス語Ⅰを修得しなければフランス語Ⅱを、フランス語Ⅱを修得しなければフランス語Ⅲ a、フランス語Ⅲ bを、フランス語Ⅲ aを修得しなければフランス語Ⅳ aを、フランス語Ⅲ bを修得しなければフランス語Ⅳ bを履修することができない。
- c. ドイツ語Ⅰを修得しなければドイツ語Ⅱを、ドイツ語Ⅱを修得しなければドイツ語Ⅲを、ドイツ語Ⅲを修得しなければドイツ語Ⅳを履修することができない。
- d. 中国語Ⅰを修得しなければ中国語Ⅱを、中国語Ⅱを修得しなければ中国語Ⅲを、中国語Ⅲを修得しなければ中国語Ⅳを履修することができない。
- e. 朝鮮語Ⅰを修得しなければ朝鮮語Ⅱを、朝鮮語Ⅱを修得しなければ朝鮮語Ⅲを、朝鮮語Ⅲを修得しなければ朝鮮語Ⅳを履修することができない。
- f. スペイン語Ⅰを修得しなければスペイン語Ⅱを、スペイン語Ⅱを修得しなければスペイン語Ⅲを、スペイン語Ⅲを修得しなければスペイン語Ⅳを履修することができない。
- g. 次の科目の単位を修得しなければ、研究演習Ⅰを履修することができない。ただし、在学期間が3セメスター以上であることを必要とする（休学した期間はここでの在学期間に算入されない）。

キリスト教学A、キリスト教学B いずれか2単位

第1外国語、第2外国語 合計4単位

基礎演習A、基礎演習Bいずれか2単位

社会学入門A、社会学入門B、社会調査入門A、社会調査入門Bの中から 4単位
B群科目から 12単位

上記の科目以外にA群科目、B群科目、C群科目ならびに他学部開講科目の中から
6単位

ただし、卒業に必要な単位の算入されない科目を除く。

総合計 30単位以上

- h. 研究演習Ⅰの単位を修得しなければ、研究演習Ⅱを、研究演習Ⅱを修得しなければ研究演習Ⅲを履修することができない。

(2) その他の科目の先修条件は心得で定める。

(2015年度以前入学生)

(1) 必修科目の先修条件

- a. 英語インターメディアイト・コース、インテンシブ・イングリッシュ・コース、フランス語インテンシブ・プログラム、ドイツ語インテンシブ・プログラムの先修条件については、心得で定める。
- b. フランス語Ⅰを修得しなければ、フランス語Ⅱを、フランス語Ⅱを修得しなければ、フランス語Ⅲa、フランス語Ⅲbを、フランス語Ⅲaを修得しなければ、フランス語Ⅳaを、フランス語Ⅲbを修得しなければ、フランス語Ⅳbを履修することができない。
- c. ドイツ語Ⅰを修得しなければ、ドイツ語Ⅱを、ドイツ語Ⅱを修得しなければ、ドイツ語Ⅲを、ドイツ語Ⅲを修得しなければ、ドイツ語Ⅳを履修することができない。
- d. 中国語Ⅰを修得しなければ、中国語Ⅱを、中国語Ⅱを修得しなければ、中国語Ⅲを、中国語Ⅲを修得しなければ、中国語Ⅳを履修することができない。
- e. 朝鮮語Ⅰを修得しなければ、朝鮮語Ⅱを、朝鮮語Ⅱを修得しなければ、朝鮮語Ⅲを、朝鮮語Ⅲを修得しなければ、朝鮮語Ⅳを履修することができない。
- f. スペイン語Ⅰを修得しなければ、スペイン語Ⅱを、スペイン語Ⅱを修得しなければ、スペイン語Ⅲを、スペイン語Ⅲを修得しなければ、スペイン語Ⅳを履修することができない。
- g. 次の科目の単位を修得しなければ、研究演習Ⅰを履修することができない。ただし、在学期間が2年以上であることを必要とする。休学した期間はここでの在学期間に算入されない。

キリスト教学A、キリスト教学B いずれか2単位

第1外国語、第2外国語 合計8単位

基礎演習 2単位

社会学リレー講義A 2単位

社会学リレー講義B 2単位

B群科目から 16単位

上記の科目以外にA群科目、B群科目、C群科目ならびに他学部開講科目の中から8単位

ただし、卒業に必要な単位に算入されない科目を除く。

総合計 40単位以上

- h. 研究演習Ⅰの単位を修得しなければ、研究演習Ⅱを履修することができない。

(2) その他の科目の先修条件は心得で定める。

(単位認定)

第24条 交換留学、長期留学、認定留学、ダブルディグリープログラム、外国語研修、海外研修のプログラムに参加した者が留学先で修得した科目の単位認定を希望する場合は、帰学後、所定の様式により申請をしなければならない。

2. 関西学院大学学則 第3章 教育課程 第21条に基づき、編入学生以外の者が本学部に入学期前に修得した科目の単位認定を希望する場合は、入学時に、所定の様式により申請をしなければならない。

第3章 試験

(定期試験、中間試験)

第25条 春学期で終了する科目については春学期末、秋学期で終了する科目及び通年の科目は秋学期末に

定期試験を行う。なお、通年の科目は春学期末に中間試験を行うことができる。

第26条 出席状況不良の者は受験を認められない場合がある。

(追試験)

第27条 追試験は定期試験を受けなかった者のうち、次の理由による者のみに限って受験することができる。

ただし、証明書または報告書（病気による場合は医師の診断書）を必要とする。

- a. 二親等以内の死亡
- b. 本人の病気
- c. 試験当日の事故
- d. 学校において予防すべき感染症による登校停止
- e. 裁判員制度により、候補者として裁判員等選任手続きに参加及び裁判員・補充裁判員として職務に従事
- f. 公共交通機関の遅延又は運行停止
- g. 以上に相当する理由のある場合

第28条 追試験の成績は採点の20%を減じる。なお、第27条の a、d、e、f 項による事由の場合は100%評価とする。

(代替試験)

第29条 代替試験は、定期試験、中間試験又は追試験にさいして自然災害、公共交通機関の遅延若しくは運行停止等の事由により受験できない者が多数発生すると判断される場合に、教務機構長の判断により全学的な対応として行うことができる。ただし、証明書または説明する書面を必要とする。

第30条 代替試験の採点は100%評価とする。ただし、追試験の代替試験の評点は追試験に準ずる。

(不正行為)

第31条 試験において不正行為を行った者については、当該試験期間中の全科目を無効とし、学則にしたがってその他の適切な処分を行う。

2. 試験の他、成績評価に関わる事項で、不正行為を行った者については、当該科目で減点を行い、学則にしたがってその他の適切な処分を行う。

(成績評価の照会)

第32条 成績評価の結果に疑義のある場合には、成績発表後一定期間内に所定の手続により調査を願い出ることができる。

第4章 卒業

(卒業論文)

第33条 卒業論文を提出できる者を次のとおり定める。

(2016年度以降入学生)

卒業論文を提出できるのは、研究演習Ⅲを履修中の者あるいは同科目の単位修得者に限られる。

(2015年度以前入学生)

卒業論文を提出できるのは、研究演習Ⅱを履修中の者あるいは同科目の単位修得者に限られる。

第34条 卒業論文の提出期間と方法は、心得で定める。

(3年卒業)

第35条 本学大学院に早期に進学することを希望し、当該研究科が入学を認めた者については、教授会の承認を経て3年卒業を認める。

2. マルチプル・ディグリー制度により、他学部の第3学年度または第4学年度編入学試験に合格し編入学する者については、教授会の承認を経て3年卒業を認める。
3. 3年卒業生は第3学年度終了時に、第4学年度生が履修する研究演習及び卒業論文を除く、卒業

に必要な単位を全て修得し、かつ第3学年度終了時の平均点が80点以上なければならない。ただし、社会学研究科専門社会調査士コース進学希望者は平均78点以上とする。

4. 3年卒業生については、課題論文審査の合格をもって、第4学年度生が履修する研究演習及び卒業論文の単位として認定する。

(春学期卒業)

第36条 春学期開講科目の履修によって卒業に必要な単位数及びその他の条件を満たした者は、春学期卒業とする。

第5章 編入学生

(適用学則)

第37条 編入学生については、入学した年度にかかわらず、編入が許可された学年度（第3学年度または第4学年度）の学生に適用される学則を適用する。

(他校・他学部からの編入生の単位認定)

第38条 他校・他学部からの編入生の単位認定を次のとおり定める。

(2018年度以降入学生（2016年度以降学則適用者）)

- (1) 第3学年度編入学生が出身校で修得した科目のうち、一定の基準を満たした科目については、A群科目、B群科目またはC群科目として認定することができる。
- (2) 単位認定は64単位以内とする。
- (3) 科目等履修生として修得した単位も、64単位の範囲で認定する。
- (4) (2)にかかわらず、教職等関連科目については制限に含めない。
- (5) 編入学生が本学で開講されているポルトガル語、ロシア語、インドネシア語、イタリア語、アラビア語の単位を出身校で修得している場合には、その単位を本学部の第2外国語の単位として認定することができる。ただし、認定された単位数の合計が8単位に満たない者は、不足する当該外国語の単位数を本学において修得しなければならない。

(2017年度以前入学生（2015年度以前学則適用者）)

- (1) 第3学年度編入学生が出身校で修得した科目のうち、一定の基準を満たした科目については、A群科目、B群科目またはC群科目として認定することができる。
- (2) 単位認定は64単位以内とする。
- (3) 科目等履修生として修得した単位も、64単位の範囲で認定する。
- (4) (2)にかかわらず、教職等関連科目については制限に含めない。
- (5) 編入学生が本学で開講されているポルトガル語、ロシア語、インドネシア語、イタリア語、アラビア語の単位を出身校で修得している場合には、その単位を本学部の第2外国語の単位として認定することができる。ただし、認定された単位数の合計が8単位に満たない者は、不足する当該外国語の単位数を本学において修得しなければならない。
- (6) 編入学生については基礎演習を必修科目とせず、インターミディエイト演習を修得することにより、基礎演習を修得したとすることができる。

なお、卒業に必要なインターミディエイト演習2単位は別途修得しなければならない。

(他校・他学部からの編入生の研究演習先修条件)

第39条 他校・他学部からの編入生の研究演習先修条件を次のとおり定める。

(2018年度以降入学生（2016年度以降学則適用者）)

編入学生については、研究演習Ⅰの先修条件を次のとおりとする。

第1外国語、第2外国語のなかから4単位

上記の科目及び単位以外に、A群科目、B群科目ならびにC群科目の中から 合計30単位

総合計 34単位

なお、編入学時、既に先修条件を満たしている場合は、当該年度の秋学期に研究演習Ⅰと研究

演習Ⅱの並行履修を認める。

(2017年度以前入学生 (2015年度以前学則適用者))

編入学生については、研究演習Ⅰの先修条件を次のとおりとする。

第1 外国語、第2 外国語のなかから4単位

上記の科目及び単位以外に、A群科目、B群科目ならびにC群科目の中から 合計30単位

総合計 34単位

(マルチプル・ディグリー制度適用者の単位認定)

第40条 マルチプル・ディグリー制度で本学部第3学年度または第4学年度に編入した学生の単位認定を次のとおり定める。

(2018年度以降入学生 (2016年度以降学則適用者))

- (1) A群科目の必修科目のキリスト教科目4単位、言語教育科目12単位、演習科目の基礎演習A 2単位、基礎演習B 2単位、インターメディアイト演習2単位、フリーゾーン20単位については全て修得したものととして、42単位を認定する。
- (2) 編入前に修得した本学部開講科目に関しては個別認定する。なお、一定の基準を満たした科目については、出身学部で修得した科目を本学部科目に個別認定することができる。
- (3) 編入前に出身学部において修得した、教職等関連科目に関しては個別認定することができる。

(2017年度以前入学生 (2015年度以前学則適用者))

- (1) A群科目の必修科目のキリスト教科目4単位、言語教育科目16単位、アカデミック・プレパレーション科目の基礎演習2単位、フリーゾーン20単位については全て修得したものととして、42単位を認定する。
- (2) 編入前に修得した本学部開講科目に関しては個別認定する。なお、一定の基準を満たした科目については、出身学部で修得した科目を本学部科目に個別認定することができる。
- (3) 編入前に出身学部において修得した、教職等関連科目に関しては個別認定することができる。

(マルチプル・ディグリー制度適用者の研究演習先修条件)

第41条 マルチプル・ディグリー制度で本学部第3学年度または第4学年度に編入した学生の研究演習Ⅰについては、先修条件は設けない。

第6章 外国人留学生

(外国人留学生の言語教育科目)

第42条 外国人留学生の言語教育科目の履修を次のとおり定める。

(2016年度以降入学生)

- (1) 第1 外国語を英語とし、4単位を修得しなければならない。
- (2) 第2 外国語を日本語とし、8単位を修得しなければならない。

(2015年度入学生)

- (1) 第1 外国語を日本語とし、8単位を修得しなければならない。
- (2) 第2 外国語として英語、フランス語、ドイツ語、中国語、朝鮮語、スペイン語のうちの1カ国語8単位を修得するものとする。ただし、母語を選択することはできない。なお、母語が英語でない限りは、原則として、第2 外国語は英語を選択するものとする。

(2013年度～2014年度入学生)

- (1) 第1 外国語を日本語とし、8単位を修得しなければならない。なお、入学前に受験した「日本留学試験(日本語)」の点数(400点満点)が310点以上、または「日本語能力試験(N1)」の点数(180点満点)が150点以上、及び本学実施の日本語プレースメントテストの点数(100点満点)が85点以上であることをもって、言語教育科目の日本語Ⅰ2単位及

び日本語Ⅱ 2単位の計 4 単位を認定することができる。この場合、第 1 学年度より日本語Ⅲ 2 単位及び日本語Ⅳ 2 単位の履修を認めることとする。

- (2) 第 2 外国語として英語、フランス語、ドイツ語、中国語、朝鮮語、スペイン語のうちの 1 カ国語 8 単位を修得するものとする。ただし、母語を選択することはできない。なお、母語が英語でない限りは、原則として、第 2 外国語は英語を選択するものとする。

(2012年度以前入学生)

- (1) 第 1 外国語を日本語とし、8 単位を修得しなければならない。なお、入学前に受験した「日本留学試験」の日本語または 2009 年度以前の「日本語能力試験」の 1 級、及び本学実施の日本語プレースメントテストの点数をもって、言語教育科目の日本語Ⅰ 2 単位及び日本語Ⅱ 2 単位の計 4 単位を認定することができる。この場合、第 1 学年度より日本語Ⅲ 2 単位及び日本語Ⅳ 2 単位の履修を認めることとする。

また、2010 年度以降に実施された日本語能力試験の N1 に合格している者については、N1 試験結果及び本学実施の日本語プレースメントテストの結果に基づき総合的に判定し、第 1 学年度より日本語Ⅲ 2 単位及び日本語Ⅳ 2 単位の履修を認めることとする。

- (2) 第 2 外国語として英語、フランス語、ドイツ語、中国語、朝鮮語、スペイン語のうちの 1 カ国語 8 単位を修得するものとする。ただし、母語を選択することはできない。なお、母語が英語でない限りは、原則として、第 2 外国語は英語を選択するものとする。

(外国人留学生の先修条件)

第 43 条 外国人留学生の先修条件を次のとおり定める。

(2016年度以降入学生)

日本語Ⅰを修得しなければ日本語Ⅱを、日本語Ⅱを修得しなければ日本語Ⅲを、日本語Ⅲを修得しなければ日本語Ⅳを履修することができない。

(2015年度入学生)

- (1) 日本語Ⅰを修得しなければ日本語Ⅱを、日本語Ⅱを修得しなければ日本語Ⅲを、日本語Ⅲを修得しなければ日本語Ⅳを履修することができない。

- (2) 基礎英語Ⅰ甲Aと基礎英語Ⅰ甲Bの単位を修得しなければ基礎英語Ⅱ甲A及び基礎英語Ⅱ甲Bを、また基礎英語Ⅰ乙Aと基礎英語Ⅰ乙Bの単位を修得しなければ基礎英語Ⅱ乙A及び基礎英語Ⅱ乙Bを履修することができない。

- (3) 第 23 条（2015 年度以前入学生）の g にかかわらず、研究演習Ⅰの先修条件に限り、第 1 外国語（日本語）必要単位数のうち 4 単位までを、日本語文章表現演習 A（2 単位）・日本語文章表現演習 B（2 単位）の単位であてることができる。ただし、言語教育科目の卒業必要単位数としては、第 1 外国語（日本語）を 8 単位修得しなければならない。

(2014年度以前入学生)

- (1) 日本語Ⅰを修得しなければ日本語Ⅱを、日本語Ⅱを修得しなければ日本語Ⅲを、日本語Ⅲを修得しなければ日本語Ⅳを履修することができない。

- (2) 基礎英語Ⅰ甲Aと基礎英語Ⅰ甲Bの単位を修得しなければ基礎英語Ⅱ甲A及び基礎英語Ⅱ甲Bを、また基礎英語Ⅰ乙Aと基礎英語Ⅰ乙Bの単位を修得しなければ基礎英語Ⅱ乙A及び基礎英語Ⅱ乙Bを履修することができない。

- (3) 第 23 条（2015 年度以前入学生）の g にかかわらず、研究演習Ⅰの先修条件に限り、第 1 外国語（日本語）必要単位数のうち 4 単位までを、日本語文章表現演習 A（2 単位）・日本語文章表現演習 B（2 単位）の単位であてることができる。ただし、言語教育科目の卒業必要単位数としては、第 42 条（2013 年度～2014 年度入学生）の（1）または第 42 条（2012 年度以前入学生）の（1）の定めるとおり、第 1 外国語（日本語）を 8 単位修得しなければならない。

第7章 再入学生

第44条 再入学生には、再入学が許可された学年度生に適用される学則が適用される。

第8章 聴講生・科目等履修生

(聴講生)

第45条 本学部の特定の科目について聴講を希望する者がある場合、教授会の承認を経て聴講生として許可することができる。

2. 聴講生の出願及び選考に関する事項は別に定める。
3. 検定料・受講料は別に定める。
4. 聴講生に聴講を許可する科目は別に定める。
5. 聴講生がその聴講した科目の試験を受け、合格した場合は証明書を発行することができる。ただし、単位の修得は認めない。

(科目等履修生)

第46条 本学部の特定の科目を履修し、単位の修得を希望する者がある場合、教授会の承認を経て科目等履修生として許可することができる。

2. 科目等履修生の出願及び選考に関する事項は別に定める。
3. 検定料・受講料は別に定める。
4. 科目等履修生に履修を許可する科目は別に定める。
5. 科目等履修生がその履修した科目の試験を受け、合格した場合は単位を与える。

(内規の改廃)

第47条 この内規の改廃は、カリキュラム検討委員会の議を経て教授会で決定する。

附 則

この内規は2016年4月1日から施行する。

この内規は2017年4月1日から改正施行する。

この内規は2018年4月1日から改正施行する。

この内規は2019年4月1日から改正施行する。

この内規は2020年4月1日から改正施行する。

Ⅲ. 社会学部編

2. カリキュラム

2. カリキュラム

教育課程表

カリキュラムは、「大学学則」および「社会学部内規」に基づき、教育課程表（139～161頁を参照）としてまとめられています。原則として、入学時に施行されている規則が卒業するまで適用されます。

セメスター制

セメスター制とは、4月1日より9月19日までを春学期、9月20日より3月31日までを秋学期とし、春学期科目・秋学期科目は各学期で完結、通年科目は1年間を通じて行われ、2学期で完結する授業スケジュールです。なお、定期試験はそれぞれの学期末に行われます。通年科目は、秋学期末に定期試験が行われますが、春学期末に中間試験を行う科目もありますので、掲示等に注意してください。

科目ナンバリング

ナンバリングとは、科目を履修する順序をガイドするとともに、授業内容のレベルを示す目安のことで、社会学部では、100番台を入門・基礎的な科目としています。200番台は、社会学の標準的な科目です。一部の科目を除き、200番台の科目も第1学年度から履修することができます。300番台は、200番台の学びを前提とした特定分野・テーマに関する応用的な科目です。300番台の科目は、第2学年度から履修することができます。400番台は、学生が自ら研究する科目であり、具体的には、「研究演習Ⅲ」、「卒業論文」です。

2.1 2016年度以降入学生

2.1.1 科目の構成と卒業に必要な単位数

A群科目 (必修科目) 44単位以上	キリスト教科目	4 単位以上		フリーゾーン 20単位以上 (※ 2)	卒業必要単位数 124単位以上 (※ 3)	
	言語教育科目 (必修)	12単位以上				
	入門科目	8 単位以上				
	演習科目	20単位以上				
B群科目 (選択必修科目) 60単位以上	リサーチ・メソッド科目	6 単位以上	B群科目その他 24単位以上 (※ 1)	フリーゾーン 20単位以上 (※ 2)	卒業必要単位数 124単位以上 (※ 3)	
	専攻分野科目	30単位以上				
	他専攻分野科目					
C群科目 (自由選択科目)	言語教育科目 (選択)			フリーゾーン 20単位以上 (※ 2)	卒業必要単位数 124単位以上 (※ 3)	
	全学 科目	言語教育科目 (選択)				
		スポーツ科学・健康科学科目				
		情報科学科目				
		AI 活用人材育成科目				
		グローバル・スタディーズ科目				
		ライフデザイン科目				
	基盤・学際科目	基盤科目群				
学際科目群						
教職教科等関連科目			フリーゾーン 20単位以上 (※ 2)	卒業必要単位数 124単位以上 (※ 3)		

(※ 1) 「B群科目その他」24単位以上：「リサーチ・メソッド科目」および「専攻分野科目」のうち「卒業に必要な単位」を超過した科目、「他専攻分野科目」

(※ 2) 「フリーゾーン」20単位以上：「A群科目」および「B群科目その他」のうち「卒業に必要な単位」を超過した科目、「C群科目」、「他学部の科目」

(※ 3) 卒業に必要な単位数に算入されない科目：社会学部内規第20条（48～49頁参照）

(1) A群科目 (必修科目)

必修科目であり、授業出席要件などが厳しく設定されています。第1学年度春学期からしっかりと単位修得していくことが強く求められます。キリスト教科目、言語教育科目、入門科目、演習科目から構成されます。

■入門科目

A群科目において、社会学と社会調査の基礎知識を学ぶための科目です。定期試験で成績評価されますので、教科書とノートを用い、毎回の授業をしっかりと復習する習慣をつけ、試験前にも十分な準備が必要となります。

■演習科目

演習科目は、A群科目（必修科目）であり、基礎演習A・B、インターミディエイト演習、研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、卒業論文からなります。

基礎演習A・B

これから大学で学習・研究をはじめ始める皆さんのために、大学での学びがどのようなものであるのかを理解してもらう科目です。基礎演習Aではレポートの書き方を中心に、基礎演習Bではプレゼンテーションを中心に学びます。この科目が不合格となり、再履修することになると、第2学年度以降の学びに大きな影響を及ぼしますので、第1学年度で修得することが強く求められる科目です。

インターミディエイト演習

基礎演習と研究演習をつなぐ科目であり、具体的なテーマに沿って自分で文献を調べ、発表できる力を養います。不合格となり、再履修となると、第2学年度秋学期以降の学びに大きな影響を及ぼしますので、第2学年度春学期に修得することが強く求められる科目です。

研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

研究演習は、第2学年度春学期に選考を行い、秋学期から始まります。研究演習は、第2学年度秋学期以降、学びの中心に位置づけられます。研究演習Ⅰは第2学年度の秋学期に2単位、研究演習Ⅱ（第3学年度）および研究演習Ⅲ（第4学年度）は、それぞれ通年で4単位の科目です。第2学年度春学期終了時に研究演習Ⅰの先修条件（89頁参照）を満たせない場合は、卒業が1年以上遅れることとなります。

卒業論文（通年科目）

社会学部では卒業論文がA群科目（必修科目）となっています。卒業論文は、時間割上に存在する曜日時限（コマ）があるわけではありませんが、研究演習を通じて完成させ、原則として、卒業する学期に提出する必要があります。

(2) B群科目（選択必修科目）

リサーチ・メソッド科目、専攻分野科目、他専攻分野科目から構成されます。研究演習が決定する以前（第1学年度春学期から第2学年度春学期までの3セメスター）は、ナンバリングを参考にしながら、自らの興味関心に従って履修してください。研究演習決定後は、研究演習担当教員や専攻分野の履修指導に従い、履修してください。他専攻分野科目は、研究演習決定後、各専攻分野の教育課程表（142～155頁参照）において、規定されます。

■リサーチ・メソッド科目

B群科目において、特に研究方法を学ぶための科目です。社会調査入門A・Bに続く科目として、質的調査法、データ分析（入門）、データ分析（基礎）、データ分析（応用）があります。なお、量的調査に関する科目は、データ分析（入門）、データ分析（基礎）、データ分析（応用）の順序で履修することが望まれます。専攻分野決定後、研究演習担当教員から履修指導を受け、例えば以下のような科目を履修していくことが望まれます（※を付した科目は、教育課程表上、履修が強く望まれる）。

- ・現代社会学専攻分野：データ分析（入門）、データ分析（基礎）、質的調査法
- ・データ社会学専攻分野：データ分析（入門）、データ分析（基礎）、データ分析（応用）*
- ・フィールド社会学専攻分野：質的調査法、フィールドワークの技法A（インタビュー）*、フィールドワークの技法A（参与観察）*、フィールドワークの技法A（資料収集）*、ディスコース研究法*
- ・フィールド文化学専攻分野：質的調査法、フィールドワークの技法B*、ディスコース研究法*
- ・メディア・コミュニケーション学専攻分野：メディア・コミュニケーション学研究法*、ディスコース研究法
- ・社会心理学専攻分野：心理調査法*、基礎心理統計*、応用心理統計*

■実習科目（通年科目）

研究演習Ⅱ・Ⅲには、担当教員によって、実習科目（社会学実習、社会調査実習、実験実習のいずれか）が併設される場合があります。その場合は、研究演習担当教員の実習科目を履修しなければなりません。言い換えると、研究演習担当教員の実習科目は、その研究演習に所属する者以外は履修することはできません。

なお、担当教員が社会調査実習を併設しない研究演習に所属する者で、社会調査士の資格取得を目指す場合は、研究演習に併設されない独立した科目としての社会調査実習を履修することができます。

（3）C群科目（自由選択科目）

一部科目を除き、各センターが提供する科目です。社会学部を卒業するために、必ず修得しなければならない科目ではありません。基本的に、A群科目、B群科目の履修を優先しながら、自らの関心に応じて、履修してください。

2.1.2 専攻分野

専攻分野は、現代社会学、データ社会学、フィールド社会学、フィールド文化学、メディア・コミュニケーション学、社会心理学の6つからなります。

専攻分野は、所属が決定した研究演習がどの専攻分野におかれているかによって決定します。例えば、所属が決定した研究演習がデータ社会学専攻分野であれば、あなたの専攻分野はデータ社会学となります。研究演習を選択志望する際は、このことをよく理解した上で、選択してください。専攻分野が異なれば、第2学年度秋学期以降の教育課程表（142～155頁を参照）が異なります。卒業要件に必要な単位数の計算方法に関わりますので注意してください。なお、各専攻分野に関する説明は以下のとおりです。各自、よく読んでおいてください。

現代社会学専攻分野

幅広い文献を題材としたディスカッションや、現代人の直面する諸課題に関する個人・グループ研究を通じて、自己の日常的経験を社会のなかで捉える「社会学的想像力」と、そこから現代社会とその変容をトータルに理解するというパースペクティブ（視点）を養う。家族、コミュニティ、都市、企業組織、メディア、科学技術、医療、文化、市民社会、グローバル化など、さまざまな対象や問題がテーマになる。

データ社会学専攻分野

質問紙調査や統計的手法を特に重視して、社会全体のあり方を洞察する高い分析能力を育成する。代表的な研究テーマとしては社会階層（不平等、貧困、格差）、社会的ネットワーク（絆、つながり、コミュニティ）、社会意識（環境コンシャス、ナショナリズム、職業観）などがあり、社会調査の方法論（サンプリング、質問紙作成など）を身につける。また、数理的手法を用いた理論的研究（正義、秩序、権力など）も取り扱う。

フィールド社会学専攻分野

インタビューや参与観察などによる現地調査を重視し、社会のさまざまな「現場（フィールド）」から得られたデータを分析することで、人と人の関係、人と集団との関係、集団と集団との関係をどのように捉えるか、ということ学ぶ。代表的な研究テーマとしては日常生活に密接に関わりのある、家族、ジェンダー、福祉、共生、差別、犯罪、医療、環境、教育、伝統、文化、観光、コミュニティ、ボランティア、身体、ファッションなど。

フィールド文化学専攻分野

民俗学、文化人類学、比較文学・文化論、音楽文化研究、美学、言語学などを学問的基盤とし、文化現象をそれ自体として、その固有性・独自性の視点から明らかにすることを学ぶ。文化が実践される「現場」へのフィールドワークを特に重視し、日本国内はもとより世界各地に視野を広げる。代表的な研究テーマは、祭り・神と妖怪・物語・衣・食・住といった民俗、音楽や映画やパフォーマンスなどの表現文化、ファンや趣味集団が作る文化、世界遺産と無形文化遺産、言語・文学・宗教・思想の比較研究など。

メディア・コミュニケーション学専攻分野

新聞、テレビ、ラジオ、インターネットなど具体的な媒体やプラットフォームの特性を理解するとともに、それらを利用する人々の生活環境、態度や世論形成のメカニズム、政策決定過程に見られる権力構造やイノベーション（技術革新）を背景とした産業構造を含む社会関係全体を理論的かつ実証的に研究する。また、言語をはじめ、さまざまな意匠（デザイン）を含む人間のシンボル体系を理解し、コミュニケーションのメカニズムを解明する。

社会心理学専攻分野

人の思考、感情、行為などが自分とは異なる他者との関わりの中で、どのように生み出され、それがお互いにどのように関わっているのか（相互作用、影響力など）を、質問紙調査や実験を通じて明らかにしていく。自己と他者、対人認知（偏見やステレオタイプ）、態度変容（人やモノに対する好き嫌い）、ネットワークや集団の中での自分の振る舞いなどを具体的に取り上げながら、科学的に考察する。

■専攻分野別 研究演習担当教員一覧 (50音順)

専攻分野	教員名
現代社会学	大谷 信介
	荻野 昌弘
	奥村 隆
	鈴木 謙介
	高原 基彰
	立石 裕二
	田中 耕一
	寺沢 拓敬
	野瀬 正治
	宮原 浩二郎
	村田 泰子
	横田 伸子
データ社会学	石田 淳
	金 明秀
	中野 康人
	長松 奈美江
	渡邊 勉
フィールド社会学	赤江 達也
	今井 信雄
	大岡 栄美
	金菱 清
	貴戸 理恵
	倉島 哲
	佐藤 哲彦
	関 嘉寛
三浦 耕吉郎	
フィールド文化学	内田 充美
	打樋 啓史
	カバリ ヴィヴィアン
	桑山 敬己
	島村 恭則
	鈴木 慎一郎
	鳥羽 美鈴
	西村 正男
	ヘネディクト T.
	松宮 園子
	李 建志
リーターバッハ H.	
メディア・コミュニケーション学	阿部 潔
	岩淵 功一
	難波 功士
	ハード ガブリエレ
	森 康俊
社会心理学	稲増 一憲
	清水 裕士
	野波 寛
	森 久美子
	吉田 寿夫

※上表に教員名が記載されていても、研究演習を開講しない場合があります。

(2020年4月1日現在)

2.1.3 履修モデル

◎「履修モデル」は、あくまでも履修計画を立てるうえでの一例です。実際にどの科目を履修するかは、各自で選択してください。

■研究演習 I 所属前の履修モデル

		1 年次春学期～2 年次春学期			
		単位	単位		
A 群科目 (必修科目)	キリスト教科目	キリスト教学A キリスト教学B	2 2		
	言語教育科目 (必修)	English Communication A English Communication B English Communication C English Communication D 第2外国語 (フランス語・ドイツ語・中国語・ 朝鮮語・スペイン語より選択)	1 1 1 1 4	第2外国語 2 (フランス語・ドイツ語・中国語・ 朝鮮語・スペイン語より選択)	
	入門科目	社会学入門A 社会学入門B 社会調査入門A 社会調査入門B	2 2 2 2		
	演習科目	基礎演習A 基礎演習B	2 2	インターメディアイト演習 2	
	リサーチ・ メソッド科目	データ分析 (入門) データ分析 (基礎)	2 2	質的調査法 2 心理調査法 2	
B 群科目 (選択必修科目)	専攻分野科目	社会学原論A	2	文化人類学A	2
		社会学原論B	2	現代民俗学A	2
		社会学史A	2	異文化コミュニケーション論	2
		社会学史B	2	コミュニケーション論	2
		社会思想史A	2	マス・コミュニケーション論	2
		社会思想史B	2	カルチュラル・スタディーズ	2
		教育社会学	2	ポピュラー・カルチャー論	2
		現代社会論A	2	メディア・リテラシーA	2
		現代社会論B	2	メディア・リテラシーB	2
		計量社会学	2	社会心理学A	2
		人権・差別問題論A	2	社会心理学B	2
		人権・差別問題論B	2	心理学入門	2

○群科目 (自由選択科目)、教職等関連科目は必要に応じて履修してください。

2016年度以降入学生
2.カリキュラム

■現代社会学専攻分野 履修モデル

		2年次秋学期		3年次		4年次	
		単位		単位		単位	
A群科目 (必修科目)	キリスト教科目						
	言語教育科目 (必修)	第2外国語 2 (フランス語・ドイツ語・中国語・ 朝鮮語・スペイン語より選択)					
	入門科目						
	演習科目	研究演習 I	2	研究演習 II	4	研究演習 III 卒業論文	4 4
B群科目 (選択必修科目)	リサーチ・ メソッド科目	※研究演習 I 所属前の履修モデルに記載の科目を履修してください(質的調査法、データ分析(基礎)など)。					
	専攻分野科目	家族社会学 A	2	現代社会と健康・医療 B	2	現代社会学特論 A	2
		宗教社会学 B	2	比較社会論 A	2	現代社会学特論 B	2
		文化社会学 A	2	国際社会学	2	現代社会学特論 C	2
	政治社会学 B	2	産業社会学	2	現代社会学特論 D	2	
	都市社会学 A	2	労使関係の社会学	2	社会学実習	2	
	リスクの社会学	2	情報社会学	2	社会調査実習	2	
		※他にも専攻分野科目がありますので、自らの興味関心に従って履修してください。					
	他専攻分野科目	自らの興味関心に従って履修してください。					
C群科目(自由選択科目)、教職等関連科目は必要に応じて履修してください。							

■データ社会学専攻分野 履修モデル

		2年次秋学期		3年次		4年次	
		単位		単位		単位	
A群科目 (必修科目)	キリスト教科目						
	言語教育科目 (必修)	第2外国語 2 (フランス語・ドイツ語・中国語・ 朝鮮語・スペイン語より選択)					
	入門科目						
	演習科目	研究演習 I	2	研究演習 II	4	研究演習 III 卒業論文	4 4
B群科目 (選択必修科目)	リサーチ・ メソッド科目	※本学期までに、研究演習 I 所属 前の履修モデルに記載の科目を 履修してください。		データ分析(応用)		2	
	専攻分野科目	家族社会学 A	2	ソーシャル・ネットワーク論	2		
		家族社会学 B	2	世論研究	2		
		仕事の社会学	2	データ社会学特論 A	2		
	数理社会学	2	データ社会学特論 B	2			
	社会意識論	2	社会調査実習	2			
	格差の社会学	2					
		※他にも専攻分野科目がありますので、自らの興味関心に従って履修してください。					
	他専攻分野科目	自らの興味関心に従って履修してください。					
C群科目(自由選択科目)、教職等関連科目は必要に応じて履修してください。							

■フィールド社会学専攻分野 履修モデル

		2年次秋学期		3年次		4年次	
		単位		単位		単位	
A群科目 (必修科目)	キリスト教科目						
	言語教育科目 (必修)	第2外国語 2 (フランス語・ドイツ語・中国語・ 朝鮮語・スペイン語より選択)					
	入門科目						
	演習科目	研究演習 I	2	研究演習 II	4	研究演習 III 卒業論文	4 4
B群科目 (選択必修科目)	リサーチ・ メソッド科目	フィールドワークの技法A(インタビュー) 2 ※研究演習 I 所属前の履修モデル に記載の科目を履修してください (質的調査法など)。		ディスコース研究法 2			
	専攻分野科目	宗教社会学 A	2	ソーシャル・キャピタル論	2	記憶の社会学	2
		宗教社会学 B	2	社会問題論	2	文化資源の社会学	2
		村落社会学	2	医療社会学	2	NPO/NGO の社会学	2
環境社会学 A		2	身体技法論	2	ボランティアの社会学	2	
スポーツ社会学		2	現代若者・子ども論	2	社会学実習	2	
ソーシャル・ネットワーク論		2	景観の社会学	2	社会調査実習	2	
※他にも専攻分野科目がありますので、自らの興味関心に従って履修してください。							
他専攻分野科目	自らの興味関心に従って履修してください。						
C群科目 (自由選択科目)、教職等関連科目は必要に応じて履修してください。							

■フィールド文化学専攻分野 履修モデル

		2年次秋学期		3年次		4年次	
		単位		単位		単位	
A群科目 (必修科目)	キリスト教科目						
	言語教育科目 (必修)	第2外国語 2 (フランス語・ドイツ語・中国語・ 朝鮮語・スペイン語より選択)					
	入門科目						
	演習科目	研究演習 I	2	研究演習 II	4	研究演習 III 卒業論文	4 4
B群科目 (選択必修科目)	リサーチ・ メソッド科目	フィールドワークの技法B	2	ディスコース研究法	2		
	専攻分野科目	文化人類学B	2	複数文化研究	2	表象文化論C	2
		現代民俗学B	2	食文化論	2	フィールド文化学特論A	2
		社会言語学A	2	ツーリズム文化論	2	フィールド文化学特論B	2
		社会言語学B	2	ミュージアム文化論	2	フィールド文化学特論C	2
		キリスト教と文化	2	パフォーマンス文化論	2	フィールド文化学特論D	2
		グローバル世界のキリスト教	2	ポピュラー音楽論	2	フィールド文化学特論E	2
		文化解釈学	2	ファッション文化論	2	社会学実習	2
		比較文化学	2	表象文化論A	2	社会調査実習	2
		視覚文化研究	2	表象文化論B	2		
※他にも専攻分野科目がありますので、自らの興味関心に従って履修してください。							
他専攻分野科目	自らの興味関心に従って履修してください。						
C群科目 (自由選択科目)、教職等関連科目は必要に応じて履修してください。							

2016年度以降入学生
2.カリキュラム

■メディア・コミュニケーション学専攻分野 履修モデル

	2年次秋学期		3年次		4年次		
		単位		単位		単位	
A群科目 (必修科目)	キリスト教科目						
	言語教育科目 (必修)	第2外国語 (フランス語・ドイツ語・中国語・ 朝鮮語・スペイン語より選択)	2				
	入門科目						
	演習科目	研究演習Ⅰ	2	研究演習Ⅱ	4	研究演習Ⅲ 卒業論文 4	
B群科目 (選択必修科目)	リサーチ・ メソッド科目	メディア・コミュニケーション学研究法	2	ディスコース研究法	2		
	専攻分野科目	リスクの社会学	2	メディア文化論	2	メディア社会心理学	2
		スポーツ社会学	2	メディア産業論	2	社会学実習	2
ソーシャル・ネットワーク論		2	公共圏とメディア	2			
視覚文化研究		2	広告文化論	2			
ジャーナリズム論		2	パブリック・リレーションズ	2			
情報メディア史		2	世論研究	2			
	※他にも専攻分野科目がありますので、自らの興味関心に従って履修してください。						
他専攻分野科目	自らの興味関心に従って履修してください。						
C群科目(自由選択科目)、教職等関連科目は必要に応じて履修してください。							

■社会心理学専攻分野 履修モデル

	2年次秋学期		3年次		4年次		
		単位		単位		単位	
A群科目 (必修科目)	キリスト教科目						
	言語教育科目 (必修)	第2外国語 (フランス語・ドイツ語・中国語・ 朝鮮語・スペイン語より選択)	2				
	入門科目						
	演習科目	研究演習Ⅰ	2	研究演習Ⅱ	4	研究演習Ⅲ 卒業論文 4	
B群科目 (選択必修科目)	リサーチ・ メソッド科目	基礎心理統計	2	応用心理統計	2		
	専攻分野科目	社会意識論	2	メディア社会心理学	2	社会心理学特論E	2
		グループ・ダイナミクス	2	臨床社会心理学	2	基礎心理学実験	2
意思決定の心理学		2	社会心理学特論A	2	社会心理学実験	2	
ゲーミング社会心理学		2	社会心理学特論B	2	社会調査実習	2	
環境社会心理学		2	社会心理学特論C	2	実験実習	2	
世論研究		2	社会心理学特論D	2			
	※他にも専攻分野科目がありますので、自らの興味関心に従って履修してください。						
他専攻分野科目	自らの興味関心に従って履修してください。						
C群科目(自由選択科目)、教職等関連科目は必要に応じて履修してください。							

2.1.4 移行措置

2020年度からの学則改正に伴い、旧科目の一部が新しい科目名で開講されるため、2016年度以降入学生は、履修に関して、読み替え等の移行措置を受けることになります。

誤りのない履修登録を行うために、よく確認してください。

科目の履修については、教育課程表（139～155頁）を十分に参照してください。

(1) 読替科目

読み替えをする科目は下表のとおりです。旧科目の履修登録を行う場合は、新科目で履修登録を行ってください。

旧科目名	新科目名	備 考
社会階層論	格差の社会学	2020年度より読替

(2) 新設科目

2020年度からの学則改正に伴い、2020年度以降開講される新設科目のうち、2016年度以降入学生が履修することができる科目は下表のとおりです。なお、これらの科目は、教育課程表（139～155頁）において、下表の備考で指定されている場所に、卒業に必要な単位として算入されます。

科 目 名	備 考
データ社会学への招待	「B群科目 専攻分野科目 [※] 」に追加
フィールドワークの技法A（インタビュー）	「B群科目 リサーチ・メソッド科目」に追加
フィールドワークの技法A（参与観察）	「B群科目 リサーチ・メソッド科目」に追加
フィールドワークの技法A（資料収集）	「B群科目 リサーチ・メソッド科目」に追加
死生学と宗教	「B群科目 専攻分野科目 [※] 」に追加
文化遺産論	「B群科目 専攻分野科目 [※] 」に追加
フィールド文化学特論E	「B群科目 専攻分野科目 [※] 」に追加
社会心理学特論E	「B群科目 専攻分野科目 [※] 」に追加
海外社会調査A	「B群科目 専攻分野科目」に追加
海外社会調査B	「B群科目 専攻分野科目」に追加
English Communication Advanced A	「C群科目 言語教育科目（選択）」に追加
English Communication Advanced B	「C群科目 言語教育科目（選択）」に追加
English Communication Advanced C	「C群科目 言語教育科目（選択）」に追加
English Communication Advanced D	「C群科目 言語教育科目（選択）」に追加
Practical English A	「C群科目 言語教育科目（選択）」に追加
Practical English B	「C群科目 言語教育科目（選択）」に追加
Practical English C	「C群科目 言語教育科目（選択）」に追加
Practical English D	「C群科目 言語教育科目（選択）」に追加
English Skills A	「C群科目 言語教育科目（選択）」に追加
English Skills B	「C群科目 言語教育科目（選択）」に追加
English Skills C	「C群科目 言語教育科目（選択）」に追加
English Skills D	「C群科目 言語教育科目（選択）」に追加

※所属する専攻分野によって「他専攻分野科目」となる場合があるので、詳細は教育課程表を確認すること。

(3) 廃止科目

2020年度からの学則改正に伴い、2020年度以降廃止となる科目があります。「廃止科目一覧」は下表のとおりです。

科 目 名（2020年度以降廃止）			
フィールドワークの技法A	English Communication E	English Communication F	English Communication G
English Communication H			

2.2 2015年度以前入学生

2.2.1 科目の構成と卒業に必要な単位数

A群科目 (必修科目) 40単位以上	キリスト教科目	4 単位以上	フリーゾーン	卒業必要単位数	
	言語教育科目 (必修)	16単位以上			
	アカデミック・プレパレーション科目	6 単位以上			
	インターミディエイト・スタディーズ科目	2 単位以上			
	アドバンスト・リサーチ科目	12単位以上			
B群科目 (選択必修科目) 64単位以上	リサーチ・講読科目	4 単位以上	20単位以上 (※ 2)	124単位以上 (※ 3)	
	系・領域科目	60単位以上			
C群科目 (自由選択科目)	言語教育科目 (選択)				
	スポーツ科学・健康科学科目				
	情報科学科目				
	AI 活用人材育成科目				
	グローバル・スタディーズ科目 (※ 1)				
	ライフデザイン科目 (※ 1)				
	基盤・学際科目 (※ 1)	基盤科目群			
		学際科目群			
教職教科等関連科目					

(※ 1) 「グローバル・スタディーズ科目」、「ライフデザイン科目」、「基盤・学際科目」：2012年度以前入学生は「学際・連携科目」。

(※ 2) 「フリーゾーン」20単位以上：「A群科目」および「B群科目」のうち「卒業に必要な単位」を超過した科目、「C群科目」、「他学部の科目」

(※ 3) 卒業に必要な単位数に算入されない科目：社会学部内規第20条（48～49頁参照）

(1) A群科目 (必修科目)

キリスト教科目、言語教育科目 (必修)、アカデミック・プレパレーション科目、インターミディエイト・スタディーズ科目、アドバンスト・リサーチ科目からなっています。

研究演習Ⅰ・Ⅱは第3・4学年度生の必修科目です。**第2学年度終了時に研究演習Ⅰの先修条件 (89頁参照) を満たせない場合は、卒業が1年以上遅れることになります。**

(2) B群科目 (選択必修科目)

リサーチ・講読科目と系・領域科目からなります。系・領域科目は、3系7領域の広がりを持ち、卒業するためには、60単位以上の単位を修得しなければならない科目群です。このB群科目はインターミディエイト演習や、研究演習と関係づけながら、履修してください。

研究演習Ⅰ・Ⅱには、担当教員によって実習科目（社会学実習Ⅰ・Ⅱ、社会調査実習Ⅰ・Ⅱ、実験実習Ⅰ・Ⅱのいずれか）が併設される場合があります。その場合は、研究演習担当教員の実習科目を履修しなければなりません。言い換えると、研究演習担当教員の実習科目は、その研究演習に所属する者以外は履修することはできません。

なお、担当教員が社会調査実習Ⅰを併設しない研究演習Ⅰに所属する者で、社会調査士の資格取得を目指す場合は、研究演習Ⅰに併設されない独立した科目としての社会調査実習Ⅰを履修することができます。

（3） C群科目（自由選択科目）

一部科目を除き、各センターが提供する科目です。社会学部を卒業するために、必ず修得しなければならない科目ではありません。基本的に、A群科目、B群科目の履修を優先しながら、自らの関心に応じて、履修してください。

2.2.2 履修モデル

○「履修モデル」は、あくまでも履修計画を立てるうえでの一例です。実際にどの科目を履修するかは、各自で選択してください。

■メディア領域と社会心理領域を中心とした場合

		1年次		2年次		3年次	4年次		
A 群 科 目 (必修科目)	キリスト教科目	キリスト教 A	キリスト教 B						
	言語教育科目 (必修)	英語 A① 英語表現 A① フランス語 I	英語 B① 英語表現 B① フランス語 II	英語 C① 英語表現 C① フランス語 III a① フランス語 III b①	英語 D① 英語表現 D① フランス語 IV a① フランス語 IV b①				
	アカデミック・プレパレーション科目	基礎演習 社会学リレー講義 A 社会学リレー講義 B							
	インターメディアエイト・スタディーズ科目			インターメディアエイト演習					
	アドバンスト・リサーチ科目					研究演習 I ④	研究演習 II ④ 卒業論文④		
B 群 科 目 (選択必修科目)	系	領域	テーマ						
	メディア・表象系	メディア	情報	情報社会学					
			インターネット		インターネットの社会学	電子コミュニティ論			
		社会表象	マス・コミュニケーション	マス・コミュニケーション論 A	マス・コミュニケーション論 B				
			公共性		公共性の社会学	パブリック・リレーションズ	ジャーナリズム論		
			表象理論	カルチュラル・スタディーズ					
			文化資源・記憶						
		グローバル社会	グローバル化				グローバル化の社会学		
			多文化・共生						
			環境	環境社会学 A	環境問題の社会学	環境社会学 B	科学・技術の社会学		
			コミュニティ・都市				都市社会学 A		
	社会理論				社会学原論 A	社会学史 A			
	現代社会学		現代社会学	現代社会学論	社会学運動論		社会調査実習 I	社会調査実習 II + α	
	社会・共生系	現代社会学	現代文化						
			コミュニケーション・自己	コミュニケーション論 A					
		ソーシャル・ネットワーク	ネットワーク化				ソーシャル・ネットワーク論		
			NPO/NGO			NPO/NGOの社会学			
		人間・心理系	臨床社会	企業・組織					
				仕事					
			社会心理	家族					
教育									
社会問題				社会問題論					
福祉・宗教									
社会心理	ソーシャル・サポート								
	集団・社会			環境社会心理学	グループ・ダイナミクス				
	個人・パーソナリティ	社会心理学 A		社会心理学 B	意思決定の心理学				
	心理学実験								

2015年度以前入学生
2.カリキュラム

■グローバル社会領域とソーシャル・ネットワーク領域を中心とした場合

		1年次		2年次		3年次	4年次		
A 群 科 目 (必修科目)	キリスト教科目	キリスト教 A	キリスト教 B						
	言語教育科目 (必修)	英語 A① 英語表現 A① 中国語 I	英語 B① 英語表現 B① 中国語 II	英語 C① 英語表現 C① 中国語 III	英語 D① 英語表現 D① 中国語 IV				
	アカデミック・プレパレーション科目	基礎演習 社会学リレー講義 A 社会学リレー講義 B							
	インターメディアエイト・スタディーズ科目			インターメディアエイト演習					
	アドバンスト・リサーチ科目					研究演習 I ④	研究演習 II ④ 卒業論文④		
B 群 科 目 (選択必修科目)	系	領域	テーマ						
	メディア・表象系	メディア	情報				メディア特論 A		
			インターネット						
		社会表象	マス・コミュニケーション				現代広告論		
			公共性						
			表象理論						
			文化資源・記憶						
		グローバル社会	ポピュラー・カルチャー	ポピュラー・カルチャー論					
			身体文化						
			グローバル化	グローバル化の社会学					
			多文化・共生	異文化コミュニケーション					
	環境		環境社会学 A	環境問題の社会学					
	コミュニティ・都市		コミュニティ論						
	社会・共生系	現代社会学	社会学理論		社会学原論 A	社会学原論 B			
			現代社会学	現代社会学論					
		ソーシャル・ネットワーク	現代文化		観光社会学				
			コミュニケーション・自己						
		臨床社会	ネットワーク化		ソーシャル・ネットワーク論	ソーシャル・キャピタル論			
			NPO/NGO			NPO/NGOの社会学			
		人間・心理系	社会心理	企業・組織	企業と人材の社会学				
仕事				仕事と社会 A	仕事と社会 B	仕事と法	起業論		
社会心理			家族		家族社会学 A				
			教育				教育社会学		
	社会問題								
	福祉・宗教								
社会心理	ソーシャル・サポート								
	集団・社会			グループ・ダイナミクス	環境社会心理学				
	個人・パーソナリティ	社会心理学 A		社会心理学 B	意思決定の心理学				
	心理学実験			基礎心理統計	応用心理統計				

2.2.3 移行措置

2016年度からの学則改正に伴い、旧科目の一部が新しい科目名で開講されるため、2015年度以前入学生は、履修に関して、読み替え等の移行措置を受けることになります。

誤りのない履修登録を行うために、よく確認してください。

科目の履修については、教育課程表（157～161頁）を十分に参照してください。

(1) 読替科目

読み替えをする科目は下表のとおりです。旧科目の履修登録を行う場合は、新科目で履修登録を行ってください。

旧科目名	新科目名	備考
英語A	English Communication A	2016年度より読替
英語B	English Communication C	2016年度より読替
英語C	English Communication E	2017年度より読替
英語D	English Communication G	2017年度より読替
英語表現A	English Communication B	2016年度より読替
英語表現B	English Communication D	2016年度より読替
英語表現C	English Communication F	2017年度より読替
英語表現D	English Communication H	2017年度より読替
基礎演習	基礎演習A	2016年度より読替
社会学リレー講義A	社会学入門A	2016年度より読替
社会学リレー講義B	社会学入門B	2016年度より読替
研究演習Ⅰ	研究演習Ⅱ	2018年度より読替
社会学実習Ⅰ	社会学実習	2018年度より読替
社会調査実習Ⅰ	社会調査実習	2018年度より読替
実験実習Ⅰ	実験実習	2018年度より読替
研究演習Ⅱ	研究演習Ⅲ	2019年度より読替
社会学実習Ⅱ	社会学実習	2019年度より読替
社会調査実習Ⅱ	社会調査実習	2019年度より読替
実験実習Ⅱ	実験実習	2019年度より読替
社会調査論A	社会調査入門B	2016年度より読替
社会調査論B	社会調査入門A	2016年度より読替
社会調査法A	データ分析（入門）	2016年度より読替
社会調査法B	質的調査法	2016年度より読替
基礎統計学	データ分析（基礎）	2016年度より読替
多変量解析法	データ分析（応用）	2016年度より読替
情報メディア産業論	メディア産業論	2016年度より読替
情報メディア政策	メディア・リテラシーB	2016年度より読替
メディア特論A	メディア・コミュニケーション学特論A	2016年度より読替
インターネットの社会学	情報社会論	2016年度より読替
モバイル・コミュニケーション論	ソーシャル・メディア論	2016年度より読替
メディア特論B	メディア・コミュニケーション学特論B	2016年度より読替
マス・コミュニケーション論A	マス・コミュニケーション論	2016年度より読替
放送通信論	メディア・リテラシーA	2016年度より読替
現代広告論	広告文化論	2016年度より読替
メディア特論C	メディア・コミュニケーション学特論C	2016年度より読替
公共性の社会学	公共圏とメディア	2016年度より読替
世論形成の社会学	世論研究	2016年度より読替

(次頁に続く)

旧科目名	新科目名	備考
メディア特論D	メディア・コミュニケーション学特論D	2016年度より読替
博物館と社会	ミュージアム文化論	2016年度より読替
映像文化論	視覚文化研究	2016年度より読替
身体と表象	スポーツ社会学	2016年度より読替
パフォーマンス・アーツ論	パフォーマンス文化論	2016年度より読替
ファッション論	ファッション文化論	2016年度より読替
グローバル化の社会学	グローバリゼーション論	2016年度より読替
人口論	人口動態の社会学	2016年度より読替
グローバル社会特論A	複数文化研究	2016年度より読替
多文化・共生論	現代民俗学A	2016年度より読替
エスニシティ論	現代民俗学B	2016年度より読替
移民・難民問題	国際社会学	2016年度より読替
異文化コミュニケーション	異文化コミュニケーション論	2016年度より読替
現代社会とキリスト教	キリスト教と文化	2016年度より読替
環境問題の社会学	リスクの社会学	2016年度より読替
現代社会論	現代社会論A	2016年度より読替
現代社会と医療	現代社会と健康・医療A(※)	2016年度より読替
	現代社会と健康・医療B(※)	2016年度より読替
西洋思想とキリスト教	グローバル世界のキリスト教	2016年度より読替
コミュニケーション論A	コミュニケーション論	2016年度より読替
現代社会と哲学	文化解釈学	2016年度より読替
現代社会と倫理	比較文化学	2016年度より読替
企業と人材の社会学	労使関係の社会学	2016年度より読替
組織論A	組織社会学	2016年度より読替
仕事と社会A	仕事の社会学	2016年度より読替
社会心理特論A	社会心理学特論A	2016年度より読替
社会心理特論B	社会心理学特論B	2016年度より読替
社会心理特論C	社会心理学特論C	2016年度より読替
社会階層論	格差の社会学	2020年度より読替

(※) 「現代社会と医療」を修得済みの場合は、「現代社会と健康・医療A」および「現代社会と健康・医療B」とともに履修不可。「現代社会と医療」を未修得の場合は、「現代社会と健康・医療A」および「現代社会と健康・医療B」いずれも履修可。
また、一方の科目のみを修得した場合、2単位を卒業に必要な単位として算入することができる。

(2) 新設科目

2016年度からの学則改正に伴い、2016年度以降開講される新設科目のうち、2015年度以前入学生が履修することができる科目は下表のとおりです。なお、これらの科目は、教育課程表(157～161頁)において、下表の備考で指定されている場所に、卒業に必要な単位として算入されます。

科目名	備考
研究演習Ⅰ	「A群科目 インターメディアイト・スタディーズ科目」に追加(※1)
心理調査法	「B群科目 リサーチ・講読科目」に追加
現代社会論B	「B群科目 系・領域科目(テーマ:現代社会)」に追加
比較社会論A	「B群科目 系・領域科目(テーマ:社会理論)」に追加
比較社会論B	「B群科目 系・領域科目(テーマ:多文化・共生)」に追加
経済社会学	「B群科目 系・領域科目(テーマ:企業・組織)」に追加
産業社会学	「B群科目 系・領域科目(テーマ:企業・組織)」に追加
社会意識論	「B群科目 系・領域科目(テーマ:現代社会)」に追加
災害社会学	「B群科目 系・領域科目(テーマ:社会問題)」に追加

(次頁に続く)

科目名	備考
食文化論	「B群科目 系・領域科目（テーマ：多文化・共生）」に追加
ツーリズム文化論	「B群科目 系・領域科目（テーマ：グローバル化）」に追加
メディア文化論	「B群科目 系・領域科目（テーマ：マス・コミュニケーション）」に追加
メディア社会心理学	「B群科目 系・領域科目（テーマ：マス・コミュニケーション）」に追加
心理学入門	「B群科目 系・領域科目（テーマ：ソーシャル・サポート）」に追加
データ社会学特論A	「B群科目 系・領域科目（テーマ：ネットワーク化）」に追加（2017年度より開講）
データ社会学特論B	「B群科目 系・領域科目（テーマ：NPO/NGO）」に追加（2017年度より開講）
データ社会学特論C	「B群科目 系・領域科目（テーマ：企業・組織）」に追加（2017年度より開講）
データ社会学特論D	「B群科目 系・領域科目（テーマ：仕事）」に追加（2017年度より開講）
フィールド社会学特論A	「B群科目 系・領域科目（テーマ：グローバル化）」に追加（2017年度より開講）
フィールド社会学特論B	「B群科目 系・領域科目（テーマ：多文化・共生）」に追加（2017年度より開講）
フィールド社会学特論C	「B群科目 系・領域科目（テーマ：環境）」に追加（2017年度より開講）
フィールド社会学特論D	「B群科目 系・領域科目（テーマ：コミュニティ・都市）」に追加（2017年度より開講）
フィールド文化学特論A	「B群科目 系・領域科目（テーマ：表象理論）」に追加（2017年度より開講）
フィールド文化学特論B	「B群科目 系・領域科目（テーマ：文化資源・記憶）」に追加（2017年度より開講）
フィールド文化学特論C	「B群科目 系・領域科目（テーマ：ポピュラー・カルチャー）」に追加（2017年度より開講）
フィールド文化学特論D	「B群科目 系・領域科目（テーマ：身体文化）」に追加（2017年度より開講）
社会心理学特論D	「B群科目 系・領域科目（テーマ：心理学実験）」に追加（※2）
比較社会演習A	「B群科目 系・領域科目（共通）」に追加
比較社会演習B	「B群科目 系・領域科目（共通）」に追加（2017年度より開講）
フィールド文化学特論E	「B群科目 系・領域科目（テーマ：表象理論）」に追加（2020年度より開講）
社会心理学特論E	「B群科目 系・領域科目（テーマ：個人・パーソナリティ）」に追加（2020年度より開講）
海外社会調査A	「B群科目 系・領域科目（共通）」に追加（2020年度より開講）
海外社会調査B	「B群科目 系・領域科目（共通）」に追加（2020年度より開講）

（※1）「2016年度以降の学則における研究演習Ⅰ」である。2010年度～2015年度入学生で、2018年度以降、「2015年度以前の学則における研究演習Ⅰ」を履修予定の場合に限り、希望をすれば、研究演習所属前の秋学期に履修を認められる場合がある。

（※2）2015年度以前に、「犯罪心理学」を修得済みの場合は履修不可。

（3）廃止科目

2016年度からの学則改正に伴い、2016年度以降廃止となる科目があります。「廃止科目一覧」は下表のとおりです。

科目名 (2016年度以降廃止)			
社会を読み解くための基礎数学A	グローバル社会特論B	起業論	日本語文章表現演習A
社会を読み解くための基礎数学B	生命学	ソーシャル・ネットワーク特論D	日本語文章表現演習B
社会統計学	グローバル社会特論C	臨床社会特論A	英語文献講読演習
社会調査文献講読	グローバル社会特論D	臨床社会特論B	フランス語文献講読演習
社会学文献講読	社会変動論A	臨床社会学	ドイツ語文献講読演習
社会学外国語文献入門	社会変動論B	社会病理学A	中国語文献講読演習
情報社会学	コミュニケーション論B	社会病理学B	朝鮮語文献講読演習
電子コミュニティ論	アイデンティティ論	臨床社会特論C	スペイン語文献講読演習
マス・コミュニケーション論B	パーソナルネットワーク論	臨床社会特論D	比較文化研究
メディア法制	ソーシャル・ネットワーク特論A	応用社会心理学	社会教育行政
プライバシーの社会学	公共政策論	犯罪心理学	社会教育課題研究
社会表象学	ソーシャル・ネットワーク特論B	英語コミュニケーションA	社会教育特講Ⅰ
社会表象特論A	現代ビジネス論	英語コミュニケーションB	社会教育特講Ⅱ
社会表象特論B	組織論B	英語表現演習インターメディアイトA	社会教育特講Ⅲ
社会表象特論C	ソーシャル・ネットワーク特論C	英語表現演習インターメディアイトB	社会体育
社会表象特論D	仕事と社会B	英語表現演習アドバンストA	
国際コミュニケーション	仕事と法	英語表現演習アドバンストB	

科目名 (2017年度以降廃止)	備 考
社会教育概論	2013年度以前入学生のみ履修可。
生涯学習概論	
社会教育計画	

科目名 (2020年度以降廃止)	備 考
地域福祉論	2015年度以前入学生のみ履修可。
国際問題論	

〈MEMO〉

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page. It is intended for a memo or notes.

Ⅲ. 社会学部編

3. 履修登録

3. 履修登録

3.1 履修登録

履修登録とは、カリキュラムに沿って受講する科目を決定し、「定められた期間内」に「定められた方法」で手続きを行うことです。「履修・学習要覧 Web サイト」及び「社会学部履修心得」をよく確認の上、自己の責任において時間割を作成し、履修登録を行ってください。

注意事項

- ・履修登録を所定の期日までに完了しなかった場合、当該学期開講・当該年度通年開講の科目の受験資格及び単位の修得が認められません。
- ・履修登録された内容の変更は原則として認められません。
- ・休学や本学の留学プログラムへの参加を検討する際は、必ず事前に社会学部事務室に相談するようにしてください。
- ・春学期（9月）卒業希望者が春学期集中科目を履修する場合、開講期間により、成績発表に間に合わないことがあります。卒業に必要な単位として履修する場合は、春学期集中科目の履修は避けてください。
- ・秋学期（3月）卒業希望者が秋学期集中科目を履修する場合、開講期間により、成績発表に間に合わないことがあります。卒業に必要な単位として履修する場合は、秋学期集中科目の履修は避けてください。

3.2 履修単位数制限

3.2.1 原則

履修できる単位数は次の通り制限されています。

	春学期	秋学期
第1学年度	24単位以内	24単位以内
第2学年度		
第3学年度		
第4学年度		

※通年科目の履修単位数は、春学期・秋学期に二等分して計算する。

※春学期集中科目は春学期に、秋学期集中科目は秋学期の履修単位数として、それぞれ計算する。

※MS生及び編入学生は内規に定める制限に従うこと（社会学部内規第13条）。

※前学期終了時までの通算 GPA が 3.00 以上の場合は、次学期に履修できる単位数の制限を緩和する（→「3.2.2 前学期終了時までの通算 GPA が 3.00 以上の場合」を参照）。

3.2.2 前学期終了時までの通算 GPA が 3.00 以上の場合

前学期終了時までの通算 GPA が 3.00 以上の学業成績を修めた者は、次学期に 30 単位まで履修することができます（申請は特に必要ありません）。ただし、留学の単位認定等、前学期の科目の成績が履修登録期間開始以降に確定した場合、当該科目の成績は前学期終了までの通算 GPA には算入しません。

3.2.3 履修単位数制限対象外科目

下表の科目については、履修単位数制限の対象外とします。

海外社会調査A・B	博物館概論	博物館経営論
学則第29条の教職等関連科目	博物館資料保存論	博物館展示論
生涯学習概論	博物館情報メディア論	博物館実習
博物館資料論	国連セミナー	国連ユースボランティア実習
博物館教育論	国際社会貢献実習	国際社会貢献課題研究
海外学習活動（ドイツ）	インドネシア交流セミナーA・B	トルコ交流セミナーA・B
国連ユースボランティア課題研究	カナダ研究マウント・アリソン大学	国際研究マウント・アリソン大学
海外フィールドワーク	マレー文化研究	海外社会体験実習（オーストラリア）
海外異文化体験セミナー	海外社会体験実習（マレーシア）	海外社会体験実習（タイ）
カナダ研究トロント大学	CCC Joint Seminar in Canada	CCC Global Internship in Japan
インターンシップ準備演習（オーストラリア）	CCC Field Study in Canadian Business	CCC Global Career Seminar in Japan
CCC Joint Seminar in Japan	CCC Cross-Cultural Workshop	国連・外交フィールドワーク
CCC Global Internship in Canada	ライフ・キャリア リーダーシップ実習	インターンシップ実習
CCC Global Career Seminar in Canada	キャリアゼミB・C	霞が関セミナー
国際教養としての時事問題	ハンズオン・インターンシップ実習	平和学特別演習「ヒロシマ」
キャリアゼミA（※1）	社会探究実習Ⅰ	社会探究実習Ⅱ
海外インターンシップ	PBL 特別演習003	PBL 特別演習006
コンソーシアムひょうご神戸講座	中期留学科目	
PBL 特別演習002		
PBL 特別演習008		

（※1）2017年度以前入学生は履修単位数制限の対象外（2018年度以降入学生は履修単位数制限内）。

3.3 重複履修・並行履修・継続履修

3.3.1 重複履修

原則として、一度単位を修得した科目は再び履修することはできません。ただし、次の科目は一度単位を修得した場合であっても、再び履修することができます。これを重複履修といいます。なお、他学部・センターが提供する科目については、他学部・センターに確認してください。

■2016年度以降入学生

科 目 名		
社会学実習（※）	比較社会演習 A	海外社会調査 A
社会調査実習（※）	比較社会演習 B	海外社会調査 B
実験実習（※）		

（※） 同一年度に同一科目を 2 科目以上履修することはできない。

■2015年度以前入学生

科 目 名		
インターミディエイト演習	フィールド社会学特論 C	社会心理学特論 B
研究演習 I（※ 1）	フィールド社会学特論 D	社会心理学特論 C
現代社会学特論 A	フィールド文化学特論 A	社会心理学特論 D（※ 2）
現代社会学特論 B	フィールド文化学特論 B	社会心理学特論 E
現代社会学特論 C	フィールド文化学特論 C	社会学実習（※ 3）
現代社会学特論 D	フィールド文化学特論 D	社会調査実習（※ 3）
データ社会学特論 A	フィールド文化学特論 E	実験実習（※ 3）
データ社会学特論 B	メディア・コミュニケーション学特論 A	比較社会演習 A
データ社会学特論 C	メディア・コミュニケーション学特論 B	比較社会演習 B
データ社会学特論 D	メディア・コミュニケーション学特論 C	海外社会調査 A
フィールド社会学特論 A	メディア・コミュニケーション学特論 D	海外社会調査 B
フィールド社会学特論 B	社会心理学特論 A	

（※ 1） 「2016年度以降の学則における研究演習 I」である。2011年度～2015年度入学生で、2018年度以降、「2015年度以前の学則における研究演習 I」を履修予定の場合に限り、希望をすれば、研究演習所属前の秋学期に履修を認められる場合がある。

（※ 2） 2015年度以前に「犯罪心理学」を修得済みの場合は、履修不可とする。

（※ 3） 2018年度より必要に応じて重複履修可とする。ただし、同一年度に同一科目を 2 科目以上履修することはできない。

3.3.2 並行履修

交換留学、長期留学、認定留学、中期留学（ただし国際教育・協力センターが実施するものに限る）、国際ボランティア、海外インターンシッププログラム（以下、留学等という）、ダブルディグリー留学への参加者に対し、これらの留学等により卒業が遅れることがないように、帰国後あるいは帰国翌年度における研究演習の並行履修制度があります。次頁以降の例を参照してください。ただし、留学期間等により本制度が適用できない場合もありますので、これらの留学等への参加を検討する際には、必ず事前に社会学部事務室に確認するようにしてください。

【2016年度以降入学生】

(1) 第2学年度秋学期のみ留学

	春学期	秋学期
第1学年度		
第2学年度		留学等
第3学年度	研究演習Ⅱ・実習	研究演習Ⅰ・Ⅱ・実習
第4学年度	研究演習Ⅲ・実習	

(2) 第3学年度春学期のみ留学

	春学期	秋学期
第1学年度		
第2学年度		研究演習Ⅰ
第3学年度	留学等	
第4学年度	研究演習Ⅱ・Ⅲ・実習	

(3) 第3学年度秋学期のみ留学

	春学期	秋学期
第1学年度		
第2学年度		研究演習Ⅰ
第3学年度		留学等
第4学年度	研究演習Ⅱ・Ⅲ・実習	

(4) 第2学年度春学期および秋学期の2セメスター留学

	春学期	秋学期
第1学年度		
第2学年度	留学等	
第3学年度	研究演習Ⅱ・実習	研究演習Ⅰ・Ⅱ・実習
第4学年度	研究演習Ⅲ・実習	

(5) 第3学年度春学期および秋学期の2セメスター留学

	春学期	秋学期
第1学年度		
第2学年度		研究演習Ⅰ
第3学年度	留学等	
第4学年度	研究演習Ⅱ・Ⅲ・実習	

(6) 第2学年度秋学期～第3学年度春学期(※)にかけて留学(※)履修修正期間までに帰国し、履修登録を完了した場合

	春学期	秋学期
第1学年度		
第2学年度		留学等
第3学年度	研究演習Ⅱ・実習	研究演習Ⅰ・Ⅱ・実習
第4学年度	研究演習Ⅲ・実習	

(7) 第2学年度秋学期～第3学年度春学期(※)にかけて留学(※)5月末までに帰国し、履修登録を完了した場合

	春学期	秋学期
第1学年度		
第2学年度		留学等
第3学年度	研究演習Ⅱ	研究演習Ⅰ・Ⅱ
	<small>(実習は履修不可)</small>	
第4学年度	研究演習Ⅲ・実習	

(8) 第2学年度秋学期～第3学年度春学期(※)にかけて留学(※)6月以降に帰国した場合

	春学期	秋学期
第1学年度		
第2学年度		留学等
第3学年度		研究演習Ⅰ
第4学年度	研究演習Ⅱ・Ⅲ・実習	

(9) 第3学年度秋学期～第4学年度春学期(※)にかけて留学(※)5月末までに帰国し、履修登録を完了した場合

	春学期	秋学期
第1学年度		
第2学年度		研究演習Ⅰ
第3学年度		留学等
第4学年度	研究演習Ⅱ・Ⅲ	

(10) ダブルディグリー留学

	春学期	秋学期
第1学年度		
第2学年度		ダブルディグリー留学
第3学年度	ダブルディグリー留学	
第4学年度	ダブルディグリー留学	
5年目	研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・実習	

【2015年度以前入学生】

(1) 第3学年度春学期のみ留学

	春学期	秋学期
第1学年度		
第2学年度		
第3学年度	留学等	
第4学年度	研究演習Ⅰ・Ⅱ・実習Ⅱ	

(2) 第3学年度秋学期のみ留学

	春学期	秋学期
第1学年度		
第2学年度		
第3学年度		留学等
第4学年度	研究演習Ⅰ・Ⅱ・実習Ⅱ	

(3) 第3学年度春学期および秋学期の2セメスター留学

	春学期	秋学期
第1学年度		
第2学年度		
第3学年度	留学等	
第4学年度	研究演習Ⅰ・Ⅱ・実習Ⅱ	

(4) 第2学年度秋学期～第3学年度春学期(※)にかけて留学
(※)履修修正期間までに帰国し、履修登録を完了した場合

	春学期	秋学期
第1学年度		
第2学年度		留学等
第3学年度	研究演習Ⅰ・実習Ⅰ	
第4学年度	研究演習Ⅱ・実習Ⅱ	

(5) 第2学年度秋学期～第3学年度春学期(※)にかけて留学
(※)5月末までに帰国し、履修登録を完了した場合

	春学期	秋学期
第1学年度		
第2学年度		留学等
第3学年度	研究演習Ⅰ <small>(実習Ⅰは履修不可)</small>	
第4学年度	研究演習Ⅱ・実習Ⅱ	

(6) 第2学年度秋学期～第3学年度春学期(※)にかけて留学
(※)6月以降に帰国した場合

	春学期	秋学期
第1学年度		
第2学年度		留学等
第3学年度		
第4学年度	研究演習Ⅰ・Ⅱ・実習Ⅱ	

(7) 第3学年度秋学期～第4学年度春学期(※)にかけて留学
(※)5月末までに帰国し、履修登録を完了した場合

	春学期	秋学期
第1学年度		
第2学年度		
第3学年度		留学等
第4学年度	研究演習Ⅰ・Ⅱ・実習Ⅱ	

(8) ダブルディグリー留学

	春学期	秋学期
第1学年度		
第2学年度		ダブルディグリー留学
第3学年度	ダブルディグリー留学	
第4学年度	ダブルディグリー留学	
5年目	研究演習Ⅰ・Ⅱ・実習Ⅱ	

3.3.3 継続履修

(1) 継続履修とは

継続履修とは、通年科目である「(2016年度以降入学生は) 研究演習Ⅱあるいは研究演習Ⅲおよび卒業論文、(2015年度以前入学生は) 研究演習Ⅰあるいは研究演習Ⅱおよび卒業論文」を履修登録し、春学期の授業を受けたあと、休学期間をはさみ、所定の手続きを経て、次年度秋学期に同一担当教員の「(2016年度以降入学生は) 研究演習Ⅱあるいは研究演習Ⅲおよび卒業論文」、 「(2015年度以前入学生は) 研究演習Ⅰあるいは研究演習Ⅱおよび卒業論文」を受けた場合、通年で当該科目の授業を受けたとみなすことです。

ただし、担当教員・授業内容等により継続履修を許可されない場合がありますので注意してください。

(2) 条件

1. 休学しようとする年度の春学期に「(2016年度以降入学生は) 研究演習Ⅱあるいは研究演習Ⅲおよび卒業論文、(2015年度以前入学生は) 研究演習Ⅰあるいは研究演習Ⅱおよび卒業論文」を履修中であること。
2. 春学期の授業に出席していること。
3. 春学期履修後、休学した者であること。
4. 休学期間が次年度春学期まで連続すること。春学期のみ、あるいは秋学期のみの休学期間の場合、継続履修は適用されません。
5. 以上の条件を充たし、研究演習担当教員より「継続履修」の許可を受けた者。

(3) 手続き方法

1. 休学に伴う継続履修を希望する学生は、「休学願」と共に研究演習担当教員の承諾印のある「継続履修申請書」を期日までに社会学部事務室に提出し、許可を得ること。
2. 復学後、継続履修が許可された「(2016年度以降入学生は) 研究演習Ⅱあるいは研究演習Ⅲおよび卒業論文、(2015年度以前入学生は) 研究演習Ⅰあるいは研究演習Ⅱおよび卒業論文」をあらためて登録するための手続きを、復学する学期の履修登録期間中に社会学部事務室にて行うこと。

次頁に例を載せていますが、研究演習や卒業論文を履修中の者で休学を検討する際には、担当教員への相談だけでなく、必ず事前に社会学部事務室に確認するようにしてください。

【2016年度以降入学生】

(1) 研究演習Ⅱを履修している年度の秋学期から1年間休学した場合

	春学期	秋学期
第1学年度		
第2学年度		研究演習Ⅰ
第3学年度	研究演習Ⅱ	休学
第4学年度	休学	研究演習Ⅱ ※
5年目	研究演習Ⅲ・実習	

※1 研究演習Ⅱを通年で履修したとみなす。

※2 継続履修を許可された者の研究演習Ⅱ（4単位）の履修単位数は、休学前の3年生春学期と復学後の4年生秋学期に二等分して計算する。

(2) 研究演習Ⅲと卒業論文を履修している年度の秋学期から1年間休学した場合

	春学期	秋学期
第1学年度		
第2学年度		研究演習Ⅰ
第3学年度	研究演習Ⅱ・実習	
第4学年度	研究演習Ⅲ・卒業論文	休学 ※
5年目	休学	研究演習Ⅲ・卒業論文 ※

※1 研究演習Ⅲと卒業論文を通年で履修したとみなす。

※2 継続履修を許可された者の研究演習Ⅲ（4単位）と卒業論文（4単位）の履修単位数は、休学前の4年生春学期と復学後の5年目秋学期に二等分して計算する。

【2015年度以前入学生】

(1) 研究演習Ⅰを履修している年度の秋学期から1年間休学した場合

	春学期	秋学期
第1学年度		
第2学年度		
第3学年度	研究演習Ⅰ	休学
第4学年度	休学	研究演習Ⅰ ※
5年目	研究演習Ⅱ・実習	

※1 研究演習Ⅰを通年で履修したとみなす。

※2 継続履修を許可された者の研究演習Ⅰ（4単位）の履修単位数は、休学前の3年生春学期と復学後の4年生秋学期に二等分して計算する。

(2) 研究演習Ⅱと卒業論文を履修している年度の秋学期から1年間休学した場合

	春学期	秋学期
第1学年度		
第2学年度		
第3学年度	研究演習Ⅰ・実習	
第4学年度	研究演習Ⅱ・卒業論文	休学 ※
5年目	休学	研究演習Ⅱ・卒業論文 ※

※1 研究演習Ⅱと卒業論文を通年で履修したとみなす。

※2 継続履修を許可された者の研究演習Ⅱ（4単位）と卒業論文（4単位）の履修単位数は、休学前の4年生春学期と復学後の5年目秋学期に二等分して計算する。

3.4 合併科目・ペア科目

(1) 合併科目

2学部以上の学部が合併して開講している科目を「合併科目」といい、社会学部と他学部が合併している科目については、社会学部開講の科目を履修しなければなりません。

(2) ペア科目

科目の中には、春学期または秋学期に週2講時（2回）開講されている科目があります。このような科目を「ペア科目」といい、ペア科目を履修する際は、必ず週2講時（2回）履修しなければなりません。例えば、時間割には「中国語Ⅰ【ペア】」というように、科目名の後にペア科目であることが示されています。なお、具体的な曜日・時限については、シラバスにて確認してください。

【社会学部開講のペア科目】

フランス語Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、朝鮮語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、スペイン語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、その他(※)

(※) 上記科目以外にも、年度によってペア開講する科目もあるので、時間割及びシラバスをよく確認すること。

3.5 クラス指定

クラス指定科目とは履修申請画面にあらかじめ登録されている科目です（予備登録）。必ず指定されたクラスを履修してください。

3.5.1 2016年度以降入学生

(1) 第1学年度生

別途配付されるクラス指定表（別紙）にて、下表の科目の自分のクラスを確認してください。

科 目 名			
キリスト教学A	フランス語Ⅰ	朝鮮語Ⅰ	社会調査入門A
キリスト教学B	フランス語Ⅱ	朝鮮語Ⅱ	社会調査入門B
English Communication A	ドイツ語Ⅰ	スペイン語Ⅰ	基礎演習A
English Communication B	ドイツ語Ⅱ	スペイン語Ⅱ	基礎演習B
English Communication C	中国語Ⅰ	社会学入門A	
English Communication D	中国語Ⅱ	社会学入門B	

【外国人留学生の日本語について】

日本語教育センターが実施するプレースメントテスト（クラス分けテスト）で履修クラスを決定します。

【入門英語について（2018年度以降入学生）】

入学前に受験した英語プレースメントテストの結果、言語教育研究センターが開講する「入門英語」を履修することがあります。言語教育研究センターからのお知らせをよく確認してください。入門英語から社会学部英語レギュラーコースへ移動を希望する場合、1年生春学期終了時の所定の期間内に社会学部事務室にて手続きを完了してください。ただし、必ずしも希望が通るわけではありません。

なお、教職課程を履修する場合は、施行規則第66条の6に定める科目履修表の「4. 外国語コミュニケーション」の要件を満たすために、下記2通りのどちらかを選択し、所定の期間内に手続きを完了する必要があります。手続き詳細については、社会学部事務室にお尋ねください。

- 入門英語から社会学部英語レギュラーコースへ移動する（1年生春学期終了時に手続きが必要）。
- 「入門英語ⅠA」「入門英語ⅠB」の必要単位を修得したのち、「入門英語ⅡA」「入門英語ⅡB」を履修する（1年生秋学期終了時に手続きが必要）。

(2) 第2学年度生

履修申請画面にて、下表の科目の自分のクラスを確認してください。クラス発表日については、8～9頁を参照してください。

科 目 名			
フランス語Ⅲ a	フランス語Ⅳ b	中国語Ⅲ	朝鮮語Ⅳ
フランス語Ⅲ b	ドイツ語Ⅲ	中国語Ⅳ	スペイン語Ⅲ
フランス語Ⅳ a	ドイツ語Ⅳ	朝鮮語Ⅲ	スペイン語Ⅳ

(3) 再履修生および復学生

各科目、下表のルールに従って履修してください。

科 目	ル ー ル
キリスト教学A・B	クラスは指定しない。都合の良いクラスを履修申請画面にて選択の上、履修登録を行うこと。
言語教育科目（必修）	・クラスを指定するので、履修申請画面にて、自分のクラスを確認すること。 ただし、他の必修科目と時間割が重複する場合は、社会学部事務室にて、言語教育科目（必修）のクラス変更手続きを行うこと。 ・クラス変更することはできるが、履修しないということとはできない。
社会学入門A・B	クラスを指定するので、履修申請画面にて、自分のクラスを確認すること。
社会調査入門A・B	
基礎演習A・B	

(4) 編入学生

クラス指定は行いません。各学期、申込制科目の申込期間内に、社会学部事務室にて所定の手続きをしてください。

(5) クラス変更における優先順位

同じ曜日・時限で複数の科目が重複した場合、以下のルールに従ってクラス変更を行います。
優先順位が下位の科目を変更することになります。

【ルール】

1. 研究演習
2. インテンシブプログラム（英語・フランス語・ドイツ語）、入門英語
3. 言語教育科目（必修）（英語・フランス語・ドイツ語・中国語・朝鮮語・スペイン語）
4. フィールドワークの技法A（インタビュー）、フィールドワークの技法A（参与観察）、フィールドワークの技法A（資料収集）、フィールドワークの技法B、ディスコース研究法、メディア・コミュニケーション学研究法、心理調査法、基礎心理統計、応用心理統計、基礎心理学実験、社会心理学実験
5. 資格関連科目（教職・社会調査士）
6. キリスト教学A・B
7. 【再履修】言語教育科目（必修）（英語・フランス語・ドイツ語・中国語・朝鮮語・スペイン語）
8. 申込制科目

3.5.2 2015年度以前入学生

(1) 第1学年度生

別途配付されるクラス指定表（別紙）にて、下表の科目の自分のクラスを確認してください。

科 目 名			
キリスト教学A	英語A（※）	フランス語Ⅱ	朝鮮語Ⅰ
キリスト教学B	英語B（※）	ドイツ語Ⅰ	朝鮮語Ⅱ
基礎演習（※）	英語表現A（※）	ドイツ語Ⅱ	スペイン語Ⅰ
社会学リレー講義A（※）	英語表現B（※）	中国語Ⅰ	スペイン語Ⅱ
社会学リレー講義B（※）	フランス語Ⅰ	中国語Ⅱ	

（※）2016年度より科目名称が変わります。「2.2.3 移行措置」（72～75頁）をよく確認すること。

(2) 第2学年度生

履修申請画面にて、下表の科目の自分のクラスを確認してください。クラス発表日については、8～9頁を参照してください。

科 目 名			
英語C (※)	フランス語Ⅲ a	ドイツ語Ⅲ	朝鮮語Ⅲ
英語D (※)	フランス語Ⅲ b	ドイツ語Ⅳ	朝鮮語Ⅳ
英語表現C (※)	フランス語Ⅳ a	中国語Ⅲ	スペイン語Ⅲ
英語表現D (※)	フランス語Ⅳ b	中国語Ⅳ	スペイン語Ⅳ

(※) 2017年度より科目名称が変わります。「2.2.3 移行措置」(72～75頁)をよく確認すること。

(3) 再履修生および復学生

各科目、下表のルールに従って履修してください。

科 目	ル ー ル
キリスト教学A・B	クラスは指定しない。都合の良いクラスを履修申請画面にて選択の上、履修登録すること。
基礎演習(基礎演習A) 社会学リレー講義A・B(社会学入門A・B)	クラスを指定するので、履修申請画面にて、自分のクラスを確認すること。
言語教育科目(必修)	・クラスを指定するので、履修申請画面にて、自分のクラスを確認すること。ただし、他の必修科目と時間割が重複する場合は、社会学部事務室にて、言語教育科目(必修)のクラス変更手続きを行うこと。 ・クラス変更することはできるが、履修しないということはない。

(4) 編入学生

クラス指定は行いません。各学期、申込制科目の申込期間内に、社会学部事務室にて所定の手続きをしてください。

(5) クラス変更における優先順位

同じ曜日・時限で以下の複数の科目が重複した場合、以下のルールに従ってクラス変更を行います。なお、優先順位が下位の科目を変更することになります。

【ルール】

1. 研究演習
2. インテンシブプログラム(英語・フランス語・ドイツ語)
3. 言語教育科目(必修)(英語・フランス語・ドイツ語・中国語・朝鮮語・スペイン語)
4. 社会心理ゼミ所属者の「基礎心理統計」、「応用心理統計」、「基礎心理学実験」、「社会心理学実験」
5. 資格関連科目(教職・社会調査士)
6. キリスト教学A・B
7. 【再履修】言語教育科目(必修)(英語・フランス語・ドイツ語・中国語・朝鮮語・スペイン語)
8. 申込制科目

3.6 先修条件

科目の中には、先に「指定された科目」の単位を修得しなければ、履修できない科目があります。この条件を先修条件といい、社会学部開講の科目における先修条件は下表のとおりとなっています。なお、他学部・センター開講の科目の先修条件については、他学部・センターの指示に従ってください。

【全学年度生共通】

科 目	左の科目を履修するために修得しておくべき科目 (=先修条件)
フランス語Ⅱ	フランス語Ⅰ
フランス語Ⅲ a・Ⅲ b	フランス語Ⅱ
フランス語Ⅳ a	フランス語Ⅲ a
フランス語Ⅳ b	フランス語Ⅲ b
ドイツ語Ⅱ	ドイツ語Ⅰ
ドイツ語Ⅲ	ドイツ語Ⅱ
ドイツ語Ⅳ	ドイツ語Ⅲ
中国語Ⅱ	中国語Ⅰ
中国語Ⅲ	中国語Ⅱ
中国語Ⅳ	中国語Ⅲ
朝鮮語Ⅱ	朝鮮語Ⅰ
朝鮮語Ⅲ	朝鮮語Ⅱ
朝鮮語Ⅳ	朝鮮語Ⅲ
スペイン語Ⅱ	スペイン語Ⅰ
スペイン語Ⅲ	スペイン語Ⅱ
スペイン語Ⅳ	スペイン語Ⅲ
日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	日本語教育センター発行の冊子参照
入門英語、インテンシブ・プログラム	「インテンシブ・プログラムと言語学習のすすめ」参照

【2016年度以降入学生のみ】

科 目	左の科目を履修するために修得しておくべき科目 (=先修条件)
研究演習Ⅰ	次頁参照
研究演習Ⅱ	研究演習Ⅰ
研究演習Ⅲ	研究演習Ⅱ
卒業論文	研究演習Ⅲを修得済、あるいは履修中

【2015年度以前入学生のみ】

科 目	左の科目を履修するために修得しておくべき科目 (=先修条件)
基礎英語Ⅱ甲A・B	基礎英語Ⅰ甲A・B
基礎英語Ⅱ乙A・B	基礎英語Ⅰ乙A・B
研究演習Ⅰ	次頁参照
研究演習Ⅱ	研究演習Ⅰ
卒業論文	研究演習Ⅱを修得済、あるいは履修中

3.7 申込制科目

申込制科目とは、履修登録期間に先行して、申込手续が必要な科目です。従って、申込期間と方法をよく確認してください。

注意事項

- ・クラス指定科目と時間割上重複して申し込むことはできません。
- ・申込制科目は、申込者数が定員を超過した場合、履修できない場合があります。
- ・履修を許可された科目の履修取消・中止は認められません。
- ・定員に余裕がある科目については、追加申込期間に追加申込ができます。

3.7.1 社会学部開講科目

下記の科目は、履修者数の制限を行います。

なお、申込期間や申込方法等については、8～9頁を参照してください。

(1) 春学期

カテゴリー	科目名	定員
インターミディエイト演習	インターミディエイト演習 1～10組、12～40組	※1・9 各20
English Communication Advanced A	English Communication Advanced A 1～4組	※2・3・9 各12
English Communication Advanced B	English Communication Advanced B 1組・2組	※2・4・9 各12
Practical English A	Practical English A 1～3組	※2・9 各12
Practical English B	Practical English B 1～3組	※2・9 各12
English Skills A	English Skills A 1～3組	※2・9 各12
English Skills B	English Skills B 1組・2組	※2・9 各12
社会調査実習	社会調査実習 31組	※5・6 30
コンピュータ演習(基礎)	コンピュータ演習(基礎) 1組・2組	※7・9 各30
Sociology in English A	Sociology in English A 1組・2組	※2・9 各15
データ分析(応用)	データ分析(応用) 1組	※8 60
社会学原論A	社会学原論A	410
専攻分野科目(1)	表象文化論A	※8 270
	表象文化論B	※8 420
	文化遺産論	※8 370
	視覚文化研究	※8 350
	フィールド文化学特論E	※8 70
専攻分野科目(2)	心理学入門 1組	※8 420
	心理学入門 2組	※8 370
専攻分野科目(3)	臨床社会心理学	※8 370
	ゲーミング社会心理学	※8 420
	社会心理学A	※8 420
	メディア社会心理学	※8 170
専攻分野科目(4)	学校の社会学	※8 240
	人口動態の社会学	※8 170
専攻分野科目(5)	環境社会学A	420
	社会学史A	420
	社会思想史A	350
	社会史B	170
	家族社会学B	420
	セクシュアリティ論	350
	現代若者・子ども論	420
	宗教社会学A	180
	スポーツ社会学	410
	現代社会と健康・医療A	410
	現代社会論A	410
	情報社会論	420
	災害社会学 1組	410
	現代民俗学A	410
	メディア文化論	370
	広告文化論	410
メディア・リテラシーA	240	
ソーシャル・メディア論	370	

(2) 春学期集中

カテゴリー	科目名	定員	講義日程
社会心理学特論E	社会心理学特論E	※8 70	8月24日～8月26日

(次頁に続く)

(3) 秋学期

カテゴリー	科目名	定員
インターメディアイト演習	インターメディアイト演習 51～56組	※1・9 各20
English Communication Advanced C	English Communication Advanced C 1～4組	※2・3・9 各12
English Communication Advanced D	English Communication Advanced D 1組・2組	※2・4・9 各12
Practical English C	Practical English C 1～3組	※2・9 各12
Practical English D	Practical English D 1～3組	※2・9 各12
English Skills C	English Skills C 1～3組	※2・9 各12
English Skills D	English Skills D 1組・2組	※2・9 各12
社会調査実習	社会調査実習 32組	※5・6 30
コンピュータ演習(基礎)	コンピュータ演習(基礎) 3組・4組	※7・9 各30
Sociology in English B	Sociology in English B 1組・2組	※2・9 各15
フィールドワークの技法A(インタビュー)	フィールドワークの技法A(インタビュー) 1～3組	※2・8・9 各20
フィールドワークの技法A(参与観察)	フィールドワークの技法A(参与観察) 1～3組	※2・8・9 各20
フィールドワークの技法A(資料収集)	フィールドワークの技法A(資料収集) 1～3組	※2・8・9 各20
ディスコース研究法	ディスコース研究法 1組・2組	※2・8・9 各20
メディア・コミュニケーション学研究法	メディア・コミュニケーション学研究法	※2・8 80
データ分析(応用)	データ分析(応用) 2組	※8 60
質的調査法	質的調査法 2組	420
社会意識論	社会意識論	※8 420
メディア・コミュニケーション学特論A	メディア・コミュニケーション学特論A	※8 50
専攻分野科目(1)	環境社会心理学	※8 420
	社会心理学B	※8 420
	世論研究	※8 270
専攻分野科目(2)	食文化論	※8 420
	パフォーマンス文化論	※8 240
専攻分野科目(3)	記憶の社会学	370
	ポピュラー・カルチャー論	370
	身体技法論	420
	環境社会学B	420
	観光社会学	420
	NPO/NGOの社会学	420
	教育社会学	420
	人権・差別問題論B	370
	障害学	420
	比較社会論A	420
	組織社会学	410
	災害社会学 2組	420
	現代民俗学B	370
	異文化コミュニケーション論	420
メディア産業論	420	

(4) 秋学期集中

カテゴリー	科目名	定員	講義日程
フィールド文化学特論C	フィールド文化学特論C	※8 70	2月18日～19日、 2月24日～25日

- ※1 第4学年度生で、インターメディアイト演習未修得者は、優先的に受け付けるので、申込期間中に必ず社会学部事務室に申し出ること。第2学年度以上で、インターメディアイト演習未修得者は、可能な限り、春学期は第10希望まで、秋学期は第5希望まで申し込むこと(抽選の結果、当選は最大1クラスのみ)。
- ※2 2016年度以降入学生のみ対象
- ※3 原則として、教科書「Contemporary Topics Level 1」(Pearson Education, Inc.)の学習を終えているか「インテンシブ・イングリッシュ」を修得しておくことが望ましい。
- ※4 原則として、教科書「Contemporary Topics Level 2」(Pearson Education, Inc.)の学習を終えているか「インテンシブ・イングリッシュ」を修得しておくことが望ましい。
- ※5 31組・32組のみ申込受付を行う。他担当者の社会調査実習については、社会調査実習を併設する研究演習に所属する者のみが履修可能となる。また、実習科目担当教員によっては、別途実習費が必要になることがある。
- ※6 第4学年度生で、社会調査士の資格を取得希望の者は、優先的に受け付けるので、申込期間中に必ず社会学部事務室に申し出ること。
- ※7 第4学年度生で、教職免許状取得希望の者は、優先的に受け付けるので、申込期間中に必ず社会学部事務室に申し出ること。
- ※8 第4学年度生および履修が強く望まれる専攻分野に所属する者を優先する。
- ※9 同一名称科目において、複数クラスに申し込みできるが、当選は最大1クラスのみ。

【社会学部の申込制科目の申込方法について】

■社会学部の申込制科目の申請画面では、まずカテゴリーの名称が表示されます。科目を申請するには、まずカテゴリーを選び、「申請」ボタンを押してください。次に個別の科目名称が表示されるので、抽選を希望する科目において「申請」ボタンを押してください。履修申請後は登録完了のメールが届いているか必ず確認してください。(次頁に続く)

(5) 比較社会演習A・B(春学期集中科目)

比較社会演習A・Bは、関西学院大学社会学部と台湾の国立高雄科技大学との協定に基づく社会学部独自の協働学習型プログラムです。比較社会演習Aについては台湾にて実施、比較社会演習Bについては本学にて実施し、両科目ともに隔年開講となります。そのため、2020年度は比較社会演習Aのみ開講となります。

本プログラムへの参加を希望する場合は、下記申込方法に従い、定められた期間内に社会学部事務室にて申込手続きを行ってください。なお、本プログラムの内容(実施期間等の詳細)については、シラバスおよび募集要項(掲示および教学Webサービス)をよく確認してください。

【申込方法】

募集要項(掲示および教学Webサービス)をよく確認し、手続きを行ってください。

■申込期間

2020年4月1日(水) 8:50~4月7日(火) 16:50

■申込場所

社会学部事務室

■定員

約10名(※)

(※) 申込者数が定員を超過した場合は、書類選考にて参加者を決定します。

■参加者発表

2020年4月10日(金) 教学Webサービス/掲示にて発表します。

■申込資格

- ・社会学部第2学年度生以上(※1)
 - ・事前/事後講義を含むプログラム全日程(※2)に参加できる者
- (※1) 2020年度春学期(9月)卒業見込者は申込不可。
(※2) 詳細は別途教学Webサービス/掲示にて指示します。

(6) 海外社会調査A・B（春学期集中科目／秋学期集中科目）

社会学部カリキュラムにおける特徴の一つである社会調査教育を充実させた、海外をフィールドとした社会調査を実施する科目（2020年度新設科目、社会学部2年生以上対象）です。

開講年度により、開講学期（春学期集中／秋学期集中）、科目名（A／B）が異なります。なお、クラスによってプログラム内容および参加要件も異なりますので、プログラムの詳細（内容、募集時期、申込方法、対象、定員、参加要件等）については、シラバスおよび募集要項（掲示および教学 Web サービス）をよく確認してください。

【実施スケジュール（予定）】

内 容	春学期集中	秋学期集中
参加者募集	4月初旬	9月下旬～10月初旬
参加者発表	4月中旬	10月
オリエンテーション①	4月	10月
事前授業	4月～7月	10月～1月
危機管理研修〈国際教育・協力センター〉	7月	1月
海外旅行保険説明会	7月	1月
オリエンテーション②（渡航説明会）	7月	1月
現地実習実施	8月～9月初旬	2月～3月初旬
事後授業	8月～9月初旬	2月～3月初旬

3.7.2 全学科目

2020年度 申込・履修についての諸注意

《スポーツ科学・健康科学科目》

スポーツ科学・健康科学科目は、**全科目申込手続き**が必要です。

履修を希望する方は下記および教学 Web サービス「お知らせ」を参照してください。

■優先申込について

予備登録（申込）より前に、下記対象者は優先申込をすることができます。

※履修希望者が優先申込定員を上回った場合は、抽選となります。

対象者	教育職員免許状取得のために履修する必要のある 3年生以上 の未履修者
対象科目	「体育方法学講義C」・「体育方法学演習C」
申込方法	教学 Web サービス（URL：https://webinfo.kwansei.ac.jp/） ※講義・演習科目ともに第2希望まで申し込むことができます。
発表	教学 Web サービス

◆春学期：申込期間 2020年3月24日(火) 8:50～3月25日(水) 16:50締切

発表 2020年3月27日(金) 8:50～

◆秋学期：申込期間 2020年9月7日(月) 9:00～9月8日(火) 16:00締切

発表 2020年9月10日(木) 9:00～

I. 申込にあたっての注意事項

1. 1学期（春学期又は秋学期）に履修できる科目は講義1科目、演習1科目の2科目4単位までです。
2. 同一名称科目は、異なるクラス・種目であっても重複して履修することはできません。
例) 【スポーツ科学演習A1：卓球】を履修済みの場合は【スポーツ科学演習A21：バドミントン】を履修できません（同じ「スポーツ科学演習A」であるため）。
3. 講義科目は開講科目数まで、演習科目は第5希望まで申し込むことができます。
（ただし、教職希望者の優先申込については、この限りではありません。※「優先申込について」参照のこと）
4. 科目には、西宮上ヶ原キャンパス開講と神戸三田キャンパス開講のものがあります。確認の上、履修可能な科目を申し込むようにしてください。
※キャンパスを間違えて申込みをした場合でも、申込期間を過ぎると取消は出来ません。

スポーツ科学・健康科学科目は、全科目が申込科目のため
履修の中止を申請することはできません。
学部の必修科目等と重複しないように注意してください。

II. 履修にあたっての諸注意

1. 卒業要件との関係
全学部自由選択（時間が許す範囲で履修することができます）

2. 教職課程を履修する場合

スポーツ科学・健康科学科目は、教育職員免許状を取得する学生（教育学部生を除く）にとって種類・教科に関係なく、必修の科目です。「体育方法学講義C」と「体育方法学演習C」を履修することが望ましいですが、その他の科目（「健康科学」、「余暇生活学」を除く）の講義科目および演習科目からそれぞれ1科目2単位の合計2科目4単位を選択し履修しても構いません。

※理工学部生、総合政策学部生、人間福祉学部生および国際学部生は必ず「体育方法学講義C」と「体育方法学演習C」を履修してください。

※優先申込制度があります（教育学部を除く）。

※履修に際しては、教職教育研究センターの『教職課程等履修要項』を参照してください。

3. 養護コース

身体活動を制限および禁止されている学生のために、「体育方法学演習C」の中に「養護コース」を設けています。授業内容は健康・体力状態等により決定します。養護コースを希望する学生は、教務機構事務部まで申し出てください。

申込期間：春学期 2020年4月3日(金) 16:50まで

秋学期 2020年9月8日(火) 16:00まで

4. 集中講義

春学期開講の「余暇生活学演習C（夏期アウトドア：キャンプ）」および、秋学期開講の「余暇生活学演習D（冬期アウトドア：スキー・スノーボード）」は集中講義として開講されます。集中講義は、受講にあたり別途実習参加費等の負担が発生します。また、実習の前に行われる全ての事前授業に出席しなければ実習への参加が最終的に認められません。必ず事前授業を含めた全授業日程に参加できることを確認した上で申し込みをしてください。集中講義実施の詳細内容については「教学 Web サービス」のシラバスを参照してください。

なお、集中講義は当該科目が開講される学期末に卒業見込みの方は履修申込ができません。

5. 演習科目の履修についての諸注意

1) 第1回目の授業

演習科目の第1回目の授業はオリエンテーションを行います。更衣はせずに下記の場所に集合してください。また、集合場所が変更になる場合は、教学 Web サービスの「お知らせ」にてお知らせします。

学 期	科 目 名	集 合 場 所
春	西宮上ヶ原キャンパス開講 全演習科目	総合体育館 2F
	神戸三田キャンパス開講 全演習科目	未定※
秋	西宮上ヶ原キャンパス開講 全演習科目	総合体育館 2F
	神戸三田キャンパス開講 全演習科目	未定※

※上記未定の教室は決定次第、教学 Web サービスの「お知らせ」にてお知らせします。

2) 授業場の指示（毎回の授業開始前に必ず確認してください）

西宮上ヶ原キャンパス：当日、総合体育館 1F エントランスホールの掲示板上にて指示。

神戸三田キャンパス：当日、体育館ロビーのホワイトボードにて指示。

3) 受講時の服装など

動きやすく通気性のよいトレーニングウェアを着用し、体育館内では屋内専用の運動靴を用意してください。また、グラウンド等の屋外では運動に適したシューズを用意してください。

4) 「総合体育館」(西宮上ヶ原キャンパス) および「体育館アリーナ」(神戸三田キャンパス) の利用際の注意事項

- ①ロッカー、下足箱は授業に際しての利用に限ります。授業終了後は私物を持ち帰ってください。また、貴重品の管理は各自で十分注意してください。
- ②シャワー室は基本的に授業終了後に利用可能です。
- ③屋外授業で靴に着いた泥や砂は、入り口のマットでよく払ってから入館してください。

5) 成績評価

演習科目の特性上、成績評価には授業予定開講回数³/₄以上の出席を必要とし、出席態度、技術・体力、レポート等により総合評価します(講義科目と集中講義は「教学 Web サービス」のシラバスを参照してください)。

《情報科学科目》

情報科学科目の一部の科目以外は、申込み手続きが必要です。履修を希望する方は下記および教学 Web サービス「お知らせ」を参照してください。

I. 申込にあたっての注意事項

1. 申込グループ

以下の5グループにつき、1学期間にそれぞれ1クラスずつ、合計5クラス履修できます。ただし、予備登録(申込)後に定員に余裕があり、追加募集を行う場合はこの限りではありません。

グループ	科 目
コンピュータ基礎	コンピュータ基礎
コンピュータ実践	表計算、データ分析
プログラミング言語基礎(1)	C(秋のみ)、Excel VBA(春のみ)、Java、JavaScript、Python
プログラミング言語基礎(2)	ActionScript、Processing
プログラミング言語応用	PHP

予備登録(申込)時には各グループにつき、最大第3希望のクラスまで申し込むことができます。なお、履修発表後は、原則として履修を取り消すことはできません。

2. 同一名称科目

下表の科目は同一名称科目として取り扱うので、表の右の科目(旧科目)の単位を既に修得している場合、左の科目(現科目)を履修できません。

現科目	旧科目
プログラミング言語基礎(C)	コンピュータ言語(C言語) 《2019年度まで開講》
プログラミング言語基礎(Java)	コンピュータ言語(Java言語) 《2019年度まで開講》
プログラミング言語基礎(Excel VBA)	コンピュータ実践(Excel VBA) 《2019年度まで開講》
プログラミング言語応用(PHP)	コンピュータ実践(Webコンピューティング) 《2019年度まで開講》 コンピュータ実践(データベース) 《2011年度まで開講》

II. 履修にあたっての諸注意

1. 「コンピュータ実践」、「プログラミング言語基礎」、「プログラミング言語応用」は、すでにある程度のコンピュータに関する知識や利用経験を持つ学生を対象として開講するもので、「コンピュータ基礎」の授業内容を踏まえた科目です。スマートフォンしか使用したことがない学生、Word、Excel 等の入力程度しか経験がない学生はまず「コンピュータ基礎」を履修してください。
2. 所属学部により次のとおり履修できない科目があるので注意してください。

所属学部	履修できない科目
文学部、教育学部	コンピュータ基礎
理工学部	全学科目の情報科学科目のすべての科目
総合政策学部	コンピュータ基礎、文科系学生のための情報技術入門、情報技術概論

《AI 活用人材育成科目》

AI 活用人材育成科目は全科目申込手続きが必要です。履修を希望する方は下記及び教学 Web サービス「お知らせ」を参照してください。

I. 申込にあたっての諸注意

1. 先修条件

下表の科目は、以下のとおり先修条件が設けられています。科目申込み時に先修科目を修得していることが必要です。

授業科目	先修科目
「AI 活用導入演習 A・B」 「AI 活用実践演習 A (Java による Web アプリケーションデザイン)」 「AI 活用実践演習 B (Python による機械学習・深層学習)」 「AI 活用実践演習 C (Web デザイン)」 「AI 活用データサイエンス実践演習 I」	「AI 活用入門」
「AI 活用発展演習 I」	「AI 活用導入演習 A・B」 「AI 活用実践演習 A (Java による Web アプリケーションデザイン)」 「AI 活用実践演習 B (Python による機械学習・深層学習)」 「AI 活用実践演習 C (Web デザイン)」 のすべての科目
「AI 活用データサイエンス実践演習 II」	「AI 活用データサイエンス実践演習 I」
「AI 活用発展演習 II」(2020年度不開講)	「AI 活用発展演習 I」 「AI 活用データサイエンス実践演習 II」 のすべての科目

2. 集中講義

- 1) 集中講義は、当該科目が開講される学期末に卒業見込みの方は履修申請ができません。
- 2) 授業日程の重複する集中講義を同時に複数科目履修することはできません。事前にシラバス等で授業日程を確認し、注意して申込みしてください。

3. 開講キャンパス

科目には、西宮上ヶ原キャンパス開講と神戸三田キャンパス開講のものがあります。確認の上、履修可能な科目を申し込むようにしてください。キャンパスを間違えて申込みをした場合でも、申込期間を過ぎると取り消しはできません。

4. 履修発表後は、原則として履修を取り消すことはできません。学部の必修科目等と重複しないように注意してください。

II. 履修にあたっての諸注意

1. AI 活用人材育成科目は、AI やデータサイエンスに対する強い学習意欲を持っている学生を対象として開講する科目です。AI やデータサイエンス、プログラミングに関する知識やスキルがなくても受講可能ですが、基本的な PC スキルやインターネットスキルは事前に身につけておいてください。スマートフォンしか使用したことがない学生、Word や Excel 等の入力程度しか経験がない学生はまず情報科学科目「コンピュータ基礎」等から履修することをお勧めします。
2. AI 活用人材育成科目では、履修学生が各自のノート PC を持参し、通常教室で授業を行います。履修に先立ち、各自でノート PC (Microsoft Windows10、または Mac OS X 10.8以上) を必ず準備してください。もし PC の新規購入を検討する場合は、持ち運びが可能な軽量 PC、記憶媒体は HDD ではなく SSD の PC をお勧めします。必要なソフトウェアなどについては、初回授業時に説明します。また、本科目では課題も出され、学内で作業を行うこともあるため、授業開始までに学内ネットワーク（持込デバイス用（無線）KGU-WLAN）の利用申請を済ませておいてください。利用申請の詳細は「情報環境機構 Web サイト『学内ネットワークに接続』のページ」を参照してください。

《ライフデザイン科目 [2012年度以前入学生：学際・連携科目]》

次の科目については、別途募集要項が公開されるので、要項も熟読し、内容を確認の上で履修申し込みをしてください。

【募集要項を別途作成・公開する科目】

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| ● ライフ・キャリア リーダーシップ実習 | ● ハンズオン・インターンシップ実習 |
| ● インターンシップ実習 | ● キャリアゼミ B |
| ● 海外インターンシップ | ● キャリアゼミ C |
| (*CIEC『国際教育・協力プログラム募集要項』参照) | ● 霞が関セミナー |

I. 申込にあたっての諸注意

1. 同一名称科目

次の科目は同一名称科目として取り扱うので、表の右の科目（旧科目）の単位を既に修得している場合、左の科目（現科目）を履修できません。

現科目	旧科目
ライフ・キャリア概論	社会の中での自分(インターンシップ講義) 《2017年度まで開講》
ライフ・キャリア入門演習	グローバルキャリアデザイン入門 《2016年度まで開講》
海外インターンシップ (アメリカ・ロサンゼルス)	海外インターンシップ 《2017年度まで開講》
ハンズオン・インターンシップ実習 (石川)	ハンズオン・インターンシップ実習 (石川・能登) 《2018年度まで開講》
ハンズオン・インターンシップ実習 (岡山)	ハンズオン・インターンシップ実習 (岡山・笠岡) 《2018年度まで開講》
ハンズオン・インターンシップ実習 (大阪)	ハンズオン・インターンシップ実習 (大阪・尼崎) 《2018年度まで開講》
ハンズオン・インターンシップ実習 (兵庫)	ハンズオン・インターンシップ実習 (大阪・尼崎) 《2018年度まで開講》

2. インターンシップ実習

キャリアセンター提供の「KG 枠インターンシップ」もしくは、各自でエントリー、参加するインターンシップを活用して履修申込をすることができます。申込にあたっては、参加日数や各種研修参加など条件がありますので、詳細は、ハンズオン・ラーニングセンター発行「インターンシップ実習募集要項」を参照してください。

3. 海外インターンシップ

国際教育・協力センターが募集・実施する「短期海外インターンシップ (アメリカ・ロサンゼルス)」、「短期海外インターンシップ (ベトナム・ハノイ)」に参加し、その取り組み内容を成績評価します。

プログラムの実施内容・申込みについては、国際教育・協力センターが発行する『国際教育・協カプログラム募集要項』を参照してください。

(<https://ciec.kwansei.ac.jp/abroad/preparation/internationaleducation/>)

4. ハンズオン・インターンシップ実習

夏休みや春休みの約6週間にわたって実施する実践的なインターンシッププログラムです。科目を地域毎に開講するので、異なる地域であれば重複履修は可能です。

5. 集中講義

1) 次の科目は、2020年9月卒業見込の方は履修申込ができません。

「ライフ・キャリア リーダーシップ実習」「キャリアゼミB」「海外インターンシップ (アメリカ・ロサンゼルス) 1」「海外インターンシップ (ベトナム・ハノイ)」「インターンシップ実習1」「ハンズオン・インターンシップ実習1」

- 2) 次の科目は、2021年3月卒業見込の方は履修申請ができません。
 「霞が関セミナー」「キャリアゼミC」「海外インターンシップ（アメリカ・ロサンゼルス）2」
 「インターンシップ実習2」「ハンズオン・インターンシップ実習2」
- 3) 授業日程の重複する集中講義を同時に複数科目履修することはできません。事前にシラバス等で授業日程を確認し、注意して申込みしてください。
- 4) 次の科目は、当年度の進級判定には含まれません。
 「霞が関セミナー」「キャリアゼミC」「海外インターンシップ（アメリカ・ロサンゼルス）2」
 「インターンシップ実習2」「ハンズオン・インターンシップ実習2」

II. 履修にあたっての諸注意

1. ライフ・キャリア リーダーシップ実習

- ・5月下旬に発行予定の『2020年度ライフ・キャリア リーダーシップ実習募集要項』をよく確認した上で、応募してください。
- ・履修にあたっては、参加費（約5,000円）の納入が必要です。また、東京への往復交通費、都内での交通費、食費は参加費には含まれませんので注意してください。

《2020年度 「ライフ・キャリア リーダーシップ実習」開講予定日》

6月20日(土)	: 事前学修
8月6日(木)～8月7日(金)	: 東京での合宿
9月16日(水)	: 事後学修

2. インターンシップ実習 〈春学期集中・秋学期集中〉

事前に履修申込の上、インターンシップ事前・事後研修の出席が必要です。5日以上かつ実習時間30時間以上60時間未満で1単位、8日以上かつ60時間以上で2単位とします。また、1学期につき、最大2単位まで履修申請が可能です。詳細については、ハンズオン・ラーニングセンター発行「インターンシップ実習募集要項」を参照してください。

3. ハンズオン・インターンシップ実習 〈春学期集中・秋学期集中〉

〈春学期〉

5月に履修説明会、6月初旬にプロジェクト説明会を実施し、面接を経て派遣先を決定します。なお、実習期間中の交通費等は原則自己負担となります。

〈秋学期〉

10月に説明会、11月初旬にプロジェクト説明会を実施し、面接を経て派遣先を決定します。なお、実習期間中の交通費等は原則自己負担となります。

4. キャリアゼミA

- ・履修にあたっては、参加費（約2,000円）の納入が必要です。
- ・本科目は木曜日（神戸三田）、金曜日（西宮上ヶ原）だけでなく、土曜日にもクラス合同で開講される回があります。

《2020年度 「キャリアゼミA」開講予定日》

上ヶ原開講：4月10日(金)、4月17日(金)、4月24日(金)、5月8日(金)、5月22日(金)、
 5月29日(金)、6月12日(金)、6月19日(金)、6月26日(金)、7月3日(金)、
 7月10日(金)

三田開講：4月9日(木)、4月16日(木)、4月23日(木)、5月7日(木)、5月21日(木)、
5月28日(木)、6月11日(木)、6月18日(木)、6月25日(木)、7月2日(木)、
7月9日(木)
合同開講：5月16日(土)、7月4日(土)

5. キャリアゼミB 〈春学期集中〉

- ・5月下旬に発行予定の『2020年度キャリアゼミB募集要項』をよく確認した上で、応募してください。
- ・履修にあたっては、実習先への往復交通費、食費等が必要です。

《2020年度 「キャリアゼミB」開講予定日》
8月1日(土) : 事前学修
8月8日(土)～8月10日(月) : 大阪梅田キャンパスでの集中講義
8月11日(火) : 事後学修

6. キャリアゼミC 〈秋学期集中〉

- ・10月下旬に発行予定の『2020年度キャリアゼミC募集要項』をよく確認した上で、応募してください。
- ・履修にあたっては、参加費(約12,000円)の納入が必要です。また、東京への往復交通費、都内での交通費、食費は参加費には含まれませんので注意してください。

《2020年度 「キャリアゼミC」開講予定日》
2月26日(金) : 事前学修
3月1日(月)～3月5日(金) : 東京での合宿
3月8日(月) : 事後学修

7. 霞が関セミナー 〈秋学期集中〉

- ・10月下旬に発行予定の『2020年度霞が関セミナー募集要項』をよく確認した上で、応募してください。
- ・履修にあたっては、参加費(約8,000円)の納入が必要です。また、東京への往復交通費、都内での交通費、食費は参加費には含まれませんので注意してください。
- ・プログラム中は、原則としてスーツ着用となります。

《2020年度 「霞が関セミナー」開講予定日》
1月30日(土) : 事前学修
2月16日(火)～2月19日(金) : 東京での合宿
3月11日(木) : 事後学修

《基盤・学際科目 [2012年度以前入学生：学際・連携科目]》

次の科目については、後日、別途募集要項を公表します。募集要項の内容を確認の上、申し込んでください。

【募集要項を別途作成・公表する科目】
<ul style="list-style-type: none"> ●平和学特別演習「ヒロシマ」 ●社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW） ●社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和 FW） ●PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】 ●PBL 特別演習006【公認会計士と挑む企業のビジネス課題】 ●PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】

I. 申込にあたっての諸注意

1. 先修条件

下表の科目は履修にあたり、先修条件が設けられています。科目申込み時に先修科目を修得している必要があります。

授業科目	先修科目
人権教育科目016【人権問題演習】	人権教育科目001～015、017のうち、1科目以上
社会探究実習Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW）	社会探究実習Ⅰ（瀬戸内海・豊島環境 FW）、 または社会探究実習Ⅰ（広島・江田島平和 FW）
社会探究実習Ⅱ（広島・江田島平和 FW）	社会探究実習Ⅰ（広島・江田島平和 FW）、 社会探究実習Ⅰ（瀬戸内海・豊島環境 FW）、 または平和学特別演習「ヒロシマ」
社会探究実践演習Ⅱ （篠山・今田コミュニティ・ガバナンス FW）	社会探究実践演習Ⅰ （篠山・今田コミュニティ・ガバナンス FW）
社会探究実践演習Ⅱ （朝来・竹田城下町活性化 PJ）	社会探究実践演習Ⅰ （朝来・竹田城下町活性化 PJ）

2. 同一名称科目

下表の科目は同一名称科目として取り扱うので、表の右の科目（旧科目）の単位を既に修得している場合、左の科目（現科目）を履修できません。

現科目	旧科目
人権教育科目017【障害と人権】	人権教育科目006【障害と人権】 人権教育科目014【障害と人権A】 人権教育科目015【障害と人権B】
スタディスキルセミナー（論文作成）	スタディスキルセミナー（文章力を身につけよう！）
スタディスキルセミナー （レポート執筆の基礎）	スタディスキルセミナー（論文作成） スタディスキルセミナー（文章力を身につけよう！）
スタディスキルセミナー（プレゼンテーション）	スタディスキルセミナー（プレゼン力を身につけよう！）
PBL 特別演習007 【阪急阪神 HD（株）と挑む社会課題】	PBL 特別演習007 【阪急阪神ホールディングス（株） 社会課題解決 PJ】
PBL 特別演習008 【福島で学ぶ復興と原発問題】	PBL 特別演習001 【福島から原発を考える】

3. 集中講義の申し込みについて

1. 次の科目は、2020年9月卒業見込の方は履修申請ができません。

〈共通教育センター〉

連携講座006、連携講座008、連携講座009、連携講座014

〈ハンズオン・ラーニングセンター (HoLC)〉

平和学特別演習「ヒロシマ」、社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW） 1

PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】

PBL 特別演習006【公認会計士と挑む企業のビジネス課題】

PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】

2. 次の科目は、2021年3月卒業見込の方は履修申請ができません。

〈ハンズオン・ラーニングセンター (HoLC)〉

社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW） 2

社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和 FW）

3. 授業日程の重複する集中講義を同時に複数科目履修することはできません。事前にシラバス等で授業日程を確認し、注意して申込みしてください。

4. 次の科目は、当年度の進級判定には含まれません。

社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW） 2

社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和 FW）

II. 履修にあたっての諸注意

〈共通教育センター〉

〔連携講座006（早期臨床体験実習）〕

受講には4種（麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘）の2回接種歴があることを原則とする。ワクチン接種実施証明書（医療機関等での証明又は母子手帳（写））を提出すること。4月の時点で2回の接種歴がない場合は抗体検査を行い、検査結果に応じて必要なワクチン接種を実習までに完了すること。なお、抗体検査は自費となるため注意すること（金額9,730円）。受講者には教学 Web サービスで連絡します。

※以下の科目について、開講時間や場所等の詳細は受講者に7月中旬頃教学 Web サービスで連絡をするので注意してください。

〔連携講座006（早期臨床体験実習）〕〔連携講座008（医療入門）〕〔連携講座009（東洋医学入門）〕

〔連携講座014（臨床ゲノム医学入門）〕

〈ハンズオン・ラーニングセンター (HoLC)〉

1. 「平和学特別演習『ヒロシマ』」〈春学期集中〉

- ・『2020年度「平和学特別演習『ヒロシマ』」募集要項』を確認の上、応募してください。
- ・実施日程は8月3日(月)～8月7日(金)。5月23日(土)、7月4日(土)〈予定〉に、事前学修を2回実施予定のため、教学 Web サービスでの連絡に注意してください。なお、交通費、宿泊代等の諸費用として35,000円程度（予定）必要です。

2. ハンズオン・プラクティス

1 クラス〈春学期集中〉

隔週土曜日を中心に開講します。5月9日(土)～5月10日(日)、6月27日(土)～6月28日(日)現地実習を実施予定のため、予めスケジュールを空けておいてください。なお、宿泊代等の諸費用として、5,000円程度(予定)が必要です。

2 クラス〈秋学期集中〉

隔週土曜日を中心に開講します。10月24日(土)～10月25日(日)、12月12日(土)～12月13日(日)現地実習を実施予定のため、予めスケジュールを空けておいてください。なお、宿泊代等の諸費用として、5,000円程度(予定)が必要です。

3. 「社会探究実習Ⅰ・Ⅱ(瀬戸内海・豊島環境FW)」

『2020年度「社会探究実習Ⅰ・Ⅱ(瀬戸内海・豊島環境FW)」募集要項』を確認の上、応募してください。

1 クラス〈春学期集中〉

実施日程は8月8日(土)～8月14日(金)。5～7月に数回事前学修を実施予定のため、教学Webサービスでの連絡に注意してください。なお、現地での交通費、宿泊代等の諸費用として35,000円程度(予定)が必要です。現地までの交通費は含まれませんので注意してください。

2 クラス〈秋学期集中〉

実施日程は2月23日(火)～2月28日(日)。10～2月に数回事前学修を実施予定のため、教学Webサービスでの連絡に注意してください。なお、交通費、宿泊代等の諸費用として35,000円程度(予定)が必要です。現地までの交通費は含まれませんので注意してください。

4. 「社会探究実習Ⅰ・Ⅱ(広島・江田島平和FW)」〈秋学期集中〉

・『2020年度「社会探究実習Ⅰ・Ⅱ(広島・江田島平和FW)」募集要項』を確認の上、応募してください。

・実施日程は2月9日(火)～2月14日(日)。10～2月に数回事前学修を実施予定のため、教学Webサービスでの連絡に注意してください。なお、現地での交通費、宿泊代等の諸費用として15,000円程度(予定)が必要です。現地までの交通費は含まれませんので注意してください。

5. 「社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ(篠山・今田コミュニティ・ガバナンスFW)」〈春学期・秋学期〉

学期期間中に数回週末に現地でのフィールドワークを実施予定です。なお、現地への交通費等は原則自己負担です。

6. 「社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ(朝来・竹田城下町活性化PJ)」〈春学期・秋学期〉

学期期間中に数回週末に現地でのフィールドワークを実施予定です。なお、交通費、宿泊費等の諸費用として25,000円程度(予定)が必要です。

7. 「PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】」〈春学期集中〉

・『2020年度 PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】募集要項』を確認の上、応募してください。

・6月に事前学修を実施し、8月上旬にJETROの職員を講師に招いて4日間授業実施予定です。スケジュールはシラバスや募集要項を参照してください。

8. 「PBL 特別演習004 【富士ゼロックス兵庫(株)「志プロジェクト」】」

県内に本社を置く企業の課題解決に取り組むプロジェクト科目です。学期期間中に数回企業を訪問します（2019年度協力企業は(株)トリプロ・プラス、(株)阪急ハロードッグの2社）。なお、企業訪問にかかる交通費は自己負担です。

9. 「PBL 特別演習006 【公認会計士と挑む企業のビジネス課題】」〈春学期集中〉

- ・ 5月下旬発行予定の『2020年度 PBL 特別演習006 【公認会計士と挑む企業のビジネス課題】 募集要項』を確認の上、応募してください。
- ・ プログラム中は、原則スーツ着用となります。

《2020年度「PBL 特別演習006 【公認会計士と挑む企業のビジネス課題】」開講予定日》

7月下旬（予定）：事前学修

8月下旬（予定）：プログラム実施

9月上旬（予定）：事後学修

10. 「PBL 特別演習007 【阪急阪神 HD (株)と挑む社会課題】」

阪急阪神ホールディングス(株)と連携し、地域や社会における課題に対する事業提案に、チームで挑戦するプロジェクト科目です。学期期間中に数回企業を訪問します。なお、企業訪問にかかる交通費は自己負担です。

11. 「PBL 特別演習008 【福島で学ぶ復興と原発問題】」〈秋学期集中〉

『2020年度「PBL 特別演習008 【福島で学ぶ復興と原発問題】」募集要項』を確認の上、応募してください。

実施日程は、8月24日(月)～8月29日(土)（予定）。なお、宿泊代等の諸費用として23,000円程度（予定）が必要です。（交通費、食費等を除く）

12. 「PBL 特別演習009 【三木市・旧市街地 FW】」〈春学期・秋学期〉

学期期間中に数回週末に現地でのフィールドワークを実施予定です。なお、現地への交通費は原則自己負担です。

2020年度 全学科目 開講一覧・予備登録（申込み）について

2020年度の全学科目の開講は以下のとおりです。

履修登録については、下記とともに、履修上の注意または各窓口発行の冊子をよく確認してください。

担当窓口の略称は以下のとおり 共通教育センター（教務機構）……共通 スポーツ科学・健康科学教育プログラム室（教務機構）……スポ 言語教育研究センター（教務機構）……言セン ハンズオン・ラーニングセンター……HoLC 国際教育・協力センター、日本語教育センター……CIEC 国連・外交統括センター……国連・外交
--

◎申込方法

A	Webでの予備登録のみ	日程：春学期 4/1(水) 8:50~4/3(金) 16:50 発表：4/6(月) 8:50 秋学期 9/10(木) 9:00~9/11(金) 16:50 発表：9/16(水) 8:50
B	Webでの予備登録+担当窓口への英語要件スコア原本持参	スコア原本持参期間はWeb予備登録と同じ ※スコアを事前登録済（自動登録も含む）の学生はWebでの予備登録のみで可
■	別日程での申し込み期間は各要項で確認（右記） 配布は学部事務室・各窓口	担当窓口：言セン……『Language Programs 2020 インテンシブ・プログラムと言語学習のすすめ』 HoLC……教学Web、各科目個別の募集要項にてお知らせ 国連・外交……教学Web、各科目個別の募集要項等で案内
空白	Web本登録・修正期間にWeb登録	

* 注意事項に※のあるものは、94頁以降の「2020年度 申込・履修についての諸注意」を確認してください。

* 予備登録科目について、定員に満たないクラス等で追加受付を行う場合がありますので、スケジュール、教学Webを適宜確認してください。

* 担当窓口 言セン、HoLCについては、必ず担当窓口発行の要項（上記表）を確認してください。

* CIEC 提供科目および海外留学プログラムについては『国際教育・協力プログラム募集要項』を参照してください。

春学期開講科目

春 言語教育科目											
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
■		言セン	入門英語ⅠA	1~10	春	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語ⅠB	1~10	春	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語ⅡA	1~10	春	1	2	◎	上ヶ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語ⅡB	1~10	春	1	2	◎	上ヶ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	スプリング・インテンシブ・イングリッシュ	1~5	春	2	1	◎	西宮上ヶ原	25	選考あり（入学前）
■		言セン	インテンシブ・イングリッシュ	31~60	春	3	1	◎	西宮上ヶ原	25	選考あり
A		言セン	Skills-based English (Basic)	1~7	春	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	
A		言セン	Skills-based English (Speaking & Listening)	1~2	春	2	1	◎	西宮上ヶ原	25	
B		言セン	Skills-based English (Speaking & Listening) L1	1	春	2	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Speaking & Listening) L2	1	春	2	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Speaking & Listening) L3	1	春	2	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Writing) L1	1	春	1	1	◎	西宮上ヶ原	20	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Writing) L3	1	春	1	1	◎	西宮上ヶ原	20	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Reading) L1	1	春	1	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Reading) L3	1	春	1	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Academic) L3	1~2	春	2	1	◎	上ヶ原・三田	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Academic) L4	1	春	2	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Business A) L2	1~2	春	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Business B) L2	1	春	1	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English (TOEFL)	1~2	春	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	
B		言セン	Skills-based English (TOEFL) L2	1~2	春	1	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English (TOEIC)	1~4	春	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	
B		言セン	Skills-based English (TOEIC) L2	1	春	1	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English (IELTS)	1~3	春	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	
A		言セン	Special English Seminar	1	春集中	1	1	◎	西宮上ヶ原	75	9/7~11の5日間 予備日9/12
■		言セン	フランス語インテンシブ初級Ⅱ	1~3	春	3	2		西宮上ヶ原	約20	履修要件あり
■		言セン	フランス語インテンシブ初級Ⅲ	1	春	2	2		西宮上ヶ原	約20	履修要件あり

■	言セン	フランス語インテンシブ中級	1	春	2	3		西宮上ヶ原	約20	履修要件あり
■	言セン	ドイツ語インテンシブ初級Ⅱ	1~2	春	3	2		西宮上ヶ原	約20	履修要件あり
■	言セン	ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ	1	春	2	2		西宮上ヶ原	約20	履修要件あり
■	言セン	ドイツ語インテンシブ中級	1	春	2	3		西宮上ヶ原	約20	履修要件あり
A	言セン	基礎フランス語Ⅰ	1~2	春	1	1		西宮上ヶ原	40	
	言セン	基礎フランス語Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	フランス語アラカルト（読む）	1	春	1	2		西宮上ヶ原	—	
	言セン	フランス語アラカルト（書く）	1	春	1	2		西宮上ヶ原	—	
A	言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す）A	1~2	春	1	1		西宮上ヶ原	30	
	言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す）B	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
	言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す）C	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
	言セン	基礎ドイツ語Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
	言セン	基礎ドイツ語Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	ドイツ語アラカルト（読む）	1	春	1	2		西宮上ヶ原	—	
	言セン	ドイツ語アラカルト（書く）	1	春	1	2		西宮上ヶ原	—	
	言セン	ドイツ語アラカルト（聞く・話す）A	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
	言セン	ドイツ語アラカルト（聞く・話す）B	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
	言セン	ロシア語初級Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
	言セン	ロシア語初級Ⅱ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	ロシア語初級Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	イタリア語初級Ⅰ	1~4	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
	言セン	イタリア語初級Ⅱ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	イタリア語初級Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	スペイン語初級Ⅰ	1~2	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
	言セン	スペイン語初級Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	スペイン語中級	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	ポルトガル語初級Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
	言セン	ポルトガル語初級Ⅱ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	アラビア語初級Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
	言セン	アラビア語初級Ⅱ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	基礎中国語Ⅰ	1~2	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
	言セン	基礎中国語Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	中国語中級	1~2	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	朝鮮語初級Ⅰ	1~4	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
	言セン	朝鮮語初級Ⅲ	1~2	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	インドネシア語初級Ⅰ	1~2	春	1	1		西宮上ヶ原	—	
	言セン	インドネシア語初級Ⅱ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
A	言セン	日本語初級Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ヶ原	16	
A	CIEC	ビジネス日本語A	1	春	1	3		西宮上ヶ原	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照
A	CIEC	ビジネス日本語B		春	1	3		西宮上ヶ原	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照
A	CIEC	ビジネス日本語C	1	春	1	3		西宮上ヶ原	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照

春 スポーツ科学・健康科学科目（「2020年度 申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること）

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／ コーディネータ	単位	履修 基準 年度	曜日 時限	開講場所	受講者 数制限	特記事項
A		スポ	スポーツ科学講義A	野球の科学	1	中山 悌一	2	1	金1	西宮上ヶ原	200	
A		スポ	健康科学講義A	心と健康	1	永石 高敏	2	1	月5	西宮上ヶ原	200	
A		スポ	体育方法学講義C	体育講義	1	笹場 育子	2	1	火1	西宮上ヶ原	200	
A		スポ	体育方法学講義C	体育講義 KSC	2	山下 伸一	2	1	水1	神戸三田	200	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	1	高島 規郎	2	1	木1	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	2	高島 規郎	2	1	木2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	3	高島 規郎	2	1	木3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	21	仲田 秀臣	2	1	木2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	22	仲田 秀臣	2	1	木3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	フットサル	1	森 祐貴	2	1	月2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	ソフトボール	11	浦田 達也	2	1	火3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	ソフトボール	12	中山 悌一	2	1	金2	西宮上ヶ原	30	
A	※	スポ	スポーツ科学演習D	バスケットボール	1	浦田 達也	2	1	火2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バスケットボール	2	山本 浩二	2	1	金2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バレーボール	11	森 祐貴	2	1	月1	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習E	格技	1	山本 浩二	2	1	金3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習F	水泳・水球	1	川上 光宣	2	1	火3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	健康科学演習A	フィットネス	1	笹場 育子	2	1	水1	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	健康科学演習C	ニュースポーツ	1	林 直也	2	1	水2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	1	森 祐貴	2	1	月3	西宮上ヶ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	2	佐藤 博信	2	1	木1	西宮上ヶ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	3	中山 悌一	2	1	金3	西宮上ヶ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	4	木谷 織信	2	1	火1	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	5	木谷 織信	2	1	火2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	6	木谷 織信	2	1	火3	神戸三田	35	

A	※	スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	7	山下 伸一	2	1	水2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	8	山下 伸一	2	1	水3	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	9	溝畑 潤	2	1	金1	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	10	溝畑 潤	2	1	金2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	11	溝畑 潤	2	1	金3	神戸三田	35	
A		スポ	余暇生活学演習C	夏期アウトドア (キャンプ)		1~2	林 直也	2	1	集中	西宮上ヶ原・ 学外	40 (各20)

春 情報科学科目 (「2020年度 申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること)

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	代表者/ コーディネータ	単位	履修 基準 年度	曜日 時限	開講場所	受講者 数制限	特記事項
A	※	共通	コンピュータ基礎	1	岩田 一男	2	1	水1	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	2	岩田 一男	2	1	水2	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	3	岩田 一男	2	1	水3	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	4	古隅 弘樹	2	1	火1	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	5	西本 実苗	2	1	火3	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	6	西本 実苗	2	1	火4	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	7	西本 実苗	2	1	火5	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	8	玉本 拓郎	2	1	水4	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	9	橋本 幸枝	2	1	金4	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	10	後藤 達也	2	1	水5	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	11	谷村 要	2	1	金5	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	12	近藤 晶子	2	1	火2	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	1	玉本 拓郎	2	1	水5	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	2	谷村 要	2	1	金3	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	3	森際 孝司	2	1	月5	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	4	周防 節雄	2	1	木4	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	5	島野 達雄	2	1	月2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	6	島野 達雄	2	1	月3	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	7	島野 達雄	2	1	水3	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	8	内田啓太郎	2	1	火2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	9	箱井 英寿	2	1	金1	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	10	高田 茂樹	2	1	木2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	11	高田 茂樹	2	1	木3	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (データ分析)	1	周防 節雄	2	1	木3	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (データ分析)	2	箱井 英寿	2	1	金2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (データ分析)	3	池田 瑞穂	2	1	木4	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	1	鍵本 聡	2	1	水4	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	2	鍵本 聡	2	1	水5	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	3	森 巧尚	2	1	火3	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	4	森 巧尚	2	1	火4	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Excel VBA)		古隅 弘樹	2	1	火2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Java)	1	岩田 一男	2	1	火1	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (JavaScript)	1	西本 実苗	2	1	月5	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (JavaScript)	2	西本 実苗	2	1	火2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Processing)	1	鍵本 聡	2	1	水2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Processing)	2	高田 茂樹	2	1	月3	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Processing)	3	高田 茂樹	2	1	月4	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Python)	1	後藤 達也	2	1	水4	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語応用 (PHP)	1	池田 瑞穂	2	2	木3	西宮上ヶ原	30	
		共通	文科系学生のための情報技術入門	1	高田 茂樹	2	1	月2	西宮上ヶ原	—	
	共通	情報技術概論	1	池田 瑞穂	2	1	木2	西宮上ヶ原	—		

春 AI活用人材育成科目 (「2020年度 申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること)

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	担当者	単位	履修 基準 年度	曜日 時限	開講場所	受講者 数制限	特記事項
A	※	共通	AI活用入門	1	西野 均	2	1	火4	西宮上ヶ原	150	
A		共通	AI活用入門	2	西野 均	2	1	水4	西宮上ヶ原	150	
A		共通	AI活用入門	3	巳波 弘佳	2	1	火2	神戸三田	150	
A		共通	AI活用導入演習A	1	西野 均	2	1	火1	西宮上ヶ原	50	履修要件あり
A		共通	AI活用導入演習A	2	西野 均	2	1	木4	神戸三田	50	履修要件あり
A		共通	AI活用導入演習B	1	西野 均	2	1	水1	西宮上ヶ原	50	履修要件あり
A		共通	AI活用導入演習B	2	西野 均	2	1	木5	神戸三田	50	履修要件あり
A		共通	AI活用実践演習A (JavaによるWebアプリケーションデザイン)	1	陰山 真矢	2	2	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、8月~9 月予定
A		共通	AI活用実践演習B (Pythonによる機械学習・深層学習)	1	岩森 俊哉	2	2	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、8月~9 月予定
A		共通	AI活用実践演習C (Webデザイン)	1	陰山 真矢	2	2	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、8月~9 月予定
A		共通	AI活用データサイエンス実践演習I	1	西野 均	2	2	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、8月~9 月予定
A		共通	AI活用データサイエンス実践演習II	1	西野 均	2	3	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、8月~9 月予定

春 グローバルスタディーズ科目											
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
B		言セン	Language and Communication	1~7	春	2	1	◎	上ケ原・三田	12	英語要件あり
B		言セン	Culture and Society	1~8	春	2	1	◎	上ケ原・三田	12	英語要件あり
B		言セン	Academic Writing and Presentation	1~3	春	2	1	◎	西宮上ケ原	12	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Study Abroad)	1~2	春	2	1	◎	西宮上ケ原	20	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Career English)	1~2	春	2	1	◎	西宮上ケ原	15	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Critical Writing)	1	春	2	1	◎	西宮上ケ原	12	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Area Studies)	1~3	春	2	1	◎	西宮上ケ原	12	英語要件あり
B		CIEC	English for Cross-Cultural Studies A (Level 1)		春	2	1	◎	西宮上ケ原	15	
B		CIEC	English for Cross-Cultural Studies A (Level 2)		春	2	1	◎	西宮上ケ原	15	
B		CIEC	English for Cross-Cultural Studies A (Level 3)		春	2	1	◎	西宮上ケ原	15	
A		CIEC	国際情報分析	1~5	春	2	1		上ケ原・三田	24	
A		CIEC	プロジェクトマネジメント I	1~2	春集中	2	1		西宮上ケ原	24	
		CIEC	国際環境論		春	2	1		西宮上ケ原	—	
		CIEC	世界市民論		春	2	1		西宮上ケ原	—	
A		CIEC	グローバルゼミA	1~5	春	2	1		上ケ原・三田	20	
A		CIEC	グローバルゼミB	1	春	2	3		西宮上ケ原	—	国際ボランティアプログラム参加学生のみ対象
		CIEC	カナダ研究入門A		春	2	1		西宮上ケ原	—	
A		CIEC	Topics in Canadian Studies C		春後半	2	1	◎	西宮上ケ原	—	
		CIEC	北欧研究入門		春	2	1		西宮上ケ原	—	
		CIEC	留学とキャリア設計		春	2	1		西宮上ケ原	—	
A		CIEC	グローバルスタディーズ入門	1~4	春	2	1		上ケ原・三田	45	
B		CIEC	総合日本語習科目		春 春集中	2~3	1	◎	西宮上ケ原	15	
B		CIEC	CCC Introduction to Multicultural Studies		春	2	1	◎	西宮上ケ原	100	
		CIEC	日本史概略		春	2	1		西宮上ケ原	—	留学生対象
A		CIEC	日本語教育基礎	1~2	春	2	1		西宮上ケ原	40	
A		CIEC	日本語教育基礎演習	1	春	2	1		西宮上ケ原	20	
■		国連・外交	国連・外交入門（開発）		春	2	2	◎	西宮上ケ原	—	MS 国連・外交プログラム履修許可者対象
■		国連・外交	Career Seminar for International Organizations	1	春	2	3	◎	西宮上ケ原	15	英語要件あり。MS 国連・外交プログラム履修許可者対象
■		国連・外交	国連・外交フィールドワーク		春集中	2	1	◎	上ケ原・東ティモール	10	選考あり。詳細は教学 Web、募集要項等参照
春 ライフデザイン科目【2012年度以前入学生：学際・連携科目】											
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日・時間	開講場所	受講者数制限	特記事項
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	1	阪口 悟	2	1	水 3	西宮上ケ原	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	2	富岡 克彦	2	1	木 2	西宮上ケ原	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	3	富岡 克彦	2	1	水 4	神戸三田	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可
A		HoLC	ライフデザインと仕事A【日本企業編】	1	石田 秀朗	2	1	金 4	西宮上ケ原	42	
A		HoLC	ライフデザインと仕事A【日本企業編】	2	石田 秀朗	2	1	金 5	西宮上ケ原	42	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	1	渡辺 一成	2	1	火 1	西宮上ケ原	42	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	2	石田 典子	2	1	火 3	西宮上ケ原	42	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	3	石田 典子	2	1	火 4	西宮上ケ原	42	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	4	渡辺 一成	2	1	金 1	西宮上ケ原	42	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	5	渡辺 一成	2	1	火 3	神戸三田	42	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	6	渡辺 一成	2	1	火 4	神戸三田	42	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	1	石田 典子	2	1	木 3	西宮上ケ原	42	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	2	石田 典子	2	1	木 4	西宮上ケ原	42	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	3	渡辺 一成	2	1	金 3	西宮上ケ原	42	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	4	渡辺 一成	2	1	金 4	西宮上ケ原	42	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	5	渡辺 一成	2	1	木 3	神戸三田	42	

A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	6	渡辺 一成	2	1	木4	神戸三田	42	
A		HoLC	ライフ・キャリア発展演習	1	勝又あずさ	2	2	水4	西宮上ヶ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア発展演習	2	勝又あずさ	2	2	水2	神戸三田	30	
■	※	HoLC	ライフ・キャリア リーダーシップ実習		勝又あずさ	2	1	集中	西宮上ヶ原・神戸三田・東京	20	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	インターンシップ実習	1	勝又あずさ	1	1	集中	各企業・団体	なし	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	キャリアゼミA	1	森 隆史	2	1	金4	西宮上ヶ原	45	土曜日にも数回授業あり
A	※	HoLC	キャリアゼミA	2	森 隆史	2	1	木4	神戸三田	25	土曜日にも数回授業あり
■	※	HoLC	キャリアゼミB		森 隆史	2	1	集中	上ヶ原・大阪	40	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	海外インターンシップ(アメリカ・ロサンゼルス)	1	勝又あずさ	2	1	集中	ロサンゼルス	25	詳細は「国際教育・協力プログラム募集要項」参照
■	※	HoLC	海外インターンシップ(ベトナム・ハノイ)		勝又あずさ	2	1	集中	ハノイ	20	詳細は「国際教育・協力プログラム募集要項」参照
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習(岩手)	1	木本 浩一 奥貫 麻紀	6	1	集中	岩手県	5	8月上旬から9月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習(福井)	1	木本 浩一 奥貫 麻紀	6	1	集中	福井県	5	8月上旬から9月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習(石川)	1	木本 浩一 奥貫 麻紀	6	1	集中	石川県	5	8月上旬から9月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習(岡山)	1	木本 浩一 奥貫 麻紀	6	1	集中	岡山県	5	8月上旬から9月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習(大阪)	1	木本 浩一 奥貫 麻紀	6	1	集中	大阪府	10	8月上旬から9月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習(兵庫)	1	木本 浩一 奥貫 麻紀	6	1	集中	兵庫県	10	8月上旬から9月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン

春 基盤・学際科目 [2012年度以前入学生：学際・連携科目]

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日・時間	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		共通	「関学」学	関西学院の歴史	1	嶺重 淑	2	1	月4	西宮上ヶ原	300	
		共通	人権教育科目002	在日朝鮮人と人権A		高島 千代	2	1	火4	西宮上ヶ原	—	
A		共通	人権教育科目004	ジェンダーと人権A		倉島 哲	2	1	火3	西宮上ヶ原	200	
A		共通	人権教育科目010	セクシュアリティと人権		澤田有希子	2	1	金2	西宮上ヶ原	200	
		共通	人権教育科目011	部落差別と人権A		宮下 博幸	2	1	月4	西宮上ヶ原	—	
A		共通	人権教育科目013	差別と人権		細見 和志	2	1	木5	神戸三田	200	
A		共通	災害復興学入門	「人間の復興」の視点で被災者支援を考える		斉藤 容子	2	1	金2	西宮上ヶ原	100	
		共通	総合コース213	21世紀の日本研究		桑山 敬己	2	2	木1	西宮上ヶ原	—	
		共通	総合コース536	グローバル世界に発信する「日本文化の魅力」の教育意義と教育体験		峯岸 由治	2	1	木5	西宮上ヶ原	—	
A		共通	総合コース807	Mastery for Service のリーダーシップ		佐藤 善信	2	1	火4	西宮上ヶ原	50	
		共通	寄附講座207	手話の世界		松岡 克尚	2	1	火5	西宮上ヶ原	—	
		共通	連携講座004	医学入門A		鈴木敬一郎	2	1	火3	神戸三田	—	
A	※	共通	連携講座006	早期臨床体験実習		鈴木敬一郎	1	1	集中	兵庫医大	20	
A	※	共通	連携講座008	医療入門		鈴木敬一郎	2	1	集中	兵庫医大	10	
A	※	共通	連携講座009	東洋医学入門		戴 毅	1	2	集中	兵庫医大	10	
		共通	連携講座013	ソーシャル・イノベーション		実 哲也	2	1	火5	神戸三田	—	
A	※	共通	連携講座014	臨床ゲノム医学入門		大村谷昌樹	1	1	集中	兵庫医大	10	
A		共通	スタディスキルセミナー(読む・書く・話す・聴く)		1	渡辺 一成	2	1	月1	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー(読む・書く・話す・聴く)		2	渡辺 一成	2	1	月2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー(読む・書く・話す・聴く)		3	渡辺 一成	2	1	月5	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー(読む・書く・話す・聴く)		4	渡辺 一成	2	1	水1	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー(読む・書く・話す・聴く)		5	渡辺 一成	2	1	水2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー(読む・書く・話す・聴く)		6	渡辺 一成	2	1	水4	神戸三田	30	
A	※	共通	スタディスキルセミナー(リポート執筆の基礎)		1	時任 隼平	2	1	火5	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー(リポート執筆の基礎)		2	西口 啓太	2	1	月2	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー(リポート執筆の基礎)		3	西口 啓太	2	1	金3	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー(リポート執筆の基礎)		4	西口 啓太	2	1	金4	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー(リポート執筆の基礎)		5	西口 啓太	2	1	木3	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー(リポート執筆の基礎)		6	西口 啓太	2	1	金2	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー(リポート執筆の基礎)		7	福山 佑樹	2	1	水2	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー(リポート執筆の基礎)		8	福山 佑樹	2	1	水3	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー(リポート執筆の基礎)		9	福山 佑樹	2	1	水4	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー(リポート執筆の基礎)		10	福山 佑樹	2	1	木2	西宮上ヶ原	20	

A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	11	福山 佑樹	2	1	木4	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	12	福山 佑樹	2	1	木5	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	13	三井 規裕	2	1	月3	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)	14	三井 規裕	2	1	月4	西宮上ヶ原	20	
A		共通	スタディスキルセミナー (文章表現)	1	中村 正憲	2	1	木3	西宮上ヶ原	20	
A		共通	スタディスキルセミナー (文章表現)	2	中村 正憲	2	1	木4	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (プレゼンテーション)	1	三井 規裕	2	1	月2	西宮上ヶ原	30	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (プレゼンテーション)	2	三井 規裕	2	1	火3	西宮上ヶ原	30	
■	※	HoLC	平和学特別演習「ヒロシマ」		澤村 雅史	2	1	集中	上ヶ原・広島	25	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	ハンズオン・プラクティス	1	木本 浩一	2	1	集中	上ヶ原・淡路島	25	土曜日集中開講
A		HoLC	社会探究入門	1	木本 浩一	2	1	火3	西宮上ヶ原	45	
A		HoLC	社会探究入門	2	奥貫 麻紀	2	1	水2	西宮上ヶ原	45	
A		HoLC	社会探究入門	3	木本 浩一	2	1	水2	神戸三田	45	
A		HoLC	社会探究リサーチ・ベーシックA (定量編)	1	時任 隼平	2	1	金3	西宮上ヶ原	30	
A		HoLC	社会探究リサーチ・ベーシックA (定量編)	2	時任 隼平	2	1	月2	神戸三田	30	
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅰ (瀬戸内海・豊島環境FW)	1	木本 浩一	2	1	集中	香川県豊島	15	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅱ (瀬戸内海・豊島環境FW)	1	木本 浩一	2	1	集中	香川県豊島	5	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】		シュラーテ	2	1	集中	上ヶ原・梅田	50	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	PBL 特別演習006【公認会計士と挑む企業のビジネス課題】		勝又あずさ 塩見 優子	2	1	集中	西宮上ヶ原・大坂	40	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	PBL 特別演習007【阪急阪神HD(株)と挑む社会課題】		奥貫 麻紀	4	1	水4, 水5	西宮上ヶ原	20	学期期間中に数回企業訪問あり
■	※	HoLC	PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】		村尾 信尚 時任 隼平	2	1	集中	上ヶ原・福島	25	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	PBL 特別演習009【三木市・旧市街地FW】	1	奥貫 麻紀	2	1	火2	上ヶ原・三木	15	週末に数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ (篠山・今田コミュニティ・ガバナンスFW)	1	木本 浩一	4	1	水3, 水4	神戸三田・篠山	20	週末に数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ (朝来・竹田城下町活性化PJ)	1	奥貫 麻紀	4	1	木3, 木4	上ヶ原・朝来	20	週末に数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅱ (篠山・今田コミュニティ・ガバナンスFW)	1	木本 浩一	4	1	水3, 水4	神戸三田・篠山	5	週末に数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅱ (朝来・竹田城下町活性化PJ)	1	奥貫 麻紀	4	1	木3, 木4	上ヶ原・朝来	5	週末に数回現地実習あり

春学期集中科目は、2020年度春学期卒業見込者は履修できません。(ただし、ハンズオン・ラーニングセンター開講「ハンズオン・プラクティス」を除く)
ただし、CCCプログラム (Certificate Program, MS 特別プログラム「クロス・カルチュラル・スタディーズ」) 登録者及び実践型“世界市民”育成プログラム・グローバルリーダーコース登録者でCIEC開講の集中科目の履修を希望する場合は、CIEC事務室まで個別相談に来てください。

秋学期開講科目

秋	言語教育科目										
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
■		言セン	入門英語ⅠA	11~20	秋	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語ⅠB	11~20	秋	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語ⅡA	11~20	秋	1	2	◎	上ヶ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語ⅡB	11~20	秋	1	2	◎	上ヶ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	インテンシブ・イングリッシュ	1~30	秋	3	1	◎	西宮上ヶ原	25	選考あり
A		言セン	Skills-based English (Basic)	8~14	秋	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	
A		言セン	Skills-based English (Speaking & Listening)	3~4	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	25	
B		言セン	Skills-based English (Speaking & Listening) L1	2~3	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Speaking & Listening) L2	2~3	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Speaking & Listening) L3	2~4	秋	2	1	◎	上ヶ原・三田	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Writing) L1	2	秋	1	1	◎	西宮上ヶ原	20	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Writing) L3	2	秋	1	1	◎	西宮上ヶ原	20	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Reading) L1	2	秋	1	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Reading) L3	2	秋	1	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Academic) L3	3	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Academic) L4	2	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Business A) L2	3	秋	1	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Business B) L2	2~3	秋	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English (TOEFL)	3~6	秋	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	
B		言セン	Skills-based English (TOEFL) L2	3~4	秋	1	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English (TOEIC)	5~8	秋	1	1	◎	上ヶ原・三田	25	
B		言セン	Skills-based English (TOEIC) L2	2~3	秋	1	1	◎	西宮上ヶ原	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English (IELTS)	4~5	秋	1	1	◎	西宮上ヶ原	25	
■		言セン	フランス語インテンシブ初級Ⅰ	1~3	秋	3	1		西宮上ヶ原	約20	選考あり
■		言セン	フランス語インテンシブ初級Ⅲ	2~3	秋	2	2		西宮上ヶ原	約20	履修要件あり
■		言セン	フランス語インテンシブ中級	2	秋	2	3		西宮上ヶ原	約20	履修要件あり

■	言セン	ドイツ語インテンシブ初級Ⅰ	1~2	秋	3	1		西宮上ヶ原	約20	選考あり
■	言セン	ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ	2	秋	2	2		西宮上ヶ原	約20	履修要件あり
■	言セン	ドイツ語インテンシブ中級	2	秋	2	3		西宮上ヶ原	約20	履修要件あり
	言セン	基礎フランス語Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	基礎フランス語Ⅳ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	フランス語アラカルト（読む）	2	秋	1	2		西宮上ヶ原	—	
	言セン	フランス語アラカルト（書く）	2	秋	1	2		西宮上ヶ原	—	
A	言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す）A	3	秋	1	1		西宮上ヶ原	30	
	言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す）B	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	
	言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す）C	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	
	言セン	基礎ドイツ語Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	基礎ドイツ語Ⅳ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	ドイツ語アラカルト（読む）	2	秋	1	2		西宮上ヶ原	—	
	言セン	ドイツ語アラカルト（書く）	2	秋	1	2		西宮上ヶ原	—	
	言セン	ドイツ語アラカルト（聞く・話す）A	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	
	言セン	ドイツ語アラカルト（聞く・話す）B	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	
	言セン	ロシア語初級Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	ロシア語初中級	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	イタリア語初級Ⅰ	5~6	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	
	言セン	イタリア語初級Ⅱ	2~4	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	イタリア語初中級	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	スペイン語初級Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	スペイン語中級	2~3	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	ポルトガル語初級Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	ポルトガル語初中級	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	アラビア語初級Ⅰ	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	
	言セン	アラビア語初級Ⅱ	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	アラビア語初中級	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	基礎中国語Ⅱ	1・2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	基礎中国語Ⅳ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	中国語中級	3~4	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	朝鮮語初級Ⅱ	1~3	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	朝鮮語中級	1~2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	インドネシア語初級Ⅱ	1~2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	インドネシア語初中級	2	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
	言セン	日本語初級Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ヶ原	—	履修要件あり
A	CIEC	ビジネス日本語A	2~3	秋	1	3		上ヶ原・三田	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照
A	CIEC	ビジネス日本語C	2~3	秋	1	3		上ヶ原・三田	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照

秋 スポーツ科学・健康科学科目（「2020年度 申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること）

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日・時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		スポ	スポーツ科学講義A	野球の科学	2	中山 悌一	2	1	金3	西宮上ヶ原	200	
A		スポ	健康科学講義A	心と健康	2	永石 高敏	2	1	月5	西宮上ヶ原	200	
A		スポ	体育方法学講義C	体育講義	3	溝畑 潤	2	1	木1	西宮上ヶ原	200	
A		スポ	体育方法学講義C	体育講義 KSC	4	山下 伸一	2	1	水3	神戸三田	200	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	4	高島 規郎	2	1	木1	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	5	高島 規郎	2	1	木2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	6	高島 規郎	2	1	木3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	テニス	11	浦田 達也	2	1	火2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	23	山本 浩二	2	1	金2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	24	仲田 秀臣	2	1	木2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	25	仲田 秀臣	2	1	木3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	サッカー	2	森 祐貴	2	1	月2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	ソフトボール	13	中山 悌一	2	1	木1	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	ソフトボール	14	中山 悌一	2	1	金2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バスケットボール	3	浦田 達也	2	1	火3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バレーボール	12	森 祐貴	2	1	月1	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バレーボール	13	高見 和至	2	1	金2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習E	格技	2	山本 浩二	2	1	金3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習F	水泳・水球	2	川上 光宣	2	1	火3	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	健康科学演習A	フィットネス	2	笹場 育子	2	1	木2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	健康科学演習B	トレーニング	1	中山 悌一	2	1	金1	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	健康科学演習C	ニュースポーツ	2	林 直也	2	1	水2	西宮上ヶ原	30	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	12	甲斐 知彦	2	1	月1	西宮上ヶ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	13	森 祐貴	2	1	月3	西宮上ヶ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	14	笹場 育子	2	1	火1	西宮上ヶ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	15	林 直也	2	1	水1	西宮上ヶ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	16	木谷 織信	2	1	火1	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	17	木谷 織信	2	1	火2	神戸三田	35	

A	※	スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	18	木谷 織信	2	1	火3	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	19	山下 伸一	2	1	水1	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	20	山下 伸一	2	1	水2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	21	溝畑 潤	2	1	金1	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	22	溝畑 潤	2	1	金2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技 KSC	23	溝畑 潤	2	1	金3	神戸三田	35	
A		スポ	余暇生活学演習D	冬期アウトドア (スキー・スノーボード)	1~4	佐藤 博信	2	1	集中	西宮上ヶ原・ 学外	32 (各8)	9月~1月に3回事前授業あり 2月実施

秋 情報科学科目 (「2020年度 申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること)

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	代表者 / コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日 時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		共通	コンピュータ基礎	15	岩田 一男	2	1	水1	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	16	岩田 一男	2	1	水2	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	17	岩田 一男	2	1	水3	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	18	古隅 弘樹	2	1	金1	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	19	西本 実苗	2	1	火3	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	20	西本 実苗	2	1	火4	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	21	西本 実苗	2	1	火5	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	22	玉本 拓郎	2	1	水4	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	23	橋本 幸枝	2	1	金4	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	24	後藤 達也	2	1	水5	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	25	谷村 要	2	1	金5	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	26	近藤 晶子	2	1	火2	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ基礎	27	近藤 晶子	2	1	火4	西宮上ヶ原	78	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	13	玉本 拓郎	2	1	水5	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	14	谷村 要	2	1	金3	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	15	森際 孝司	2	1	月3	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	16	森際 孝司	2	1	月5	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	17	周防 節雄	2	1	木4	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	18	島野 達雄	2	1	月2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	19	島野 達雄	2	1	月4	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	20	島野 達雄	2	1	水3	西宮上ヶ原	30	
A	※	共通	コンピュータ実践 (表計算)	21	内田啓太郎	2	1	火2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	22	箱井 英寿	2	1	金1	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	23	高田 茂樹	2	1	木2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)	24	高田 茂樹	2	1	木3	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (データ分析)	4	後藤 達也	2	1	水4	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (データ分析)	5	周防 節雄	2	1	木3	西宮上ヶ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (データ分析)	6	箱井 英寿	2	1	金2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	5	鍵本 聡	2	1	水4	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	6	鍵本 聡	2	1	水5	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (ActionScript)	7	森 巧尚	2	1	火3	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (C)		古隅 弘樹	2	1	金2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Java)	2	岩田 一男	2	1	火1	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (JavaScript)	3	西本 実苗	2	1	月5	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (JavaScript)	4	西本 実苗	2	1	火2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Processing)	4	鍵本 聡	2	1	水2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Processing)	5	高田 茂樹	2	1	月2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Processing)	6	高田 茂樹	2	1	月3	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Python)	2	池田 瑞穂	2	1	木4	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語基礎 (Python)	3	森 巧尚	2	1	火4	西宮上ヶ原	30	
A		共通	プログラミング言語応用 (PHP)	2	池田 瑞穂	2	2	木3	西宮上ヶ原	30	
		共通	文科系学生のための情報技術入門	2	高田 茂樹	2	1	火5	西宮上ヶ原	—	
		共通	情報技術概論	2	池田 瑞穂	2	1	木2	西宮上ヶ原	—	

秋 AI活用人材育成科目 (「2020年度 申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること)

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	担当者	単位	履修基準年度	曜日 時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		共通	AI活用入門	4	西野 均	2	1	火4	西宮上ヶ原	150	
A		共通	AI活用入門	5	西野 均	2	1	木4	西宮上ヶ原	150	
A		共通	AI活用入門	6	巴波 弘佳	2	1	水3	神戸三田	150	
A		共通	AI活用導入演習A	3	西野 均	2	1	火1	西宮上ヶ原	50	履修要件あり
A		共通	AI活用導入演習A	4	西野 均	2	1	水4	神戸三田	50	履修要件あり
A		共通	AI活用導入演習B	3	西野 均	2	1	木2	西宮上ヶ原	50	履修要件あり
A	※	共通	AI活用導入演習B	4	西野 均	2	1	水5	神戸三田	50	履修要件あり
A		共通	AI活用実践演習A (JavaによるWebアプリケーションデザイン)	2	陰山 真矢	2	2	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、2月~3月予定
A		共通	AI活用実践演習B (Pythonによる機械学習・深層学習)	2	岩森 俊哉	2	2	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、2月~3月予定
A		共通	AI活用実践演習C (Webデザイン)	2	陰山 真矢	2	2	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、2月~3月予定

A		共通	AI活用データサイエンス実践演習Ⅰ	2	西野 均	2	2	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、2月～3月予定	
A	※	共通	AI活用データサイエンス実践演習Ⅱ	2	西野 均	2	3	集中	西宮上ヶ原	50	履修要件あり、2月～3月予定	
A		共通	AI活用発展演習Ⅰ		西野 均	2	3	集中	西宮上ヶ原	30	履修要件あり、2月～3月予定	
秋	グローバルスタディーズ科目											
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項	
B		言セン	Language and Communication	8～16	秋	2	1	◎	上ヶ原・三田	12	英語要件あり	
B		言セン	Culture and Society	9～18	秋	2	1	◎	上ヶ原・三田	12	英語要件あり	
B		言セン	Academic Writing and Presentation	4～6	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	12	英語要件あり	
B		言セン	Project-based Seminar in English (Study Abroad)	3～5	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	20	英語要件あり	
B		言セン	Project-based Seminar in English (Career English)	3～4	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	15	英語要件あり	
B		言セン	Project-based Seminar in English (Critical Writing)	2	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	12	英語要件あり	
B		言セン	Project-based Seminar in English (Area Studies)	4～6	秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	12	英語要件あり	
B		CIEC	English for Cross-Cultural Studies B (Level 1)		秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	15		
B		CIEC	English for Cross-Cultural Studies B (Level 2)		秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	15		
B		CIEC	English for Cross-Cultural Studies B (Level 3)		秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	15		
A		CIEC	国際情報分析	6～10	秋	2	1		上ヶ原・三田	24		
		CIEC	教育開発論		秋	2	1		西宮上ヶ原	—		
A		CIEC	プロジェクトマネジメントⅠ	3～4	秋集中	2	1		西宮上ヶ原	24		
A		CIEC	グローバルゼミA	6～10	秋	2	1		上ヶ原・三田	20		
A		CIEC	グローバルゼミB	2	秋	2	3		西宮上ヶ原	—	国際ボランティアプログラム参加学生のみ対象	
A		CIEC	グローバルスタディーズ入門	5～8	秋	2	1		上ヶ原・三田	45		
		CIEC	カナダ研究入門B		秋	2	1		西宮上ヶ原	—		
A		CIEC	Topics in Canadian Studies A		秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	—		
A		CIEC	Topics in Canadian Studies B		秋	2	1	◎	西宮上ヶ原	—		
B		CIEC	総合日本学習科目		秋集中	2	1	◎	西宮上ヶ原	15		
B		CIEC	CCC Introduction to Multicultural Studies		秋集中	2	1	◎	西宮上ヶ原	100		
B		CIEC	CCC Introduction to International Relations		秋集中	2	1	◎	西宮上ヶ原	100		
A		CIEC	日本語教育基礎	3～4	秋	2	1		上ヶ原・三田	40		
A		CIEC	日本語教育基礎演習	2	秋	2	1		西宮上ヶ原	20		
■		国連・外交	国連・外交入門(平和・人権・人道)		秋	2	2	◎	西宮上ヶ原	—	MS国連・外交プログラム履修許可対象	
■		国連・外交	国際教養としての時事問題		秋集中	1	1		西宮上ヶ原	50	1年生のみ履修可。選考あり。詳細は教学Web、募集要項等参照	
■		国連・外交	Career Seminar for International Organizations	2	秋	2	3	◎	西宮上ヶ原	15	MS国連・外交プログラム履修許可対象	
秋	ライフデザイン科目【2012年度以前入学生：学際・連携科目】											
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	4	阪口 悟	2	1	水2	西宮上ヶ原	250	「社会の中での自分(インターンシップ講義)」の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	5	阪口 悟	2	1	水3	西宮上ヶ原	250	「社会の中での自分(インターンシップ講義)」の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	6	富岡 克彦	2	1	木2	西宮上ヶ原	250	「社会の中での自分(インターンシップ講義)」の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	7	富岡 克彦	2	1	水4	神戸三田	250	「社会の中での自分(インターンシップ講義)」の単位修得者は履修不可	
A		HoLC	ライフデザインと仕事A【日本企業編】	3	石田 秀朗	2	1	金4	西宮上ヶ原	42		
A		HoLC	ライフデザインと仕事A【日本企業編】	4	石田 秀朗	2	1	金5	西宮上ヶ原	42		
A		HoLC	ライフデザインと仕事B【外資系企業編】	1	勝又あずさ	2	1	火2	西宮上ヶ原	120		
A		HoLC	ライフデザインと仕事B【外資系企業編】	2	勝又あずさ	2	1	火3	西宮上ヶ原	120		
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	7	渡辺 一成	2	1	火1	西宮上ヶ原	42	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	8	石田 典子	2	1	火3	西宮上ヶ原	42	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	9	石田 典子	2	1	火4	西宮上ヶ原	42	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	10	渡辺 一成	2	1	金1	西宮上ヶ原	42	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	11	渡辺 一成	2	1	火3	神戸三田	42	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可	

A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習		12	渡辺 一成	2	1	火4	神戸三田	42	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習		7	石田 典子	2	1	木3	西宮上ヶ原	42	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習		8	石田 典子	2	1	木4	西宮上ヶ原	42	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習		9	渡辺 一成	2	1	金3	西宮上ヶ原	42	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習		10	渡辺 一成	2	1	金4	西宮上ヶ原	42	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習		11	渡辺 一成	2	1	木3	神戸三田	42	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習		12	渡辺 一成	2	1	木4	神戸三田	42	
A		HoLC	ライフ・キャリア発展演習		3	勝又あずさ	2	2	水4	西宮上ヶ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア発展演習		4	勝又あずさ	2	2	水2	神戸三田	30	
■	※	HoLC	インターンシップ実習		2	勝又あずさ	1 もしくは 2	1	集中	各企業・団体	なし	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	キャリアゼミC			森 隆史	2	1	集中	上ヶ原・東京	40	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	霞が関セミナー			勝又あずさ	2	1	集中	上ヶ原・東京	60	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	海外インターンシップ (アメリカ・ロサンゼルス)		2	勝又あずさ	2	1	集中	ロサンゼルス	25	詳細は「国際教育・協力プログラム募集要項」参照
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習 (岩手)		2	木本 浩一 奥貫 麻紀	6	1	集中	岩手県	5	2月上旬から3月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習 (福井)		2	木本 浩一 奥貫 麻紀	6	1	集中	福井県	5	2月上旬から3月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習 (石川)		2	木本 浩一 奥貫 麻紀	6	1	集中	石川県	5	2月上旬から3月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習 (岡山)		2	木本 浩一 奥貫 麻紀	6	1	集中	岡山県	5	2月上旬から3月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習 (大阪)		2	木本 浩一 奥貫 麻紀	6	1	集中	大阪府	10	2月上旬から3月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップ実習 (兵庫)		2	木本 浩一 奥貫 麻紀	6	1	集中	兵庫県	10	2月上旬から3月中旬の約1ヶ月間受入企業・団体でインターン
秋	基盤・学際科目 [2012年度以前入学生：学際・連携科目]											
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／ コーディネータ	単位	履修 基準 年度	曜日 時間	開講場所	受講者 数制限	特記事項
A		共通	「関学」学	関西学院の歴史	2	嶺重 淑	2	1	月4	西宮上ヶ原	300	
		共通	「関学」学	関西学院の歴史	3	細見 和志	2	1	火5	神戸三田	—	
		共通	人権教育科目003	在日朝鮮人と人権B		高島 千代	2	1	火4	西宮上ヶ原	—	
A		共通	人権教育科目005	ジェンダーと人権B		倉島 哲	2	1	火3	西宮上ヶ原	200	
		共通	人権教育科目007	人権と共生		村瀬 義史	2	1	木5	神戸三田	—	
A		共通	人権教育科目009	多文化社会と人権		高井由起子	2	1	月2	西宮上ヶ原	200	
		共通	人権教育科目012	部落差別と人権B		宮下 博幸	2	1	月4	西宮上ヶ原	—	
A	※	共通	人権教育科目016	人権問題演習		阿部 潔	2	1	月4	西宮上ヶ原	24	先修条件あり
A	※	共通	人権教育科目017	障害と人権		小谷 正登	2	1	木3	西宮上ヶ原	150	
A		共通	災害復興学	一人ひとりに着目した「人間復興」の学問的理論を考える		斉藤 容子	2	1	金2	西宮上ヶ原	100	
A		共通	総合コース214	地方創生・地域再生論		大熊 省三	2	2	月5	西宮上ヶ原	50	
		共通	寄附講座206	大学とスポーツ		岡田 太志	2	1	金1	西宮上ヶ原	—	
		共通	連携講座002	たからづか学		佐竹 隆幸	2	1	木4	西宮上ヶ原	—	
		共通	連携講座005	医学入門B		辻村 亨	2	1	水4	西宮上ヶ原	—	
		共通	連携講座016	地域メディア論		佐藤 善信	2	1	火4	西宮上ヶ原	—	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)		7	渡辺 一成	2	1	月1	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)		8	渡辺 一成	2	1	月2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)		9	渡辺 一成	2	1	月5	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)		10	渡辺 一成	2	1	水1	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)		11	渡辺 一成	2	1	水2	西宮上ヶ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー (読む・書く・話す・聴く)		12	渡辺 一成	2	1	水4	神戸三田	30	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		15	西口 啓太	2	1	月2	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		16	西口 啓太	2	1	月3	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		17	西口 啓太	2	1	月4	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		18	西口 啓太	2	1	火2	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		19	西口 啓太	2	1	火3	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		20	西口 啓太	2	1	火4	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		21	福山 佑樹	2	1	水2	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		22	福山 佑樹	2	1	水3	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		23	福山 佑樹	2	1	水4	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		24	福山 佑樹	2	1	木2	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー (レポート執筆の基礎)		25	福山 佑樹	2	1	木4	西宮上ヶ原	20	

A	※	共通	スタディスキルセミナー（レポート執筆の基礎）	26	福山 佑樹	2	1	木 5	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（レポート執筆の基礎）	27	三井 規裕	2	1	金 3	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（レポート執筆の基礎）	28	三井 規裕	2	1	金 4	西宮上ヶ原	20	
A		共通	スタディスキルセミナー（文章表現）	3	中村 正憲	2	1	木 3	西宮上ヶ原	20	
A		共通	スタディスキルセミナー（文章表現）	4	中村 正憲	2	1	木 4	西宮上ヶ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（プレゼンテーション）	3	三井 規裕	2	1	火 3	西宮上ヶ原	30	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（プレゼンテーション）	4	三井 規裕	2	1	金 2	西宮上ヶ原	30	
A	※	HoLC	ハンズオン・プラクティス	2	木本 浩一	2	1	集中	上ヶ原・淡路島	25	土曜日集中開講
A		HoLC	社会探究入門	4	木本 浩一	2	1	火 3	西宮上ヶ原	45	
A		HoLC	社会探究入門	5	奥貫 麻紀	2	1	水 2	西宮上ヶ原	45	
A		HoLC	社会探究入門	6	木本 浩一	2	1	水 2	神戸三田	45	
A		HoLC	社会探究リサーチ・ベーシックB（定性編）	1	時任 隼平	2	1	月 2	西宮上ヶ原	30	
A		HoLC	社会探究リサーチ・ベーシックB（定性編）	2	時任 隼平	2	1	火 2	神戸三田	30	
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅰ（瀬戸内海・豊島環境 FW）	2	木本 浩一	2	1	集中	香川県豊島	15	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅰ（広島・江田島平和 FW）		木本 浩一	2	1	集中	広島県江田島	15	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW）	2	木本 浩一	2	1	集中	香川県豊島	5	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅱ（広島・江田島平和 FW）		木本 浩一	2	1	集中	広島県江田島	5	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	PBL 特別演習004【富士ゼロックス兵庫㈱「志プロジェクト」】		時任 隼平	4	1	月 4, 月 5	西宮上ヶ原	24	学期期間中に数回企業訪問あり
A		HoLC	PBL 特別演習005【アントレプレナー養成講座】	1	西元 涼	2	1	月 5	西宮上ヶ原	25	
A		HoLC	PBL 特別演習005【アントレプレナー養成講座】	2	西元 涼	2	1	月 3	神戸三田	25	
A	※	HoLC	PBL 特別演習009【三木市・旧市街地 FW】	2	奥貫 麻紀	2	1	火 2	上ヶ原・三木	15	週末に数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ（篠山・今田コミュニティ・ガバナンス FW）	2	木本 浩一	4	1	水 3, 水 4	神戸三田・篠山	20	週末に数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ（朝来・竹田城下町活性化 PJ）	2	奥貫 麻紀	4	1	木 3, 木 4	上ヶ原・朝来	20	週末に数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅱ（篠山・今田コミュニティ・ガバナンス FW）	2	木本 浩一	4	1	水 3, 水 4	神戸三田・篠山	5	週末に数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅱ（朝来・竹田城下町活性化 PJ）	2	奥貫 麻紀	4	1	木 3, 木 4	上ヶ原・朝来	5	週末に数回現地実習あり

秋学期集中科目は、2020年度秋学期卒業見込者は履修できません。（ただし、ハンズオン・ラーニングセンター開講「ハンズオン・プラクティス」を除く）
ただし、CCCプログラム（Certificate Program、MS 特別プログラム「クロス・カルチャラル・スタディーズ」）登録者及び実践型「世界市民」育成プログラム・グローバルリーダーコース登録者でCIEC開講の集中科目の履修を希望する場合は、CIEC事務室まで個別相談に来てください。

3.7.3 教職科目

2020年度 免許状取得のための他学部履修について

1 免許状取得のための他学部履修に関する取り扱い

本学在学中の者は、所属する学部（学科）において取得できる免許状以外の免許状を、他学部履修に関する取り扱いによって取得することが可能である。この取り扱いを受けようとする者は、教職教育研究センターで以下の申込手続きを行い、所属学部及び受け入れ学部の承認を経て、教職課程委員会の承認を得ること。履修にあたっては、免許状取得に必要なすべての単位を卒業までに修得できるよう計画を立てなければならない。詳細は、「教職課程等履修要項」を参照すること。

2 2020年度免許状取得のための他学部履修希望者の手続き

(1) 申し込み資格

卒業までに、免許状取得のためのすべての単位を修得できる可能性を持つ者。

(2) 申し込み

日 時：

〔通年・春学期科目〕 3月21日(土)～3月27日(金) 8:50～11:30、12:30～16:50
ただし、土曜日は8:50～12:20

〔秋学期科目〕 8月28日(金)～9月3日(木) 9:00～11:30、12:30～16:00
ただし、8月29日(土)は閉室

※1年生については〔秋学期科目〕からの申し込みとする。

手続き：

手順① 「履修申込書」(Excel ファイル) のダウンロード

教学 Web サービスのお知らせ配信にて、取扱い詳細を事前に通知するので、各自で確認の上、ダウンロードすること。ダウンロード可能日については掲示で通知する。

手順② 「履修申込書」(Excel ファイル) の印刷

ダウンロードした「履修申込書」(Excel ファイル) に、取扱い詳細を参照しながら必要事項を入力し、完成したものを A4 用紙に印刷すること。
(電子データの提出は不要)

手順③ 「履修申込書」の提示(確認)(上記申込期間内)

必要事項を入力し、印刷した「履修申込書」(A4用紙)を教職教育研究センター(上ヶ原キャンパスまたは神戸三田キャンパス)に提示し受付印を押印してもらう。

手順④ 「履修申込書」の提出(上記申込期間内)

手順③で押印を受けた「履修申込書」(A4用紙)を各自の所属学部事務室へ提出する。

(3) 履修許可科目の確認

日 時：〔通年・春学期科目〕 4月7日(火)

〔秋学期科目〕 9月23日(水)

場 所：所属学部事務室

ただし、同一学部内の他学科履修をしようとする者は、上記手続きは不要とする。

3 「理科」、「数学」、「情報」、「福祉」、「保健体育」の取り扱いについて

(1) 理工学部の「理科」および「情報」は他学部履修できない。

(2) 理工学部物理学科、情報科学科および人間システム工学科の「数学」は他学部履修できない。

(3) 総合政策学部の「情報」は他学部履修できない。

(4) 人間福祉学部社会福祉学科の「福祉」は他学部・他学科履修できない。

(5) 人間福祉学部の「保健体育」は他学部履修できない。

※ なお、教育学部に小学校教員・幼稚園教員・特別支援学校教員・保育士を養成する課程が設置されているが、教育学部生以外の学生は履修できないので、注意すること。

2020年度「博物館実習」履修について

I 先修条件・履修者数制限

- 2020年度「博物館実習」履修者の先修条件は、つぎの通りとする。
【2012年度以降入学生及び編入学生】
「博物館概論」2単位、「博物館経営論」2単位、「博物館資料論」2単位、「博物館教育論」2単位、の計4科目8単位を修得すること。
【2011年度以前入学生】
「生涯学習概論」2単位、「博物館概論」2単位、「博物館学各論A」2単位、「博物館学各論B」2単位の計4科目8単位を修得すること。
- 上記先修条件を満たした履修希望者を対象にオリエンテーションを行う。これに欠席・遅刻した者の履修は原則として認めない。
- 先修条件を満たし、「博物館実習オリエンテーション」に出席した履修希望者数が70名を超える場合は、履修者数制限を行う。
その方法は以下のとおりとする。
 - 4年生及び科目等履修生を優先とし、残りについて3年生から先修科目の成績およびクラス希望を勘案し選考する。
 - 選考は、オリエンテーション終了後、教職教育研究センターにて教職教育研究センター副長の立ち会いのもと厳正に行う。

II 2020年度「博物館実習」履修希望者の手続き

- オリエンテーション出席
日 時：4月1日(水) 13:30~14:30
場 所：第4別館 202号教室 (上ヶ原キャンパス)
- 履修者発表の確認
(オリエンテーション出席者が70名を、上回る場合は、上記要領で履修者を決定するので、各自確認すること。)
日 時：4月3日(金) 8:50
場 所：(上ヶ原キャンパス) 教職教育研究センター掲示板
(神戸三田キャンパス) 教職教育研究センター掲示板

(以下は履修が認められた者の手続きである。)

- 実習費納入・履修申し込み
日 時：4月3日(金)~6日(月) 8:50~11:30、12:30~16:50
ただし、4月4日(土)は8:50~12:20、4月5日(日)は閉室
場 所：(上ヶ原キャンパス) 教職教育研究センター
(神戸三田キャンパス) 教職教育研究センター
※提出は上ヶ原キャンパス・神戸三田キャンパスのみ
方 法：実習費金額(8,000円)の申請書を証明書自動発行機(学生サービスセンター、図書館、G号館、神戸三田キャンパスI・VI号館、(聖和キャンパス、大阪梅田キャンパス))で購入し、実習生カード(要 写真 3.5×4.0 cm)とともに提出すること。
- 許可されたクラスの第1回授業に必ず出席すること。

教職課程における「教科に関する科目 (2018年度以前入学生)」、「教科に関する専門的事項 (2019年度以降入学生)」の履修について

取得しようとする教科の「教科に関する科目 (2018年度以前入学生)」、「教科に関する専門的事項 (2019年度以降入学生)」は、すべて所属学部で開講されている。他学部で同じ名称の科目が開講されている場合もあるが、免許状取得のための「教科に関する科目 (2018年度以前入学生)」、「教科に関する専門的事項 (2019年度以降入学生)」としては認められないので、十分確認のうえ履修登録すること。

3.8 その他注意事項

3.8.1 他学部開講科目の履修

他学部で開講されている科目を履修する場合は、次の点に注意してください。

- (1) 履修単位数制限内で履修することができます。
- (2) 神戸三田キャンパスあるいは西宮聖和キャンパスにて開講される科目については、キャンパス間の移動時間を考慮してください。神戸三田キャンパスあるいは西宮聖和キャンパスにて開講される科目の前後1コマ分は、西宮上ヶ原キャンパスにて開講される科目を履修することはできませんので十分に注意してください。ただし、西宮聖和キャンパスにて開講される科目については、「1時限目と2時限目」および「2時限目と3時限目」の西宮上ヶ原キャンパスとの連続履修を認めます。
- (3) 授業・試験については、当該学部の規程が適用されるので、当該学部の掲示板等に注意してください。
- (4) ネットシラバスの他学部開講科目および他学部の時間割の科目名の前に「†」印のついている科目は履修することができません。
- (5) 科目名が異なっても、内容が同じと見なされる科目については、いずれか一方しか履修することができません。
- (6) 他学部にて開講されている科目であっても、社会学部で同一名称の科目が開講されている場合は、原則として社会学部にて開講されている科目を履修してください。ただし、必修科目との時間割重複等により、他学部で同一名称の科目を履修した場合、他学部科目扱いになりますので注意してください。
- (7) 外国人留学生は、日本文化総論・日本政治総論・日本史概略・日本企業文化論を履修することが望まれます（隔年開講のため、開講有無はシラバスで確認してください）。

3.8.2 社会学部以外が提供する言語教育科目

(1) 英語インテンシブ・プログラム (言語教育研究センター提供科目)

この授業は、言語教育研究センターが提供するもので、英語の全体的理解に重点をおく包括的アプローチによって、英語で自己の考え方を深め表現できる学生を育成することを目的としています。インテンシブ・イングリッシュ・コース (2014年度以前入学生はインターミディエイト・コースと飛び級コース) は、必修の英語科目の単位の一部に振り替えることができます。詳細については、言語教育研究センター発行の冊子「インテンシブ・プログラムと言語学習のすすめ 2020」を参照してください。

(2) フランス語・ドイツ語インテンシブ・プログラム (言語教育研究センター提供科目)

この授業は、言語教育研究センターが提供するもので、「フランス語およびドイツ語によるコミュニケーション能力の育成」を明確な目標として掲げ、その目標にむけて意欲的に取り組む学生にむけて提供します。この授業は、必修の第2外国語 (フランス語またはドイツ語) の単位の一部に振り替えることができます。詳細については言語教育研究センター発行の冊子「インテンシブ・プログラムと言語学習のすすめ 2020」を参照してください。

3.9 履修中止申請

GPA 制度の主旨に則り、授業開始後約 2 ヶ月後の時点において、履修の中止をすることができます (GPA 制度についての説明は27~28頁を参照してください)。なお、手続き上の注意事項および履修中止制度の対象外科目は以下のとおりです。

【注意事項】

- ・履修中止申請後、Web 画面から「履修登録科目確認通知書」を出力し、万が一、履修中止申請を行った科目の履修登録が取り消されていない場合は、至急社会学部事務室に届け出てください。
- ・進級・卒業に必要な科目を中止申請したために、進級・卒業ができない場合があります。この場合も、中止した科目を復活することはできないので、申請前に十分確認してください。
- ・通年科目は、春学期のみ履修中止申請を行うことができます。

【履修中止制度の対象外科目】

履修中止可否については、社会学部事務室にて確認してください。

Ⅲ. 社会学部編

4. 成績

4. 成績

4.1 成績評価

4.1.1 成績評価方法

成績評価方法は次の3つに分けられます。

- (1) 定期試験
- (2) 定期レポート（定期試験に代わるレポート）
- (3) 平常評価（授業中試験、平常レポート、提出課題、授業中の発表等による評価）

定期試験または定期レポートのいずれかに、平常評価を加味して最終評価とする場合もあります。

どの方法によって、どのような割合で成績評価が行われるかはシラバスに記載されています。履修登録を行う際に必ず確認してください。

4.1.2 成績評価基準

成績評価は、原則として素点（100点満点）で行います。詳細は下記の通りです。

【2018年度以前入学生】

合否	成績評価 (成績表に記載される評価)		成績証明書への記載		GP ※
	素点評価の場合	素点以外の場合	和文	英文	
合格 (単位取得)	90点～100点	S	秀	S	4
	80点～ 89点	A	優	A	3
	70点～ 79点	B	良	B	2
	60点～ 69点	C	可	C	1
不合格	0点～ 59点	F	—(記載されない)	—(記載されない)	0

【2019年度以降入学生】

合否	成績評価 (成績表に記載される評価)		成績証明書への記載		GP ※
	素点評価の場合	素点以外の場合	和文	英文	
合格 (単位取得)	90点～100点	S		S	4.0
	85点～ 89点	A+		A+	3.5
	80点～ 84点	A		A	3.0
	75点～ 79点	B+		B+	2.5
	70点～ 74点	B		B	2.0
	65点～ 69点	C+		C+	1.5
	60点～ 64点	C		C	1.0
不合格	0点～ 59点	F	— (記載されない)		0

※GPAの詳細については、27～28頁を参照すること。

4.1.3 成績発表

春学期の成績発表は8月、秋学期の成績発表（通年科目を含む）は2月に教学 Web サービスで行います。発表日時については、「I. 2. 社会学部スケジュール（履修登録・定期レポート・卒業論文・成績発表関係）」（8～9頁）を参照してください。

別に、保証人宛に成績表を郵送します。発送は春学期の成績については9月下旬、秋学期の成績（通年科目を含む）については、翌年度の4月上旬です。

4.1.4 成績調査

成績評価に関する質問（疑義）がある場合は、定められた期間内に所定の手続きをすることにより調査を願い出ることができます。期間等詳細については教学 Web サービスまたは掲示を確認してください。

4.2 試験

4.2.1 定期試験

- (1) 定期試験は「大学成績評価・試験規程（抜粋）」（32頁）および「社会学部内規」（51～52頁）に基づき実施しますので、受験前に確認してください。
- (2) 春学期定期試験・中間試験（7月）と秋学期定期試験（1月）は、全学共通の時間割を配布します。
- (3) 時間割に記載されている注意事項を受験前に十分確認してください。
- (4) 試験場は試験当日に掲示板で、前日夜に教学 Web サービスで発表します（普段の受講教室とは異なる教室の場合があります）。社会学部開講科目は社会学部事務室、他学部開講科目は開講学部の掲示版を確認してください。試験当日は、時間に十分余裕をもって登校してください。
- (5) 定期試験では座席を指定します。試験場で自分の席がない学生は監督者の指示を受けてください。
- (6) 受験には学生証が必要です。学部と学生番号下4桁を確認の上、指定された座席に着席してください。
- (7) 学生証を忘れた場合、「写真票」を当日に限り貸与しますので、受験前に社会学部事務室で手続きしてください。「写真票」は試験終了後速やかに社会学部事務室に返却しなければなりません（返却しない場合、それ以降の試験が受けられないことがあります）。
- (8) 解答用紙及び回収を要する問題用紙の試験場外持ち出し、無記名、偽名は禁止します。これらの行為は不正行為とみなされます。
- (9) 不正行為を行った者に対しては、当該試験期間中の全試験科目を無効（※）とし、学則に従って適切な処分を行います。
（※）成績評価を0点とし、GPを0としてGPAに算入する。
- (10) 追試験は、定期試験を受けなかった学生のうち、次の理由による学生のみに限って受験することができます。ただし、証明書または報告書（病気による場合は医師の診断書）が必要です。
①二親等以内の死亡、②本人の病気、③試験当日の事故、④学校において予防すべき感染症による登校停止、⑤裁判員制度により、候補者として裁判員等選任手続きに参加及び裁判員・補充裁判員として職務に従事、⑥公共交通機関の遅延又は運行停止、⑦以上に相当する理由のある場合、追試験の成績は採点の20%を減じます。なお、上記①、②、③、④項による事由の場合は、100%評価とします。
- (11) 代替試験は、自然災害又は公共交通機関の運行停止等の事由により定期試験、中間試験または追試験を受けられなかった者に対して実施されます。ただし証明書または説明する書面を必要とします。

4.2.2 授業中試験

- (1) 授業中試験とは、原則として、普段受講している教室において、授業時間内に、担当教員の裁量のもとに実施される試験のことをいいます。
- (2) 授業中試験は、欠席の取り扱いも含めて、担当教員の裁量において行われます。欠席等の取り扱いについては必ず事前に授業中に担当教員に確認しておいてください。なお、社会学部事務室では、担当教員の連絡先を伝えることはできませんので注意してください。
- (3) 授業中試験においても、不正行為があった場合は、定期試験に準じた取扱いを行います。

4.2.3 不正行為

社会学部内規では、不正行為を行った者に対しては、当該試験期間中の全試験科目を無効（※）とし、学則に従って適切な処分を行います。修学上、重大な結果を招くことにつながりますので、絶対に行わないようにしてください。

（※）成績評価を0点とし、GPを0としてGPAに算入する。

4.3 リポート

関西学院大学では、成績評価に際し、筆記または口頭の試験を、報告または論文で代えることができます。関西学院大学では、レポートではなくリポートと表記します。

リポートは、定期リポートと平常リポートに区分されます。いずれの場合にも、その提出にあたっては、所定の様式と期日を厳守しなければなりません。

4.3.1 スタイルガイド

関西学院大学社会学部では、リポート・卒業論文は、担当教員の特別の指示がない限り、「関西学院大学社会学部スタイルガイド」に従って、作成しなければなりません。スタイルガイドは、演習科目において案内されますが、社会学部サイトからもダウンロードできます。提出前に必ずスタイルガイドに違反している箇所がないか、入念にチェックをしてください。

■スタイルガイド URL

https://www.kwansei.ac.jp/s_sociology/s_sociology_002932.html

4.3.2 剽窃

教員であれ、学生であれ、学術の世界にいる者は、自分の文章と他人が書いた文章を混同させるようなことが絶対あってはなりません。この区別が明確でない場合、剽窃と判断されます。剽窃は、定期試験における不正行為（カンニング）に準じた取扱いを受け、修学上、重大な結果を招きます。剽窃との疑念を生じさせないために、スタイルガイドにおいて、以下の3点を厳守することを求めています。

- ・引用箇所が厳密に区別できること
- ・出典が明記されていること
- ・本文において、引用された内容が、量的にも質的にも主要なものではなく、従属的なものであること

この3点を遵守し、剽窃と判断されないように細心の注意を払ってください。なお、引用方法や出典記載方法に自信が持てない場合は、担当教員の助言を受けてください。

4.3.3 定期レポート

定期レポートとは、「定期試験に代わるレポート」で、学期末の定められた期間に、社会学部が指定する場所に提出するものです。担当教員に直接提出するものではありません。

■提出期間・提出場所

「I. 2. 社会学部スケジュール（履修登録・定期レポート・卒業論文・成績発表関係）」（8～9頁）を参照のこと。

（1）作成方法

- ・必ず所定表紙（126頁）をつけ、必要事項を明記した上で提出してください。なお、表紙は社会学部サイトからダウンロードすることができます。
- ・必ず「レポート番号」を所定表紙に記入してください。なお、レポート番号は掲示にて指示します。
- ・担当教員の特別の指示がない限り、「関西学院大学社会学部スタイルガイド」に従って作成しなければなりません。
- ・題目や形式等は、原則として掲示により指示します。ただし、詳細については、授業中でのみ指示される場合もありますので、注意してください。

（2）提出方法

- ・必ず定められた期間に、社会学部が指定した場所に提出してください。提出期間以外は、いかなる理由があっても、一切受理できません（※）。

（※）定期レポートの提出は、**原則、提出期間の最終日の前日までとします**。提出期間の最終日は、本来提出する予定であった日に、「不測の事態（公共交通機関の遅れ、自身の体調不良等）」により提出できなかった場合のための予備日です。したがって、提出期間の最終日（予備日）に、いかなる理由（＝「不測の事態（公共交通機関の遅れ、自身の体調不良等）」）があっても、提出期間内に提出できなかった場合は一切受理できません。

- ・原則として本人が提出してください。本人にやむを得ない事情がある場合は、提出期間内であれば、友人等による代理提出を認めます（代理提出の場合は、自己の責任で信頼できる人に依頼すること）。
- ・郵送にて提出されたものは、提出されたことにはなりません。提出期間内・外問わず、すべて無効として取り扱い、受取人払いで返送します。

（3）その他注意事項

- ・提出受付の際、レポート受領証（本人控）をお渡ししますので、成績発表まで大切に保管しておいてください。
- ・定期レポートは、定期試験と同等に取り扱われますが、欠席届および追試験の制度はありません。

4.3.4 平常レポート

平常レポートとは、原則として、授業時間中に担当教員に提出するものです。社会学部事務室に提出するものではありません。

（1）作成方法

担当教員の特別の指示がない限り、「関西学院大学社会学部スタイルガイド」に従って、作成しなければなりません。なお、出題内容、形式、その他注意事項は、すべて担当教員の指示に従ってください。

（2）提出方法

提出期間・提出方法（※）とともに、担当教員の指示に従ってください。不明な点があれば、授業時間及びその前後に担当教員に問い合わせてください。なお、社会学部事務室では一切受け付けることはできません。

（※）LUNAによる提出が求められる場合、担当教員の指示とともに、高等教育推進センター発行「LUNA活用ハンドブック for Students」も参照してください。

【レポート提出の手順】

1. レポート表紙（受領証部分も含む）にボールペンあるいはパソコンで必要事項を記入する。
2. 下記見本に従い、レポートを表紙でくるみ、上部2か所をホッチキスでとめる。
3. 社会学部指定の場所に提出する。
4. 受付にて、レポート受領証（本人控）を受け取る。

■レポート表紙 URL : https://www.kwansei.ac.jp/s_sociology/s_sociology_002932.html

レポート表紙

レポート表紙

【提出方法】

1. ボールペンあるいはパソコンで必要事項を記入する。
 2. 見本に従い、2か所ホッチキスでとめる。
- ※提出時には必要事項を記入し、ホッチキス止めされた状態にする。
 ※本表紙は、社会学部指定の場所に提出する際に使用すること。

〈見本〉



※本表紙でレポートをくるむ

山折り 点線の部分を折り曲げてレポートをはさみ、ホッチキスでとめる

← 2か所ホッチキスでとめる →

(鉛筆および消せるボールペンでの記入は不可)

科名目	クラス	担当教員名 先生
-----	-----	--

レポート題目	レポート番号
	評価 <small>(教員用)</small>

学部		学科
学年	学生番号 (8ケタで記入)	
年		
ふりがな		
氏名		

受付印

受付印

----- 事務室キリトリ -----

レポート受領証 (本人控)

1. 提出期日・時刻に遅れたレポートは、一切受け付けません。
2. レポート受領証(本人控)は、評価が出るまで大切に保管すること。

科目名	クラス	担当教員名 先生
-----	-----	--

学部		学科
学生番号 <small>(8ケタで記入)</small>		
氏名		

(鉛筆および消せるボールペンでの記入は不可)

受付印

関西学院大学 社会学部

剽窃（ひょうせつ）について

「剽窃」とは何か

- ・剽窃とは、他人が書いた文章をあたかも自分の文章として使う行為のことを意味します。剽窃は文章の著作権者の権利である「著作権」を侵害する違法行為です。
また、文章全体を写すのではなく、表現を変えたりするなどして他人の文章を自分の意見のように書くことも「剽窃」とみなされます。

よくある「剽窃」の例

- ①他人の文章を、出典を示さずに、記載すること（分量は問いません）。
- ②他人が作成した文章を、自分が書いたかのように提出すること。例えば同級生のレポートや過去の他者のレポートを写すことが含まれます。なお、文章の細部や文体を変更したとしても剽窃とみなされます。
- ③インターネットで入手した文章を、そのままコピー＆ペーストでレポートに記載すること。また、一部表現を変えるなどして、自分の意見のように書いた場合も剽窃とみなされます。
- ④他の学生の作成したレポートを写した場合、写した者、写させた者のどちらも剽窃をしたとみなします。

大学で勉学に取り組む大学生として、レポート作成や論文における「剽窃」は絶対にしてはならない行為です!!
「剽窃」をした場合、不正行為（カンニング）をしたとして処分を受けることとなります!!



正しい「引用」をすること

- ・レポートや論文の作成のために、他人の書いた文章を用いる場合は、必ずそれが引用であることを明記しなければなりません。それは、引用元が書物であっても、新聞雑誌の記事であっても、インターネット上の記事であっても、どんな場合においても「どこから情報を入手したのか」をはっきりさせることが必要です。
- ・正しい「引用」をするためには、最低限の条件として以下のことが満たされている必要があります。

1. あくまでも自分の文章が主体であり、引用部分はそれを補うために用いること
2. 出典が明記されていること
3. 文章において引用部分がどこからどこまでなのか明らかであること



関西学院大学 研究倫理について

▶ 貴方も責任ある研究者です。

「研究者」とは教員に限らず、本学において研究活動に従事する者すべてを含みます。

学部学生も、研究活動（各種調査におけるアンケートの実施やゼミ研究、研究レポート作成、卒業論文執筆など）に関わる際は、「研究者」に準ずる者とみなされます。

〔関西学院大学 研究倫理規準 第2条〕より

関西学院大学はキリスト教主義によってたつた教育研究機関であり、スクールモットーの Mastery for Service の精神に基づき、社会の信頼に支えられた高い倫理性をもって教育研究を推進し、その成果を積極的に社会に還元することに、その本旨がある。

- 研究者は、研究成果の発表における捏造、改ざん、盗用、重複発表、その他の研究活動における不正行為を行ってはならない。特許出願において虚偽を行ってはならない。また、研究活動における利益相反の発生に十分な注意を払い、相反が発生する場合には情報を開示し、適切な管理を行わねばならない。
- 研究者は、研究活動にあたって、関係する個人の尊厳および人権を尊重しなければならない。また、研究活動に伴う守秘義務を厳守し、活動の過程において知り得た個人情報の保護に努めなければならない。
- 研究者は、研究活動において装置、機器、薬品、材料などを用いるときは、関係する法令、本学の諸規則、学会等の指針を遵守し、環境、安全へ配慮しなければならない。
- 研究者は、研究活動において、学生や共同で研究を行う者に対して正当な理由なくして不利益を与えてはならない。

〔関西学院大学 研究活動に関する指針〕より抜粋

▶ 研究活動上の不正行為

以下3つの行為は、文科省「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」の中で、「特定不正行為」と位置付けられています。

- 試資料等の捏造
- 試資料等の改ざん
- 試資料等の盗用

その他、本学では以下の行為も不正行為として位置付けています。

- 恣意的に取得した試資料等の利用
- 不適切な著作者表示
- 不適切な重複発表
- 訂正の不作為

研究活動の倫理とは？

- 研究者は、研究活動における責任を自覚し、研究成果の客観性を歪めることがないよう、良心と信念に従って研究を遂行しなければならない。
- 研究者は、個人の尊厳及び人権の尊重、並びに個人情報の保護に留意し、科学的かつ社会的に妥当な方法、研究を遂行する義務を負います。
- 研究者は、研究の遂行上、関連する法令等に従うとともに、本学諸規程、所属する学会・団体等の倫理規準等を遵守しなければならない。

〔関西学院大学 研究倫理規準〕より抜粋

【参考文献】1. 「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」文科省 平成26年 2. 「研究活動の不正行為への対応のガイドラインについて～研究活動の不正行為に関する特別委員会報告書」文科省 平成18年

研究活動上の不正行為とは？

文科省「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」上の「特定不正行為」	捏造	<p>【事例】 ディオバン臨床研究不正事件</p> <p>K医科大学の教授が行った高血圧治療薬（降圧剤）の臨床研究において、その薬に有利になるようにデータが人為的に操作されていた。本件においては、薬の販売元であるN製薬会社の日本法人社員が、K医科大学を含む複数の大学で行われた臨床研究で、N製薬会社所属という身分を隠して参加し、論文作成にも関与していた。</p> <p>【処分】 退職、退職金の自主返納</p>
	改ざん	<p>【事例】 画像の流用等のデータ改ざん</p> <p>学外の告発者からの指摘により、研究者の研究論文に捏造（方法論が同じ代表的な実験データの流用）、改ざん（見栄えを良くするための画像代用）、二重投稿（3つの論文において、画像及び大部分の文章が他の論文と同一（注）。また、一つのデータを二つの論文に掲載。）が発見された。</p> <p>（注） 研究者は、投稿した一方の学術誌を、研究会の抄録であると誤認して投稿したものであり、故意によるものではなかった。</p> <p>【処分】 当該教授は論旨退職、共著者等も処分対象</p> <p>【参考文献】 「研究者の不正行為についてのお詫びとご報告」 D医科大学 HP 平成24年2月3日</p> <p>※ 「捏造」と「改ざん」は、定義上、区分されているが、実際には、上記の様な、これらが混在した複合的な事案等も存在するため、厳密な分類が難しい場合がある。</p>
	盗用	<p>【事例】 W大学論文不正問題</p> <p>平成23年3月に学位取得した博士論文について、著作権侵害行為（インターネットからの文章のコピー・アンド・ペースト、ハイオ関連企業サイトの画像との酷似）、意味不明な記載（画像に対応する記載の不備）、整合性がない箇所（根拠論文の記載内容との矛盾）等が指摘された。</p> <p>【処分】 概ね一年間程度の猶予期間において、博士論文指導と研究倫理の再教育を受け、論文を訂正した場合は、学位が維持できるものとされた。これが適切に履行できないときは、当然に学位は取り消される。</p> <p>【参考文献】 1. 調査報告書 W大学 大学院先進理工学研究科における博士学位論文に関する調査委員会 平成26年7月17日 2. 会見発表 W大学 HP 平成26年10月7日</p>

その他、本学では以下の行為も不正行為として位置付けています。

- ▶ 恣意的に取得した試資料等の利用
計測・実験機器の操作や調査方法の決定等を恣意的に行うことによって、正当な方法では得られない試資料等を取得し、利用すること。
- ▶ 不適切な著作者表示
当該の研究活動に無関係の他者を著作者に加えたり、共同研究者を適正な形で著作者に含めなかったりすること。
- ▶ 不適切な重複発表
既発表の成果を新規なものであると偽って再び発表すること。
- ▶ 訂正の不作為
発表した研究成果に重要な間違いを発見しながら、当該成果の取り下げや訂正発表等の適切な処置を行わないこと。

【参考文献】 1. 「わが国における研究不正～公開情報に基づくマクロ分析（1）」独立行政法人科学技術振興機構 2013 vol.56 no.3
2. 「研究活動の不正行為への対応のガイドラインについて～研究活動の不正行為に関する特別委員会報告書」文科省 平成18年

本学の研究活動における不正行為防止等の体制、関係規則、及び事例を URL にて紹介しています。
URL: https://www.kwansei.ac.jp/kenkyu/kenkyu_010053.html 「研究活動上の不正行為防止への取り組み」

研究活動上の不正行為に関する相談・告発等の窓口

研究推進社会連携機構事務部
E-mail: fuseisoudan@kwansei.ac.jp
(西宮上ヶ原キャンパス) TEL 0798-54-6104 / FAX 0798-54-6905 (神戸三田キャンパス) TEL 079-565-9052 / FAX 079-565-7910
※ 告発者は「関西学院大学における研究活動上の不正行為の防止等に関する規程」に基づき、不利益な取扱いを受けることがないよう保護されます。

Ⅲ. 社会学部編

5. 卒業

5. 卒業

5.1 卒業に必要な単位数の確認

卒業に必要な単位数の計算や確認は、各自の責任において自分で行わなければなりません。第4学年度生は、卒業に必要な単位数を自分でよく確認した上で、履修計画を立ててください。不明な点があれば、履修登録までに必ず社会学部事務室に来室の上、相談してください。

5.2 2020年度春学期（9月）卒業

5.2.1 春学期（9月）卒業とは

- ・2016年度以前入学生で、研究演習Ⅱの単位を既に修得済みであり、かつ、春学期終了時点で卒業に必要な単位数を満たした者は、春学期（9月）卒業となります。
- ・春学期（9月）卒業を希望しない場合は、事前に社会学部事務室に相談してください。
- ・春学期（9月）を希望する者が、春学期集中科目を履修する場合、開講期間により、成績発表に間に合わない場合があります。卒業に必要な単位として履修する場合は、春学期集中科目の履修は避けてください。

5.2.2 卒業論文の提出

卒業論文を提出することができるのは、2016年度以前入学生で、研究演習Ⅱの単位修得者に限られます。

1. 提出方法

卒業論文は、別途配布される「2020年度 春学期 社会学部 卒業論文提出の手引き」の要領に従い、提出期間中に LUNA の所定の場所に卒業論文の PDF ファイルをアップロードすることで提出してください。

2. 提出期間・提出先

- 提出期間：「I. 2. 社会学部スケジュール（履修登録・定期レポート・卒業論文・成績発表関係）」（8頁）を参照のこと。
- 提出先：LUNA の所定の場所に卒業論文の PDF ファイルをアップロードする。

提出期限・時刻を過ぎた卒業論文は、いかなる事情があっても受理できません。締切日当日の「不測の事態」に備え、締切日前日までに提出するようにしてください。

5.3 2020年度秋学期（3月）卒業

5.3.1 秋学期（3月）卒業とは

- ・2017年度以前入学生で、研究演習Ⅲ（2015年度以前入学生は研究演習Ⅱ）の単位を修得し、かつ、秋学期終了時点で卒業に必要な単位数を満たした者は、秋学期（3月）卒業となります。
- ・秋学期（3月）卒業を希望しない場合は、事前に社会学部事務室に相談してください。
- ・秋学期（3月）を希望する者が、秋学期集中科目を履修する場合、開講期間により、成績発表に間に合わない場合があります。卒業に必要な単位として履修する場合は、秋学期集中科目の履修は避けてください。

5.3.2 卒業論文の提出

卒業論文を提出することができるのは、2017年度以前入学生で、研究演習Ⅲ（2015年度以前入学生は研究演習Ⅱ）の履修者および研究演習Ⅲ（2015年度以前入学生は研究演習Ⅱ）の単位修得者に限られます。

1. 提出方法

卒業論文は、別途配布される「2020年度 秋学期 社会学部 卒業論文提出の手引き」の要領に従い、提出期間中に LUNA の所定の場所に卒業論文の PDF ファイルをアップロードすることで提出してください。

2. 提出期間・提出先

- 提出期間：「I. 2. 社会学部スケジュール（履修登録・定期レポート・卒業論文・成績発表関係）」（9頁）を参照のこと。
- 提出先：LUNA の所定の場所に卒業論文の PDF ファイルをアップロードする。

提出期限・時刻を過ぎた卒業論文は、いかなる事情があっても受理できません。締切日当日の「不測の事態」に備え、締切日前日までに提出するようにしてください。

5.4 3年卒業

- ・3年卒業を希望する者は、以下の点に注意してください。
- ・3年卒業を希望する旨を、必ず研究演習担当教員および社会学部事務室に申し出てください。
- ・社会学部内規第35条（52～53頁）を参照してください。
- ・「課題論文」の提出期間については、「2020年度秋学期（3月）卒業論文提出期間」と同じです。
- ・「課題論文」は「2020年度秋学期（3月）卒業論文提出期間」内に、社会学部事務室に提出してください。

5.5 卒業延期制度

学部に4年以上在学(※)し、卒業に必要な単位を修得した場合でも、卒業延期願を所属学部に申請し許可されれば、1回に限り卒業を延期することができます(最大1年)。

ただし、卒業延期期間中も含め、8年を越えて在学することはできません。

(※) 休学期間は、在学年数に算入しません。

卒業延期の条件

- ◎卒業延期の申請は Semester 単位で最大2 Semester (1年間) まで認められます。
- ◎2 Semester 延期の場合は、初めの1 Semester を休学することもできます。
- ◎適用された卒業延期の取り消しは認めません (適用期間の変更も認めない)。

ケース1：1 Semester 延期する場合

卒業延期開始……………→ 半年後
[在学] 卒業

ケース2：2 Semester 延期する場合

卒業延期開始……………→ 1年後
[在学] [在学] 卒業

ケース3：2 Semester 延期し、かつ初めの1 Semester を休学する場合

卒業延期開始……………→ 1年後
[休学] [在学] 卒業

申請手続

- (1) 社会学部事務室で「卒業延期願」を受け取り、必要事項を記入します。
- (2) 学生本人・保証人連署のうえ、秋学期(3月)卒業については原則として2月末まで、春学期(9月)卒業については、原則として8月末までに社会学部事務室に提出してください。なお、申請手続き期限後に急な進路の決定や取消し等の変更があった場合は、社会学部事務室に速やかに相談してください(締切日が社会学部事務室休業日の場合は、翌業務日までとします)。

【提出期限】

2020年度春学期：2020年8月31日(月) 16:00厳守

2020年度秋学期：2021年3月1日(月) 16:50厳守

ただし、「卒業延期願」を申請しても、卒業判定の結果、卒業要件を満たさなかった場合は、申請は無効となります。次年度以降に卒業を延期する必要がある場合は、改めて申請してください。

Ⅲ. 社会学部編

6. 資格

6. 資格

6.1 教職課程

社会学部では、中学一種（社会科）および高校一種（地理歴史科、公民科）の教員免許を取得することができます。

また、他学部履修によって英語科などの教員免許を取得することもできます。教員免許取得希望者は入学時に配布した別冊「教職課程等履修要項」をよく確認の上、計画的に履修していかなければなりません。

疑問点があれば、教職教育研究センターに相談してください。

6.1.1 教職課程における「教科に関する科目（2018年度以前入学生）」、「教科に関する専門的事項（2019年度以降入学生）」の履修について

教員免許を取得しようとする教科の「教科に関する科目（2018年度以前入学生）」、「教科に関する専門的事項（2019年度以降入学生）」は、すべて所属学部で開講されています。他学部で同じ名称の科目が開講されている場合がありますが、教員免許取得のための「教科に関する科目（2018年度以前入学生）」、「教科に関する専門的事項（2019年度以降入学生）」としては認められませんので、十分確認のうえ履修登録を行ってください。

例：（社）民法A（経済学部と合併）と（商）民法A

この場合、商学部の「民法A」の単位を修得しても、「教科に関する科目（2018年度以前入学生）」、「教科に関する専門的事項（2019年度以降入学生）」としては認められません。

6.1.2 教職課程の履修の移行措置について（2017年度以前入学生）

（1）施行規則第66条の6に定める科目

【2011年度～2015年度入学生】

2016年度からの学則改正による開講科目の変更に伴い、2011年度～2015年度入学生の「施行規則第66条の6に定める科目」が変更になっています。変更前の科目を、2016年度以降に履修する場合は、下記の対照表にしたがって、変更後の科目を履修してください。

変更前の科目（2015年度以前）	単位	変更後の科目（2016年度以降）	単位
英語表現A	1	English Communication B	1
英語表現B	1	English Communication D	1

変更前の科目（2016年度以前）	単位	変更後の科目（2017年度以降）	単位
英語表現C	1	English Communication F	1
英語表現D	1	English Communication H	1

【2011年度入学生】

2012年度からの学則改正による開講科目の変更に伴い、2011年度入学生の「施行規則第66条の6に定める科目」が変更になっています。変更前の科目を、2012年度以降に履修する場合は、下記の対照表にしたがって、変更後の科目を履修してください。

原則として所属学部で開講されている「日本国憲法」を履修してください。

（社会学部は、文学部と合併で「日本国憲法」を開講しています。）

なお、卒業に必要な科目や教職課程の科目等と時間割が重複する場合には、他学部履修が許される「日本国憲法」を履修することができます。ただし、法学部開講の「日本国憲法」は履修することはできません。

変更前の科目（2011年度以前）	単位	変更後の科目（2012年度以降）	単位
日本国憲法A	2	日本国憲法	2
日本国憲法B	2		

（2） 教科に関する科目

【2011年度～2017年度入学生】

2018年度からの学則改正による開講科目の変更に伴い、2011年度～2017年度入学生の「教科に関する科目」が変更になっています。変更前の科目を2018年度以降に履修する場合は、下記の対照表にしたがって、変更後の科目を履修してください。

■「高校一種 地理歴史」

変更前の科目（2017年度以前）	単位	変更後の科目（2018年度以降）	単位
学習心理学	2	学習心理学（学習・言語心理学）	2

【2011年度～2015年度入学生】

2016年度からの学則改正による開講科目の変更に伴い、2011年度～2015年度入学生の「教科に関する科目」が変更になっています。変更前の科目を2016年度以降に履修する場合は、下記の対照表にしたがって、変更後の科目を履修してください。

■「中学一種 社会」及び「高校一種 公民」

変更前の科目（2015年度以前）	単位	変更後の科目（2016年度以降）	単位	備考
マス・コミュニケーション論A	2	マス・コミュニケーション論	2	
異文化コミュニケーション	2	異文化コミュニケーション論	2	

【2011年度入学生】

2012年度からの学則改正による開講科目の変更に伴い、2011年度入学生の「教科に関する科目」が変更になっています。変更前の科目を2012年度以降に履修する場合は、下記の対照表にしたがって、変更後の科目を履修してください。

■「中学一種 社会」及び「高校一種 公民」

変更前の科目（2011年度以前）	単位	変更後の科目（2012年度以降）	単位	備考
憲法A	2	憲法A（基本的人権総論）	2	
憲法B	2	憲法B（基本的人権各論）	2	
国際法A（総論）	2	国際法総論A	2	
国際法B（条約法・国際法主体）	2	国際法総論B	2	
国際経済論	4	国際経済論	2	※
		国際経済政策論	2	

※2011年度以前入学生で、「国際経済論（4単位）」が未修得の者は、「国際経済論（2単位）、国際経済政策論（2単位）」の両方を修得すること。

6.2 社会調査士

6.2.1 社会調査協会「社会調査士」について

社会学部では、以下に定める所定の科目を修得することで、卒業後、一般社団法人社会調査協会（以下、協会という）が認定する「社会調査士」の資格を取得することができます。なお、在学中に「社会調査士（キャンディデイト）」を取得することもできます。詳しくは、協会のサイトを参照ください（<http://jasr.or.jp>）。

なお、資格取得には、認定審査手数料を協会に納付の上、申請書類に必要事項を記入し、社会学部事務室を通じて申請します。詳しい申請方法は、掲示および教学 Web サービスにてお知らせします。

【申請時期】

■春学期

- ・キャンディデイト：6月初旬

■秋学期

- ・キャンディデイト：10月初旬
- ・確定申請：（年度末）3月初旬
- ・資格変更申請：（年度末）3月初旬

6.2.2 2020年度 関西学院大学社会学部 標準カリキュラム対応表

社会調査協会「社会調査士」標準カリキュラムは次の表のとおりです。

協会	2011年度～2015年度開講科目		2016年度・2017年度開講科目		2018年度以降開講科目	
A	社会調査論B	2	社会調査入門A	2	社会調査入門A	2
B	社会調査論A	2	社会調査入門B	2	社会調査入門B	2
C	社会調査法A	2	データ分析（入門）	2	データ分析（入門）	2
D	基礎統計学	2	データ分析（基礎）	2	データ分析（基礎）	2
E	多変量解析法	2	データ分析（応用）	2	データ分析（応用）	2
F	社会調査法B	2	質的調査法	2	質的調査法	2
G	社会調査実習I	2	社会調査実習I	2	社会調査実習（*）	2

（*）「研究演習Ⅲ」に併設している「社会調査実習」（51クラス以降）は対象外とする。単位を修得しても、「社会調査士」標準カリキュラムの「G」を満たしたことはないので注意すること。

※「社会学実習Ⅰ・Ⅱ」あるいは「実験実習Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得しても、「社会調査実習Ⅰ」の単位に読み替えることはできない。

※「社会学実習」あるいは「実験実習」の単位を修得しても、「社会調査実習」の単位に読み替えることはできない。

※社会調査協会「社会調査士」標準カリキュラムの「E」と「F」は選択制のため、いずれかひとつを履修すること。

6.3 認定心理士（心理調査）

6.3.1 「認定心理士（心理調査）」について

心理学の基礎的な知識を習得した人に与えられる「認定心理士」に加え、心理調査の計画をたて実施することができる技術を習得していた人に与えられる、より専門性の高い資格です。公益社団法人日本心理学会が認定します。

社会学部では、所定の科目を習得することで、卒業後に「認定心理士（心理調査）」を取得することができます。本資格は、社会心理学専攻分野の所属学生が対象となります。

【申請時期】

1月中旬～4月末まで

【申請方法】

日本心理学会の Web ページの認定心理士申請システムから、電子申請を行うことができます。本資格の申請は、以下の URL を参照し、各自で行ってください。

https://psych.or.jp/qualification/shinsei_shinrityousa_densi/

認定心理士申請システムマニュアル：<https://jpa.members-web.com/applications/>

※電子申請システムについてのマニュアルも上記 URL からダウンロードできます。

6.3.2 「認定心理士（心理調査）」取得のための関連科目修得状況の確認について

社会学部では、「認定心理士（心理調査）」取得のための関連科目修得状況の確認をしています。詳しい申込方法は、掲示および教学 Web サービスにてお知らせします。修得状況の確認を希望する場合は、手続きをしてください。

【申込時期】

・関連科目修得状況確認：（年度末）3月初旬

6.3.3 認定心理士（心理調査）を取得するために

日本心理学会が定める認定心理士（心理調査）を取得するための科目は、心理調査関係科目と認定心理士関係科目の2つに分かれています。

■心理調査関係科目

- （1）概論科目：心理調査法
- （2）統計科目：データ分析（応用）
- （3）実践科目：社会心理学専攻分野の教員が開講する実験実習・社会調査実習

■認定心理士関係科目

認定心理士に関わる科目は、社会学部と文学部が開講する所定の科目を、基礎科目や選択科目を含め36単位以上履修する必要があります。詳しくは以下の URL あるいは認定心理士（心理調査）資格の担当教員に確認してください。

<https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2017/11/shinrityousa.pdf>

〈MEMO〉

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page. It is intended for a memo or handwritten notes.

Ⅲ. 社会学部編

7. 教育課程表

7.1 2016年度以降入学生用

<p>【合計】 60単位以上</p>	<p>専攻分野科目 200 偏差の社会学 200 社会運動論 200 社会問題論 200 福祉社会学 200 医療社会学 200 学校の社会学 200 文化資源の社会学 200 文化人類学A 200 文化人類学A 200 社会言語学A 200 文化解釈学 200 文化論 200 ホビュラー音楽論 200 表象文化論C 200 コミュニケーション論 200 メディア文化論 200 ポピュラー・カルチャー論 200 ソーシャル・メディア論 200 グループ・ダイナミックス 200 世論研究</p>	<p>100 データ社会学への招待 200 災害社会学 200 障害社会学 200 身体技法論 200 現代若者・子ども論 200 観光社会学 200 文化人類学B 200 社会言語学B 200 比較文化学 200 ソーシアル・メディア文化論 200 フォッション文化論 200 文化圏論 200 マス・コミュニケーション論 200 メディア産業論 200 広告文化論 200 ソーシャル・リレーションズ 200 意思決定の心理学 200 メディア社会心理学</p>	<p>200 ソーシャル・ネットワーク論 200 人権・差別問題論A 200 福祉社会学 200 セクシュアリティ論 200 養育の社会学 200 NPO/NGOの社会学 200 現代民俗学B 200 キリスト教と文化 200 視覚文化研究 200 ミュージウム文化論 200 表象文化論A 200 死生学と宗教 200 ジャーナリズム論 200 カルチャール・スタディーズ 200 メディア・リテラシーA 200 社会心理学B 200 ソーシオ・リレーションズ 200 グループ・ダイナミックス 200 臨床社会心理学</p>	<p>200 ソーシャル・キャピタル論 200 人権・差別問題論B 200 ケア社会学 200 セクシュアリティ論 200 記憶の社会学 200 ボランティアの社会学 200 現代民俗学B 200 グローバル世界のキリスト教 200 権威文化研究 200 パフォーマンス文化論 200 表象文化論B 200 興文化コミュニケーション論 200 情報メディア史 200 公共圏とメディア 200 メディア・リテラシーB 200 社会心理学B 200 環境社会心理学 100 心理学入門</p>	<p>300 メディア・コミュニケーション特論A 300 メディア・コミュニケーション特論C 300 メディア・コミュニケーション特論D 300 社会心理学特論A 300 社会心理学特論B 300 社会心理学特論C 300 社会心理学特論E 300 社会心理学実験 300 Sociology in English A 300 Sociology in English C 300 Sociology in English D 300 Sociology in English E 300 Sociology in English F 200 比較社会演習A 200 海外社会調査① 200 海外社会調査B</p>	<p>200 English Communication E①(～2017年度) 200 English Communication F①(～2017年度) 200 English Communication G①(～2017年度) 200 English Communication H①(～2017年度) 200 English Communication Advanced C① 200 English Communication Advanced D① 200 Practical English B① 200 Practical English C① 200 English Skills A① 200 English Skills B① 200 English Skills C① 200 English Skills D①</p>	<p>専攻分野科目より30単位以上 20単位以上 60単位以上</p>	<p>「専攻分野科目」を履修した科目(他専攻分野科目)は20単位以上 キヤリオンゼミA・B・C、履修が閉ミナター・フロンティアサイエンス科目の海外インターンシップは卒業に必要単位に算入されない(2017年度以前卒業生)。</p>
<p>【合計】 60単位以上</p>	<p>専攻分野科目 200 偏差の社会学 200 社会運動論 200 社会問題論 200 福祉社会学 200 医療社会学 200 学校の社会学 200 文化資源の社会学 200 文化人類学A 200 文化人類学A 200 社会言語学A 200 文化解釈学 200 文化論 200 ホビュラー音楽論 200 表象文化論C 200 コミュニケーション論 200 メディア文化論 200 ポピュラー・カルチャー論 200 ソーシャル・メディア論 200 グループ・ダイナミックス 200 世論研究</p>	<p>100 データ社会学への招待 200 災害社会学 200 障害社会学 200 身体技法論 200 現代若者・子ども論 200 観光社会学 200 文化人類学B 200 社会言語学B 200 比較文化学 200 ソーシアル・メディア文化論 200 フォッション文化論 200 文化圏論 200 マス・コミュニケーション論 200 メディア産業論 200 広告文化論 200 ソーシャル・リレーションズ 200 意思決定の心理学 200 メディア社会心理学</p>	<p>200 ソーシャル・ネットワーク論 200 人権・差別問題論A 200 福祉社会学 200 セクシュアリティ論 200 養育の社会学 200 NPO/NGOの社会学 200 現代民俗学B 200 キリスト教と文化 200 視覚文化研究 200 ミュージウム文化論 200 表象文化論A 200 死生学と宗教 200 ジャーナリズム論 200 カルチャール・スタディーズ 200 メディア・リテラシーA 200 社会心理学B 200 ソーシオ・リレーションズ 200 グループ・ダイナミックス 200 臨床社会心理学</p>	<p>200 ソーシャル・キャピタル論 200 人権・差別問題論B 200 ケア社会学 200 セクシュアリティ論 200 記憶の社会学 200 ボランティアの社会学 200 現代民俗学B 200 グローバル世界のキリスト教 200 権威文化研究 200 パフォーマンス文化論 200 表象文化論B 200 興文化コミュニケーション論 200 情報メディア史 200 公共圏とメディア 200 メディア・リテラシーB 200 社会心理学B 200 環境社会心理学 100 心理学入門</p>	<p>300 メディア・コミュニケーション特論A 300 メディア・コミュニケーション特論C 300 メディア・コミュニケーション特論D 300 社会心理学特論A 300 社会心理学特論B 300 社会心理学特論C 300 社会心理学特論E 300 社会心理学実験 300 Sociology in English A 300 Sociology in English C 300 Sociology in English D 300 Sociology in English E 300 Sociology in English F 200 比較社会演習A 200 海外社会調査① 200 海外社会調査B</p>	<p>200 English Communication E①(～2017年度) 200 English Communication F①(～2017年度) 200 English Communication G①(～2017年度) 200 English Communication H①(～2017年度) 200 English Communication Advanced C① 200 English Communication Advanced D① 200 Practical English B① 200 Practical English C① 200 English Skills A① 200 English Skills B① 200 English Skills C① 200 English Skills D①</p>	<p>専攻分野科目より30単位以上 20単位以上 60単位以上</p>	<p>「専攻分野科目」を履修した科目(他専攻分野科目)は20単位以上 キヤリオンゼミA・B・C、履修が閉ミナター・フロンティアサイエンス科目の海外インターンシップは卒業に必要単位に算入されない(2017年度以前卒業生)。</p>

(154～155頁参照)

注1：科目名の後ろに①とある科目は1単位、②とある科目は3単位、③とある科目は4単位、④とある科目は5単位、⑤とある科目は6単位、⑥とある科目は7単位、⑦とある科目は8単位、⑧とあるのは9単位、⑨とあるのは12単位、⑩とある科目は13単位、⑪とある科目は18単位、⑫とある科目は20単位を参照のこと。
注2：本表に記載されている科目については、「教職等関連科目」以外にも卒業単位に算入できない科目がある。卒業単位に算入できない科目の詳細については、社会学部内規第20条を参照のこと。
注3：2017年度以前入学生対象科目
注4：2018年度以前入学生対象科目
注5：2019年度以前入学生対象科目

7. 教育課程表

7.1.2 6 専攻分野別教育課程表

〈学則別表〉 社会学部教育課程表 (現代社会学専攻分野) 【研究演習 I 所属後】

履修基準年度	第1学年履修以上	第2学年履修以上	第3学年履修以上	第4学年履修以上	卒業に必要な単位
A 群科目 (必修科目) 【合計 44単位以上	<p>キリスト教科目</p> <p>100 キリスト教A 100 English Communication A ① 100 English Communication C ① 150 スプリング・インテグレーション 200 インテグレーション・イングリッシュ⑤ 100 入門英語 I A① 100 入門英語 I B①</p>	<p>外国・大学科目</p> <p>外国大学科目 100 キリスト教B 100 English Communication B ① 100 English Communication D ①</p>	<p>国内協定大学科目</p> <p>200 英語中期留学マウント・アリンソン大学 I ⑥、II ④、III ④ 200 英語中期留学ワイーンズ大学 I ③、II ⑤、III ⑤ 200 英語中期留学トロント大学スピーキング (~2018年度) 200 英語中期留学トロント大学スピーキング③ 200 英語中期留学トロント大学 I ⑥、II ⑤ 200 英語中期留学スターリング大学 I ⑦、II ⑥ (~2018年度) 200 英語中期留学ニュー・サウス・ウェールズ大学 I ④、II ④、III ④ 200 英語中期留学オックスフォード大学 I ⑥、II ⑥ 200 英語中期留学ケルブ大学 I ⑦、II ⑦ 200 英語中期留学ネブラスカ大学 I ⑦、II ⑦ 200 英語中期留学ケンブリッジ大学 I ③、II ③ (~2018年度) 200 英語中期留学ケンブリッジ大学 I ④、II ④、III ③ 200 英語中期留学ワイーンズランド大学 I ④、II ④、III ④ 200 英語中期留学マラヤ大学 I ③、II ③、III ③ 200 英語中期留学ソノマ州立大学 I ⑦、II ⑦ 200 英語中期留学レスター大学 I ③、II ③ 200 英語中期留学ワイカト大学 I ⑤、II ⑤、III ⑤ 200 英語中期留学ハワイ大学マノア校 I ⑦、II ⑦ 200 英語中期留学エモンズ大学 I ⑥、II ⑥</p>	<p>300 インターミディエイト演習 200 研究演習 I 300 テータ分析 (応用) 300 ファイルワークの技法A (修習) 300 ティーストコース研究法 300 基礎心理統計</p>	<p>4単位以上</p>
	<p>言語教育科目 (必修)</p> <p>100 フランス語 I 100 フランス語 II 100 ドイツ語 I 100 ドイツ語 II 100 中国語 I 100 中国語 II 100 朝鮮語 I 100 朝鮮語 II 100 スペイン語 I 100 スペイン語 II 200 フランス語インテンティブ初級 I ③ 200 ドイツ語インテンティブ初級 I ③</p>	<p>外国大学科目</p> <p>100 フランス語 I 100 フランス語 II 100 ドイツ語 I 100 ドイツ語 II 100 中国語 I 100 中国語 II 100 朝鮮語 I 100 スペイン語 I 100 スペイン語 II 200 フランス語インテンティブ初級 I ③ 200 ドイツ語インテンティブ初級 I ③</p>	<p>国内協定大学科目</p> <p>200 フランス語 III a ① 200 フランス語 III b ① 200 トイツ語 III 200 中国語 III 200 朝鮮語 III 200 スペイン語 III 200 フランス語インテンティブ初級 II ③ 200 ドイツ語インテンティブ初級 II ③ 200 フランス語中期留学 I ④、⑤、⑥ 200 スペイン語中期留学 I ⑦ 300 日本語 III</p>	<p>200 インターミディエイト演習 200 研究演習 I 300 テータ分析 (応用) 300 ファイルワークの技法A (修習) 300 ティーストコース研究法 300 基礎心理統計</p>	<p>8単位以上</p>
<p>入門科目</p> <p>100 社会学入門A 100 社会学入門B 100 社会学入門A 100 社会学入門B</p>	<p>外国大学科目</p> <p>100 社会学入門A 100 社会学入門B 100 社会学入門A 100 社会学入門B</p>	<p>国内協定大学科目</p> <p>200 フランス語 III a ① 200 フランス語 III b ① 200 トイツ語 III 200 中国語 III 200 朝鮮語 III 200 スペイン語 III 200 フランス語インテンティブ初級 II ③ 200 ドイツ語インテンティブ初級 II ③ 200 フランス語中期留学 I ④、⑤、⑥ 200 スペイン語中期留学 I ⑦ 300 日本語 III</p>	<p>300 研究演習 II ④ 300 テータ分析 (応用) 300 ファイルワークの技法A (修習) 300 ティーストコース研究法 300 基礎心理統計</p>	<p>8単位以上</p>	
<p>演習科目</p> <p>100 基礎演習A</p>	<p>外国大学科目</p> <p>100 基礎演習B</p>	<p>国内協定大学科目</p> <p>200 インターミディエイト演習 200 研究演習 I 300 テータ分析 (応用) 300 ファイルワークの技法A (修習) 300 ティーストコース研究法 300 基礎心理統計</p>	<p>400 研究演習 III ④ 400 卒業論文④</p>	<p>20単位以上</p>	
<p>リサーチ・メンソット科目</p> <p>200 テータ分析 (入門) 200 質的調査法</p>	<p>外国大学科目</p> <p>250 テータ分析 (基礎)</p>	<p>国内協定大学科目</p> <p>200 テータ分析 (入門) 200 質的調査法</p>	<p>300 社会学実習 300 社会学実習 300 社会学実習</p>	<p>6単位以上</p>	
<p>専攻分野科目</p> <p>200 社会学原論A 200 社会学原論B 200 社会学原論C 200 社会学原論D 200 社会学原論E 200 社会学原論F 200 社会学原論G 200 社会学原論H 200 社会学原論I 200 社会学原論J 200 社会学原論K 200 社会学原論L 200 社会学原論M 200 社会学原論N 200 社会学原論O 200 社会学原論P 200 社会学原論Q 200 社会学原論R 200 社会学原論S 200 社会学原論T 200 社会学原論U 200 社会学原論V 200 社会学原論W 200 社会学原論X 200 社会学原論Y 200 社会学原論Z</p>	<p>外国大学科目</p> <p>200 社会学原論A 200 社会学原論B 200 社会学原論C 200 社会学原論D 200 社会学原論E 200 社会学原論F 200 社会学原論G 200 社会学原論H 200 社会学原論I 200 社会学原論J 200 社会学原論K 200 社会学原論L 200 社会学原論M 200 社会学原論N 200 社会学原論O 200 社会学原論P 200 社会学原論Q 200 社会学原論R 200 社会学原論S 200 社会学原論T 200 社会学原論U 200 社会学原論V 200 社会学原論W 200 社会学原論X 200 社会学原論Y 200 社会学原論Z</p>	<p>国内協定大学科目</p> <p>200 社会学原論A 200 社会学原論B 200 社会学原論C 200 社会学原論D 200 社会学原論E 200 社会学原論F 200 社会学原論G 200 社会学原論H 200 社会学原論I 200 社会学原論J 200 社会学原論K 200 社会学原論L 200 社会学原論M 200 社会学原論N 200 社会学原論O 200 社会学原論P 200 社会学原論Q 200 社会学原論R 200 社会学原論S 200 社会学原論T 200 社会学原論U 200 社会学原論V 200 社会学原論W 200 社会学原論X 200 社会学原論Y 200 社会学原論Z</p>	<p>300 社会学実習 300 社会学実習 300 社会学実習</p>	<p>30単位以上</p>	

「リサーチ・メンソット科目」および「B 群科目」のうち「卒業に必要な単位」を超過した科目、「C 群科目」

<p>【合計】 60単位以上</p>	<p>200 現代社会と健康・医療A 200 数理社会学 200 格差の社会学 200 キリスト教と文化 200 視覚文化研究 200 ミュージアム文化論 200 情報メディア史 200 広報文化論 200 社会心理学 200 環境社会学入門 100 心理学入門</p>	<p>200 現代社会と健康・医療B 200 計量社会学 200 テータ社会学への招待 200 グローバル世界のキリスト教 200 視覚文化研究 200 パフォーマンス文化論 200 表象文化論A 200 情報メディア史 200 広報文化論 200 社会心理学 200 環境社会学入門 100 心理学入門</p>	<p>200 仕事の社会学 200 社会意識論 200 社会学 200 クロノ・バル世界のキリスト教 200 視覚文化研究 200 パフォーマンス文化論 200 表象文化論B 200 情報メディア史 200 広報文化論 200 社会心理学 200 環境社会学入門 100 心理学入門</p>	<p>200 人口動態の社会学 200 社会意識論 200 社会言語学B 200 比較文化論 200 ツーリズム文化論 200 ファッション文化論 200 ジャーナリズム文化論 200 公共圏とメディア 200 社会心理学A 200 ゲーミング社会学 200 臨床社会学</p>	<p>300 現代社会学特論A 300 現代社会学特論C 300 テータ社会学特論A 300 テータ社会学特論D 300 フィールド文化学特論A 300 フィールド文化学特論D 300 フィールド文化学特論E 300 メディア・コミュニケーション特論A 300 メディア・コミュニケーション特論D 300 社会心理学特論A 300 社会心理学特論B 300 社会心理学特論E 200 社会心理学実験</p>	<p>300 現代社会学特論B 300 現代社会学特論D 300 テータ社会学特論B 300 テータ社会学特論D 300 フィールド文化学特論B 300 フィールド文化学特論D 300 メディア・コミュニケーション特論B 300 メディア・コミュニケーション特論D 300 社会心理学特論B 300 社会心理学特論D 200 社会心理学実験</p>	<p>「他学部(科目)」20単位以上</p>
<p>単位を超過し科目「他教分(科目)」24単位以上</p>	<p>200 English Communication E ①(＜2019年度) 200 English Communication F ①(＜2019年度) 200 English Communication G ①(＜2019年度) 200 English Communication Advanced A ① 200 English Communication Advanced B ① 200 English Communication Advanced C ① 200 Practical English A ① 200 Practical English C ① 200 English Skills A ① 200 English Skills C ①</p>	<p>200 English Communication E ①(＜2019年度) 200 English Communication F ①(＜2019年度) 200 English Communication G ①(＜2019年度) 200 English Communication Advanced A ① 200 English Communication Advanced B ① 200 English Communication Advanced C ① 200 Practical English A ① 200 Practical English C ① 200 English Skills A ① 200 English Skills C ①</p>	<p>200 English Communication E ①(＜2019年度) 200 English Communication F ①(＜2019年度) 200 English Communication G ①(＜2019年度) 200 English Communication Advanced A ① 200 English Communication Advanced B ① 200 English Communication Advanced C ① 200 Practical English A ① 200 Practical English C ① 200 English Skills A ① 200 English Skills C ①</p>	<p>200 English Communication E ①(＜2019年度) 200 English Communication F ①(＜2019年度) 200 English Communication G ①(＜2019年度) 200 English Communication Advanced A ① 200 English Communication Advanced B ① 200 English Communication Advanced C ① 200 Practical English A ① 200 Practical English C ① 200 English Skills A ① 200 English Skills C ①</p>	<p>200 現代社会学特論A 300 現代社会学特論C 300 テータ社会学特論A 300 テータ社会学特論D 300 フィールド文化学特論A 300 フィールド文化学特論D 300 フィールド文化学特論E 300 メディア・コミュニケーション特論A 300 メディア・コミュニケーション特論D 300 社会心理学特論A 300 社会心理学特論B 300 社会心理学特論E 200 社会心理学実験</p>	<p>200 現代社会学特論B 300 現代社会学特論D 300 テータ社会学特論B 300 テータ社会学特論D 300 フィールド文化学特論B 300 フィールド文化学特論D 300 メディア・コミュニケーション特論B 300 メディア・コミュニケーション特論D 300 社会心理学特論B 300 社会心理学特論D 200 社会心理学実験</p>	<p>単位を超過し科目「他教分(科目)」24単位以上</p>
<p>「他学部(科目)」20単位以上</p>	<p>200 English Communication E ①(＜2019年度) 200 English Communication F ①(＜2019年度) 200 English Communication G ①(＜2019年度) 200 English Communication Advanced A ① 200 English Communication Advanced B ① 200 English Communication Advanced C ① 200 Practical English A ① 200 Practical English C ① 200 English Skills A ① 200 English Skills C ①</p>	<p>200 English Communication E ①(＜2019年度) 200 English Communication F ①(＜2019年度) 200 English Communication G ①(＜2019年度) 200 English Communication Advanced A ① 200 English Communication Advanced B ① 200 English Communication Advanced C ① 200 Practical English A ① 200 Practical English C ① 200 English Skills A ① 200 English Skills C ①</p>	<p>200 English Communication E ①(＜2019年度) 200 English Communication F ①(＜2019年度) 200 English Communication G ①(＜2019年度) 200 English Communication Advanced A ① 200 English Communication Advanced B ① 200 English Communication Advanced C ① 200 Practical English A ① 200 Practical English C ① 200 English Skills A ① 200 English Skills C ①</p>	<p>200 English Communication E ①(＜2019年度) 200 English Communication F ①(＜2019年度) 200 English Communication G ①(＜2019年度) 200 English Communication Advanced A ① 200 English Communication Advanced B ① 200 English Communication Advanced C ① 200 Practical English A ① 200 Practical English C ① 200 English Skills A ① 200 English Skills C ①</p>	<p>200 現代社会学特論A 300 現代社会学特論C 300 テータ社会学特論A 300 テータ社会学特論D 300 フィールド文化学特論A 300 フィールド文化学特論D 300 フィールド文化学特論E 300 メディア・コミュニケーション特論A 300 メディア・コミュニケーション特論D 300 社会心理学特論A 300 社会心理学特論B 300 社会心理学特論E 200 社会心理学実験</p>	<p>200 現代社会学特論B 300 現代社会学特論D 300 テータ社会学特論B 300 テータ社会学特論D 300 フィールド文化学特論B 300 フィールド文化学特論D 300 メディア・コミュニケーション特論B 300 メディア・コミュニケーション特論D 300 社会心理学特論B 300 社会心理学特論D 200 社会心理学実験</p>	<p>単位を超過し科目「他教分(科目)」24単位以上</p>

(154～155頁参照)

注1：科目名の後ろに①とある科目は1単位、③とある科目は3単位、④とある科目は4単位、⑤とある科目は5単位、⑥とある科目は6単位、⑦とある科目は7単位、⑧とあるのは8単位、⑨とあるのは9単位、⑩とある科目は12単位、⑪とある科目は13単位、⑫とある科目は2単位。
・同一科目を複数の区分に重複して単位数計算することはできない。
・留学等の認定単位については、算入範囲に十分注意すること。
・科目の単位修得年度または入学生年度によって単位数が異なる場合があるの十分注意すること。
・科目名の後の()内は開講年度。
注2：本表に記載されている科目については、「就職等関連科目」以外にも卒業単位に算入できない科目がある。卒業単位に算入できない科目は強く置かれる。
注3：フィールド社会学専攻分野では、履修が強く置かれる。
注4：2018年度以前入学生対象科目
注5：2019年度以前入学生対象科目

〈学則別表〉 社会学部教育課程表 (フィールド文化化学専攻分野) 【研究演習 I 所属後】

履修標準年度	第1学年履修以上	第2学年履修以上	第3学年履修以上	第4学年履修以上	卒業に必要な単位	
キリスト教科目 (必修)	100 キリスト教A 100 English Communication A ① 100 English Communication B ① 150 スプリング・インテグレーション 200 インテグレーション・イングリッシュ③ 100 入門英語 I A ① 100 入門英語 I B ①	外国大学科目 国内協定大学科目	200 英語中期留学マウント・プリンス大学 I ⑥、II ④、III ④ 200 英語中期留学トロントント大学スピーキング (~2018年度) 200 英語中期留学トロントント大学スピーキング③ 200 英語中期留学トロントント大学 I ⑥、II ⑤ 200 英語中期留学スターリング大学 I ⑦、II ⑥ (~2018年度) 200 英語中期留学ニュー・サウス・ウェールズ大学 I ④、II ④、III ④ 200 英語中期留学オックスフォード大学 I ⑧、II ⑧ 200 英語中期留学ケルツェン大学 I ⑦、II ⑦ 200 英語中期留学ケンブリッジ大学 I ③、II ③ (~2018年度) 200 英語中期留学ケンブリッジ大学 I ④、II ④、III ③ 200 英語中期留学クイーンズランド大学 I ④、II ④、III ③ 200 英語中期留学マラヤ大学 I ③、II ③ 200 英語中期留学ソノマ州立大学 I ⑦、II ⑦ 200 英語中期留学レスター大学 I ③、II ③ 200 英語中期留学ワイカト大学 I ⑤、II ⑤、III ⑤ 200 英語中期留学ハワイ大学マノア I ⑦、II ⑦ 200 英語中期留学エモリー大学 I ⑧、II ⑧	200 フランス語 III a ① 200 フランス語 III b ① 200 ドイツ語 III 200 中国語 III 200 朝鮮語 III 200 スペイン語 III 200 フランス語インテンティブ初級 II ③ 200 ドイツ語インテンティブ初級 II ③ 200 フランス語中期留学 I ⑤、⑥、⑦ 200 スペイン語中期留学 I ⑦ (外国人留学生) 300 日本語 III	400 研究演習 III ④ 400 卒業論文④	4単位以上
言語教育科目 (必修)	100 フランス語 I 100 ドイツ語 I 100 中国語 I 100 朝鮮語 I 100 スペイン語 I 200 フランス語インテンティブ初級 I ③ 200 ドイツ語インテンティブ初級 I ③	外国大学科目 国内協定大学科目	200 フランス語 III a ① 200 フランス語 III b ① 200 ドイツ語 III 200 中国語 III 200 朝鮮語 III 200 スペイン語 III 200 フランス語インテンティブ初級 II ③ 200 ドイツ語インテンティブ初級 II ③ 200 フランス語中期留学 I ⑤、⑥、⑦ 200 スペイン語中期留学 I ⑦ (外国人留学生) 300 日本語 III	200 フランス語 III a ① 200 フランス語 III b ① 200 ドイツ語 III 200 中国語 III 200 朝鮮語 III 200 スペイン語 III 200 フランス語インテンティブ初級 II ③ 200 ドイツ語インテンティブ初級 II ③ 200 フランス語中期留学 I ⑤、⑥、⑦ 200 スペイン語中期留学 I ⑦ (外国人留学生) 300 日本語 III	8単位以上	
入門科目	100 社会学入門A 100 社会調査入門A 100 社会学入門B 150 社会調査入門B	外国大学科目 国内協定大学科目	200 インターメディアリエイティブ演習 200 研究演習 I 300 研究演習 II ④ 300 研究演習 III ④ 400 卒業論文④	8単位以上		
演習科目	100 基礎演習A 250 テータ分析 (入門) 200 質的調査法	外国大学科目 国内協定大学科目	200 インターメディアリエイティブ演習 200 研究演習 I 300 研究演習 II ④ 300 研究演習 III ④ 400 卒業論文④	20単位以上		
リサーチ・メソッド科目	200 社会学原論A 200 社会学原論B 200 社会学史A 200 社会学史B 200 社会学史C 200 社会学史D 200 社会学史E 200 社会学史F 200 社会学史G 200 社会学史H 200 社会学史I 200 社会学史J 200 社会学史K 200 社会学史L 200 社会学史M 200 社会学史N 200 社会学史O 200 社会学史P 200 社会学史Q 200 社会学史R 200 社会学史S 200 社会学史T 200 社会学史U 200 社会学史V 200 社会学史W 200 社会学史X 200 社会学史Y 200 社会学史Z	外国大学科目 国内協定大学科目	300 フィールド文化学特論A 300 フィールド文化学特論B 300 フィールド文化学特論C 300 フィールド文化学特論D 300 フィールド文化学特論E 300 フィールド文化学特論F 300 フィールド文化学特論G 300 フィールド文化学特論H 300 フィールド文化学特論I 300 フィールド文化学特論J 300 フィールド文化学特論K 300 フィールド文化学特論L 300 フィールド文化学特論M 300 フィールド文化学特論N 300 フィールド文化学特論O 300 フィールド文化学特論P 300 フィールド文化学特論Q 300 フィールド文化学特論R 300 フィールド文化学特論S 300 フィールド文化学特論T 300 フィールド文化学特論U 300 フィールド文化学特論V 300 フィールド文化学特論W 300 フィールド文化学特論X 300 フィールド文化学特論Y 300 フィールド文化学特論Z	6単位以上		
専攻分科科目	200 社会学原論A 200 社会学原論B 200 社会学史A 200 社会学史B 200 社会学史C 200 社会学史D 200 社会学史E 200 社会学史F 200 社会学史G 200 社会学史H 200 社会学史I 200 社会学史J 200 社会学史K 200 社会学史L 200 社会学史M 200 社会学史N 200 社会学史O 200 社会学史P 200 社会学史Q 200 社会学史R 200 社会学史S 200 社会学史T 200 社会学史U 200 社会学史V 200 社会学史W 200 社会学史X 200 社会学史Y 200 社会学史Z	外国大学科目 国内協定大学科目	300 フィールド文化学特論A 300 フィールド文化学特論B 300 フィールド文化学特論C 300 フィールド文化学特論D 300 フィールド文化学特論E 300 フィールド文化学特論F 300 フィールド文化学特論G 300 フィールド文化学特論H 300 フィールド文化学特論I 300 フィールド文化学特論J 300 フィールド文化学特論K 300 フィールド文化学特論L 300 フィールド文化学特論M 300 フィールド文化学特論N 300 フィールド文化学特論O 300 フィールド文化学特論P 300 フィールド文化学特論Q 300 フィールド文化学特論R 300 フィールド文化学特論S 300 フィールド文化学特論T 300 フィールド文化学特論U 300 フィールド文化学特論V 300 フィールド文化学特論W 300 フィールド文化学特論X 300 フィールド文化学特論Y 300 フィールド文化学特論Z	30単位以上		

B群科目
(選択必修科目)

<p>〔合計〕 60単位以上</p>	<p>他専攻分野科目</p> <p>200 家族社会学A 200 政治社会学A 200 教育社会学 200 産業社会学 200 仕事の社会学 200 計量社会学 200 テーマ社会学への招待 200 ケア社会学 200 セクシュアリティ論 200 ホラントイアの社会学 200 ソーシャル・メディア論 200 グループ・ダイナミックス 200 世論研究</p> <p>200 家族社会学B 200 政治社会学B 200 スポーツ社会学 200 組織社会学 200 社会意識論 200 ソーシャル・ネットワーク論 200 社会問題論 200 社会意識論 200 ケア社会学 200 セクシュアリティ論 200 ホラントイアの社会学 200 ソーシャル・メディア論 200 グループ・ダイナミックス 200 世論研究</p> <p>200 法社会学A 200 リスクの社会学 200 国際社会学 200 経営社会学 200 人口動態の社会学 200 社会階層論(～2018年度) 200 ソーシャル・キャピタル論 200 障害学 200 身体性法論 200 現代若者・子ども論 200 メディア研究 200 社会学入門</p> <p>200 法社会学B 200 科学・技術の社会学 200 経済社会学 200 労働関係の社会学 200 労働社会学 200 社会運動論 200 福祉社会学 200 ジェンダー論 200 NPO/NGOの社会学 200 公共圏とメディア 200 社会学入門 100 心理学入門</p>	<p>300 現代社会学特論A 300 現代社会学特論C 300 テーマ社会学特論A 300 テーマ社会学特論C 300 フィールド社会学特論A 300 フィールド社会学特論C 300 メディア・コミュニケーション学特論A 300 メディア・コミュニケーション学特論C 300 社会学特論A 300 社会学特論E 300 社会学実験</p> <p>300 現代社会学特論B 300 現代社会学特論D 300 テーマ社会学特論B 300 テーマ社会学特論D 300 フィールド社会学特論B 300 フィールド社会学特論D 300 メディア・コミュニケーション学特論B 300 メディア・コミュニケーション学特論D 300 社会学特論B 300 社会学特論D 200 基礎心理学実験</p>	<p>200 English Communication E ①(～2016年度) 200 English Communication F ①(～2016年度) 200 English Communication Advanced A ① 200 English Communication Advanced B ① 200 Practical English A ① 200 Practical English C ① 200 English Skills A ① 200 English Skills D ①</p>	<p>200 地域と文化(人文地理学)注3 200 空間と社会(風景研究)注3 200 社会地理学A 200 人間と環境(自然地理学) 200 地域A 200 地域B 200 地域C 200 地域D 200 経済地理学B 200 政治学概論A 200 国際法総論A 200 政治学概論B 200 国際経済論 200 憲法B(基本的人権各論) 200 民法A 200 民法B 200 商法A</p>	<p>200 地理学概論A 300 哲学概論B 300 哲学概論C 300 国際法総論B 300 国際政治論B</p> <p>200 空間と社会(都市研究)注3 200 社会地理学A 200 人間と環境(自然地理学) 200 地域B 200 地域D 200 経済地理学B 200 政治学概論A 200 国際法総論A 200 政治学概論B 200 国際経済論 200 憲法B(基本的人権各論) 200 民法A 200 民法B 200 商法A</p> <p>200 教育課程論 200 特別活動論注4 200 主任指導論注4 200 人権教育論注5 200 特別支援教育概論注5 200 主任指導・進路指導論注5 300 社会・地理歴史科教育法注5 300 社会・公民科教育法注5 200 IB教育方法論・評価論II注5</p>	<p>400 教育実習A⑤ 400 教育実習B③ 400 教職実践演習(中・高)</p> <p>300 社会地理学特論注4 300 地理歴史科教育法注4 300 社会・公民科教育法注4 300 公民科教育法注4 300 学校経営と学校図書館 300 学校図書館と学びの場 300 学習指導と学校図書館 300 読書と豊かな人間性 300 情報メディアの活用 300 IB教育実践研究注5</p>
<p>〔他学部(科目)〕 20単位以上</p>	<p>単位を超過した科目(卒業後科目)は単位以上</p>	<p>キヤリアゼミA・B・C、キャリアゼミナール、ライオンテラスは目的の海外イニシアティブは卒業に必要単位に算入されない(2017年度以降入学生)。</p>	<p>教職等関連科目は卒業に必要単位に算入されない</p> <p>注2</p>			

(154～155頁参照)

注1：科目名の後ろに①とある科目は1単位、②とある科目は3単位、③とある科目は4単位、④とある科目は5単位、⑤とある科目は6単位、⑥とある科目は7単位、⑦とある科目は8単位、⑧とある科目は9単位、⑨とある科目は12単位、⑩とある科目は13単位、⑪とある科目は2単位。

注2：同一科目を複数の区分に重複して単位数計算することはできない。
・留学等の認定単位については、算入場所に十分注意すること。
・科目の単位修得年度または入学生年度によって単位数が異なる場合があるの十分注意すること。
・科目名の()内は開講年度。

注3：本表に記載されている科目については、「教職等関連科目」以外にも卒業単位に算入できない科目がある。卒業単位に算入できない科目の詳細については、社会学部内規第20条を参照のこと。

注4：2017年度以前入学生対象科目
注5：2018年度以前入学生対象科目

注6：2019年度以前入学生対象科目

7. 教育課程表

<p>【合計】 60単位以上</p> <p>（専攻の科目）20単位以上</p> <p>卒業に必要単位を超過した科目（他専攻専攻科目）24単位以上</p>	<p>200 社会学 B 200 家族社会学 B 200 文化社会学 B 200 政治社会学 B 200 地域社会学 B 200 環境社会学 B 200 比較社会学 A 200 社会学と健康・医療 B 200 クローバリー・マニエーション論 200 産学社会学 200 労働社会学 200 格差社会学 200 福祉社会学 200 ケア社会学 200 セクシュアリティ論 200 記憶の社会学 200 文化人類学 A 200 文化人類学 B 200 エリトスと文化 200 複文化教育研究 200 ハンガリー・マニエーション文化論 200 表象文化論 A 200 表象文化論 C 200 意識決定の心理学 100 心理学入門</p> <p>200 知能社会学 200 宗教社会学 B 200 法社会学 B 200 都市社会学 B 200 コミュニティ論 200 現代社会学と健康・医療 A 200 国際社会学 200 組織社会学 200 人口動態の社会学 200 社会学運動論 200 社会学運動論 200 社会学運動論 200 社会学運動論 200 シェンダー論 200 ジェンダー論 200 身体社会学 200 現代若者・子ども論 200 NPO/NGO の社会学 200 ボランティア社会学 200 現代民俗学 B 200 社会学と健康・医療 E 200 社会学と健康・医療 E 200 社会学と健康・医療 E</p>	<p>300 現代社会学特論 A 300 現代社会学特論 C 300 テーマ社会学特論 A 300 テーマ社会学特論 C 300 フィールド社会学特論 A 300 フィールド社会学特論 C 300 フィールド社会学特論 E 300 フィールド文化社会学特論 A 300 フィールド文化社会学特論 C 300 フィールド文化社会学特論 E 300 社会学心理学特論 A 300 社会学心理学特論 C 300 社会学心理学特論 E 200 基礎心理学実験</p>	<p>200 English Communication E ①(～2016年度) 200 English Communication F ①(～2016年度) 200 English Communication Advanced A ① 200 English Communication Advanced B ① 200 Practical English B ① 200 Practical English C ① 200 English Skills A ① 200 English Skills B ① 200 English Skills D ①</p>	<p>200 地域と文化（人文地理学）注3 200 空間と社会（風景研究）注3 200 人間と地理学 B 200 地理学 A 200 地理学 B 200 地理学 C 200 経済地理学 B 200 政治学原論 A 200 国際政治論 A 200 国際経済論 200 憲法 B（憲法的人権論） 200 民法 A 200 商法 B</p>	<p>200 空間と社会（都市研究）注3 200 社会学原論 A 200 社会学原論 B 200 国際政治論 B 200 社会学原論 A 200 社会学原論 B 200 社会学原論 C 200 社会学原論 D 200 社会学原論 E 200 社会学原論 F 200 社会学原論 G 200 社会学原論 H 200 社会学原論 I 200 社会学原論 J 200 社会学原論 K 200 社会学原論 L 200 社会学原論 M 200 社会学原論 N 200 社会学原論 O 200 社会学原論 P 200 社会学原論 Q 200 社会学原論 R 200 社会学原論 S 200 社会学原論 T 200 社会学原論 U 200 社会学原論 V 200 社会学原論 W 200 社会学原論 X 200 社会学原論 Y 200 社会学原論 Z</p>	<p>300 社会学特論 A 300 社会学特論 B 300 社会学特論 C 300 社会学特論 D 300 社会学特論 E 300 社会学特論 F 300 社会学特論 G 300 社会学特論 H 300 社会学特論 I 300 社会学特論 J 300 社会学特論 K 300 社会学特論 L 300 社会学特論 M 300 社会学特論 N 300 社会学特論 O 300 社会学特論 P 300 社会学特論 Q 300 社会学特論 R 300 社会学特論 S 300 社会学特論 T 300 社会学特論 U 300 社会学特論 V 300 社会学特論 W 300 社会学特論 X 300 社会学特論 Y 300 社会学特論 Z</p>
<p>【合計】 60単位以上</p> <p>（専攻の科目）20単位以上</p> <p>卒業に必要単位を超過した科目（他専攻専攻科目）24単位以上</p>	<p>200 社会学 B 200 家族社会学 B 200 文化社会学 B 200 政治社会学 B 200 地域社会学 B 200 環境社会学 B 200 比較社会学 A 200 社会学と健康・医療 B 200 クローバリー・マニエーション論 200 産学社会学 200 労働社会学 200 格差社会学 200 福祉社会学 200 ケア社会学 200 セクシュアリティ論 200 記憶の社会学 200 文化人類学 A 200 文化人類学 B 200 エリトスと文化 200 複文化教育研究 200 ハンガリー・マニエーション文化論 200 表象文化論 A 200 表象文化論 C 200 意識決定の心理学 100 心理学入門</p>	<p>300 現代社会学特論 A 300 現代社会学特論 C 300 テーマ社会学特論 A 300 テーマ社会学特論 C 300 フィールド社会学特論 A 300 フィールド社会学特論 C 300 フィールド社会学特論 E 300 フィールド文化社会学特論 A 300 フィールド文化社会学特論 C 300 フィールド文化社会学特論 E 300 社会学心理学特論 A 300 社会学心理学特論 C 300 社会学心理学特論 E 200 基礎心理学実験</p>	<p>200 English Communication E ①(～2016年度) 200 English Communication F ①(～2016年度) 200 English Communication Advanced A ① 200 English Communication Advanced B ① 200 Practical English B ① 200 Practical English C ① 200 English Skills A ① 200 English Skills B ① 200 English Skills D ①</p>	<p>200 地域と文化（人文地理学）注3 200 空間と社会（風景研究）注3 200 人間と地理学 B 200 地理学 A 200 地理学 B 200 地理学 C 200 経済地理学 B 200 政治学原論 A 200 国際政治論 A 200 国際経済論 200 憲法 B（憲法的人権論） 200 民法 A 200 商法 B</p>	<p>200 空間と社会（都市研究）注3 200 社会学原論 A 200 社会学原論 B 200 国際政治論 B 200 社会学原論 A 200 社会学原論 B 200 社会学原論 C 200 社会学原論 D 200 社会学原論 E 200 社会学原論 F 200 社会学原論 G 200 社会学原論 H 200 社会学原論 I 200 社会学原論 J 200 社会学原論 K 200 社会学原論 L 200 社会学原論 M 200 社会学原論 N 200 社会学原論 O 200 社会学原論 P 200 社会学原論 Q 200 社会学原論 R 200 社会学原論 S 200 社会学原論 T 200 社会学原論 U 200 社会学原論 V 200 社会学原論 W 200 社会学原論 X 200 社会学原論 Y 200 社会学原論 Z</p>	<p>300 社会学特論 A 300 社会学特論 B 300 社会学特論 C 300 社会学特論 D 300 社会学特論 E 300 社会学特論 F 300 社会学特論 G 300 社会学特論 H 300 社会学特論 I 300 社会学特論 J 300 社会学特論 K 300 社会学特論 L 300 社会学特論 M 300 社会学特論 N 300 社会学特論 O 300 社会学特論 P 300 社会学特論 Q 300 社会学特論 R 300 社会学特論 S 300 社会学特論 T 300 社会学特論 U 300 社会学特論 V 300 社会学特論 W 300 社会学特論 X 300 社会学特論 Y 300 社会学特論 Z</p>

(154～155頁参照)

注1：科目名の後ろに○とある科目は1単位、③とある科目は3単位、④とある科目は4単位、⑤とある科目は5単位、⑥とある科目は6単位、⑦とある科目は7単位、⑧とある科目は8単位、⑨とある科目は9単位、⑩とある科目は12単位、⑪とある科目は13単位、⑫とある科目は2単位。

注2：卒業に必要単位を超過した科目（他専攻専攻科目）24単位以上

注3：卒業に必要単位を超過した科目（他専攻専攻科目）24単位以上

注4：卒業に必要単位を超過した科目（他専攻専攻科目）24単位以上

注5：卒業に必要単位を超過した科目（他専攻専攻科目）24単位以上

7. 教育課程表

〈学則別表〉 社会学部教育課程表 (社会心理学専攻分野) 【研究演習 I 所属後】

履修基準年度	第1学年履修以上	第2学年履修以上	第3学年履修以上	第4学年履修以上	卒業に必要な単位	
キリスト教科目	100 キリスト教A 100 English Communication A ① 100 English Communication B ① 100 English Communication C ① 150 スパニッシュ・インテグレーション 200 インテンシブ・イングリッシュ③ 100 入門英語 I A ① 100 入門英語 I B ①	100 キリスト教B 100 English Communication B ① 100 English Communication C ① 100 English Communication D ①	国内協定大学科目 国内協定大学科目		4単位以上	
言語教育科目 (必修)	100 フランス語 I 100 フランス語 II 100 ドイツ語 I 100 ドイツ語 II 100 中国語 I 100 中国語 II 100 朝鮮語 I 100 スペイン語 I 200 フランス語インテンティブ初級 I ③ 200 ドイツ語インテンティブ初級 I ③	100 フランス語 II 100 ドイツ語 II 100 中国語 II 100 朝鮮語 II 100 スペイン語 II	国内協定大学科目 国内協定大学科目		4単位以上	
A群科目 (必修科目) 【合計】 44単位以上	100 フランス語 I 100 ドイツ語 I 100 中国語 I 100 朝鮮語 I 100 スペイン語 I 200 フランス語インテンティブ初級 I ③ 200 ドイツ語インテンティブ初級 I ③	100 フランス語 II 100 ドイツ語 II 100 中国語 II 100 朝鮮語 II 100 スペイン語 II	国内協定大学科目 国内協定大学科目		8単位以上	
入門科目	100 社会学入門A 100 社会調査入門A	200 日本語 II 100 社会学入門B 150 社会調査入門B	国内協定大学科目 国内協定大学科目		8単位以上	
演習科目	100 基礎演習A	100 基礎演習B	国内協定大学科目 国内協定大学科目	200 インターメディアリエイト演習 200 研究演習 I	20単位以上	
リサーチ・メソッド科目	200 テータ分析 (入門) 200 質的調査法	250 テータ分析 (基礎)	国内協定大学科目	300 テータ分析 (応用) 300 フィールドワークの技法A(修与履修) 300 デイスクラス研究法 200 基礎心理統計※	6単位以上	
専攻分科科目	200 社会学原論A 200 社会学原論B 200 社会思想史A 200 現代社会学A 200 ソーシャル・ネットワーク論 200 社会学原論A 200 マス・コミュニケーション論 200 アプローチ・リレーションズ 200 アプローチ・リレーションズ 200 質的調査法 200 メディア社会学	200 社会学原論B 200 社会思想史B 200 現代社会学B 200 ソーシャル・キャピタル論 200 社会学原論B 200 メディア・リテラシーA 200 社会学原論B 200 ゲーミング社会学 200 臨床社会学	200 社会学史B 200 科学・技術の社会学 100 テータ社会学への招待 200 人権・差別問題論B 200 異文化コミュニケーション論 200 メディア・リテラシーB 200 社会学原論B 200 社会学原論B 100 心理学入門	300 フィールドワークの技法A(2018年度) 300 フィールドワークの技法A(資料取組) 300 メディア・コミュニケーション学研究 300 応用心理統計※ 300 社会心理学実験 300 社会心理学特論B 300 社会心理学特論C 300 社会心理学特論D 300 Society in English B 300 Society in English C 300 Society in English D 200 比較社会演習B 200 海外社会調査A ① 200 海外社会調査B	300 社会学実習 300 社会調査実習 300 実験実習	30単位以上
B群科目 (選択必修科目)					6単位以上	

「リサーチ・メソッド科目」および「B群科目」のうち「卒業に必要な単位」を超過した科目「C群科目」

(「専修」の科目) 20単位以上

卒業に必要単位を超過した科目(「専修」を除く科目) 24単位以上

キリヤセミ A・B・C、(課外)キリヤセミ A、アライアメント科目の海外インターンシップは卒業に必要単位に算入されない(2017年度以前卒業生)。

教職等関連科目は卒業に必要単位に算入されない

注2

200 知能社会学 200 宗教学社会学B 200 法社会学A 200 都市社会学B 200 コミュニティ論 200 スポーツ社会学 200 比較社会学B 200 産業社会学 200 仕事の社会学 200 災害社会学 200 ケア社会学 200 セクシュアリティ論 200 記憶の社会学 200 ボランティアの社会学 200 現代民俗学B 200 比較文化論 200 ソーシャル文化論 200 ファッション文化論 200 文化遺産論 200 メディア文化論 200 ポピュラー・カルチャー論	200 知能社会学 300 現代社会学特論B 300 現代社会学特論D 300 データ社会学特論B 300 データ社会学特論D 300 フィールド社会学特論A 300 フィールド社会学特論C 300 フィールド社会学特論D 300 フィールド文化学特論B 300 フィールド文化学特論D 300 フィールド文化学特論E 300 メディア・コミュニケーション学特論B 300 メディア・コミュニケーション学特論D
---	---

200 English Communication E ①(～2019年度) 200 English Communication F ①(～2019年度) 200 English Communication Advanced A ① 200 English Communication Advanced B ① 200 English Communication Advanced C ① 200 English Communication Advanced D ① 200 Practical English A ① 200 Practical English C ① 200 English Skills A ① 200 English Skills C ① 200 English Skills D ①	200 English Communication E ①(～2019年度) 200 English Communication F ①(～2019年度) 200 English Communication Advanced A ① 200 English Communication Advanced B ① 200 English Communication Advanced C ① 200 English Communication Advanced D ① 200 Practical English A ① 200 Practical English C ① 200 English Skills A ① 200 English Skills C ① 200 English Skills D ①
--	--

200 社会史A 200 家族社会学B 200 文化社会学B 200 政治社会学A 200 地理社会学B 200 環境社会学A 200 現代社会と健康・医療B 200 国際社会学 200 情報社会学 200 社会問題論(～2019年度) 200 医療社会学 200 文化遺産の社会学 200 文化人類学 200 文化人類学A 200 エリートと文化 200 規範文化研究 200 ミュージアム文化論 200 表象文化論A 200 死生学と宗教 200 メディア産業論 200 広告文化論	200 歴史社会学 200 宗教学社会学A 200 法社会学A 200 都市社会学A 200 村落社会学 200 比較社会学A 200 経済社会学 200 労働社会学 200 人口動態の社会学 200 格差の社会学 200 階級学 200 身体技法論 200 現代若者・子ども論 200 親の社会学 200 文化人類学B 200 グローバル世界のキリスト教 200 複数文化研究 200 食文化論 200 ポピュラー音楽論 200 表象文化論C 200 情報メディア史 200 公共圏とメディア
---	--

200 English Communication E ①(～2019年度) 200 English Communication F ①(～2019年度) 200 English Communication Advanced A ① 200 English Communication Advanced B ① 200 English Communication Advanced C ① 200 English Communication Advanced D ① 200 Practical English A ① 200 Practical English C ① 200 English Skills A ① 200 English Skills C ① 200 English Skills D ①	200 English Communication E ①(～2019年度) 200 English Communication F ①(～2019年度) 200 English Communication Advanced A ① 200 English Communication Advanced B ① 200 English Communication Advanced C ① 200 English Communication Advanced D ① 200 Practical English A ① 200 Practical English C ① 200 English Skills A ① 200 English Skills C ① 200 English Skills D ①
--	--

200 社会史A 200 家族社会学B 200 文化社会学B 200 政治社会学A 200 地理社会学B 200 環境社会学A 200 現代社会と健康・医療B 200 国際社会学 200 情報社会学 200 社会問題論(～2019年度) 200 医療社会学 200 文化遺産の社会学 200 文化人類学 200 文化人類学A 200 エリートと文化 200 規範文化研究 200 ミュージアム文化論 200 表象文化論A 200 死生学と宗教 200 メディア産業論 200 広告文化論	200 知能社会学 300 現代社会学特論B 300 現代社会学特論D 300 データ社会学特論B 300 データ社会学特論D 300 フィールド社会学特論A 300 フィールド社会学特論C 300 フィールド社会学特論D 300 フィールド文化学特論B 300 フィールド文化学特論D 300 フィールド文化学特論E 300 メディア・コミュニケーション学特論B 300 メディア・コミュニケーション学特論D
---	---

200 English Communication E ①(～2019年度) 200 English Communication F ①(～2019年度) 200 English Communication Advanced A ① 200 English Communication Advanced B ① 200 English Communication Advanced C ① 200 English Communication Advanced D ① 200 Practical English A ① 200 Practical English C ① 200 English Skills A ① 200 English Skills C ① 200 English Skills D ①	200 English Communication E ①(～2019年度) 200 English Communication F ①(～2019年度) 200 English Communication Advanced A ① 200 English Communication Advanced B ① 200 English Communication Advanced C ① 200 English Communication Advanced D ① 200 Practical English A ① 200 Practical English C ① 200 English Skills A ① 200 English Skills C ① 200 English Skills D ①
--	--

200 地理と文化(人文地理学) 200 空間と社会(風景研究)注3 200 社会地理学B 200 地理A 200 地理B 200 地理C 200 経済原論B 200 政治学原論A 200 国際法総論A 200 国際法総論B 200 憲法A(基本的人権各論) 200 民法A 200 民法B 200 商法A 200 商法B	200 空間と社会(都市研究)注3 200 社会地理学A 200 人間と環境(自然地理学) 200 地理B 200 地理D 200 経済原論B 200 政治学原論A 200 国際法総論A 200 国際法総論B 200 憲法A(基本的人権各論) 200 民法A 200 民法B 200 商法A 200 商法B
---	--

100 日本国憲法 100 憲法A(基本的人権総論) 100 社会学概説 100 心理学研究 100 地理学概説 100 学習心理学(学習・意動心理学) 100 コンピュータ演習(基礎) 100 アジア史概説 100 宗教学 100 教育原論 100 教育原論 100 発達・学習過程論 100 学校教育論 100 特別活動論注4 200 生涯指導論注4 200 人権教育論 200 特別支援教育概論注5 300 社会・地理歴史科教育法注5 300 社会・公民科教育法注5 200 IB教育方法論・評価論I注5	100 日本国憲法 100 憲法A(基本的人権総論) 100 社会学概説 100 心理学研究 100 地理学概説 100 学習心理学(学習・意動心理学) 100 コンピュータ演習(基礎) 100 アジア史概説 100 宗教学 100 教育原論 100 教育原論 100 発達・学習過程論 100 学校教育論 100 特別活動論注4 200 生涯指導論注4 200 人権教育論 200 特別支援教育概論注5 300 社会・地理歴史科教育法注5 300 社会・公民科教育法注5 200 IB教育方法論・評価論I注5
--	--

100 教職概論 100 IB概論注5	100 教職概論 100 IB概論注5
------------------------	------------------------

300 哲学概論A 300 哲学概論B 300 国際法総論B 300 国際政治論B 300 地理学概論注4 300 地理歴史科教育法注4 300 公民科教育法注4 300 公民科教育法注5 300 学校経営と学校図書館 300 学校図書館・進路指導 300 学習指導と学校図書館 300 読書と豊かな人間性 300 情報メディアの活用 300 IB教育実践研究注5	300 哲学概論A 300 哲学概論B 300 国際法総論B 300 国際政治論B 300 地理学概論注4 300 地理歴史科教育法注4 300 公民科教育法注4 300 公民科教育法注5 300 学校経営と学校図書館 300 学校図書館・進路指導 300 学習指導と学校図書館 300 読書と豊かな人間性 300 情報メディアの活用 300 IB教育実践研究注5
---	---

200 教育概論 200 特別活動論注4 200 生涯指導論注4 200 人権教育論 200 特別支援教育概論注5 300 社会・地理歴史科教育法注5 300 社会・公民科教育法注5 200 IB教育方法論・評価論II注5	200 教育概論 200 特別活動論注4 200 生涯指導論注4 200 人権教育論 200 特別支援教育概論注5 300 社会・地理歴史科教育法注5 300 社会・公民科教育法注5 200 IB教育方法論・評価論II注5
--	--

400 教育実習A⑤ 400 教育実習B③ 400 教職実習(中・高)	400 教育実習A⑤ 400 教育実習B③ 400 教職実習(中・高)
---	---

注1：科目名の後ろに(○)とある科目は1単位、(◎)とある科目は3単位、(④)とある科目は4単位、(⑤)とある科目は5単位、(⑥)とある科目は6単位、(⑦)とある科目は7単位、(⑧)とある科目は8単位、(⑨)とある科目は9単位、(⑩)とある科目は12単位、(⑪)とある科目は13単位、その他の科目は2単位。
 注2：科目名後の(○)内は重複して単位数計算する科目を示す。卒業単位に算入できない科目がある場合は、卒業単位に算入できない科目の単位数を20単位と見做す。
 注3：2017年度以前入学生対象科目
 注4：社会心理学専攻分野では履修が強く望まれる。
 注5：2019年度以前入学生対象科目

(154～155頁参照)

全学科目【2016年度以降入学生】

履修基準年度	言語教育科目				スポーツ科学・健康科学科目				情報科学科目	
第1学年度以上	250 Skills-based English	1または2	100 スペイン語初級Ⅱ	1	100 スポーツ科学講義A	2	100 健康科学演習A	2	100 コンピュータ基礎	2
	150 Special English Seminar	1	150 スペイン語初級Ⅲ	1	100 スポーツ科学講義B	2	100 健康科学演習B	2	150 コンピュータ実践	2
	100 基礎フランス語Ⅰ	1	200 スペイン語中級	1	100 スポーツ科学講義C	2	100 健康科学演習C	2	●200 コンピュータ言語	2
	100 基礎フランス語Ⅱ	1	100 ポルトガル語初級Ⅰ	1	100 スポーツ科学講義D	2	100 健康科学演習D	2	150 プログラミング言語基礎	2
	100 基礎フランス語Ⅲ	1	100 ポルトガル語初級Ⅱ	1	100 健康科学講義A	2	100 健康科学演習E	2	100 文科系学生のための情報技術入門	2
	100 基礎フランス語Ⅳ	1	150 ポルトガル語初中級	1	100 健康科学講義B	2	100 体育方法学演習A	2	100 情報技術概論	2
	150 フランス語アラカルト(聞く・話す)A	1	100 アラビア語初級Ⅰ	1	100 健康科学講義C	2	100 体育方法学演習B	2		
	150 フランス語アラカルト(聞く・話す)B	1	100 アラビア語初級Ⅱ	1	100 体育方法学講義A	2	100 体育方法学演習C	2		
	150 フランス語アラカルト(聞く・話す)C	1	150 アラビア語初中級	1	100 体育方法学講義B	2	100 余暇生活学演習A	2		
	100 基礎ドイツ語Ⅰ	1	100 基礎中国語Ⅰ	1	100 体育方法学講義C	2	100 余暇生活学演習B	2		
	100 基礎ドイツ語Ⅱ	1	100 基礎中国語Ⅱ	1	100 余暇生活学講義A	2	100 余暇生活学演習C	2		
	100 基礎ドイツ語Ⅲ	1	150 基礎中国語Ⅲ	1	100 余暇生活学講義B	2	100 余暇生活学演習D	2		
	100 基礎ドイツ語Ⅳ	1	150 基礎中国語Ⅳ	1	100 余暇生活学講義C	2	100 余暇生活学演習E	2		
	150 ドイツ語アラカルト(聞く・話す)A	1	200 中国語中級	1	100 スポーツ科学演習A	2	100 余暇生活学演習F	2		
	150 ドイツ語アラカルト(聞く・話す)B	1	100 朝鮮語初級Ⅰ	1	100 スポーツ科学演習B	2				
	●200 日本語総合演習A	2	100 朝鮮語初級Ⅱ	1	100 スポーツ科学演習C	2				
	●200 日本語総合演習B	2	150 朝鮮語初級Ⅲ	1	100 スポーツ科学演習D	2				
	100 ロシア語初級Ⅰ	1	200 朝鮮語中級	1	100 スポーツ科学演習E	2				
	100 ロシア語初級Ⅱ	1	100 インドネシア語初級Ⅰ	1	100 スポーツ科学演習F	2				
	150 ロシア語初中級	1	100 インドネシア語初級Ⅱ	1						
	100 イタリア語初級Ⅰ	1	150 インドネシア語初中級	1						
	100 イタリア語初級Ⅱ	1	100 日本手話初級Ⅰ	1						
	150 イタリア語初中級	1	100 日本手話初級Ⅱ	1						
	100 スペイン語初級Ⅰ	1								
	第2学年度以上	100 入門英語ⅡA	1	●150 ロシア語初級Ⅲ	1					200 プログラミング言語応用
100 入門英語ⅡB		1	●200 ロシア語中級	1						
250 フランス語インテンシブ初級Ⅲ		2	●150 イタリア語初級Ⅲ	1						
200 フランス語中期留学Ⅱ		4または6	●200 イタリア語中級	1						
200 フランス語中期留学Ⅲ		4	200 スペイン語中期留学Ⅱ	7						
200 フランス語アラカルト(読む)		1	●150 ポルトガル語初級Ⅲ	1						
200 フランス語アラカルト(書く)		1	●200 ポルトガル語中級	1						
250 ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ		2	●150 アラビア語初級Ⅲ	1						
200 ドイツ語アラカルト(読む)		1	●200 アラビア語中級	1						
200 ドイツ語アラカルト(書く)		1	●150 インドネシア語初級Ⅲ	1						
●250 日本語(読解・作文)		1	●200 インドネシア語中級	1						
●250 日本語(聴解・会話)		1								
第3学年度以上		250 フランス語インテンシブ中級	2	300 ビジネス日本語B	1					
	250 ドイツ語インテンシブ中級	2	300 ビジネス日本語C	1						
	300 ビジネス日本語A	1								
★	外国大学科目 1~8 ●200 総合日本学習コース 2または3 ●200 中国・韓国学習コース 1~3 300 総合日本学習科目 2または3 250 インターンシップ実習 ●150 社会連携プロジェクト 2または4 150 PBL 特別演習 2または4 100 西宮市大学共通単位講座 1または2 100 コンソーシアムひょうご神戸講座 1または2									

★ 場合により履修基準年度が異なる。詳しくは「履修・学習要覧 Web サイト」および「履修心得」を参照のこと。

※ 年度によって開講されない科目があるので注意すること。

※ ●：今後開講されない科目 □：卒業に必要な単位に算入されない科目 (2016年度~2017年度入学生)

◆：2017年度以降入学生のみ履修可 (MS 国連・外交プログラム履修許可者のみ履修可) ■：2019年度以降入学生対象科目

※ 科目名の後ろの数字は単位数

AI 活用人材育成科目	グローバルスタディーズ科目	ライフデザイン科目	基盤・学際科目
100 AI 活用入門 2	300 Language and Communication 2	100 ライフ・キャリア概論 2	100 「関学」学 2
150 AI 活用導入演習A 2	300 Culture and Society 2	100 ライフデザインと仕事A 2	100 災害復興学入門 2
150 AI 活用導入演習B 2	300 Academic Writing and Presentation 2	100 ライフデザインと仕事B 2	100 災害復興学 2
	300 Project-based Seminar in English 2	100 ライフ・キャリア入門演習 2	100 平和学「広島・長崎講座」 2
	150 海外学習活動（ドイツ） 2	150 ライフ・キャリア実践演習 2	100 平和学特別演習「ヒロシマ」 2
	200 English for Cross-Cultural Studies A 2	250 ライフ・キャリア リーダーシップ実習 2	100 スタディスキルセミナー 2
	200 English for Cross-Cultural Studies B 2	100 グローバルキャリアデザイン入門 2	100 社会探究入門 2
	150 海外フィールドワーク 2	●150 社会の中での自分 (インターンシップ講義) 2	100 ハンズオン・プラクティス 2
	200 国際情報分析 2	●200 ソーシャルスキルとチームワーク (インターンシップ演習) 2	100 社会探究リサーチ・ベーシックA 2
	300 国際環境論 2	□200 キャリアゼミA 1または2	100 社会探究リサーチ・ベーシックB 2
	300 教育開発論 2	□250 キャリアゼミB 1または2	150 社会探究実習Ⅰ 2
	300 国際平和構築論 2	□250 キャリアゼミC 1または2	200 社会探究実習Ⅱ 2
	●150 プロジェクトマネジメント概論 2	□150 霞が関セミナー 1または2	150 社会探究実践演習Ⅰ 4
	200 プロジェクトマネジメントⅠ 2	□250 海外インターンシップ 2	200 社会探究実践演習Ⅱ 4
	100 世界市民論 2	250 ハンズオン・インターンシップ実習 6	
	150 グローバルゼミA 2		
	100 日本文化総論 2		
	100 日本政治総論 2		
	100 日本史概略 2		
	100 日本企業文化論 2		
	200 インドネシア交流セミナーA 2		
	200 インドネシア交流セミナーB 2		
	200 トルコ交流セミナーA 2		
	200 トルコ交流セミナーB 2		
200 AI 活用実践演習A 2 (JavaによるWebアプリケーションデザイン)	200 国連セミナー 2または4	200 ライフ・キャリア発展演習 2	
200 AI 活用実践演習B 2 (Pythonによる機械学習・深層学習)	350 国連ユースボランティア実習 12		
200 AI 活用実践演習C (Web デザイン) 2	350 国連ユースボランティア課題研究 4		
200 AI 活用データサイエンス実践演習Ⅰ 2	350 国際社会貢献実習 12		
	350 国際社会貢献課題研究 4		
	300 プロジェクトマネジメントⅡ 2		
	350 プロジェクトマネジメントⅢ 2		
	300 International Politics and Economy A 2		
	300 International Politics and Economy B 2		
	200 カナダ研究マウント・アリソン大学 3		
	200 国際研究マウント・アリソン大学 3		
	200 カナダ研究トロント大学 3		
	●200 国際社会科学入門ケンブリッジ大学 8		
	200 マレー文化研究 5		
	●200 海外社会体験実習 13		
	200 海外社会体験実習（オーストラリア） 6		
	200 インターンシップ準備演習（オーストラリア） 4		
	200 海外社会体験実習（マレーシア） 4		
	200 海外社会体験実習（タイ） 1		
	300 CCC Joint Seminar in Japan 3		
	300 CCC Joint Seminar in Canada 3		
	300 CCC Global Internship in Japan 3		
	300 CCC Global Internship in Canada 3		
	300 CCC Field Study in Canadian Business 3		
	300 CCC Global Career Seminar in Japan 3		
	300 CCC Global Career Seminar in Canada 3		
	◆200 国連・外交入門（開発） 2		
	◆200 国連・外交入門（平和・人権・人道） 2		
250 AI 活用データサイエンス実践演習Ⅱ 2	350 プロジェクトマネジメントⅣ 2		
300 AI 活用発展演習Ⅰ 2	350 グローバルゼミB 2		
350 AI 活用発展演習Ⅱ 2	◆350 Career Seminar for International Organizations 2		

1または2 100 人権教育科目 2または4 100 総合コース 2または4 100 寄附講座 2または4 100 連携講座 1～4
国内協定大教科目 1～8

〈MEMO〉

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page. It is intended for a memo or notes.

Ⅲ. 社会学部編

7. 教育課程表

7.2 2011年度～2015年度入学生用

【教育課程表の見方】

社会調査法A〔データ分析（入門）〕

（旧科目名） （新科目名）

- ・ 2016年度以降順次、〔 〕内に記載されている科目名で開講される（72～75頁参照）。
- ・ 旧科目名を履修希望の者は、〔 〕内に記載されている新科目名を履修することになる。
- ・ 旧科目名を修得した場合は、新科目名を履修することはできない。

■例1

社会学リレー講義A〔社会学入門A〕

- ・ 2016年度以降に「社会学リレー講義A」を修得する必要がある者は、〔 〕内に記載されている「社会学入門A」を履修することになる。
- ・ 2015年度以前に「社会学リレー講義A」を修得済みの者は、〔 〕内に記載されている「社会学入門A」を履修することはできない。

■例2

現代社会と医療④〔現代社会と健康・医療A②、現代社会と健康・医療B②〕

- ・ 2016年度以降に「現代社会と医療④（4単位）」を履修希望の者は、〔 〕内に記載されている「現代社会と健康・医療A②（2単位）」あるいは「現代社会と健康・医療B②（2単位）」を履修することになる。
- ・ 2015年度以前に「現代社会と医療④（4単位）」を修得済みの者は、〔 〕内に記載されている「現代社会と健康・医療A②（2単位）」および「現代社会と健康・医療B②（2単位）」を履修することはできない。

全学科目【2012年度以前入学生】

履修基準年度	言語教育科目				スポーツ科学・健康科学科目						
第1学年 年度以上	250 Skills-based English	1または2	100 イタリア語初級Ⅰ	1	150 朝鮮語初級Ⅲ	1	100 スポーツ科学講義A	2	100 健康科学演習A	2	
	150 Special English Seminar	1	100 イタリア語初級Ⅱ	1	200 朝鮮語中級	1	100 スポーツ科学講義B	2	100 健康科学演習B	2	
	100 基礎フランス語Ⅰ	1	150 イタリア語初級Ⅲ	1	100 インドネシア語初級Ⅰ	1	100 スポーツ科学講義C	2	100 健康科学演習C	2	
	100 基礎フランス語Ⅱ	1	100 スペイン語初級Ⅰ	1	100 インドネシア語初級Ⅱ	1	100 スポーツ科学講義D	2	100 健康科学演習D	2	
	100 基礎フランス語Ⅲ	1	100 スペイン語初級Ⅱ	1	100 インドネシア語初級Ⅲ	1	100 健康科学講義A	2	100 健康科学演習E	2	
	100 基礎フランス語Ⅳ	1	150 スペイン語初級Ⅲ	1	●150 プレインターミティエイト・イングリッシュ	1	100 健康科学講義B	2	100 体育方法学演習A	2	
	150 フランス語アラカルト(聞く・話す)A	1	200 スペイン語中級	1	●250 プレアドバンスト・イングリッシュ	2	100 健康科学講義C	2	100 体育方法学演習B	2	
	150 フランス語アラカルト(聞く・話す)B	1	100 ポルトガル語初級Ⅰ	1	●150 サマー・インテンシブ・イングリッシュA	1	100 体育方法学講義B	2	100 余暇生活学演習A	2	
	150 フランス語アラカルト(聞く・話す)C	1	100 ポルトガル語初級Ⅱ	1	●150 サマー・インテンシブ・イングリッシュB	1	100 体育方法学講義C	2	100 余暇生活学演習B	2	
	100 基礎ドイツ語Ⅰ	1	150 ポルトガル語初級Ⅲ	1	●英会話ⅠA	1	100 体育方法学講義A	2	100 余暇生活学演習C	2	
	100 基礎ドイツ語Ⅱ	1	100 アラビア語初級Ⅰ	1	●英会話ⅠB	1	100 余暇生活学講義B	2	100 余暇生活学演習D	2	
	100 基礎ドイツ語Ⅲ	1	100 アラビア語初級Ⅱ	1	300 Language and Communication	2	100 余暇生活学講義C	2	100 余暇生活学演習E	2	
	100 基礎ドイツ語Ⅳ	1	150 アラビア語初級Ⅲ	1	300 Culture and Society	2	100 余暇生活学講義D	2	100 余暇生活学演習F	2	
	150 ドイツ語アラカルト(聞く・話す)A	1	100 基礎中国語Ⅰ	1	300 Academic Writing and Presentation	2	100 スポーツ科学演習A	2			
	150 ドイツ語アラカルト(聞く・話す)B	1	100 基礎中国語Ⅱ	1	300 Project-based Seminar in English	2	100 スポーツ科学演習B	2			
●200 日本語総合演習A	2	150 基礎中国語Ⅲ	1	150 海外学習活動(ドイツ)	2	100 スポーツ科学演習C	2				
●200 日本語総合演習B	2	150 基礎中国語Ⅳ	1	200 English for Cross-Cultural Studies A	2	100 スポーツ科学演習D	2				
100 ロシア語初級Ⅰ	1	200 中国語中級	1	200 English for Cross-Cultural Studies B	2	100 スポーツ科学演習E	2				
100 ロシア語初級Ⅱ	1	100 朝鮮語初級Ⅰ	1	100 日本語初級Ⅰ	1	100 スポーツ科学演習F	2				
150 ロシア語初級Ⅲ	1	100 朝鮮語初級Ⅱ	1	100 日本語初級Ⅱ	1						
第2学年 年度以上	250 フランス語インテンシブ初級Ⅲ	2	●250 日本語(聴解・会話)	1	●200 アラビア語中級	1					
	200 フランス語中期留學Ⅱ	4または6	●150 ロシア語初級Ⅲ	1	●150 インドネシア語初級Ⅲ	1					
	200 フランス語アラカルト(読む)	4	●200 ロシア語中級	1	●200 インドネシア語中級	1					
	200 フランス語アラカルト(書く)	1	●150 イタリア語初級Ⅲ	1	●日本語(読む・書く)	1					
	250 ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ	2	●200 イタリア語中級	1	●日本語(話す・聞く)	1					
	200 ドイツ語アラカルト(読む)	1	200 スペイン語中期留學Ⅱ	7	●英語セミナーA	1					
	200 ドイツ語アラカルト(書く)	1	●150 ポルトガル語初級Ⅲ	1	●英語セミナーB	2					
	200 ドイツ語アラカルト(読む)	1	●200 ポルトガル語中級	1	●英語インディペンデント・スタディA	2					
	●250 日本語(読解・作文)	1	●150 アラビア語初級Ⅲ	1	●英語インディペンデント・スタディB	2					
	250 フランス語インテンシブ中級	2	300 ビジネス日本語B	1							
	250 ドイツ語インテンシブ中級	2	300 ビジネス日本語C	1							
	300 ビジネス日本語A	1									
	★ 外国大学科目 1~8 ●200 総合日本語学習コース 1または2 ●250 アドバンスト・イングリッシュA 2 ●250 アドバンスト・イングリッシュB 2 ●250 アドバンスト・イングリッシュC 2										

全学科目【2013年度~2015年度入学生】

履修基準年度	言語教育科目				スポーツ科学・健康科学科目				情報科学科目	
第1学年 年度以上	250 Skills-based English	1または2	200 スペイン語中級	1	100 スポーツ科学講義A	2	100 健康科学演習A	2	100 コンピュータ基礎	2
	150 Special English Seminar	1	100 ポルトガル語初級Ⅰ	1	100 スポーツ科学講義B	2	100 健康科学演習B	2	150 コンピュータ実践	2
	100 基礎フランス語Ⅰ	1	100 ポルトガル語初級Ⅱ	1	100 スポーツ科学講義C	2	100 健康科学演習C	2	●200 コンピュータ言語	2
	100 基礎フランス語Ⅱ	1	150 ポルトガル語初級Ⅲ	1	100 スポーツ科学講義D	2	100 健康科学演習D	2	150 プログラミング言語基礎	2
	100 基礎フランス語Ⅲ	1	100 アラビア語初級Ⅰ	1	100 健康科学講義A	2	100 健康科学演習E	2	100 文科系学生のための情報技術入門	2
	100 基礎フランス語Ⅳ	1	100 アラビア語初級Ⅱ	1	100 健康科学講義B	2	100 体育方法学演習A	2	100 情報技術概論	2
	150 フランス語アラカルト(聞く・話す)A	1	150 アラビア語初級Ⅲ	1	100 健康科学講義C	2	100 体育方法学演習B	2		
	150 フランス語アラカルト(聞く・話す)B	1	100 基礎中国語Ⅰ	1	100 体育方法学講義A	2	100 体育方法学演習C	2		
	150 フランス語アラカルト(聞く・話す)C	1	100 基礎中国語Ⅱ	1	100 体育方法学講義B	2	100 余暇生活学演習A	2		
	100 基礎ドイツ語Ⅰ	1	150 基礎中国語Ⅲ	1	100 体育方法学講義C	2	100 余暇生活学演習B	2		
	100 基礎ドイツ語Ⅱ	1	150 基礎中国語Ⅳ	1	100 余暇生活学講義A	2	100 余暇生活学演習C	2		
	100 基礎ドイツ語Ⅲ	1	200 中国語中級	1	100 余暇生活学講義B	2	100 余暇生活学演習D	2		
	100 基礎ドイツ語Ⅳ	1	100 朝鮮語初級Ⅰ	1	100 余暇生活学講義C	2	100 余暇生活学演習E	2		
	150 ドイツ語アラカルト(聞く・話す)A	1	100 朝鮮語初級Ⅱ	1	100 スポーツ科学演習A	2	100 余暇生活学演習F	2		
	150 ドイツ語アラカルト(聞く・話す)B	1	100 朝鮮語初級Ⅲ	1	100 スポーツ科学演習B	2				
●200 日本語総合演習A	2	200 朝鮮語中級	1	100 スポーツ科学演習C	2					
●200 日本語総合演習B	2	100 インドネシア語初級Ⅰ	1	100 スポーツ科学演習D	2					
100 ロシア語初級Ⅰ	1	100 インドネシア語初級Ⅱ	1	100 スポーツ科学演習E	2					
100 ロシア語初級Ⅱ	1	150 インドネシア語初級Ⅲ	1	100 スポーツ科学演習F	2					
150 ロシア語初級Ⅲ	1	●150 プレインターミティエイト・イングリッシュ	1							
100 イタリア語初級Ⅰ	1	●250 プレアドバンスト・イングリッシュ	2							
100 イタリア語初級Ⅱ	1	●150 サマー・インテンシブ・イングリッシュA	1							
150 イタリア語初級Ⅲ	1	●150 サマー・インテンシブ・イングリッシュB	1							
100 スペイン語初級Ⅰ	1	●150 サマー・インテンシブ・イングリッシュC	1							
100 スペイン語初級Ⅱ	1	100 日本語初級Ⅰ	1							
150 スペイン語初級Ⅲ	1	100 日本語初級Ⅱ	1							
第2学年 年度以上	250 フランス語インテンシブ初級Ⅲ	2	●150 イタリア語初級Ⅲ	1					200 プログラミング言語応用	2
	200 フランス語中期留學Ⅱ	4または6	●200 イタリア語中級	1						
	200 フランス語アラカルト(読む)	4	200 スペイン語中期留學Ⅱ	7						
	200 フランス語アラカルト(書く)	1	●150 ポルトガル語初級Ⅲ	1						
	250 ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ	2	●200 ポルトガル語中級	1						
	200 ドイツ語アラカルト(読む)	1	●150 アラビア語初級Ⅲ	1						
	200 ドイツ語アラカルト(書く)	1	●200 アラビア語中級	1						
	●250 日本語(読解・作文)	1	●150 インドネシア語初級Ⅲ	1						
	●250 日本語(聴解・会話)	1	●200 インドネシア語中級	1						
	●150 ロシア語初級Ⅲ	1								
	●200 ロシア語中級	1								
	250 フランス語インテンシブ中級	2	300 ビジネス日本語B	1						
	250 ドイツ語インテンシブ中級	2	300 ビジネス日本語C	1						
	300 ビジネス日本語A	1								
	★ 外国大学科目 1~8 ●200 総合日本語学習コース 1または2 ●250 アドバンスト・イングリッシュA 2 ●250 アドバンスト・イングリッシュB 2 ●250 アドバンスト・イングリッシュC 2									

★ 場合により履修基準年度が異なる。詳しくは「履修・学習要覧 Web サイト」および「履修心得」を参照のこと。

※ 年度によって開講されない科目があるのに注意すること。

● 今後開講されない科目 □ 卒業に必要な単位に算入されない科目

※ 科目名の後ろの数字は単位数

情報科学科目	AI 活用人材育成科目	学際・連携科目	
100 コンピュータ基礎 2 150 コンピュータ実践 2 ●200 コンピュータ言語 2 150 プログラミング言語基礎 2 100 文系学生のための情報技術入門 2 100 情報技術概論 2	100 AI 活用入門 2 150 AI 活用導入演習A 2 150 AI 活用導入演習B 2	100 「開学」学 2 100 災害復興学入門 2 100 災害復興学 2 100 平和学「広島・長崎講座」 2 100 平和学特別演習「ヒロシマ」 2 100 スタティススキルセミナー 2 100 社会探究入門 2 100 ハンズオン・プラクティス 2 100 社会探究リサーチ・ベーシックA 2 100 社会探究リサーチ・ベーシックB 2 150 社会探究実習Ⅰ 2 200 社会探究実習Ⅱ 2 150 社会探究実践演習Ⅰ 2 200 社会探究実践演習Ⅱ 2 150 海外フィールドワーク 2 200 国際情報分析 2 300 国際環境論 2 300 教育開発論 2 300 国際平和構築論 2 ●300 プロジェクトマネジメント概論 2 200 プロジェクトマネジメントⅠ 2 100 世界市民論 2 150 グローバルゼミA 2 100 日本文化総論 2 100 日本政治総論 2 100 日本史概略 2 100 日本企業文化論 2 200 インドネシア交流セミナーA 2 200 インドネシア交流セミナーB 2 ●200 オックスフォード大学ジョイントセミナーA 2 ●200 オックスフォード大学ジョイントセミナーB 2 200 トルコ交流セミナーA 2 200 トルコ交流セミナーB 2 100 海外異文化体験セミナー 1 100 カナダ研究入門A 2 100 カナダ研究入門B 2	300 Topics in Canadian Studies A 2 300 Topics in Canadian Studies B 2 300 Topics in Canadian Studies C 2 300 Topics in Canadian Studies D 2 200 北欧研究入門 2 100 クロバスタディーズ入門 2 ●200 留学のための英語 Academic Writing 2 100 留学とキャリア設計 2 300 International Scholar's Topics A 2 300 International Scholar's Topics B 2 200 CCC Introduction to Multicultural Studies 2 200 CCC Introduction to International Relations 2 150 CCC Cross-Cultural Workshop 3 200 日本語教育基礎 2 300 日本語教育基礎演習 2 100 ライフ・キャリア概論 2 100 ライフデザインと仕事A 2 100 ライフデザインと仕事B 2 100 ライフ・キャリア入門演習 2 150 ライフ・キャリア実践演習 2 250 ライフ・キャリア リーダーシップ実習 2 ●150 社会の中での自分 (インターンシップ講義) 2 ●200 ソーシャルスキルとチームワーク (インターンシップ演習) 2 □200 キャリアゼミA 1または2 □250 キャリアゼミB 1または2 □250 キャリアゼミC 1または2 □250 キャリアゼミD 1または2 □150 露が関セミナー 2 □250 海外インターンシップ 2 250 ハンズオン・インターンシップ実習 6 ●150 グローバルゼミⅠ 2 ●100 ライフデザインと仕事 2 ●100 洋上大学科目B 2 ●ワーク&ライフバランス 2 ●学際ゼミ 2 ●地域フィールドワーク 2または4 ●エクステンション科目 1~8
200 プログラミング言語応用 2	200 AI 活用実践演習A (JavaによるWebアプリケーションデザイン) 2 200 AI 活用実践演習B (Pythonによる機械学習・深層学習) 2 200 AI 活用実践演習C (Webデザイン) 2 200 AI 活用データサイエンス実践演習Ⅰ 2	200 国連セミナー 2または4 300 国連ユースボランティア実習 12 350 国際社会貢献実習 12 350 国際社会貢献課題研究 4 300 プロジェクトマネジメントⅡ 2 350 プロジェクトマネジメントⅢ 2 300 International Politics and Economy A 2 300 International Politics and Economy B 2 200 カナダ研究マウント・アリソン大学 3 200 国際研究マウント・アリソン大学 3 300 カナダ研究トロント大学 3 ●200 国際社会科学入門ケンブリッジ大学 5 マレー文化研究 8 ●200 海外社会体験実習 13 200 海外社会体験実習 (オーストラリア) 6 200 インターンシップ準備演習 (オーストラリア) 4 200 海外社会体験実習 (マレーシア) 1 200 海外社会体験実習 (タイ) 4	300 CCC Joint Seminar in Japan 3 300 CCC Joint Seminar in Canada 3 300 CCC Global Internship in Japan 3 300 CCC Global Internship in Canada 3 300 CCC Field Study in Canadian Business 3 300 CCC Global Career Seminar in Japan 3 300 CCC Global Career Seminar in Canada 3 200 ライフ・キャリア発展演習 2 ●カナダ研究入門 (MTA) 2または3 ●国際研究 (MTA) 2または3 ●国連学生ボランティア実習 12 ●国連学生ボランティア課題研究 4 ●カナダ研究トビックスA 2 ●カナダ研究トビックスB 2 ●カナダ研究トビックスC 2 ●カナダ研究トビックスD 2 ●キャリアデザインと自分 2 ●学際ゼミ 2または4 ●地域フィールドワーク・アドバンスト 2または4 2または4
	250 AI 活用データサイエンス実践演習Ⅱ 2 300 AI 活用発展演習Ⅰ 2 350 AI 活用発展演習Ⅱ 2	350 プロジェクトマネジメントⅣ 2 350 グローバルゼミB 2 ●350 グローバルゼミⅡ 2	●□300 キャリアゼミ アドバンスト 1 ●□250 認定インターンシップA 1 ●□250 認定インターンシップB 2

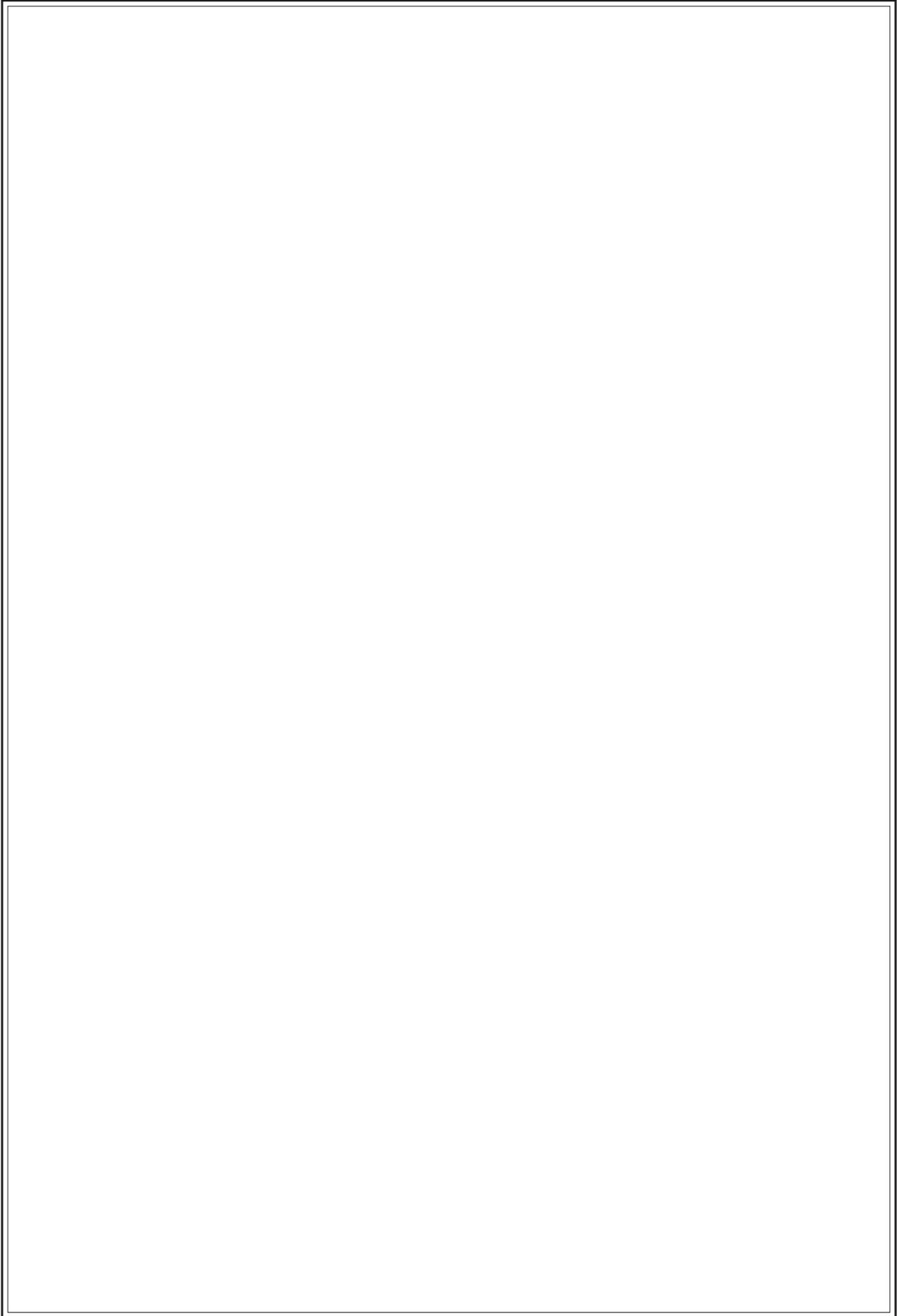
100 総合コース 2または4 100 寄附講座 2または4 100 連携講座 1~4 ●150 社会連携プロジェクト 2または4 150 PBL 特別演習 2または4 100 西宮市大学共通単位講座 1または2
●250 アドバンスト・イングリッシュD 2 ●300 スーパーアドバンスト・イングリッシュ 2 国内協定大学科目 1~8

AI 活用人材育成科目	グローバルスタディーズ科目	ライフデザイン科目	基盤・学際科目
100 AI 活用入門 2 150 AI 活用導入演習A 2 150 AI 活用導入演習B 2	300 Language and Communication 2 200 Culture and Society 2 300 Academic Writing and Presentation 2 300 Project-based Seminar in English 2 150 海外学習活動 (ドイツ) 2 200 English for Cross-Cultural Studies A 2 200 English for Cross-Cultural Studies B 2 150 海外フィールドワーク 2 200 国際情報分析 2 300 国際環境論 2 300 教育開発論 2 300 国際平和構築論 2 ●150 プロジェクトマネジメント概論 2 200 プロジェクトマネジメントⅠ 2 100 世界市民論 2 150 グローバルゼミA 2 ●150 グローバルゼミⅠ 2 100 日本文化総論 2 100 日本政治総論 2 100 日本史概略 2 100 日本企業文化論 2 200 インドネシア交流セミナーA 2 200 インドネシア交流セミナーB 2	100 ライフ・キャリア概論 2 200 ライフデザインと仕事A 2 200 ライフデザインと仕事B 2 100 ライフ・キャリア入門演習 2 150 ライフ・キャリア実践演習 2 250 ライフ・キャリア リーダーシップ実習 2 ●100 クロバスタディーズ入門 2 ●150 社会の中での自分 (インターンシップ講義) 2 ●200 ソーシャルスキルとチームワーク (インターンシップ演習) 2 □200 キャリアゼミA 1または2 □250 キャリアゼミB 1または2 □250 キャリアゼミC 1または2 □150 露が関セミナー 1または2 □250 海外インターンシップ 2 250 ハンズオン・インターンシップ実習 6 ●100 ライフデザインと仕事 2 ●ワーク&ライフバランス 2	100 「開学」学 2 100 災害復興学入門 2 100 災害復興学 2 100 平和学「広島・長崎講座」 2 100 平和学特別演習「ヒロシマ」 2 100 スタティススキルセミナー 2 100 社会探究入門 2 100 ハンズオン・プラクティス 2 100 社会探究リサーチ・ベーシックA 2 100 社会探究リサーチ・ベーシックB 2 150 社会探究実習Ⅰ 2 200 社会探究実習Ⅱ 2 150 社会探究実践演習Ⅰ 4 200 社会探究実践演習Ⅱ 4
200 AI 活用実践演習A (JavaによるWebアプリケーションデザイン) 2 200 AI 活用実践演習B (Pythonによる機械学習・深層学習) 2 200 AI 活用実践演習C (Webデザイン) 2 200 AI 活用データサイエンス実践演習Ⅰ 2	200 国連セミナー 2または4 350 国連ユースボランティア実習 12 350 国際社会貢献実習 12 350 国際社会貢献課題研究 4 300 プロジェクトマネジメントⅡ 2 350 プロジェクトマネジメントⅢ 2 300 International Politics and Economy A 2 300 International Politics and Economy B 2 200 カナダ研究マウント・アリソン大学 3 200 国際研究マウント・アリソン大学 3 300 カナダ研究トロント大学 3 ●200 国際社会科学入門ケンブリッジ大学 5 マレー文化研究 8 ●200 海外社会体験実習 13 200 海外社会体験実習 (オーストラリア) 6	200 ライフ・キャリア発展演習 2 ● キャリアデザインと自分 2	
250 AI 活用データサイエンス実践演習Ⅱ 2 300 AI 活用発展演習Ⅰ 2 350 AI 活用発展演習Ⅱ 2	350 プロジェクトマネジメントⅣ 2 350 グローバルゼミB 2 ●350 グローバルゼミⅡ 2	●□300 キャリアゼミ アドバンスト 1 ●□250 認定インターンシップA 1 ●□250 認定インターンシップB 2	

100 総合コース 2または4 100 寄附講座 2または4 100 連携講座 1~4 ●150 社会連携プロジェクト 2または4 150 PBL 特別演習 2または4 100 西宮市大学共通単位講座 1または2
●250 アドバンスト・イングリッシュD 2 ●300 スーパーアドバンスト・イングリッシュ 2 国内協定大学科目 1~8

7. 教育課程表

〈MEMO〉



KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY
School of Sociology